				平成	27年度	事務事業振遠	返りシート	(平成26年度 実施事	業の振返り)	
1. 基本	情報									
事務事コー		01060104	:00020101	事務事業 名	畜産業	美総務管理事務事	業		担当部担当課	農林水産部 農政畜産課
政策:	名	03	活力	ある産業の	まちづくり				グループ	畜産グループ
施策:	名	01	農·市	木・水産業の	振興				電話番号	
基本事	5業名 01 農林漁業経営体への支援 内線番号 2321									
予	会計	一般	会計				中来	□ 単年度のみ		
予 算 科 目	款	06	農林	水産業費			事業 期間	17 年度~)		
科	項	01	農業	費			MILEI	□ 期間限定複数年度	(~)
Ħ	目	04	畜産	業費			根拠法令・条例等			
評価区	弦分	ĺ	簡易評	平価 :	平価対象	1次評価	関連計画			
2. 事務	2. 事務事業の概要・目的・指標 <do></do>									
(1)事	務事	集の	概要(具体的なや	り方、手順	、詳細を記述)				
【各種研・旅費力	(各種所修等参加事務) ・旅費が必要な出張等について執行する。(家畜購入、ブランド確立研修、霧島市枝肉共励会、九州連合ホルスタイン共准会に伴う出張等)									

- 『小泉が元マホ田派寺について新りりの。(多亩購入、ノフンド催立研修、霧島市枝肉共励会、九州連合ホルスタイン共進会に伴う出張 【一般事務及び補助事業等推進事務】 ・事務執行に必要なコピー用紙、トナーカートリッジ、コピーカウント料、事務用品等の消耗品及び書類送付に必要な切手等を購入する。 【公用車管理事務】
- ・公用車燃料代、定期車検、12ヶ月点検、任意保険、自賠責保険、重量税について執行する。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	出張件数		件	(天順)	(天順)	6	15	15
イ	消耗品等購入件数		件			31	30	30
ゥ	公用車台数		台			5	5	5
(2	?) 事務事業の目的							
2	対象 推、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	畜産グループ内の各種業務							
1								
ゥ								
_	意図 ②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	円滑に実施される							
1								
ゥ								
(3	3)上位の基本事業							
_	基本事業の意図 ならにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア	経営体質が強化される							
イ								
占								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

特になし

4.	事美	美費	のŧ	推移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
								(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	と出	珘	千円			0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円			216	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円			0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円			0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円			1,226	1,259	1,454
量		閘	業	費			千円	0	0	1,442	1,259	1,454

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

<左記の実績(取組)による成果を記載>

【各種研修等参加事務】 九州連合ホルスタイン共進会(熊本県):5名 37,200円 ブランド確立研修会(京都府):1名 40,380円 【一般事務、補助事業等推進事務】 消耗品等購入:31件 282,540円 【公用車管理事務】 燃料費:5台 585,200円、車検代:4台 245,300円 1年点検:1台 8,553円、自賠責保険:4台 96,380円 任意保険5台 62,138円、重量税:4台 28,800円

【各種研修等参加事務】 九州連合ホルスタイン共進会への市内酪農家からの出品に対応することができた。また、プランド確立研修会により、県外市場及び卸業者へ ことかできた。また、ソブント権立が修会により、県外市場及の創業者へ 霧島市産黒毛和牛のPRと市内肥育農家の技術向上研修を行うことが できた。 【一般事務、補助事業推進事務】 消耗品等の購入により、畜産業一般事務及び補助事業等の推進事務 を円滑に行うことができた。 【公用車管理事務】 公用車を適正に管理することができた。

4		条事業 一ド	01060	10400020101	事 務 事業名	畜産業	総務管	理事系	务事業	担当部		水産部 畜産課
6.			<see></see>	•	7.1						由	田 住 味
	Ī.			の目的は、基本語	事業の意図に終	古びついています	か?			'		
				いている	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,							
A				かに結びついてい								
一般	Н			いていない								
A目的妥当性	2		事業をな	 ぜ市が行わなけ	 ればならないの	つですか?						
119		- 1元 亚		て達成する目的	ですか?		_					
			妥当で									
				「必要がある 								
	3) 成果 [;] ———	が向上す。 	る余地(可能性) 	はありませんか 	۱?						
			向上す	る余地はかなり	ある							
				る余地はある程								
	L		向上す	る余地はほとん	どない							
물	4) 廃止·	休止の影	/響はありません	か?							
B有効性			影響が	ずある								
111			影響が	ドほとんどない								
	5	類似(事業)	の目的(対 はありませ	村象・意図) 又は けんか?(市以外の	形態(イベントやR D主体が実施する	啓発等)を持つ他 ものを含む。)	の事務	類似 合の	事業がある場 事務事業名等			
			類似の	事業はない						-		
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない						
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる						
	6	·事務 ·補助	事業の手段金など、交	设(やり方)を工夫す 付先に働きかけて	けることで、事業費 、市の負担を削減	量を削減できません 成できませんか?	か?		ループ及び総 ため削減できな		!当で使用する聶	弘小限の事務費
	Г	-	削減で	きない								
Ç			削減で	きる								
C効率	(7)	・事務)きませ	事業の手段	殳(やり方)を工夫す	トることで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減で	畜産事	務を円滑に行	うため必要最々	小限であり、削漏	できない。
性		- 職員	以外の対応	なや委託により人体	‡費を削減できま	せんか?						
			削減で	きない								
		= 7/1	削減で		- -	hu 4 4 6						
D A	8)) <u> </u>	57 AL +V A	容が一部の受益 負担の公平性がそ		I						
公平性			公平•	公正である								
			見直す	必要がある								
7.	13	文評価約	課 <f< th=""><th>PLAN>(組織</th><th>決定)</th><th>【参考】前</th><th>年度の改</th><th>革改善のブ</th><th>方向性≪</th><th></th><th></th><th>»</th></f<>	PLAN>(組織	決定)	【参考】前	年度の改	革改善のブ	方向性≪			»
(1) 事	:	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小	連携	統合	休止	廃止
		方向性		0								
				コスト意識を持る	L ち、更に事務費	の削減に努める	0					
(2)平	成27年	度の改									
		きの内容 組むべき										
				【各種研修等		ンプサケーフ (5	シ女性 7	ゴニ い	心地去玩板。	東自 去状内 サ	日本に似る山浦	<i>f</i> t/t \
(2)	۱ تار	亡の左	度の方	【一般事務及	び補助事業推済							対に必要な切手
向怕	生•	取組目	浸の万標	等を購入する。		互燃料代、定期車						
				_ ,,			_,,==,					= 9
<u>_</u>												
8.	<u>2</u> ඵ	文評価額	吉果 (担	当部長評価)								
			の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統合	休止	廃止
攻	善 <i>下</i> —	5向性										
(0)	4/1	. =π										
(2	/ 不芯	評										

事務事業	事務	玄产类组	公 数英田市政市 类	担当部	農林水産部		
0106010400020101	事業名	苗 住 未 和	^{総務管理事務事業}	担当課	農政畜産課		
9. コストの推移	9. コストの推移						
(単位・壬円)	亚成264	F 度 () () ()	平成27年度 (当初予管	·) <u>ग</u>	成28年度 (計画)		

O. –	ストの作材			
	(単位:千円)	平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報酬			
2	給 料			
3	職員手当等			
4	共 済 費			
5	災害補償費			
7	賃 金			
8	報 償 費 旅 費	70	100	0.4
9	旅 費 交 際 費	78	169	84
11	需用費	1,147	940	1,141
1'''	消耗品費	282	222	210
	燃料費	583	532	589
	食糧費			
	印刷製本費	28	0	
	光熱水費			
	修 繕 料	254	186	342
	賄 材 料 費			
	飼料費			
	医薬材料費			
12	役 務 費	188	135	187
	通信運搬費	30	30	30
	広告料			
	手 数 料	150	0	1.57
13	保 険 料 委 託 料	158	105	157
14	安 記 44 使用料及び賃借料			
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費		0	
19	負担金補助及び交付金			
20	扶 助 費			
21	貸 付 金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利子及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積 立 金 寄 附 金			
26 27	寄 附 金 公 課 費	29	15	42
28	公 議 負 繰 出 金	29	15	42
20	計	1,442	1,259	1,454
	国庫支出全	0	0	1,101
E.	特定 県 支 出 金 地 方 債	216	0	
財源内訳	財地方債	0	0	
内	源その他	0	0	
別	一般財源	1,226	1,259	1,454
	計	1,442	1,259	1,454
ż	国 浦助率			
	景	定額		
補	助 基 本 額			

平成26年度補正•流用状況

当初予算	1,604
補正予算	0
流用・充用	95
予算合計	1,699

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
県支出金	資源リサイクル畜産環境整備事業費	216
	合 計	216

平原	戊27年度	事務	事業振	返りシー	-- (平成26年度	実施事業0)振返り)		
1. 基本情報										
事務事業 0106010200020101 事務事	業名 農業総	務管理	事務事業	(農政畜	産課)			担当部 担当課	農林水産部農政畜産調	
政策名 3 活力ある産業の	のまちづくり							グループ	及以田庄的	N
施策名 1 農・林・水産業								電話番号		
基本事業名 01 農林漁業経営 A 会計	体への文援					単年度のみ		内線番号		
京 京 06 農林水産業費				事業期間		■単年度繰返		Ę	不明》)
予算 表訂 一般会計 算期 06 農林水産業費 科項 01 農業費 日の2 農業総務费					_	期間限定複	夏数年度(~)
中 目 02 農業総務費 評価区分 簡易評価	評価対象	1次	:評価	根拠法令·条例 関連計						
2. 事務事業の概要・目的・指標	<do></do>									
(1) 事務事業の概要(具体的な 【臨時職員雇用事務】 ・生産調整業務を円滑に実施すると 【消耗品等備品購入事務】 ・事務執行に必要なコピー用紙、ファ 【公用車維持管理】 ・公用車の車検・修繕・保険料・燃料	さい、課内にな	おける庶	務の一部を	を行うため、	、臨時職	遺しを雇用する	5事務			
② 工動化標 / 古功古光 0 / 7 利 目	`				** / *	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
① 活動指標 (事務事業の活動量	.)				単位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア 消耗品等購入件数								99	99	99
イ 公用車の台数								13	13	13
<mark>力</mark>										
(2) 事務事業の目的										
② 対象 (計 (計 (対 対 (3 対象		ヘー・キナナ. ‡	÷ √ +1□+== /	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(誰、何を対象にしているのか)	(左記)	2)对家()大きさを表	で 1 指標)		(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
1										
<mark>ਾ</mark>										
② 意図(②対象をどうしたいのか)	⑤ 成 男		法出席がま	:一十七十二 /	単位	24年度 (実績)	25年度	26年度	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	(注記生	息凶の	達成度を表	て9 1日保力		(夫祖)	(実績)	(実績)	(日保)	(日保)
1										
ウ										
(3) 上位の基本事業 ⑥ 基本事業の意図	(7) # 1	- 車 巻 /	の成果指	a		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(さらにどのような成果に結びつくのか	_		クル未行り 達成度を表		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
7										
1										
ウ										
	年日 依					0455	0.5 左 连	00左座	0.7左左	00左座
3. 事務事業の環境変化・市民 は (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会な)		4. 事業	費の推利	3	単位	(決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
特になし			国庫	支出金	千円	(0(3+)	(0(3+)	0	0	0
		事	1E	出金	千円			0	0	0
				方 債	千円			0	0	0
	;			の 他財源	千円			7,859	6,642	6,643
		没 入 量	事業費	別が	千円	0	0	7,860	6,643	6,643
		-								
5. 平成26年度の実績及び成果										
(1)平成26年度の実績(取組)	<取組内容を数化					<mark>年度の成果</mark>	<左記	の実績(取組)	こよる成果を記載	战>
【臨時職員雇用事務】事務補佐84,80 農業公社事務局長 152,800円×7月 農業公社事務局員 140,100円×6月	10円×5月=42 =1,069,600円 ±118,000円=	4,000円 引	ım	・事	職員雇り 務補佐員	用事務】 員雇用を雇用 農業公社業	し、農業公	土事務、生産	を調整事務に 過ご送行士	こ取り組ん

農業公社事務局員 140,100円×6月+118,099円=958,699円 生産調整事務140,100円×11月+118,099円=1,659,199円 生産調整事務補佐79,500円×1月=79,500円 期末加給50,000円×3人=150,000円 20,000円×1人=20,000円 割増賃金4h×1,121円=4,484円 4h×1,222円=4,888円 通勤手当5,000円×12月=60,000円 【消耗品等購入事務】99件1,038,172円 【公用車維持管理】燃料費 1,056,504円公課費52,000円 車検・修繕等696,392円

でもらうことで、農業公社業務、生産調整業務を円滑に逐行さ、もって課内の他の業務も円滑に進めることができた。 【消耗品等購入事務】 ・消耗品等購入により、事務が円滑に行われた。 【公用車維持管理】 ・公用車の適正な利用ができた

	事務事業 コード	01060	10200020101	事務事業名	農業総務管	理事務	事業(農	政畜産課)	担当部担当課		水産部 畜産課
6. ‡	振り返り	<see></see>	•						理由		
	① この事	孫事業(の目的は、基本	事業の意図に終	昔びついています	ナか?					
		結びつ	いている								
鼠		間接的	に結びついてに	いる							
A目的妥当性			いていない								
醒	② ·この · 税金	事業をな を投入し	ぜ市が行わない て達成する目的	ければならないの りですか?	のですか?						
		妥当で	ある								
		見直す	必要がある								
	③ 成果#	が向上す	る余地(可能性) はありませんか	٧?						
		向上す	る余地はかなり	Jある							
		向上す	る余地はある私	星度ある							
		向上す	る余地はほとん	しどない							
В	④ 廃止・	休止の影	/響はありません	しか?							
B有効性		影響が	 「ある								
性		影響が	· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・								
	⑤ 類似の	り目的(対	対象・意図)又は	形態(イベントや) の主体が実施する	B発等)を持つ他	の事務	類似事	事業がある場 事務事業名等			
	□		事業はない		. эе д С . /						
ŀ		類似の	事業はあるが、		できない						
ı		類似の)事業があり、 <i>紂</i>	合又は連携で	 きる						
	6 事務	事業の手段	殳(やり方)を工夫 付先に働きかけて	することで、事業費、 市の負担を削減	貴を削減できません 載できませんか?	しか?	課内の事	事務を円滑に幸	執行するために	必要である。	
ŀ	16491		きない	(1)00 吴应己的原	2 (
Ç		削減で	きる								
効率		事業の手具	殳(やり方)を工夫	することで、人件費	費(延べ業務時間)	を削減	課内の事	事務を円滑に幸	執行するために	必要である。	
性		せんか? 以外の対応	なや委託により人	件費を削減できま	せんか?						
		削減で	きない								
	= 74 =	削減で		ケギに 原 マいっ	+11 / 1.0						
及	8 事務 また、	受益者負	各が一部の受象	益者に偏っている 確保されていま	ませんか?						
D公平性			公正である								
		見直す	必要がある								
7. 1	1次評価網	果 <	PLAN>(組制	說決定)	【参考】前	年度の改造	本改善の方	向性≪			»
	事務事業		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統合	休止	廃业
改善	きの方向性		0								
			改善点がさらに	ないか、精査す	トる	-					
	平成27年										
	対善の内容 り組むべき										
			【臨時職員雇用 ・生産調整業系		するとともに、課	内におけ	-ス帝経の)―部を行うた	め 臨時職員を	ママス 単元 本本	
(3)	平成28年	度の方	【消耗品等備品 ・事務執行に必	品購入事務】 公要なコピー用糸	氏、ファイル等の				on the state of th	-/E/N / 0 7 1/	
向性	生 取組目	票	【公用車維持管	管理】	・燃料代を執行						
_		- ES									
8. ž	2次評価網	果(扯	当部長評価)							44.4	
	事務事業 (1)	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統合	休止	廃山
-v =	1 1 1 1 1 C										
(2)	総評										
,	"'										
(2)	総評										

事務事		事 務 事業名	農業総務管理	事務事業(農政畜産課)	担当部		林水産部
		尹木石			担当認	長 辰	汝畜産課
9. コス	トの推移						
	(単位:千円)	平成26年	拝度 (決算)	平成27年度 (当初予算))	平成28年度	(計画)
1 報							
2 給							
3 職							
4 共							
	害補償費						
7 賃			4,430	2	2,446		2,446
8 報							
9 旅			0		47		47
10 交			2.000		150		0.450
11 需			2,880		3,458		3,458
	消耗品費		1,049		,051		1,051
	燃料費 食糧費		1,057		,547		1,547
	食 糧 費 印刷製本費						
	光熱水費						
	修繕料		774		860		860
	期 材料費		114		800		
	飼料費						
	医薬材料費						
12 役			493		557		557
,	通信運搬費		162		164		164
	広告料		102		101		
	手 数 料				0		
	保険料		331		393		393
13 委							
14 使	用料及び賃借料						
15 I	事請負費						
16 原	材料費						
17 公	:有財産購入費						
18 備	品購入費				0		
	担金補助及び交付金		5		5		5
20 扶							
21 貸							
	償補填及び賠償金						
	還金利子及び割引料						
	資及び出資金						
25 積							
26 寄					100		
27 公			52		130		130
20 編	나 소						

玉

県

| 国庫支出金 |県支出金 |財源 | 大 債 |そ の 他 | 一 般 財 源

補助率

1 17 1 = 1 194 110 = 17 17 17 17	117-
当初予算	10,235
補正予算	-1,607
補正第7号	-1,607
流用・充用	8
予算合計	8,636

平成26年度特定財源内訳

7,860

0

0

1

7,859

7,860

区分	名称	金額
その他	雑入(コピー代)	1
	合 計	1

6,643

0

0

1

6,642

6,643

6,643

6,643

6,643

				平成2	7年度	事	務	事	業振	返り	シ-	<u>- - - - - - - - - - - - - -</u>	(2	平成26年度	実施事業	(の振返り)		
1. 基本																+D 1/4 ≠n	曲址一十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	7
事務事		0106010	300020101	事務事業名	3 農業排	長興絲	総務	管:	理事業	181					-	担当部担当課	農林水産部	
 政策		3	活力	ある産業のま	ちづくり											グループ	農政第1グ	
施策	名	1		林・水産業の排												電話番号	45-5111	
基本事	_	01		漁業経営体	への支援								_	w - -		内線番号	2311	
予	会計		会計	水産業費						- :	事業			単年度のみ単年度繰過		: r	I 17 年度	-)
予 算 科 目	款 項	00	農業							-	期間	<u> </u>		期間限定複			1 11 平及)
目	Î	03		振興費						根拠	法令·条		_	WITH PACES	×× + /× \			
評価区	≤分		簡易	評価 評価	価対象		1次	:評	価	関	連計	画						
2. 事務	事業	の概	要・目	的•指標	<do></do>													
				(具体的なやり														
・九州主	要産地 茶サミ	市町カル	村協語 席負担	養会総会出席 B金の支払い。	負担金・ナ とそれの出	セ州主 対席の	三要を	を地	市町村 旅費を	ナ協議 支出・	養会研 する。	修会出	虎	負担金				
											,							
o ==												W 11		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
① 活動	加指標	(事)	务事業	¢の活動量)								単位	-	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア出会	回数															20	20	20
,													_					
1																		
ウ																		
(2)事		業の	目的															
② 対象					③ 対							単位	ī	24年度	25年度		27年度	28年度
(誰、何	「を対象	象にして	ている	(でかり	(左記	2②対	十 象の	大	きさを表	長す打	旨標)			(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア				- 1														
1																		
ウ																		
								_		_	_			0.4 /= /=	05/5	00/5	07/5	00/5
(②対象)	-	51 <i>†</i> =1.	. ነ <i>ጠ</i> ታነ	,)	⑤ 成			奔口	戊度を割	ヒナセ	5種)	単位	Ī.	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
	жeс,	10/cV	107/3-	•)	(左記	色息	<u> </u>	上上	以及です	X 9 1	日伝ノ			(天限)	(天限)	(天順)	(日保)	(日保)
ア																		
1				- 1														
ゥ																		
(3) 上	位の	其太?	車業					-	_				_					
⑥ 基本					⑦基	本事	業の	り月	人果指	標		224 / 1		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(さらにも	どのよう	な成男	果に結	びつくのか)	(左記	⑥意[図の	達月	戊度を割	長す排	旨標)	単位	L	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア																		
1													ī					
ウ																		
3. 事務	事業	の環	境変	化·市民意見	等	A 2	玄学	#	の推移	Ż.		単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				市民や議会などから		T	7 7							(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
全国お茶め、旅費	とサミッ	トは毎	F年持 変動か	ち回りで開催 ぶある	されるた				国庫			千円	-			8,500		C
-> (%)()		(101)	~297.14	0,00			事	財源		<u>工</u> 出		千円	_			(C
							事業費	内訳		方	債	千円	_			015	-	C
							^	沢		の と財	他	-	_			315		385
						投 入		4	一 版	2 別	源	千円	_	0		0 9,159		385
						量_	Т	7	未其			117	+	0		9,138	300	300
							H						_				+	
							F											
						[T					
5 平成	26年	度の	主结"	及び成果													<u>'</u>	
(1)平 _月					取組内容を数	数値等に	こより	具体	的に記載	>	(2)	平成26	;	度の成果	< <i>f</i> -	記の実績(取組)	による成果を記	載>
【旅費】											【旅費	÷]		~~~~				
•全国茶	サミット	静岡	大会(2名分) 行先	:静岡 旂	費:1	11,4	00	円 他		全国	茶サミッ	小が	ナば連進1	お茶の性	&能性のPRi	がに字を答	理,沿弗世
											少川 十年:	ロ門門へ	// ¹ /	ム-以上1汚し、 バベキた	、インケベリクグ	*月11日マンド代生	として女王官	生 旧复批

大等を図ることができた。

III.	事務事コート		01060	10300020101	事 務事業名	農業扱	長興総務	管理事業	担担		部 課	農林水 農政畜	
6.	振り返	り <	<see></see>	•						理	由		
	1 3	この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	詰びついています	か?						
			結びつ	いている									
鼠			間接的	りに結びついてし 	いる								
A目的妥当性				いていない	11.184.54.54								
醒	2:	·この · 税金 ?	を投入し	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ければならない(]ですか? 	のですか? 							
			妥当で				_						
			見直す	⁻ 必要がある 									
	3 ,	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんだ) ['] ?							
			向上す	る余地はかなり	Jある 								
			向上す	る余地はある私	星度ある								
			向上す	る余地はほとん	<i>」ど</i> ない								
물	4 5	廃止・	休止の影	ど響はありません	しか?								
B有効性			影響カ	ぶる									
ĮŦ.				「ほとんどない									
	⑤ 事	類似の事業は)目的(対	村象・意図) 又は けんか?(市以外	形態(イベントや) の主体が実施する	啓発等)を持つ他の るものを含む。)	の事務	類似事業がある場合の事務事業名	場 等				
			類似の	事業はない									
			類似σ	事業はあるが、	統合又は連携	できない							
			類似σ	事業があり、紡	合又は連携で	きる 			a v a male min				IN No. 1 Metro
	6	·事務事 ·補助金	事業の手段 会など、交	役(やり方)を工夫 付先に働きかけて	することで、事業費 、市の負担を削減	費を削減できません: 或できませんか?	か? 🦠	≷議及び、大会等	は催実	の開催さ	されるため	事業費の削	减は難しい
			削減で	きない									
C 効			削減で	きる				- 11 \ 	A ~ 4416				
C効率性	(7) 7	できませ	しんか?	设(やり方)を工夫 なや委託により人		貴(延べ業務時間)を	と削減	を払い事務の為肖	川减の分	や地はな	ν _°		
		10000		きない	丁貝で 門派 くさよ	270%:							
		_	削減で										
D				容が一部の受益 負担の公平性が									
D公平性			公平・	公正である									
性			見直す	- 必要がある									
7.	1次評	価結	果 <	PLAN>(組制	微決定)	[参考]前生	年度の改革	收養の方向性≪				,	>
(1)	主	重業 <i>(</i>	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト約		T	統合	1	木止	廃止
	手の方			0	. ,,,,,,,,			72.173		1,70 —			
					L て各県や市町村	▲ けの担当者等の情	「報交換る	 ≿密にし、更なる霥	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■)振興を	図る。		
			度の改										
	枚善の り組む		課題)										
				【旅費】 ·各種会議·研	修全の出席負お	旦金および全国 お	茶サミッ	- 第に出席するた	めに旅	費を支圧	Hすス		
(3)	平成:	28年	度の方	LIEAK W	D	- <u></u>	2711 / 17	(11СД/11) ОТС	-001001	A C \	4 / 20		
向怕	生取	組目標	票 票										
	0.4h==	c large	m _ Ale										
8.	2次評	一川村	来(推	当部長評価) ************************************								+ 14	riter - I
	事務等方向		の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト約	連携 連携		統合	1	木止	廃止
(2)	総言	平											

(単位: 千円)	事務コ	事業 ード	0106010300020101	事 務 事業名	農業振	興総務管理事業	担当部 担当課	農林水産部 農政畜産課
	9. =	ストの	推移					
1 報					左连 / 决策 >	亚 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	, ,	(古)(左)
2 1				平成26	中度 (决异)	平成27年度(自初予算)	*	
3 職員手当等								145
4								
5 災害補償 費								
7 1 1 1 1 1 1 1 1 1								
8 報 保 受	-							
10 文 際 費	8							
	9	旅	費		363		360	360
注								
整 料 費	11							
食 種 費		_			0		2	2
中川製本費 一		_						
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・								
修								
日本								
12 後 務 費 0 0 0 0 0 通信運搬費								
通信連搬費		医	薬材料費					
L	12				0		0	0
F 数 料								
保 険 料								
13								
14 使用料及び賃借料	10							
15 工事請負費	-							
16 原 材 料 費								
17 公有財産購入費 18 備 品 購 入 費 19 負担金補助及び交付金 8,518 23 23 20 扶 助 費 21 貸 付 金 22 補償補填及び賠償金 23 債選金利子及び割割料 278 278 24 投資及び出資金 25 積 立 金 26 寄 附 金 27 公 課 費 28 繰 出 金 27 公 課 費 28 機 出 金 3	-							
18 備品購入費	\vdash							
20 扶 助 費	18							
21 貸 付 金 (19	負担金	補助及び交付金		8,518		23	23
22 補債補填及び賠償金								
23 横湿金利子及び割引料 278 27	-							
24 投資及び出資金 <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>050</td> <td></td> <td></td> <td></td>	-				050			
Record Recor	-				278			
26 寄 附 金	_							
27 公 課 費 無限 費 9,159 385 530 財際								
28 操 出金 出金 9,159 385 530 財源 算量支出金 8,500 0 財源 大方債 0 0 中 大方債 0 0 中 大方債 0 0 中 財源 344 385 ・ 日 10/10 ・ 日 ・ 日 10/10 ・ 日 10/10 ・ 日 10/10 ・ 日 10/10 10/10 ・ 日 <t< td=""><td>-</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>	-							
財源 Pa 単文出金 第 支出金 8,500 0 ・								
財源 PAP 提展支出金 0 0 地方債 0 0 イの他 315 0					9,159		385	530
計 0 10 313 385 - 股財源 344 385 385 補助率 国 10/10 385 県 10/10 10/10		特国			8,500		0	
計 0 10 313 385 - 股財源 344 385 385 補助率 国 10/10 385 県 10/10 10/10	財	定県						
計 0 10 313 385 - 股財源 344 385 385 補助率 国 10/10 385 県 10/10 10/10	源	財地						
一般財源 344 385 385 補助率 国 10/10 県 0	訳	, (0
補助率 国 10/10 県 (
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							300	385
	 #	輔助率			10/ 10			
	補	助						

平成26年度補正•流用状況

当初予算	437
補正予算	8,737
補正第1号	8,500
補正第7号	237
流用・充用	42
予算合計	9,216

平成26年度特定財源内訳

一次20十段时处别源户) (J/ C	
区分	名称	金額
国庫支出金	過疎集落等自立再生対策事業費	8,500
その他	雑入(中山間直接支払返納金)	315
		0
	<u></u> 合 計	8,815

•	1. 基本	青報										
Г	事務事	業	0106010	303010101	主	坐夕 イ	13/3	/等鳥獣害防止電	与畑東紫		担当部	農林水産部
	コート	*	0100010	303010101	尹 孙尹:	***	, , ,	一一一一一一	以們才未		担当課	農政畜産課
	政策4	內	03	活力	ある産業の	のまちづく	くり				グループ	農政第1グループ
	施策4	各	01	農•ホ	木・水産業	の振興					電話番号	45-5111
	基本事業	業名	01	農林	漁業経営	体への支	援				内線番号	2314
Г	予	会計	一般	会計					± **	□ 単年度のみ		
	算	款	06	農林	水産業費				事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 ^生	手度 H	18 年度~)
	予算科目	項	01	農業	費				初申	□ 期間限定複数年度	(~)
	目	目	03	農業	振興費				根拠法令·条例等	霧島市イノシシ等被害防」	止事業補助金	交付要綱
	評価区	分		標準許	平価	評価対	象	2次評価	関連計画	霧島市鳥獣被害防止計画	II .	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

イノシシ等により農作物への被害が発生する恐れがある農地に電気柵を設置することにより、農作物への被害を防止または軽減する。 【事業対象】 ・農作物への被害があり、30a(3,000㎡)以上連坦している農地について、2世帯以上の共同で電気柵等を設置する場合に、事業費の1/3を助成。

※電気柵事業の対象となる鳥獣…イノシシ、シカ、サル等

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア 受益戸数		戸	5	7	0	10	10
イ 電気柵設置受益面積		m²	6,409	17,937	0	20,000	20,000
<mark>ゥ</mark>							
(2) 事務事業の目的							
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア被害農家	申請件数	件	2	3	0	4	4
1							
o							
① 意図(②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア イノシシ等による農作物への被害を防止する。	市全体の農作物被害金額	千円	15,486	17,761	15,931	9,499	9,499
1							
o							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア経営体質が強化される。	認定農業者数	戸	316	307	301	315	315
1							
<mark>ウ</mark>							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

県では、農業・農村活性化推進施設等事業(旧鳥獣害防止施設整備事業)により被害防止策 が講じられているが、採択要件が厳しく、事業対象とならなかったため、平成14年度から市単独事業として実施している。 鳥獣による農作物に対し大きな被害がでいることから、被害を受けやすい山手の農地の荒廃が進行している。 市民や議会から、連坦での農地申請を行わなければならず、申請要件を満たすことが難しいため、個人申請も事業可能としてほしいという声がある。また、近年、鳥獣被害が増加しており、街中にも出没しているため、被害防止と駆除に対する助成をしてほしいと声がある。

4.	事美	美費	のŧ	隹移			単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度 (計画)
			国	庫3	を出	金	千円	((八升)	((八年)	(八升)	(日四)	(日四)
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	ブ	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投			_	般	財	源	千円	29	112	200	200	200
投入量		哥	業	費			千円	29	112	200	200	200
										_		_

5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

申請件数:0件…溝辺にて申請したいと言うのが2件あったが、取下げた 相談はあったが、国の鳥獣総合対策交付金事業による実施に切り替えた 申請面積:0㎡ 補助金交付額:0円

事	務コ-		i 業 ド	01060	10303010101	事務事業名	イノシシ等	鳥獣害	『防止電 気	机栅事業	担		部 課		水産部	
•	_	_		SEE>		デ 木口					担		珠 由	長 収	畜産課	<u> </u>
j	_					事業の意図に終	結びついています	ナかっ		で構成され		青者が、	イノシシ		農作物	への被
	•					ナネッの区で	#0 50.C0.93	. 75 :	書を防止	することで、	栓宮体	質が強	312され	る。		
					いている	. 7			-							
					に結びついてい	• ' '≎			-							
	_				いていない ぜ声が行わない	ければならないの	のですか?		鳥獣に	よる農林水産	企業等	に係るネ	皮害防	止のための	つ施策を	·効果的
	(2)				て達成する目的		77 (9 13 · :		に推進し	農林水産	業の発	展及び	振興に	寄与する	ことを目	的として
				妥当で	ある					律を補完す						****
_				見直す	必要がある											
	3) [成果が	「向上する	る余地(可能性) はありませんか	ኃ v ?		国の鳥!	状被害対策 共同防除を	実践事	「業を活 とで被言	用し、	集落単位さ を下げるこ	または、 とが期彳	一団の 寺できる
			•	向上す	る余地はかなり	りある			0							
Ì				向上す	る余地はある私	呈度ある										
ı				向上す	る余地はほとん	しどない										
Ì	4))]	廃止・	休止の影	/響はありません	· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				広大すると、						
			_	影響が	、 ある					農地の貯れ						
			_						100							
ł	(F)	. :				形態(イベントや	啓発等)を持つ他	の事務	類似事	業がある場	有害	· 鳥獣被	害防』	上対策事業	・中山間	間地域
l	(5)		事業は	ありませ	んか?(市以外	の主体が実施する			合の事	務事業名等	等直	接支払	事業			
					事業はない				害鳥獣被	年3月に策算	事業を	を平成2	5年度	から3年継	続で実	施する
						統合又は連携				できる。 また、 を行うことで			寺旦佞	又払争業	にわい	に局歌
4			± 7/1 ±			合又は連携で		4. 0	3 급 [기]	の申請が必	/ 西レナ	さる 色 鮮	加生は	上上級人士	* 第六付	今に該
	6)	· 兼務事 · 補助金	業の手段 など、交	付先に働きかけて	することで、事業する。	費を削減できません 減できませんか?	אמע?		2戸以上で目						
				削減で	きない											
				削減で	きる											
	(7)		事務事できませ		设(やり方)を工夫	することで、人件登	費(延べ業務時間)	を削減		交付事務で 余地はない		め、その	事務	手続きに大	きな変動	動がなけ
						件費を削減できま	せんか?									
			_	削減で					-							
-			車数車	削減で		益者に偏ってい:	キサ たかつ			牛及び受益	去 負拒	の小豆	(杜)十代	マたわてい	ス	
	8					確保されていま			がバダ	1,00 ,00	- D - M 1-	2V/A	17.197	K1C40 CV	.00	
				公平・公	公正である											
•				見直す	必要がある											
	1次	信	平価結	果 <f< th=""><th>PLAN>(組制</th><th>散決定)</th><th>[参考]前</th><th>年度の改</th><th>(革改善の方向</th><th>性≪</th><th>継続</th><th>・コスト</th><th>縮小・道</th><th>車携</th><th>></th><th></th></f<>	PLAN>(組制	散決定)	[参考]前	年度の改	(革改善の方向	性≪	継続	・コスト	縮小・道	車携	>	
١	車:	茲	重要/	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	721	ト縮小	連携		統合		休止	J.	廃止
			方向性		0	()// 4/ 6		4741	1 440.3	0		196 🖂				
_						 単独事業を行り	 い、現在、国庫補	 助金を	<u>:</u> 利用できる			業がある	5ため、	国の補助	 金事業。	と合わせ
`	17	ct:	07Æ	≠ೂು		囲を拡大してい				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						
강	文善	FO.)内容													
X	り利	Ħ₹	いへさ	課題)												
					1 にんない	Fn曲作物。の	か字ぶぎ 仕-ナス	ひとんい	よて曲 44/17	最与加えず	- 早ナフ	~ 1.1 ~ 1	-h 曲	Utillia a Di	か生えば	ヒルナた
					は軽減する。 【事業対象】	より戻TF物(NV)	被害が発生する	76.54 U/J*	める辰地に	电気柵を設	. 但 9 む)(_J	、り、辰	TE400 CODA	奴舌を図	が止また
				葉の方	農作物への被		(3,000㎡) 以上退 気柵事業の対象						司で電	気柵等を記	没置する	場合に
13	E• E	収	組目標	崇	、事未負 1/1/1	区別成。	メバ川 ず未りかる	にいそのか	可聞へいてレン	· ン、ンル、:) / F 1					
	2.26-	, = ·	ii lac 4-l	B (40	北加目記述											
_	- //	S E	平価結	未(推	当部長評価)									44		
			事業の 1性	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	ト縮小	連携		統合		休止	Я	廃止 ———
É	- / J	, I ^{LL}	υII		0	0										
							で採択基準を満たを反映し、現状に						用して	おり、継続	して本事	事業を行
11	総	=	亚													

事利	勝事業 一ド	0106010303010101	事 務 事業名		イノシ	シ等鳥	獣害防止電気構	₩事業		当部		林水産部 数畜産課
9. =	ストの	推移										
		(単位:千円)	平成26年	E度(:	決算)		平成27年度	(当初予算))	平	成28年度	(計画)
1	報		, , , , ,									
2	給											
3		手 当 等										
4	共	済 費										
5		字補 償 費										
8	<u>賃</u> 報	<u>金</u> 償 費										
9	 旅											
10	交	際費										
11	需	用 費				0			0			0
		耗品費										
	燃食											
		刷製本費										
		熱水費										
	修	繕 料										
		材料費										
	飼	料費 薬材料費										
12		条 的 科 負 務 費				0			0			0
'-		信運搬費										
	広	告 料										
	手											
	保工											
13	委	託 料 斗及び賃借料										
15		請負費										
16		- in 文 文 材 料 費										
17		財産購入費										
18	備品	購入費										
19		補助及び交付金				0			200			200
20	扶	助 費 付 金										
22		<u>・ロ</u> i填及び賠償金										
23		利子及び割引料										
24		及び出資金										
25	積	立 金										
26	寄	附 金 課 費										
27 28	<u>公</u> 繰	課 費 出 金										
	計	<u> </u>				0			200			200
		庫支出金				0			0			
財	岩県	支 出 金				0			0			
財源内訳	財地源	庫支出金支出金方債の他				0			0			
訳		<u>の他</u> 般財源				200			200			200
		計				200			200			200
_	* **	国										
	#助率	県										
		基本額										
平成		[補正·流用\	大況		平原		度特定財源内部	7	:			A
	当初]予算 予算		200			区分		名称			金額
	作用业	- 」/ 异		U	-							
				\dashv								
				\dashv	<u> </u>						_	
				\dashv								
			1		\vdash						-	

合 計

流用・充用 予算合計

200

1. 基本	情報										
事務事	業	0106010	702010101	主	坐夕 抽	七年	売市場施設維持	答 理 車 类		担当部	農林水産部
	ド	0100010	103010101	尹孙尹	木石 地	1/J E[1	1711日初加取和117	日任尹禾		担当課	農政畜産課
政策:	名	03	活力	ある産業	のまちづく	くり				グループ	農政第2グループ
施策	名	01	農•ホ	木・水産業	の振興					電話番号	45-5111
基本事	業名	01	農林	漁業経営	体への支	と援				内線番号	2341
子	会計	一般	会計					+ **	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林	水産業費	,			事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 ⁴	年度 H	17 年度~)
予算科目	項	01	農業	費				初申	□ 期間限定複数年度	(~)
目	目	07	地方	卸売市場	:管理費			根拠法令·条例等	卸売市場法・鹿児島県卸売市場条例・	霧島市公設地方卸売市	i場の設置及び管理に関する条例
評価区	3分		標準許	平価	評価対	象	1次評価	関連計画			

<Do> 2. 事務事業の概要・目的・指標

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

生鮮食料品等の取引の適正化並びにその生産及び流通の円滑化を図り、もって住民等の生活の安定に資するため、卸売市場法(昭和46年法律第35号。)及び鹿児島県卸売市場条例(昭和46年鹿児島県条例第46号。)に基づき設置している霧島市地方公設卸売市場を適正に管理する。市場内修繕、市場施設管理(委託) 【市場の変遷】 S60 1市5町(国分市・横川町・牧園町・霧島町・隼人町・福山町)の負担により、始良東部公設地方卸売が設立 H17 市町村合併により、霧島市直轄の市場となり、本事業で維持管理を行っている。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	市場取扱数量(国分大同青果株式会社	上 定時株主総会資料)	t	6,814	6,555	6,600	6,600	6,600
1	市場売上(国分大同青果株式会社 定	時株主総会資料)	千円	1,244,297	1,193,678	1,219,444	1,200,000	1,200,000
ゥ								
(2	:) 事務事業の目的							
	対象 推、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	市場へ農産物を出荷される方	市場に出荷した市内の農家 (大同青果 買掛金管理表)	人	281	263	240	220	200
1	市場で農産物を購入される方	買受人 (大同青果 株主総会資料)	人	141	135	130	125	120
ゥ								
					, .	,		
4	意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
			単位 千円					
((②対象をどうしたいのか)	(左記④意図の達成度を表す指標)		(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2)対象をどうしたいのか) 安定的に農産物を出荷する	(左記④意図の達成度を表す指標) 市内農家の売上額 (大同青果 買掛金管理表) 置号人の買上額	千円	(実績) 211,107	(実績) 194,134	(実績) 161,830	(目標) 150,000	(目標) 150,000
アイウ	2)対象をどうしたいのか) 安定的に農産物を出荷する	(左記④意図の達成度を表す指標) 市内農家の売上額 (大同青果 買掛金管理表) 置号人の買上額	千円	(実績) 211,107	(実績) 194,134	(実績) 161,830	(目標) 150,000	(目標) 150,000
() ア イ ウ (3	②対象をどうしたいのか) 安定的に農産物を出荷する 安定的に農産物を購入する 3) 上位の基本事業	(左記④意図の達成度を表す指標) 市内農家の売上額 (大同青果 買掛金管理表) 置号人の買上額	千円	(実績) 211,107	(実績) 194,134	(実績) 161,830	(目標) 150,000	(目標) 150,000
() ア イ ウ (3	②対象をどうしたいのか) 安定的に農産物を出荷する 安定的に農産物を購入する 3) 上位の基本事業 基本事業の意図	(左記④意図の達成度を表す指標) 市内農家の売上額 (大同青果 買掛金管理表) 買受人の買上額 (大同青果 買受人別売上管理月報) ② 基本事業の成果指標	千円	(実績) 211,107 1,185,061 24年度	(実績) 194,134 1,193,402 25年度	(実績) 161,830 1,219,467 26年度	(目標) 150,000 1,200,000 27年度	(目標) 150,000 1,200,000 28年度
(() ア イ ウ (3 ()	②対象をどうしたいのか) 安定的に農産物を出荷する 安定的に農産物を購入する シ上位の基本事業 基本事業の意図 いらにどのような成果に結びつくのか)	(左記④意図の達成度を表す指標) 市内農家の売上額 (大同青果 買掛金管理表) 買受人の買上額 (大同青果 買受人別売上管理月報) ② 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標) 地元産の農林水産物を積極的に購入してい	千円千円	(実績) 211,107 1,185,061 24年度 (実績)	(実績) 194,134 1,193,402 25年度 (実績)	(実績) 161,830 1,219,467 26年度 (実績)	(目標) 150,000 1,200,000 27年度 (目標)	(目標) 150,000 1,200,000 28年度 (目標)

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

農家・買受人の高齢化・後継者不足、大手量販店の進出や流通形態の多様化により、市場取扱数量売上高が減少傾向にある。

А	1. 事業費の推移						単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
Ė							丰四	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫ま	と出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	ブ	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	2,469	1,587	2,291	2,852	2,852
投			_	般	財	源	千円	0	0	0	0	0
投入量		哥	業	費			千円	2,469	1,587	2,291	2,852	2,852

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

市場内修繕 **1,803,168円**セリ場鉄骨架台248,400円 ドア66,960円円 シャッター27,000円 冷蔵庫260,280円 消防用設備1,033,128円 建物167,400円 建物保険料 **57,423円** 市場施設管理委託 **412,832円** ○市場内修繕

・ 「無庫260,280円 消防用設備1,033,128 ○建物保険料 57,423円 ○市場施設管理委託 412,832円 自家用電気工作物保安管理 184,032円 消防用設備点検 43,200円 剪定作業 110,000円 ブレハブ冷蔵ユニット点検 64,800円 オーバードア点検 10,800円

市場の適正な管理ができ、農産物の搬入・買受に支障なく運営ができた

Ę	事務	事業 - ド	01060	10703010101	事務事業名	地方卸売	市場施	設維持'	管理事業	担当			水産部		
6			SEE>		学 未石					担 =	理は		畜産課		
<u>.</u>	_				事業の音図に終	古びついています	ナかつ				する市	場を適正に管理			
					デ 来の心内にい	BO. 20. Co. & 9	, ,,, .	は、安心る。	が安全な地場別	農産物を	市氏~	人供給することに	話びついてい		
Α				いている	. 7			-							
目的				に結びついてし いていない	'ক			_							
A目的妥当性	_			いていない <mark>ぜ市が行わなけ</mark>	わばならない	かですか っ		卸売 T	万場法(昭和46	5年法律	第35号	ト。) 及び鹿児島	県卸売市場条		
性	(2)	•税金	を投入し	て達成する目的	ですか?			例(昭和	146年鹿児島県 施設であり、市	県条例第 「民へ安」	46号。)に基づき設置 な農産物の供約	している公益性		
			妥当で					市が行	ことは妥当で	ある。					
			見直す	必要がある				十工旦	15店しの取引	t.ht-1	ナムロ	ば、農産物等の距	かねいけ換さ		
	3	成果が	「向上す	る余地(可能性)	はありませんか	۵, د		ると思わ		21公人(C4 1/14	、、辰生初寺の中	メソ1又V ソム・恒人		
			向上す	る余地はかなり	ある										
			向上す	る余地はある程	度ある										
			向上す	る余地はほとん	どない			-tt 00 l	# <i>-</i> = = 1 .	~ 		tr 18798118			
₽	4	廃止∙	休止の影	響はありません	か?			市内の	農豕、貝安人 ⁶	// 事業店	すりにす	善しく影響がでる) ₀		
B有効性			影響が	ある											
1111			影響が	ほとんどない						_					
	⑤			象・意図)又は んか?(市以外の		啓発等)を持つ他 3ものを含む。)	の事務		事業がある場 事務事業名等						
		-	類似の	事業はない				市場の	管理・運営を行	すう事業で	であるオ	こめ類似事業は	ない。		
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない		1							
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる									
	6	·事務事 ·補助金	業の手段など、交	と(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費、市の負担を削減	費を削減できません 或できませんか?	いか?	市場の来ない。		の維持・	管理の	みの経費である	ため削減は出		
		-	削減で					市場⊄)老朽化による	維持•管	理の網	怪費は多くなる(頁向にある。		
C 効			削減で	きる											
率	(7)	・事務事できませ	業の手段	と(やり方)を工夫で	することで、人件費	平成地はない		5場の常	駐を廃	止しており、人	件費削減の余				
性	<i>w</i>	・職員以	人外の対応	でや委託により人作	井費を削減できま	せんか?		> <u></u>	0						
			削減で												
			削減で		**=	±11.1.0		红土	=担決体に甘。	ざいて流	T1=4		ンサージが		
D 公	8			容が一部の受益 担の公平性が				保されて		フィ・C順	エレノレラ	を通じている/この	八公十任が唯		
公平性			公平・公	公正である											
i I			見直す	必要がある											
7.	1次	評価結	果 <f< th=""><th>PLAN>(組制</th><th>決定)</th><th>【参考】前</th><th>[年度の改</th><th>革改善の方</th><th>向性≪</th><th></th><th></th><th></th><th>*</th></f<>	PLAN>(組制	決定)	【参考】前	[年度の改	革改善の方	向性≪				*		
(1)	(事系	多事業(おおり	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統	<u></u>	休止	廃止		
		方向性		0				1.2							
				卸売市場の選	L 運営に支障がで	L ないよう適正な管	<u> </u>	繕を行う。		1					
(2)	平原	成27年 <i>[</i>	度の改												
		の内容むべき	課題)												
				卸売市場の選	営に支障がで	ないよう適正な管	管理・修	繕を行う。							
(=)	. — –			高 <u>比電</u> 気設備	前の更新推奨時	期が過ぎている	ものを図	植時交換	ンていく。 -						
(3)) 半	成28年原 双組目標	隻の万												
<u>_</u>															
8.	2次	評価結	果(担	当部長評価)											
(1)	事系	多事業(の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	그자	縮小	連携	統	合	休止	廃止		
改割	善方Ⅰ	向性													
, .		==													
(2)	(総	評													

	事業一ド	010601070301	10101	事務事業名	地	也方卸売市	場施設維持	寺管理事	業	担当担当		農林水産部農政畜産課
9. =	ストの	推移		·								
		(単位:千	円)	平成26年度	(決:	算)	平成2	7年度	(当初予算	<u>.</u>)	平成28年	度 (計画)
1	報	Ī	酬									
2	給		料									
3	職 j 共		等 費									
5			_見 費									
7	賃	•	金									
8	報		費									
9 10	<u>旅</u> 交		費 費									
11			費			1,821				2,208		2,13
	消	耗品	費			18				20		2
	燃		費									3
	食 FT	程	費									
		熟 水										
	修		料			1,803				2,188		2,07
	賄		費									
	節	】 料 薬材料:	費 - 書									
12	役		費			57				61		6
		信運搬										
	広		料									
	手 保		料料			57				61		6
13	委		料			413				394		47
14		料及び賃借				0				189		18
15	工具		費費									
16 17		材料 財産購入										
18	備占		費									
19		補助及び交付										
20	扶		費									
21	貸補償額	付 : 捕填及び賠償	金									
23		利子及び割引										
24		及び出資:										
25 26	<u>積</u> 寄		金 金									
27	可 公		費									
28	繰		金									
	計	1 = +				2,291				2,852		2,85
	特定財源	庫支出 長支出	金金			0				0		
財 源	財地		債			0				0		
財源内訳	_	· の	他			2,291				2,852		2,85
- II/C	_		源			0 201				0		0.05
		計国				2,291				2,852		2,85
補	前助率	県										
補			額									
平成		度補正·流	用状		,		度特定財源	原内訳			,	
		刀予算 E予算		2,852	-	その他	区分	+	場使用料	名称		金額 2,29
	作用上	∟∫′异		0	1	てマノ他		1111	が 関用科			
					1							
			\dashv		-							
					1			+				

当初予算	2,852
補正予算	0
流用・充用	4
予算合計	2,856

1 Mar o - 1 10 14 Mar Mark 1 Mr.										
区分	名称	金額								
その他	市場使用料	2,291								
	· 合 計	2,291								

	平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)											
1. 基本	情報			T /	Д. Г.	丁/又	于切于木冰。	ピソノ 1	十成20千度 关》	四字 オ	その1版229)	
	事務事業 1006010463910101 事務事業 パドック付ドーム型4										担当部担当課	農林水産部農政畜産課
政策:	政策名 03 活力ある産業のまちづくり										グループ	畜産グループ
施策:	施策名 01 農・林・水産業の振興										電話番号	45-5111
基本事	基本事業名 01 農林漁業経営体への支援										内線番号	2321
予												
算	款	06	農林	水産業費	,			事業 期間	■ 単年度繰返(閉	射始生	F度 H	18 年度~)
予 算 科 目	項	01	農業	費				MILEI	□ 期間限定複数:	丰度	(~)
日	目	04	畜産	業費				根拠法令・条例等	霧島市パドック付ドー	- ム型	牛舎整備事業	業補助金交付要綱
評価区	☑分	7	標準訊	ア価	評価	対象	1次評価	関連計画				
2. 事務	事業	の概	要・目	的•指标		<do></do>						
(1)事	務事	業の	概要(具体的な	やりた	7、手順	、詳細を記述)					
本事業 つ安定的 採光性 ため、良	本事業により環境保全対策を推進し、堆肥舎等の施設を整備することにより、自然、産業及び人が調和した環境保全型農業を確立し、効率的かつ安定的な畜産経営の育成を図ることを目的とする。 採光性パドック型牛舎とは、屋根に採光性屋根材(ポリカーボネート等)を利用し、かつ、広いパドック面積を有する牛舎で、牛床の乾燥が速まる											
【事業内3 事業対象	ため、良好な舎内環境、敷料・ふん尿処理の軽減化が可能になる。 「事業内容】 事業対象者 :整備後3年以内に繁殖牛10頭以上を飼育することが確実な者 事業対象施設:パドックを備えた構造のドーム型牛舎(床:不浸透性材料、屋根:採光性屋根材、面積:1頭当たり10平方メートル以上) 補助金の額 :パドック1平方メートル当たり5千円とし、交付限度額は150万円											

	活動指標(事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
Ľ	//13/10/18 (手切手来*/10勁星/		+12	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	補助金交付農家		件	1	0	1	1	1
1	補助金交付額		千円	150	0	1,200	1,500	1,500
ゥ								
(2	2) 事務事業の目的							
_	対象 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	畜産農家(肉用牛繁殖)	肉用牛農家	戸	637	607	542	530	500
1								
ゥ								
_	・ 意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	自然、産業及び人が調和した環境保 全型農業を確立する。	整備面積		30	0	240	300	300
1	効率的かつ安定的な畜産経営の育 成を図る。							
ゥ								
(3	B)上位の基本事業			,				
_	基本事業の意図 さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア	経営体質が強化される	認定農業者数	人	316	307	301	315	315
1								
ゥ								
3	事務事業の環境変化・市民意	·目笙		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等) 飼養の多頭化が進む中で、畜産環境の保全と作業の効率化は非常に重要な課題であり、施設の整備を望む声が多い。

4	1. 事業費の推移						単位	24年度	25年度	26年度	2/年度	28年度
	-	_		שניםו			1	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			国	庫3	支出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事類		県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	業	尹 活		債	千円	0	0	0	0	0		
	費	訳	そ	0	D	他	千円	0	0	0	0	0
投			_	般	財	源	千円	0	0	1,200	1,500	1,500
投入量		耳	業	費			千円	0	0	1,200	1,500	1,500
_												

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

霧島地区 240㎡×5,000円

パドック付ドーム型牛舎の整備を行うことにより、環境への配慮や増頭に つながった。

事	事務事業 	01060	10403010101	事務	パドック付	ドーム型	业牛舎	整備事業			部	農林水	
^ -	コード	(OFF)		事業名					担		果	農政畜	産課
υ. :	振り返り <				+	- / -	施設を	整備することで	、多頭餌	同義が	可能にな	の経営規	模の拡大を
	(1) この事	務事業0	り目的は、基本	事業の意図に紹	詰びついています	2017	図ること	ができる。また ることができ、』	、良好7	な牛舎	:環境によ	り牛に与	えるストレスを
_		結びつ	いている					安定に繋がり終					
鼠		間接的	に結びついてい	る									
A目的妥当性		結びつ	いていない										
単性	② ・この事	事業をなっ を投入し	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ればならないの ですか?	つですか?			種の主産地化 , 地域畜産業の					
		妥当で	ある										
		見直す	必要がある										
	③ 成果が	向上する	る余地(可能性)	はありませんか	٧?	:	多頭飼	では、採光性原養するのに最い では、採光性原 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、					
		向上す	る余地はかなり	ある				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
		向上す	る余地はある程	度ある									
		向上す	る余地はほとん	どない									
B 有 効	④ 廃止・	木止の影	響はありません	·か?			整備に	畜産業におい は多額の費用: の拡大(増頭)	が必要	である	ため、事	[化が必須 業を廃止し	である。施設、た場合、経
効性		影響が	ある 										
-			ほとんどない										
			象・意図)又は₹ んか?(市以外の		啓発等)を持つ他 らものを含む。)	の事務		事業がある場 事務事業名等					
	•	類似の	事業はない				国・県に	こも類似する事	業はない	\ \ ⁰			
		類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
		類似の	事業があり、統	合又は連携でき	<u>き</u> る								
	⑥ ·事務事	業の手段など、交付	と(やり方)を工夫す 付先に働きかけて	ることで、事業費、市の負担を削減	gを削減できません 成できませんか?	か?		た牛舎面積にタ ことから削減でネ		値価で	の交付で	あり、交付	恨度も定め
		削減で	きない										
C 効		削減で	きる										
率 性	(7) きません	か?	と(やり方)を工夫する なな話により人件		とで業務時間)を せんか?	を削減で	主に、衤	甫助金交付事務	务であり	、削凋	てきない	` o	
		削減で	きない										
		削減で										h -L	
D			容が一部の受益 l担の公平性が					大 (増頭)を図 である。	ろっとす	る全て	の繁殖局	曼家が対象	Rとなり得るの
公平性	•	公平・公	公正である										
性		見直す	必要がある										
7.	1次評価結	果 <f< th=""><th>PLAN>(組織</th><th>決定)</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>did de</th><th></th><th></th><th></th></f<>	PLAN>(組織	決定)						did de			
						年度の改革		「同性《	1	継続			≫
	事務事業の	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト糸	宿小	連携	紛	合	1	比上	廃止 ————
	3 00 00 11 11 11		0		int > 111 > 11 - m tol		\						
革改	平成27年月 女善の内容 り組むべき		十古金畑で囚る) 二乙により、増ま	頂を推進し、環境	. (○日C. /思、 ○	八に留 性	医腔晶征 日相 9	0				
(3)	平成28年原 生•取組目標	度の方	牛舎整備を図る	うことにより、増見	質を推進し、環境	ぎに配慮し	た畜産	経営を目指す	0				
8. 2	2次評価結	果 <u>(</u> 担	当部長評価)										
			継続	やり方改善	コスト拡充	コスト約	宏小	連携	4.7	合	- t	炸止	廃止
改善	事務事業の き方向性	リ以中		トラカ以音	コストカムブに	コヘトリ	illi,	压防	िक				
(2)	総評												

事務コ	务事業 一ド	0106010403010101	事 務 事業名		パドック付	ドーム	型牛舎整備	事業		l当部 l当課		林水産部
9. =	コストの	推移										
		(単位:千円)	平成26年	E度()	決算)		平成27年度	〔 (当初予算)	平	成28年度	(計画)
1	報		1770=0		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		1 /// 1 ///	(,		7-0 1 2	(1111)
2	 給											
3	職員	員 手 当 等										
4	共	済 費										
5		子補 償 費										
7 8	<u>賃</u> 報	金 							+			
9	TK 旅								$\overline{}$			
10	交	際費										
11	需	用費			()			0			0
		耗品費										
	燃食								-			
		刷製本費										
	光	熱水費										
	修											
		材料費				-						
	飼医	料 費 薬材料費				+			\dashv			
12	役	務費)			0			0
	通	信運搬費										
	広											
	手											
13	保 委	· 険 料 託 料										
14		 料及び賃借料										
15		事請 負 費										
16		材料費										
17		財産購入費							\rightarrow			
18 19		品購入費 ^{補助及び交付金}			1,20	1		1	1,500			1,500
20	扶	助費			1,20	1			1,000			1,500
21		付 金										
22		填及び賠償金										
23		利子及び割引料										
24 25	積	及び出資金 立 金							\rightarrow			
26	寄	 附 金							+			
27	公	課費										
28	繰	出 金										
	計				1,20				1,500			1,500
	特 連	庫支出金 支出金)			0			
財源	財地	· 方 債							0			
財源内訳	_	**			()			0			
i)(i	_	般 財源			1,20				,500			1,500
		計			1,20)			1,500			1,500
*	補助率	国県				+			\dashv			
補	助											
		₹補正・流用₺	大況		平成26	年度特	定財源内語	· 尺				
	当初	J予算		,500		区分			名称			金額
	補口	予算		0								
				-								
					-							

合 計

流用・充用 予算合計

1. 基本	情報											
事務事	業	01060103	102010102	車	坐 夕 🛭	割土堆	長興組織育成事業			担当部	農林水産部	
Ī	ド	01000103	03010102	# 15 	**1	图云加	以共和戚自从尹未			担当課	農政畜産課	
政策:	名	03	活力あ	る産業の	のまちづ	づくり				グループ	農政第1グループ	
施策	名	01	農•林•	水産業	の振興					電話番号	45-5111	
基本事	業名	01	農林漁	魚業経営	体への	支援				内線番号	2314	
予	会計	一般	会計					± **	□ 単年度のみ			
算	款	06	農林水	く 産業費	-			事業 期間	■ 単年度繰返 (開始年	三度	不明)	
予 算 科 目	項	01	農業費	ť				79][F]	□ 期間限定複数年度(~)	
I	目 03 農業振興費							根拠法令·条例等	霧島市補助金等の種類及	び補助率に関	引する要綱	
評価区分 標準評価 評価対象 2次評価							2次評価	関連計画				

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

園芸振興団体に補助金を交付し、生産拡大・品質向上・産地銘柄の確立などを目的として園芸等振興団体が行う研修会等の活動を支援している

(市の活動) 園芸振興会に補助金を支出するための手続き(交付決定、補助金交付)を行う。また、各団体の総会や研修会、出荷協議会等に出向き、活動状 況や生産者の現状把握を行う。 (園芸等振興会の活動) 生産拡大・品質向上・産地銘柄の確立などを目的とした研修会の開催 【園芸振興団体数】10団体:国分園芸振興会・溝辺地区野菜振興会・横川町園芸振興会・横川町石川里芋振興会・横川町白ねぎ部会・牧園町園芸振興会・霧島町園芸振興会・福山町園芸振興会・隼人園芸振興会・霧島市花卉振興会

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	補助交付団体数		団体	10	10	10	10	10
1	研修会の開催回数(延べ)		口	95	97	98	97	98
ゥ								
(2	2)事務事業の目的							
	対象 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	各園芸等振興団体	園芸振興組織会員	人	293	287	266	287	266
1								
ゥ								
	意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア	栽培技術が向上する。	研修会への実参加人数/園芸振興会組合員	%	70	70	70	70	75
1								
ゥ								
(3	3)上位の基本事業							
_	基本事業の意図 ならにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	経営体質が強化される。	認定農業者数	戸	316	307	301	315	315
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

園芸産地の育成を図るため補助事業が開始された。開始年代不明 高齢化等により、農家数、栽培面積等は減少傾向にある。 当該事業により、先進地研修や各種検討会等、協議会活動が活発に行われてきた経緯もあり、今後も継続してほしいとの意見が多数。

4.	事美	类費	o i	隹移			単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度 (計画)
			国	庫3	を出	金	千円	0	0	0	0	(計画)
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	ブ	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	678	678	678	650	650
量		哥	業	費			千円	678	678	678	650	650

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組)

(2)平成26年度の成果

各品目ごとの現地検討会・出荷協議会・研修会・実績検討会の取組。 K-GAP取得(トマト・ごぼう・にがうり・ほうれんそう) 研修等回数:98回 参加延べ人数:187人 市職員参加回数:69回

品目別部会活動に取組み、会員の技術の向上が図られた。K-GAP(かごしまの農林水産物認証制度)取得による安心・安全なものづくりへの取り組みを行い、農産物の振興が図られた。

	事務事業 コード	010601	10303010102	事務事業名	園芸技	長興組織育成		担当部		水産部
6	 振り返り <	SEE>		デネコ				担当課理は		畜産課
	_)目的は、基本	事業の意図に終	古びついています			の栽培技術が「	•	経営体質の
	_				10 10 000	化、座	地育成に結び	17 く。		
A			いている に結びついてし	١.٨						
目的			いていない	ຈ						
妥当性				ければならないの	Dですか?	振興	組織の育成は	産地拡大、消費	者への野菜の	安定供給とい
生		投入して	て達成する目的			た観点	いらも必要で	ある。		
	I	妥当で								
		見直す	必要がある			紅板	: 今の		ファトル 紅体同業	な揺め去さし
	③ 成果が	向上する	6余地(可能性)	はありませんか	٧?	可能で	云の正画・立刻である。また、組 能である。	織合併等を行う	ことで事業効果	を引き上げる
		向上す	る余地はかなり	りある		Cian	HE CONS			
		向上す	る余地はある程	星度ある						
		向上す	る余地はほとん	どない						
В	④ 廃止·休	・止の影	響はありません	しか?		れてお	3り、事務事業を	めの先進地研修 と廃止した場合、	農家所得の向	等が活発に行 上、産地の抗
有効	•	影響が	 ある			<u></u> ・育成	等に支障をきた	ニす恐れがある。		
生		影響が	ほとんどない							
				形態(イベントやをの主体が実施する	B発等)を持つ他(ものを含む。)	の事務 類似合の	以事業がある場)事務事業名等			
			事業はない					が、園芸振興組		を進める必要
		類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない		。化升振興会(こついては、合作	井곍みじめる。	
		類似の	 事業があり、統	合又は連携で	 きる					
	6 事務事	業の手段	((やり方)を工夫で	することで、事業費	を削減できません 域できませんか?	か? 組織	合併等を行うご	とにより、事業	貴の削減が見込	込める。
	一個別金	<mark>はと、父1</mark> 削減で		、中の負担を削減	以できませんか?					
С		削減で								
効率				することで、 人件者	貴(延べ業務時間)る			あるため、その『	事務手続きに大	きな変動がな
性	(7) できません	んか?		牛費を削減できま		れば肖 補助	川減する余地は 金交付事務以	外の事務につい	いても総会や研	修会等に参加
	•	削減で	きない			活動やは難し		現状把握を行	5必要があるの	で業務量の肖
		削減で	きる							
D				と者に偏っている 確保されていま		組織	加入に制限を	設けていないた	め、受益機会に	は公平である。
公平	\$/_\X		たである	HE IN CO. S	9 13. :					
生			必要がある							
,	1 2か 5面 / 正 4士 6		PLAN>(組織	#2th 白 \						
•	次評価結	* < F	/LAN/ (和英	() ()	[参考]前:	年度の改革改善の	方向性≪	継続・コスト縮	小・統合	>
	事務事業の きの方向性	改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
汉 世	が万円生		0			0				
			園芸産地の育業により、先進:	育成を図るためれ 地研修や各種村	甫助事業が開始。 食討会等、協議会	され、 高齢化 活動を活発に	等により、農家 「行ってもらう。	数、栽培面積等	は減少傾向に	ある。 当該事
	平成27年度	の改								
	女善の内容 り組むべき記	果題)								
			園芸振興団体 等の活動を支持	に補助金を交付	けし、生産拡大・品	質向上•産地	銘柄の確立なる	ビを目的として園	園芸等振興団体	が行う研修会
(O)	ᄑᆣᅂᄼᆓ		【園芸振興団	体数】10団体:	国分園芸振興会 興会·霧島町園3					
	平成28年度 性·取組目標		-1 D446 B1	火图門图公 派	光云 務四門图2	加州云 田口	四五派共五	华八图云派 英	云 秀面印化)	11000
	2次評価結	果 (担	当部長評価)							
3. :	2次評価桁		Anti-Anti-	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1)	事務事業の	改革	継続	17734						
(1)		改革	継続	0						
(1)	事務事業の		0	0	せ、運営補助金	を研修会等の活	舌動の実績に応	だじて交付する。	こうに検討する』	必要がある。
(1)	事務事業の		0	0	せ、運営補助金	を研修会等の	舌動の実績に帰	なじて交付する。	こうに検討する。	と要がある。 と要がある。
(1) 改善	事務事業の		0	0	せ、運営補助金	を研修会等の流	舌動の実績に帰	なじて交付する。	こうに検討する。	必要がある。

9. コストの推移 平成26年度(決算) 平成27年度(当初予算) 平成28年度(計画) 1 報 酬 2 給 料 3 職員手当等 4 共 済 費 5 災害補償費 5 災害補償費 7 賃 金 6 8 報 償費 9 旅 費 10 交際費 0 11 需 用 費 0 6 糧費 0 1	0
1 報 2 給 3 職員手当等 4 共済費 5 災害補償費 7 賃 8 報償費 9 旅費 10 交際費 11 需用費 0 消耗品費 燃料費 自科費 6 終料 6 終期 6 終期 6 報期費 6 無期費 6 本報費	
2 給 料 3 職員手当等 () 4 共 済 費 () 5 災害補償費 () 7 賃 金 8 報 償費 () 9 旅 () 10 交 際 費 () 11 需 用 費 () 1	0
3 職員手当等 4 共 済 費 5 災害補償費 7 賃 金 8 報 償 費 9 旅 10 交 際 費 11 需 用 費 0 0 消耗品費 燃料費 食糧費 印刷製本費 光熱 水費 修繕料 賄材料費 飼料費 飼料費	0
4 共 済 費 5 災害補償費 7 賃 金 8 報 償費 9 旅 10 交 際 費 11 需 用 費 0 0 消耗品費 燃料費 6 糧費 印刷製本費 光熟水費 修繕料 賄材料費 飼料費 医薬材料費	0
5 災害補償費 7 賃 金 8 報 償 費 9 旅 費 10 交 際 費 11 需 用 費 0 0	0
7 賃 金 8 報 貸 費 9 旅 費	0
9 旅 費 10 交 際 費 0 0 11 需 用 費 0 0 0 11	0
10 交際費 11 需用费 0 消耗品費 燃料費 食糧費 印刷製本費 光熱水費 修繕料 賄材料費 飼料費 医薬材料費	0
11 需用費 0 0 消耗品費 燃料費 仓糧費 印刷製本費 光熱水費 修繕料 賄材料費 飼料費 医薬材料費	0
燃料費 食糧費 印刷製本費 光熱水費 修繕料 賄材料費 飼料費 医薬材料費	
食糧費 印刷製本費 光熱水費 修繕料 賄材料費 飼料費 医薬材料費	
印刷製本費 光 熱 水 費 修 繕 料 賄 材 料 費 飼 料 費 医薬材料費	
光 熱 水 費 修 繕 料 賄 材 料 費 飼 料 費 医薬材料費	
修 繕 料 賄 材 料 費 飼 料 費 医薬材料費	
fi 料 費 医薬材料費	
医薬材料費	
12 役 務 費	0
通信運搬費	
広 告 料	
手数料 保険料	
14 使用料及び賃借料	$\overline{}$
15 工事請負費	
16 原 材 料 費	
17 公有財産購入費 18 備 品 購 入 費	
19 負担金補助及び交付金 678 650	650
20 扶 助 費	
21 貸 付 金 22 補償補填及び賠償金	
22 補償補填及び賠償金 23 償還金利子及び割引料	
24 投資及び出資金	
25 積 立 金	
26 寄 附 金 27 公 課 費	
27 公 課 費 28 繰 出 金	
計 678 650	650
特 国庫支出金 0 0	
財源 国庫支出金 0 0 財源 地方債 0 0 マの他 0 0	
定 交 位 0 0 期 地方債 0 0 内 その他 0 0 の 0 0 の 0 650	
- 般 財 源 678 650	650
計 678 650	650
国	
image	
平成26年度補正•流用状況 平成26年度特定財源内訳	
当初予算 678 区分 名称 金額	
補正予算 0	
]
→ 本田 - 本田	$\overline{}$
流用・充用 678	

1. 基本	情報									
事務事	業	01060104	事:	務事業	デール	ィサポートかごしま	田出車業		担当部	農林水産部
П	ド	0100010-	03010102	名) — 9.	1 y	- 奶瓜爭未		担当課	農政畜産課
政策:	名	03	活力ある産	産業のまち・	づくり				グループ	畜産グループ
施策:	名	01	農・林・水	産業の振興	Ĺ				電話番号	45-5111
基本事	業名	01	農林漁業	経営体への	支援				内線番号	2321
予	会計	一般	会計				± **	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林水産	業費			事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 ⁴	年度 H	21 年度~)
予 算 科 目	項	01	農業費				松川山	□ 期間限定複数年度	(~)
Ħ	目	04	畜産業費				根拠法令・条例等	なし	·	
評価区	[分	7	標準評価	評価	対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

配農家が休みをとる際に酪農家に代わって、搾乳や飼料給与などの作業を行う仕事に従事する人を酪農ヘルパーと称し、酪農ヘルパーを出役する事業を酪農ヘルパー事業という。酪農家は、朝夕2回の搾乳作業が欠かせないため、畜産業の中でも最も休みが取りづらい分野である。このような状況の中で、鹿児島県酪農業協同組合の下部組織に酪農ヘルパー利用組合「デーリィサポートかごしま」が平成21年4月1日に設立された。鹿児島県酪農業協同組合からの助成金・酪農家を有する市町村の助成金及び国の円滑化対策事業助成金、酪農家負担金で運営を行い、酪農家の労力軽減及び休暇取得を図っている。

C	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	酪農ヘルパー利用農家		戸	14	13	12	12	12
1	補助金交付金額		千円	607	607	1,025	767	767
ゥ								
(2	2) 事務事業の目的							
	対象 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	酪農ヘルパー利用農家	酪農家	戸	14	13	12	12	12
1								
ゥ								
	・ 意図 ②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	酪農家が休暇を取得する	就業日数	日	348	342	340	340	340
1								
ゥ								
(3	B)上位の基本事業			,				
_	基本事業の意図 さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	経営体質が強化される	認定農業者数	人	316	307	301	315	315
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

平成2年から平成5年にかけて、酪農へルパー事業円滑化対策事業により、国と地方で1:1の割合で基金を造成し、運用益等によるへルパー事業を実施してきたが、低金和時代のため運用益が得られないことから、平成16年から平成25年の10年計画で基金を取り崩して事業を実施してきた。(平成25年で基金は枯渇)酪農家の休暇取得や冠婚葬祭等急な用事にも利用されるなど、ヘルパー事業は酪農経営に必要不可欠であることから、事業の継続実施を望む意見が多数である。

4	車 4	-	ωŧ	隹移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ŧ	77.7	R IR	,V) 1	生物			中位	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	支出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0	D	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	607	605	1,024	767	713
量		剚	業	費			千円	607	605	1,024	767	713

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

(2)平成26年度の成果

【酪農ヘルパーの利用状況等】 利用酪農家数:12戸 ヘルパー利用回数:延べ310回

市負担金額:1,025,000円

利用酪農家数12戸で、延べ310回ヘルパー利用されていることから、年間平均25日ほどの休暇が取得された計算となる。

哥	務コー	事業 -ド	01060	10403010102	事務事業名	デーリィサ	ポートた	ヽごしま	:助成事業	担担	当当	部課		k産部 畜産課
6.	_	<u>'</u> 返り <	(SEE>		予不口					担	_ =		長以日	百生味
					事業の意図に網	古びついています	ナか?		一制度を利用家の持続的な		とによ	より酪農家		咸を図ることは
		_	結びつ	いている				V DD/JX:	37 × > 1 1 119 EH J' & 1	正口(-34477	-DICOSIG	0 5%	
A				 に結びついてい	 \る									
的亚			結びつ	いていない										
目的妥当性	2	·この事	事業をな	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ればならないの	つですか?			も高齢化により					高騰により経
-		一代亚尔	妥当で		109 10 1				IN TAXOV TOO,	~1 <i>X</i> 7	ים אם,	×10.00)	
		_		 必要がある										
	(3)	成果が		る余地(可能性)	はありませんか	١?		この事	業を継続するこ	ことによ	り、多	定定的な西	格農業の経	営が図られて
	0		向上す	る余地はかなり	ある			ν "ο _ο						
			向上す	る余地はある程	 ≧度ある									
			向上す	る余地はほとん	どない									
В	4	廃止∙億	木止の影	響はありません	か?			鹿児島	場内で、酪農いるため本市の	家を有のみ廃	する	市町村することは図	べてで、乳 困難である。	牛頭数等で積
B有効		_	影響が	<u></u> ある										
性			影響が	ほとんどない										
	(5)			 象・意図) 又は んか?(市以外の		啓発等)を持つ他	の事務		事業がある場 事務事業名等					
		→ / 10		事業はない	7工件70 天旭 7 %	70072 640.7			似事業がない	0				
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	<u>き</u> る								
	6	·事務事	業の手段など、交	设(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費 、市の負担を削減	を削減できません ばできませんか?	か?	平成25	5年度で基金が 、県酪、利用者	枯渇!	ンた。 担して	ヘルパー	事業に必要から、市独自	要な経費を国、 自での負担金
			削減で					の削減	はできない。					
C 効			削減で	きる										
※性	7	・事務事		と(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減で		ィサポートかご カ成金交付事系					美事務を行って
11±	W)			いや委託により人作	井費を削減できま	せんか?		407(0)	3///	,,,,,,	(0)	,111,150,710	210.01.0	
			削減で											
		事務事	削減で	さる 容が一部の受益 対の公平性が	者に偏っている	ませんか?		ヘルバ	一制度は市内]の酪)	農家で	であれば活	舌用できるだ	こめ、公平であ
D公平性	8)		~		確保されていま	すか?		る。						
平性				公正である :必要がある										
7	1 %7			PLAN>(組織	(3) (4)									
/ ·		ELL IIM WAT	* \r	継続		ı	年度の改革					迷続	休止	廃止
		务事業の 方向性	の改革		やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合		PV-III	光正
				ヘルパー事業	 こおける市町村	 負担金産出基码	禁が見直	された。						
(2)	च्य =	戊27年月	₣₼₼		. , . , . , . , . ,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,								
革引	善	の内容しむべき												
(AX	ツ和	الارمح	沐 超/											
				ヘルパー事業に	こおける市町村	負担金産出基础	楚に基づ	き負担す	 する。					
(3) 向性	平月生 取	成28年月 以組目標	度の方											
8.	2次	評価結	果(担	当部長評価)										
		多事業の	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合		休止	廃止
以書	5力	向性 ———												
(2)	総	証												
(2)	th/C/	AT.												

事務	事業 -ド	01060104030	10102	事 務事業名		デ	ーリィ	サポ	ートかご	しま助り	述事業			旦当部 旦当課		林水産部 政畜産課
9. ⊐	ストの	推移														
		(単位∶千	円)	平成264	年度	(決:	算)		平成	27年度	〔当初]予算)		平	成28年度	(計画)
1	報		酬													
	給		料													
3		. 手 当														
4	共		費													
5 7	<u>災</u> 賃	補償	<u>費</u> 金													
	<u>貝</u> 報		<u>亚</u> 費													
	旅		費													
10	交	際	費													
11	需		費					0					0			
	消燃	耗品料	<u>費</u> 費													
	食		_頁 費													
		刷製本														
		熱水														
	修		料													
	頬飼	材料料	費費													
		薬材料														
12	役		費					0					0			
	通	信運搬	費													
	広		料													
	手		料													
13	 委		料料													
		<u>。</u> 以び賃借														
		請負														
			費													
		財産購入														
		』購入 ^{補助及び交付}					1	024					767			71
	扶		費				1,	024					101			/1
21	<u>贷</u>		金													
22	補償補	填及び賠償	金													
		利子及び割り														
		及び出資														
25 26	<u>積</u> 寄		<u>金</u> 金													
	□ 公		費													
	繰		金													
	計						1,	024				7	767			71
1	持恒	庫支出						0					0			
財源	特定財源		<u>金</u> 債					0					0			
財源内訳	源を	<u></u> の	他					0					0			
訳			源					024					767			71
		計					1,	024				7	767			71
補	助率	国県														
補	助	 基 本														
		坐 个 【補正・流		₽:₽			ᅏᆑ	26年	度特定則	/指内=	R					
1 155.2		予算	., 13 T		,025		1 13%		区分区分	. ## F 7 5		名	3称			金額
		予算			0											
	流用	・充用								-+						

合 計

1,025

予算合計

1. 基本	情報											
事務事	業	01060103	02010102	巨茲重当	坐夕 田.:	掛出	産振興組織育成	車柴		担当部	農林水産部	
ㅁㅏ	,	01000103	03010103	户/万寸 。	未右 未	倒工。	生1次共和城 月 / 以	尹未		担当課	農政畜産課	
政策	名	03	活力あ	る産業の	りまちづく	(9				グループ	農政第1グループ	3
施策律	名	01	農・林・	水産業の	の振興					電話番号	45-5111	
基本事業	業名	01	農林漁	業経営	体への支	援			·	内線番号	2314	
	会計	一般	会計					± **	□ 単年度のみ			
予算科目	款	06	農林水	産業費				事業 期間	■ 単年度繰返 (開始年	F度	不明)	ļ
科	項	01	農業費					初巾	□ 期間限定複数年度(~)	
Ħ	目	03	農業振	興費				根拠法令·条例等	霧島市補助金等の種類及	び補助率に関	引する要綱	
評価区	分	7	標準評価	Hi I	評価対	象	1次評価	関連計画				

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

生産拡大、品質向上、産地銘柄の確立などを目的とし、本市果樹の振興を図るため、果樹生産振興団体に補助金を交付する。 【団体数】3団体 ・JAあいら隼人地区果樹部会(みかん・桃) ・JAあいら福山地区果樹部会(みかん) ・牧園地区果樹部会(栗)

*(水園地区未開町公民) (市の活動) 果樹生産振興団体に補助金を支出するための手続き(交付決定、補助金交付)を行う。また、各団体の総会や研修会、出荷協議会等に出向き、活動状況や生産者の現状把握を行う。

(I)	活動指標(事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	石刻旧 株(新切节朱·//山刻里)		+12	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	補助交付団体数		団体	3	3	3	3	3
1	研修会の開催回数		п	20	18	18	18	18
ゥ								
(2	と) 事務事業の目的							
_	対象 推、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	果樹振興組織会員	果樹振興組織会員数	人	61	62	62	62	62
1								
ゥ								
_	意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア	栽培技術が向上する。	研修会への実参加人数/会員数	%	70	70	70	70	75
1								
ゥ								
(3	3)上位の基本事業							
_	基本事業の意図 らにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	経営体質が強化される。	認定農業者数	戸	316	307	301	315	315
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

果樹産地の育成を図るため補助事業が開始された。開始年代不明。 高齢化等により、農家数、栽培面積等は減少傾向にある。 当該事業により、先進地研修や各種検討会等 協議会活動が活発に行われてきた経緯もあり、今後も継続してほしいとの意見が多数。

4.	事	类費	の‡	推移			単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度 (計画)
			玉	庫は	と出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投			_	般	財	源	千円	170	170	170	156	156
投入量		哥	業	費			千円	170	170	170	156	156
_												
I												

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組)

(2)平成26年度の成果

果樹産地の育成を図るため、先進地研修や各種検討会等、協議会活動 を実施した。

4月:現地検討会 3回 5月:検討会 2回、研修 2回 7月:検討会 2回 9月:出荷協会 2回・研修 2回 12月:検討会 3回 2月:講習会 2回 計:18[計:18回 参加延べ人数:44人

会員の高齢化が進んでおり後継者等の育成は進まないが、現状維持 の取り組みがなされた。

Į.	事務事業 コード 0 3. 振り返り <s< th=""><th>10303010103</th><th>事務事業名</th><th>果樹生</th><th>産振興組</th><th>1織育</th><th>成事業</th><th>担 当 担 当</th><th></th><th>水産部 (畜産課</th></s<>			10303010103	事務事業名	果樹生	産振興組	1織育	成事業	担 当 担 当		水産部 (畜産課
6.	振り	返り <	(SEE>	•						理	由	
	1				事業の意図に終	古びついています	<u>まか?</u>		辰興組織会員の 也育成に結び付		が向上することは、	. 経営体質の強
			結びつ	いている								
A目的妥当性			間接的	りに結びついてし	いる							
要			結びつ	いていない								
性	2	•税金	を投入し	ぜ市が行わなけ て達成する目的		のですか?	7		組織の育成は産からも必要であ		養者への果実の	安定供給といっ
			妥当で									
<u> </u>			見直す	がある				±n ∧ .	n (# ^ 1= 1	+r 1. 1. + 116		* A =m // . ± /= >
	3	成果が		る余地(可能性)) ¹ ?	ય				展開を行い、改善 ることは可能である	
				る余地はある程								
			同上す	る余地はほとん	どない			+17.T4+	土生白しのとり	トの 生 生地力	TA 대바스카스	かんようて、マショックニュー
물	4	廃止∙億	木止の景	/響はありません	しか?			ており	文が同上のため り、事務事業を がないまでを	発止した場合	所修、現地検討会 合、農家所得の向	等が活発に行わ]上、果樹産地の
B有効性			影響が	·ある			1	広 八• 頁	可以寺に又陣を	さにすねれ	かめる。	
性			影響が	「ほとんどない								
	⑤			対象・意図) 又は けんか?(市以外の		啓発等)を持つ他 るものを含む。)	の事務		事業がある場 事務事業名等			
			類似σ	事業はない			i i	亥当な	L			
			類似σ	事業はあるが、	統合又は連携	できない						
			類似σ	事業があり、統	合又は連携で	 きる						
	6	·事務事 ·補助金	業の手段など、交	役(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費、 、市の負担を削減	貴を削減できません 或できませんか?	いか?				記記の余地がある ないまではまれる	
			削減で	きない								
C 効			削減で	きる								
率性	7	できませ	んか?	役(やり方)を工夫で なや委託により人		費(延べ業務時間) せんか?	1	ルば削 補助ぐ	減する余地はた 交付事務以外	ない。 外の事務にイ	の事務手続きにナ ついても総会や研 行う必要があるの	修会等に参加し
			削減で	きない				は難しい		SPINITIE C	[1] 7 纪 安 (7-18) (3 v)	(米勿里>)的风
			削減で	きる								
D 公	8			容が一部の受益 負担の公平性が				組織力	加入に制限を認	けていない	ため、受益機会に	は公平にある。
公平性			公平・	公正である								
II			見直す	必要がある								
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組織	战決定)	【参考】前	年度の改革	改善の方	ī向性≪	継続・コ	スト縮小	>
		务事業の	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト約	富小	連携	統合	休止	廃止
改善	善の ブ	方向性		0			0					
革	り 善く	成27年月 の内容 むべき				輔助事業が開始 食討会等、協議会	され、高会活動を活	齢化等	をにより、農家数 行ってもらう。	, 放、栽培面積	等は減少傾向に	ある。 当該事
		找28年月 ₹組目標		する。 【団体数】3団体 ・IAあいら集人	 地区果樹部会(地区果樹部会((みかん・桃)	を目的とし	、本市	果樹の振興を[図るため、果	樹生産振興団体	に補助金を交付
8.	2次	評価結	果 (担	当部長評価)								
(4)	古水	女事光	n ⊒h: #±	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト約	会小	連携	統合	休止	廃止
	事方[务事業 <i>0</i> 向性	ノ以甲		・ハスス音	-717JAJL	コベト和	n.1.	上1万	יוטנ ם		
										<u> </u>		
(2))総	評										

事務コ・	事務事業 コード 0106010303010103 9. コストの推移		事 務 事業名		果樹生產	E振興組織育成 事	業	担当担当		農林水産部 農政畜産課
9. =	ストの	推移								
		(単位:千円)	平成26年	F度(決算)	平成27年度	(当初予算)		平成28年	F度 (計画)
1	報	酬								
2	給	料工业体								
3	<u>職</u>	手 当 等 済 費								
5										
7	賃	金								
8	報	償 費								
9	旅	費								
10	<u>交</u> 需	<u>際 費</u> 用 費			0)		0		0
' '		<u> </u>				<u> </u>				
	燃									
	食									
		刷製本費								
	修	熱水費								
	_	材料費								
	飼									
		薬材料費								
12	役	務費			C)		0		0
		信運搬費								
	広手									
	保									
13	委	託 料								
14		料及び賃借料								
15		請負費								
16 17		材 料 費 財産購入費						_		
18		い 生 照 八 負 _ 品 購 入 費						+		
19		インステント <u>ス</u> 補助及び交付金			170			156		156
20	扶	助費								
21		付 金								
22		i填及び賠償金 利子及び割引料								
24		及び出資金								
25	積	立 金								
26	寄	附 金								
27	公	課費								
28	繰計	出 金			170			156		156
		庫支出金			170			0		100
E+	特別	支出金			(+		0		
財源内訳	財地	庫支出金 支出金 方債 の他			C			0		
内訳					(0		
		般 財源 計			170 170			156 156		156 156
	h = · ·	国			170			100		100
	助率	県								
補	助	基本額								
平成		₹補正•流用∜			平成26年	F度特定財源内訴		_		
	当初]予算 - ヌ質		170		区分		名称		金額
	作用 山	予算		0						
				\dashv						
				\dashv						
		· 充用		170			스 뒤			
	丁星	合計		170			合 計			0

1. 基本情	報		平	成27年	度	事	務事	業振	返りシ	·/—) (3	平成26年度	実施事業の	の振返り)		
事務事業	<u> </u>		車 整	主業	L. 22/2			~	-1-2014					担当部	農林水産語	FIS
コード	010601	0403010103			音導力	人及'	び保	留補助	J事業							
政策名	03	活力	ある産業	のまちづく	(り										畜産グルー	-プ
施策名	01	農・村	木・水産美	業の振興									i	電話番号	45-5111	
基本事業		農林	漁業経営	営体への支	援								ſ	内線番号	2321	
· ·									事	業						
算量				P										度 H		
	事業 日当郎 日本水産の 日当郎 日当郎 日当郎 日本水産の 日当郎 日本水産の 日本水産の															
	# 1															
	日当年 日当年 日当年 日当年 日当年 日当年 日当年 日当年 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日															
	-					24 6m -	<i>2</i> =¬`	12.)								
									曲字17-	441 T	建助 公	ナナナナマ				
①5年以上約 ②地区共進 【算定基礎】	継続飼養 会に出品	すること よすること	<u>.</u>		【対象	条件】	l						西格500,000₽	日を超えた分の	02分の1(最高	第150,000円
) 【用語説明】 保留:保留とに	は、自家原	産を販売	せずに自	家用として	浅すこと	。 導	拿入:導	入とは、	第三者	から購	入するご	こと。				
① 活動指	育標 (事	務事業	きの活動	量)							単位					
アこの事業	による保	留•導力	頭数								頭	200	104	129	150	150
1																
																
(2) 事務	車業の	日的								_						
(2) 字 級 ② 対象	サポツ	נים בן י		N· ব্র	かり	华 提				Т		2/1年度	25年度	26年度	27年 庶	28年度
	対象に	ている	(なか)	_			-	・キさか	表す指) (三)	単位					
		/ C V "a) (2/1/-)					(CC.T.	X 7 1日1	ボノ	=					
ア肉用牛箸	《殖農家			肉用牛	繁殖農	家数					尸	637	607	542	530	500
1																
j																
						IIa II	_					,	,			,
4 意図				_			•				単位					
(②対象を	どうした	いのか	,)							漂)	· -	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア優良牛を	·導入·保	:留する			を導入	•保留	ましてい	る肉用	干緊殖農	老家	戸	110	77	80	100	100
1																
				+												
ウ																
(3) 上位	の基本	事業												<u>'</u>	<u>'</u>	'
⑥ 基本事	業の意	図		7	基本	事第	Eの F	戊果指	標		** <i> </i>	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(さらにどの	ような成	果に結	びつくのフ	β ₂) (2	生記⑥	意図	の達	成度を	表す指	漂)	甲加	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア 経営体質	動が強化	される。		認定農	業者数						戸	316	307	301	315	315
1																
<mark></mark>																
o de 34 de	类の理	l talk arts	ルュナロ	辛日体								0.4左座	05左安	00左车	07左安	20左座
					4	. 事	業費	の推和	多		単位					
						T		国庫	井 山	소	±m					
牛が市内に	保留され	1、優秀	な子牛	生産、価格	·		B+			-						
島の販売に	より、経	営の安	定に繋が	ぶっている。	. II	事	* NE			_					_	
甫牛の評価	基準が	若干高	くなった。	。本事業と	肥	兼		坦フ								
							' 訳									
			二~/ 心 兀	いいいりつしつ(オ		(L	1		対	源		· '				· ·
					 量	<u> </u>	- 1	事業費		\perp	千円	3,620	3,962	5,473	5,000	5,000
					⅃Ĺ											
5. 平成26	年度σ	実績	及び成り	果												
(4) W ====0												- 中の				

優良素牛導入農家:80戸 優良素牛導入頭数:129頭 補助金額:5,473千円

姶良中央家畜市場の子牛せり市に上場される郡保留牛又は高育種価 候補牛の郡外県外への流出を防ぎ、市内に優良素牛の確保を行うこと ができた。

Ī	事務・コー	事業 -ド	01060	10403010103	事務事業名	家畜導	入及び [・]	保留補	助事業	担扣	当当	部課		水産部 畜産課
6.		•	(SEE>		予 术日					15			長以	田庄林
<u>.</u>		この事	務事業の	の目的は、基本語	事業の意図に紹	古びついています	か?	な子牛	繁殖農家が、他の生産と高価格の強化に結び	格の販	用生	を保留より、経		ることで、優秀 が図られ、経
Α				いている	7									
目的妥当性				に結びついてい いていない	'ক									
妥当				じていない <mark>ぜ市が行わなけ</mark>	ればならないの	Dですか?		姶良中	央家畜市場の	子牛+	せり市	に上場	される郡保旨	留牛又は高育
性	2	•税金	と投入し	て達成する目的	ですか?			良増殖	補牛の郡外県 を行い、生産 ^図	:外流は 率の向	出を防 上を	iぐため 図るたる	、又、優良素 めの補助金で	手の確保で改 であり妥当であ
			妥当で					る。						
	_			必要がある				継続し	て取り組むこと	で市内	小に優	良な素	生が増えて	いくことから、優
	(3)	成果が	向上する	る余地(可能性)	はありませんか	۱۰?			牛生産や有利					, ,
				る余地はかなり										
				る余地はある程										
	_			る余地はほとん				優良素	生の確保が困	単能にす	1 (15)	水外県	外流出が縣会	念され、畜産農
B	4	廃止•位	木止の影	/響はありません	,か?			家の生	産意欲、所得	向上に	影響	する。	NASK WITHOUT	5040、田/王展
B有効性			影響が											
-		UT (W		ほとんどない			- 							
	5			「家・意図) 又はた ・んか?(市以外の		啓発等)を持つ他 ものを含む。)	の事務		事業がある場 事務事業名等	郡保	:留•髙	高育種信	而保留対策 	事業
			類似の	事業はない				JAが類	似の事業を行	ってい	るが、	統合	は出来ない。	
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
				事業があり、統				フ. 丹. 年	坎が育勝] で	ハスた	みを	hm Az	お出産すれた	で優良素牛の導
	6	・善務事・補助金	業の手段など、交	g(やり方)を工夫す 付先に働きかけて	、市の負担を削減	慢を削減できません 或できませんか?	<i>γ</i> δ\?	入が難	しくなり、郡外・	· 県外·	め、1f への(f	夏良素-	牛の流出が	※念される。
			削減で	きない										
C 効			削減で					A JUST	ナル 東次 バン	um de lo	Mala	1004	(lb), b, do.)	
率性	7	きません	か?	と(やり方)を工夫す 5や委託により人作		費(延べ業務時間): せんか?	を削減で		交付事務が主	. じめり	、 月 17	或の余!	地はない。	
		和 英 少	削減で		「見と門//& Cこよ	27073								
			削減で	きる										
D	8			容が一部の受益				肉用牛	農家全体が利	用でき	きる制	度であ	ることより公室	平である。
公平	_	また、5		<u>t担の公平性が</u> 公正である	性体されていま	9 71 ?								
性				必要がある										
7	1 1/7	輕価結	里 〈[PLAN>(組織	(決定)									
-	100	E	* \1	継続			年度の改					継続	休止	廃止
		§事業 <i>0</i> 方向性	D改革		やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小	連携		統合		1水止	斧皿
				(原自生の其本)	かる苔種価名	 件は、県内全体	での評估	もであり	古不改革改美	ミベキス	St. (D)	T01+t2	いが 真杏痘	6価冬州のス生
革	收善	成27年月 の内容 むべき		を率先して導入	・保留すること	に努める。また、	かめ系統	花の子牛	を導入・保留し	た場	合も女	け象とし	、、全共対策	を行う。
(3))平 _万 生•耶	成28年月 双組目標	度の方	高育種価条件6	か子牛を選定し	で導入・保留に	努める。 							
8.	2次	評価結	果 (担	当部長評価)										
(1)	1)事務事業の改 対善方向性			継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小	連携		統合		休止	廃止
						<u> </u>	<u> </u>			<u> </u>				
(2))総	評												

事務事業 コード 0106010403010103 9. コストの推移		事 務事業名		家畜導入	及び保留補助	事業		当部	農林水産部農政畜産課	
9. ⊐2	ストの	推移								
		(単位:千円)	平成26	年度 (決	(算)	平成27年月	度 (当初予算))	平成.28	年度 (計画)
1	報		1 774=5	1 2 10	1217	1774=116	~ (- 1,3) 31	, <u> </u>	1 776=	12 (11)
	拉 給	料								
		手当等								
	共	済 費								
		補 償 費								
	<u>賃</u> 報	<u>金</u> 償 費								
	<u>報</u> 旅	費						-+		
	<u>꺴</u> 交	際費								
11	需_	用 費			0			0		0
		耗品費								
	燃金									
	食印	糧 費刷製本費						-		
		熱水費								
	修	繕 料								
		材 料 費								
	飼	料費								
12	医 役	<u>薬材料費</u> 務 費			0			0		0
12					0			- 0		0
	広	告 料								
	手									
	保									
	委	託 料								
		科及び賃借料								
		請負費 財料費								
		7 17 貝 財産購入費						-+		
		購入費								
19	負担金	補助及び交付金			5,473		5	5,000		5,000
	扶	助費								
	貸地機構	付 金								
		填及び賠償金 利子及び割引料						+		
		及び出資金								
	積	立 金								
	寄	附 金								
	公	課費								
	繰 計	出 金			5,473			5,000		5,000
	囯	庫支出金			0,473			0		5,000
1 年	時間県				0			0		
財源内訳	地	方 債			0			0		
内訳	,	の他			0			0		
ш/ С	— f	般 財源			5,473			5,000		5,000
		計国			5,473			5,000		5,000
補	助率	- 県						\dashv		
補	助	基本額								
		₹補正·流用	大況		平成26年	度特定財源内				
	当初]予算		,000		区分		名称		金額
	補正	予算		0						
				-						
										+
										<u> </u>

合 計

473 5,473

流用・充用

予算合計

1. 基本	情報											
事務事	業	0106010-	102010104	主	幸々 しょうしょう	宏玄道	拿入資金貸	(仕重業			担当部	農林水産部
	ド	0100010	03010101	争协争	木口	水田 午	· 八貝 亚貝	川尹禾			担当課	農政畜産課
政策:	名	03	活力	ある産業の	のまち・	づくり					グループ	畜産グループ
施策	名	01	農•ホ	木・水産業	の振興	Í					電話番号	45-5111
基本事	業名	01	農林	漁業経営	体への)支援					内線番号	2321
子	会計	一般	会計						**	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林	水産業費	,				事業 期間	■ 単年度繰返 (開始	年度 H	17 年度~)
予 算 科 目	項	01	農業	費					初申	□ 期間限定複数年度	(~)
目	目	04	畜産	業費					根拠法令·条例等	霧島市家畜導入資金貸付	寸基金条例	
評価区	(分		標準部	平価	評価	対象	1次評	平価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

畜産振興と経営の安定に資するために家畜導入資金を無利子で貸付けるための事業基金の運営を行う。貸付を実行する基金の管理であって、 基金の運用利子及び合併前の体制で行っていた事業収入等を財源とし、基金の積立を行っている。(財源は、運用利子を特定財源として計上し、 事業収入は一般財源として扱うが、積立ての原資として扱っている。年度毎に事業ニーズをつかみ、平成19年度には農山漁村活性化対策基金を 取り崩し、本基金の増額を図った。また、平成23年度には、一般財源より 14,500千円の増額を図った。

賃付水ドプ 賃付対象者は家畜を継続して飼養することが確実な20歳以上の者とする。育成雌牛(生後4箇月齢以上18箇月齢未満のもの)は貸付け期間5年間 貸付け限度額は500,000円(乳用牛は400,000円)成雌牛(生後18箇月齢以上4歳未満)は貸付け期間3年間貸付け限度額は500,000円(乳用牛 は400,000円)肥育素牛(生後4箇月齢以上18箇月齢未満のもの)は貸付け期間2年間貸付け限度額は500,000円(肉用牛のみ)とする。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	貸付件数		件	86	92	86	80	80
1	貸付金額		千円	37,206	42,193	42,594	40,000	40,000
ゥ	基金の残高		千円	48,884	46,430	37,085	13,000	3,000
(2	?) 事務事業の目的							
_	対象 推、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	家畜を継続して飼養することが確実な 滿20歳以上の者	肉用牛・酪農家数(肥育牛農家含む。)	戸	657	627	570	545	515
1								
ゥ								
	意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	優良素牛を確保し経営の安定化を図る	肉用牛・酪農家数(肥育牛農家含む)	戸	657	627	570	545	515
1								
ゥ								
(3	り上位の基本事業							
_	基本事業の意図 らにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	経営体質が強化される。	認定農業者数	戸	316	307	301	315	315
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等

平成17年度から、優良素牛の確保を行い経営の安定化を図るため開始された事業基金の管理を実施している。規模拡大、優良素牛の確保が出来ることから、導入希望者が増えている。「貸付頭教幹の拡大はできないか」、「黒毛和牛の増頭に市全体で取組んではどうかりなどの意見がある。H27年度からは基金を定期にしないので、基金利息が付かないため事業費に出てこない。

4.	事訓	类費	の‡	隹移			単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度
			玉	庫は	を出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	22	8	10	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	0	1	0	0	0
量		事	業	費			千円	22	9	10	0	0
_												

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載

基金総額 156,673千円 貸付件数 86件 貸付金額 42,594千円 基金利息 10千円 市内の畜産農家へ貸付ることにより、計画的な優良牛の導入等が図られた。

Ę	事務	事業	01060	10403010104	事務事業名	家畜	導入資	金貸付	 事業	担扣	当业	部課		k産部 を金部
6	_	返り <	'CEE'		尹未石					担	理 理	由	長以自	畜産課
0.					主業の辛回に終	古びついています	-tv 0	肉用牛	農家(肥育牛台	さむ)カ	が本貸	付事	業を活用する	ことで、計画的
	U	この争			事未の息凶に和	פאייטיילי איניידי	י אינ	な家畜	尊入を図ること から経営体質の	ができ ひ強化	、規模	甚拡大 びつい	(増頭)と優良 \ている。	:牛の確保がで
A				いている										
A目的妥当性				に結びついてい	' る									
妥当				いていない	1 186 2 6 1 1			事₩1. 1	プ 厚白 志 出 の	The I	& <u>A</u> 324	n#s	ラ//vナ. 図ファ l	か出来るので
産	2	·この事 ·税金を	業をな	ぜ市が行わなけ て達成する目的	れはならないの ですか?	りですか?		争業とし		唯休	、栓呂	の女人	E1L&RIOCS	こか田米るので
			妥当で	ある										
			見直す	必要がある										
	3	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんか	١?		資金の1	貸付により、優 え売ができるとと	良素生	 家畜 無利	の導え	人がなされ、優 め農家の負	受秀な子牛の 担が軽減される
		_	向上す		<u></u> ある			成果の点では	みである。 基金 適正規模を確信 -戸当たりの飼	が適」 呆でき	正規模 ている	である。農家	ることを条件と を数は増える	担が軽減される しており、現時 見込みではな
			向上す	る余地はある程	 !度ある			いが、-	-戸当たりの飼	養頭数	数が増	えてい	く。	
			向上す	る余地はほとん	どない									
_	4)		* i と の 暑	/響はありません	.tv 2				自己資金による					
B有効性	•				7/3 · :			には、質	全調達等厳し	ハ規	状にあ	ること	から、導人に	影響かある。
効性			影響が											
		おかりの		ばとんどない	い能 / ノベヽ い	啓発等)を持つ他	の車数	¥Z /N :	車業 がも 7 担	l				
	5			んか?(市以外の			07争伤		事業がある場 事務事業名等					
			類似の	事業はない				他に類	以事業がない。					
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる								
	6	·事務事 ·補助金	業の手具など、交	设(やり方)を工夫で付先に働きかけて	けることで、事業費、市の負担を削減	費を削減できません 或できませんか?	か?	あること	業であって、適 、また、農家の	正規は	関の確 ズが増	〖保が 加して	できれば継続	できる事業で 基金額の削減
		•	削減で	きない				は出来	ZV.					
C 効			削減で	きる										
率	7	・事務事できませ	業の手具	段(やり方)を工夫で	けることで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減	基金管	理業務のみで	あるこ	とから	削減分	≷地はない。	
性	<i>w</i>			なや委託により人作	‡費を削減できま	せんか?								
			削減で	きない										
L			削減で		=			-t-1111) V-T-11 F	п	er stad refe		- w = 1) \\ \dagger \tag{\pi}
Ď	8			容が一部の受益 担の公平性が					ト・乳用午晨家 いる事業である					ることが義務と
公平性			公平・岔	公正である										
狸			見直す	必要がある										
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組績	決定)	[##Im	年度の計	革改善の方	南椎《		400	続		»
				継続	41122							1976	休止	廃止
		§事業ℓ 方向性)改革		やり方改善	コスト拡充	17.5	縮小	連携		統合		71.22	<i>5</i> 022
				図定農業考へ(の貸付頭粉を5	 頭から8頭へ、ま	:1~ 9 □	の分割は	豆溶むできるト	.た東:	細元	「お行」	ハ 増頭に糖	極的に取り組
	_	D 4		む農家へ支援		BKN DOBK (A	/C\ Z	10000 01%	2140 (6006)	71-21	NA CV T	7511	· \	型は アベニキス フル丘
革	火善	成27年月 の内容												
(取	り組	むべき	課題)											
				atte A sets deer 2, day -	E. 1 122 ++ A	a de la companya de l								
				基金残額を考慮	思しなから、 基金	金を円滑に運用す	デ る。							
(3)	平原	龙28年	度の方											
[P] ⁽ [生・印	双組目標	Ę											
0	مار د	評価結	用 /北	当部長評価)										
σ.	乙次	11 川 赤戸	水(1										/+ .L	rás . L
		务事業 <i>0</i> 向性	D改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	1	統合		休止	廃止
(2))総	評												
(-	110,	#1												

事務事	事業 -ド	0106010403010104	事 務 事業名		家畜導	入資金貸付事	業	担当担当		林水産部 政畜産課
9. ⊐7	ストの	 推移								
		(単位:千円)	平成26年	F度(ž	決算)	平成27年	度 (当初予算)		平成28年度	(計画)
	報	酬								
	給贈品	料. 手 当 等								
	呱 页 共	· <u>丁 ョ サ</u> 済 費								
		補償費								
	<u>賃</u> 報	<u>金</u> 償 費								
9	旅	費								
	<u>交</u>	際 費								
11 3	需消	用 費			0			0		0
	燃	料 費								
	食	糧 費刷製本費								
	_	熱水費								
	修	繕 料								
	鮪飼	材料費料費								
		薬材料費								
12	役	務費			0			0		0
	迪 広	信運搬費 告 料								
	手	数料								
10	保	険料								
-	委 使用料	託 料 及び賃借料								
	工事	請負費								
		材 料 費 財産購入費								
		ゅきゅう								
		補助及び交付金								
	<u>扶</u> 貸	助 費 付 金								
		<u>・</u> 填及び賠償金								
		利子及び割引料 スペンルンタス								
	投貨 積	及び出資金 立 金								
	寄	附 金								
	公。	課費			10			0		
	繰 計	出 金			10 10			0		0
		庫支出金			0			0		
財源内	見地	支 出 金			0			0		
財源内訳	見を	の他			10			0		
訳		投 財 源			0			0		
		国			10			0		0
補」	助率	県								
	助									
平成2		補正・流用も	況	10		度特定財源内	訳	夕析		~ 超
		予算 予算		10	その他	区分	基金利子	名称		金額 10
				\dashv						
				\dashv						
	流田	• 充用								
		合計		10			合 計			10

1. 基本	情報									
事務事	業	01060103	-02010104 車系	女車 娄 夕	細火車	農業振興組織育成	車柴	·	担当部	農林水産部
그ㅡ	,	01000103	37	力学木石	街光ノし庁	支未1水夹粒椒月水	ず未		担当課	農政畜産課
政策	名	03	活力ある産	産業のまち	づくり				グループ	農政第1グループ
施策	名	01	農•林•水	産業の振り	興				電話番号	45-5111
基本事業	業名	01	農林漁業	経営体への	の支援				内線番号	2314
予	会計	一般	会計				+ **	□ 単年度のみ		
予 算 科 目	款	06	農林水産	業費			事業 期間	■ 単年度繰返 (開始年	F度 S	62 年度~)
科	項	01	農業費				79][F]	□ 期間限定複数年度(~)
目	目	03	農業振興	費			根拠法令·条例等	霧島市補助金等の種類及	び補助率に関	引する要綱
評価区	分	7	標準評価	評価	対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

果樹産地育成を図るため、観光果樹の振興及び会員の技術向上を目的とし、市内各観光農園事業主で構成する団体に対して補助金を交付する

。 【構成団体数】2団体 【観光農園数】22園

(市の活動) (市の活動) 観光農業振興団体に補助金を支出するための手続き(交付決定、補助金交付)を行う。また、各団体の総会や研修会、出荷協議会等に出向き、活動状況や生産者の現状把握を行う。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度
ア補助交付団体数		団体	2	2	2	2	2
イ 研修会の開催回数		□	14	13	16	13	16
<mark>ゥ</mark>							
(2) 事務事業の目的							
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 観光農業振興会会員	観光農業振興会会員数	人	21	24	24	24	24
1							
<mark>ゥ</mark>							
④ 意図(②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア 栽培技術が向上する。	研修会に参加した実会員数/会員数	%	82	80	80	80	80
1							
<mark>ゥ</mark>							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度 (目標)
ア経営体質が強化される。	認定農業者数	戸	316	307	301	315	315
1							
o							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

栽培講習会、先進地研修会、販売検討会等を 通じ、園芸産地の育成を計るため昭和62年・平 成元年にそれぞれ組織が設立され、活動に対 し補助を同年開始した。 後継者へ経営移譲さ れていく状況にある。

4.	4. 事業費の推移						単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
			国	庫 支	出	睁	千円	0	0	0	0	0
投入量	事業費	財源内訳	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
			地	方	ī	債	千円	0	0	0	0	0
			そ	の)	他	千円	0	0	0	0	0
			_	般	財	源	千円	65	65	65	65	65
量	事業費					千円	65	65	65	65	65	
I –												
ı												

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組)

(2)平成26年度の成果

視察研修・現地検討会・試食宣伝販売・K-GAP認証取得(ぶどう・なし)に取り組みを行った。

4月:講習会 1回 5月:現地検討会 1回 6月:現地検討会 1回、研修 1回 7月:研修 2回 9月:講習会 1回、研修会 1回 10月:講習会 1回、研修 1回 11月:講習会 1回、研修 1回 12月:講習会 1回

1月:研修 1回 2月:講習会 1回、研修 1回 3月:研修 1回

計:16回 参加人数:19人

観光果樹は、個人経営により展開されており地域の振興会活動が今後期待されるところである。また、宣伝広報活動等を実施することにより集客の増加をより一層図る必要がある。先進地研修、講習会を行い、生産者の更なる技術向上を図りたいところである。K-GAP(かごしまの農林水産物認証制度)取得し安心・安全なものづくりと栽培記録活用で効果的 な栽培が図られた。

事務事業コード		01060	9106010303010104 事務 事業名 観光農業振興				組織育	成事業	担担	当 当 課		水産部 畜産課		
6.	振り	返り <	(SEE>	•							理由	1		
	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか?								農業振興会会員 産地育成に結び			が向上することん	は、経営体質の	
	■ 結びついている													
八目的妥当性		□ 間接的に結びついている												
			結びつ	いていない										
	mac porto camo o dan como								組織の育成は からも必要であ		大、消費	者への果実の	安定供給といっ	
			妥当で	:ある 	-									
			見直す	必要がある										
	3			る余地(可能性)		v?			会への参加割る 出ているといえ		80%と高	水準となってレ	るため十分に	
			向上す	る余地はかなり	ある									
	□ 向上する余地はある程度ある													
	■ 向上する余地はほとんどない													
星	4	廃止∙億	木止の景	/響はありません		栽培技術向上のための先進地研修、現地検討会、栽培講習会等 が活発に行われており、事務事業を廃止した場合、農家所得の向 上、廃地の拡大・育成等に支障をきたす恐れがある。								
B有効性			影響が	ぶ ある				工、庄、	-C-> 1/4/C F1/4/C	,	C +C	C) 1014 017 02 0	0	
1生			影響が	「ほとんどない										
	⑤			対象・意図) 又は たんか?(市以外の			の事務		事業がある場 事務事業名等					
			類似σ)事業はない					生産振興組織の連携がたされる	の統合	が必要で	であるが、観光原時点での統合	農業形態の違い は難しいと思わ	
			類似σ	事業はあるが、	統合又は連携	できない		れる。	AEDAN SCHO		700001	14 VIV. C 42 VIDE []	TEXTED CIEMS	
			類似σ	事業があり、統	合又は連携で									
	6	·事務事 ·補助金	業の手段など、交	<mark>殳(やり方)を工夫で</mark> 付先に働きかけて	することで、事業費、市の負担を削減	貴を削減できません 或できませんか?	か?	現在の交付額は各組織の活動のための必要最小限の額であり、 これ以上の交付額の削減は困難である。						
	■ 削減できない													
င္က	□ 削減できる													
C 効率性	7	・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか? ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか?							補助金交付事務であるため、手続きに大きな変化がない限り削減余地はない。					
	・戦員以外の対応で安託により入行員を削減できませんが : ■ 削減できない													
			削減で											
⊢		± 25 ±				キサんか?	組織加入に制限を設けていないため、受益機会は公平にある。							
밌	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか? また、受益者負担の公平性が確保されていますか?							//12//190/	VA	X., C.	W. /C	->(>ш/ДД(A24 (1=05 00)	
公平性	■ 公平・公正である													
1111	□ 見直す必要がある													
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組績	決定)			女革改善の方向性≪ 継続 ≫						
				継続						1		休止	廃止	
1. 1		§事業ℓ 方向性	D改革		やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小	連携	ň	統合	水正	光工	
		,,,,,_		0			L			<u> </u>				
(2) 平成27年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題) 観光果樹は、個人経営により展開されており地域の振興会活動が今後期待されるところ実施することにより集客の増加をより一層図る必要がある。先進地研修・現地検討会・栽培技術向上を図りたい。								ところで •栽培講	める。また、 <u>重</u> 1 2習会を行い、 <u>4</u>	KLA報店動寺を 上産者の更なる				
(3)	平 庄•耶	戊28年月 双組目標	度の方	果樹産地育成を図るため、観光果樹の振興及び会員の技術向上を目的とし、市内各観光農園事業主で構成す対して補助金を交付する。 対して補助金を交付する。 【構成団体数】2団体(国分観光農業振興会、溝辺町観光農園果樹部会) 【観光農園数】22園								構成する団体に		
Q	<u>تلا و</u>	評価結	围 (生	当部長評価)										
		多事業の		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小	連携	á	統合	休止	廃止	
		向性	~~											
					L	l	I		1			1		
(2)	総	評												

	事業 ード	0106010303010104	事 務事業名		観光農業	柒振興組織育成事	業	担当部担当課	農林水産部 農政畜産課	
9. 🗆	ストの	推移								
		(単位:千円)	平成26年	E度(決質)	平成27年度	(当初予算)	可	成28年度(計画)	
1	報	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1 120-		.// 3+ /	1 10027 - 100	(1 10 1 77)	'	7,220 千尺 (旧日)	
2	給									
3		手当等								
4	共	済 費								
5		子補 償 費								
8	<u>賃</u> 報	<u>金</u> 償 費								
9	旅	 費								
10	交	際費								
11	需	用 費			0			0	0	
	消燃	耗品費料費								
	食									
		刷製本費								
	光									
	修									
	期 飼	材 料 費 料 費								
		薬材料費								
12	役_	務費			0			0	0	
		信運搬費								
	広									
	手保							_		
13	<u> </u> 体 委	託料								
14		- 10 及び賃借料								
15		請負費								
16		材料費								
17 18		財産購入費						_		
19		コ 料 八 貝 補助及び交付金			65			65	65	
20	扶	助 費								
21	貸	付 金								
22		填及び賠償金								
23		^{利子及び割引料} 及び出資金								
25	積	<u> 立 金</u>								
26	寄	附 金								
27	公	課費								
28	繰計	出 金			CE			CE	CE	
		庫支出金			65			0	65	
타	特定財源				0	-		0		
財源内訳	財源地	方 債			0			0		
内訳	_				0	1		0		
" ` 	_	般 計			65 65			65	65	
	n = (国			65			65	65	
補	助率	県								
補	助	基本額								
平成26年度補正・流用状況 平成26年度特定財源内訳										
]予算		65		区分	4	各称	金額	
	補正	予算		0						
				\dashv						
				-						
				\dashv						
		· 充用		CE			<u> </u>			
予算合計				65			合 計		0	

1. 基本	情報									
事務事	業	01060104	02010105	事務事	業	畜産共進会開催事	类		担当部	農林水産部
	ド	01000101	03010103	名	州川	自住大连云州惟尹	未		担当課	農政畜産課
政策	名	03	活力あ	る産業の	うまちづくり				グループ	畜産グループ
施策	名	01	農•林•	水産業の	の振興				電話番号	45-5111
基本事	業名	01	農林漁	業経営	本への支援				内線番号	2321
予	会計	一般	会計				± **	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林水	産業費			事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 ⁴	年度 H	18 年度~)
科	大 大 大 大 06 農林水産業費 科 項 01 農業費 日 04 本産業費							□ 期間限定複数年度		~)
目	日 01 田庄未具						根拠法令・条例等	務島巾佣助金寺父竹規! 成補助全応付更綱	训、務局 巾谷和	里
評価区	評価区分 標準評価 <mark>評価対象</mark> 1次評価						関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

(1) 事務争果の依養(具体的なヤリカ、手順、計和を記処)
各種畜産(ホルスタイン)共進会への出品を支援することにより飼育管理技術及び資質の向上を図ることを目的とする。市秋季畜産共進会については、出品申し込みの取りまとめや開催に係る事務処理などの業務を行う。
[肉用牛] 霧島市秋季畜産共進会:市内各地区(7会場)において、各部門の肉用牛が出品される。(一頭当たり5,000円)
春・秘郡畜産共進会: 霧島市の代表として選抜された牛を出品する。(一頭当たり20,000円)
県畜産共進会: 郷の代表として選抜された牛を出品する。(一頭当たり100,000円)
リースタイン地区予選会: 始良伊佐・北麓に各市町の代表として選抜された牛を出品する。(一頭当たり20,000円)
リースタイン共進会: 郡の代表として選抜された牛を出品する。(一頭当たり100,000円)
カ州連合ホルスタイン共進会: 県の代表として選抜された牛を出品する。(一頭当たり100,000円)
カ州連合ホルスタイン共進会: 県の代表として選抜された牛を出品する。(一頭当たり150,000円)
いずれも共進会へ出品するための輸送代等の経費として補助金を交付する。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	/ 山黝伯保 (事份事果(//山鱽里/		中世	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	補助交付農家		戸	394	243	256	300	300
1	補助交付金額		千円	5,896	3,630	4,780	5,240	4,640
ゥ								
(2	2) 事務事業の目的			'				
_	対象 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	肉用牛農家、乳用牛農家	肉用牛·酪農家	戸	675	638	558	545	515
1								
ゥ								
_	・ 意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	飼養管理技術及び資質の向上	出品頭数	頭	394	243	256	300	300
1	飼養管理技術及び資質の向上	霧島市農家の受賞頭数	頭	16	12	21	18	16
ゥ								
(3	B)上位の基本事業			,				
_	基本事業の意図 ならにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	経営体質が強化される。	認定農業者数	戸	316	307	301	315	315
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

各共進会に出品することで飼育管理技術研修と資質向上を目指し、又、系統作9のため始まった。開始年度H18年度 飼育管理技術が向上し、又、優良肉用牛導入保留事業と連動し上、工、優良肉用牛導加している。各共進会が特報交換の場でもあり、継続して本事業を推進してほしい意見多数あり。(肉用牛農家)出品頭数を確保するように。

А	ate d		ωŧ	<u></u> 			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ŧ	777	R IR	,V) 1	生19			中世	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫は	と出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	ブ	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	Ø)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	5,896	4,437	5,650	6,208	5,580
量		剚	業	費			千円	5,896	4,437	5,650	6,208	5,580

5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (1)平成26年度の実績(取組)

(2)平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載

- 【共進会出品実績等】 ·霧島市秋季畜産共進会 149頭 ·郡春秋畜産共進会 64頭

- 計256頭

補助金交付額 4,780千円

旧市町毎に共進会を開催することで、地域ごとの競争意識と育成技術 を高めることに繋がり事業の効果が発揮された。 また、出品助成を行ったことで、輸送経費等の農家負担が軽減された。

粤	務コー	事業 ド	01060	10403010105	事務事業名	県市畜	 6産共進	生会開作	進事業	担扣	当当	部 課	農林才農政資	
6.	_	<u>'</u> 返り <	SEE>		予不力					担	理	由	長以百	1生味
					事業の意図に網	詰びついていま す	^ト か?	市・郡・	県の各種共進	会に出	品す	ることで、	飼育管理	技術と家畜の 告びついている
		_	結びつ	いている					A 12.0	<i>ع</i> رد،	1.J.	COMA	7 JX L (C /n	10 34 64 9
A				に結びついてい	 \る									
的亚			結びつ	いていない				-						
目的妥当性	2	・この事	事業をな	ぜ市が行わなけ	ればならないの	Dですか?			産業の維持・発送の					
111	1)	•祝金	を投入し 妥当で	て達成する目的	ですか?				があることから			:家の148 <i>E</i>	L1小丁頭(7)5%	さいく 用作り
				<u></u> 必要がある										
	(3)			る余地(可能性)	はありませんか	12		飼養管	理技術及び資	質が向	1上す	ることで、	郡共進会	及び県共進会
	•	7905(70		る余地はかなり		•		が向上	共進会等へ出 する余地はか	品できなりある	○1変力 ○。	が家郷刊	トル瑁加 9	るため、放来
				る宗地はかる? 										
				る余地はほとん										
	(A)			/響はありません				各種共	進会に出品す	るには	相応	の費用が	必要である	ることから、出
B有効	P							品助放なる。	を廃止した場合	台、 田市	站 有刀	が似少し、	共進会の	用惟か困難と
勿性		-	影響が	`める ほとんどない										
	(形態(イベントや原	啓発等)を持つ他	の事務	類似	事業がある場					
	(5)		ありませ	·んか?(市以外(合の	事務事業名等					
				事業はない	/+ ^ ¬ , L) + ++			他で無	似事業がない	0				
				事業はあるが、										
	<u></u>	- 事 発 事	業の手段	事業があり、統	よることで 事業者	きを削減できません	か?	各種共	進会に出品す	るため	の必要	要経費に	対する補助	力であり、特に
	6	・補助金	など、交	付先に働きかけて	、市の負担を削減	或できませんか?		県・九ヶ	州・全国共進会 ハ等)が多額に 金額を設定し	等につ	ついて	は必要経	費(輸送網	≧費、資材購 ▮
			削減で					の補助	金額を設定して	ているこ	ことかい	ら、削減で	ざきない。	
C 効 _変		. 車 教 車	削減で		ナスニレズ 1 / 男	貴(延べ業務時間)	た削減で	旧市町	毎の開催を統	合する	ことが	できない	か、地区排	●組合や関係
率性	7	きません	か?	でやる話により人作			機関と	の協議をしてい	るが、	現段	皆では削	減できない	,	
		-	削減で	きない										
			削減で											
D	8	事務事また、	業の内 受益者負	容が一部の受益 担の公平性が	を 者に偏っている 確保されていま	ませんか? すか?		全ての	肉用牛農家・乳	1用牛	農家加	ぶ対象では	あるため、	公平である。
D公平性		-	公平・	公正である										
性			見直す	必要がある										
7.	1次	評価結	果 <f< th=""><th>PLAN>(組箱</th><th>決定)</th><th>[金書]前</th><th>年度の改</th><th>英改善の</th><th>F向性≪</th><th></th><th>継</th><th>続</th><th></th><th>></th></f<>	PLAN>(組箱	決定)	[金書]前	年度の改	英改善の	F向性≪		継	続		>
(1)	車系	务事業 <i>0</i>	おおん	継続	やり方改善	コスト拡充		·縮小	連携		統合		休止	廃止
		方向性	744	0										
				平成27年度は	L 従来の共進会と	L Lは別に、全国オ	「ルスタイ	(ン共進	L 会があるため、	予算計	ナ上し	てある。		
(2)	平原	成27年月	度の改											
		の内容	課題)											
				平成29年度第	11回全国和牛	能力共進会宮城	成大会に	向けての	の対策を積極的	りに取り	0組ん	でいく。		
(3)	Σ.F.	成28年月	⊭n±											
向性	生・取	双組目標												
			m _ 41	Ale den										
8.	2次	評価結	果(担	当部長評価)										pt. 1
		多事業の 向性	の改革	継続 ————————————————————————————————————	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	i	統合		休止	廃止 ————
	. , ,													
(2)	総	評												

事務	事業 一ド	0106010403010105	事 務事業名		県市畜産	雀共進会開催 事	≨業	担当部 担当課	
9. =	ストの	推移							
		(単位:千円)	平成264	年度 (決	央 算)	平成27年	度 (当初予算))	平成28年度(計画)
1	報	栅							
2	給	料工业等							
3		<u>手当等</u> 済 費							
5									
7		金							
8	報	償 費			662			768	768
9	旅	費							
10	<u>交</u> 需	<u>際 費</u> 用 費			168			200	172
''	_	耗品費			108			200	172
	燃燃								
	食				168			200	172
		刷製本費							
	_	熱水費							
	修								
	鮪飼								
		薬材料費							
12	役	務 費			0			0	0
		信運搬費							
	広								
	手保								
13	\体 委	<u>) 険料</u> 託 料							
14		<u> </u>							
15	工事	事請 負 費							
16		材料費							
17		財産購入費							
18		品購入費 補助及び交付金			4,820			5,240	4,640
20	扶	助費			4,020			,240	4,040
21		付 金							
22	補償補	填及び賠償金							
23		利子及び割引料							
24		及び出資金 立 金							
25 26	<u>積</u> 寄	<u>立</u> 金 附 金							
27	公	課費							
28	繰	出 金							
	計				5,650		6	,208	5,580
	特国	庫支出金			0			0	
財	特定財源				0			0	
財源内訳	源を				0			0	
訳		般 財源			5,650		6	5,208	5,580
		計			5,650		6	,208	5,580
袝	輔助率	国							
補		基本額							
		盔 平 韻 €補正・流用∜	Q:4		亚叶加州	连	記		
一八		▼補止 • 流用 0 □予算		,920		区分 区分	D/	名称	金額
		万 三予算		0					
				-					
				=					

流用・充用 予算合計

_						<u> </u>							
I	1. 基本	情報											
	事務事	業	01060104	02010106	事務事	業	. <i>H</i> - H	出荷支援事業				担当部	農林水産部
	コート	,	0100010-	103010106	名	1	-+-µ	1111人1万尹未				担当課	農政畜産課
I	政策	名	03	活力	ある産業の	のまちづ	らくり					グループ	畜産グループ
	施策	名	01	農・材	*・水産業	の振興						電話番号	45-5111
	基本事	業名	01	農林	漁業経営	体へのえ	支援					内線番号	2321
I	予	会計	一般	会計						± **	□ 単年度のみ		
	算	款	06	農林	水産業費					事業 期間	■ 単年度繰返 (開始:	年度 H	18 年度~)
ı	予 算 科 目	項	01	農業	費					7切中	□ 期間限定複数年度	(~)
L	目	目	04	畜産	業費					根拠法令·条例等	霧島市補助金等の種類	及び補助率に	関する要綱
評価区分 標準評価 <mark>評価対象</mark> 1次評価									関連計画				
=													

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do> (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

肉用牛ヘルパー組合と協定を締結した農家へ補助金を交付することにより、畜産農家の高齢化・婦女子化が進む中で子牛出荷に伴う経費や労力の軽減を図る。牛の名義人で65歳以上の輸送手段のない者又は婦女子に対し、出荷にかかる経費の一部を助成する。助成額は出荷する牛1 頭1回に2,000円とする。

※肉用牛ヘルパー組合は、各地域の中核的農家構成されており、高齢者などの作業を補佐している。

Œ) 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	ヘルパー組合への交付件数		件	910	797	718	768	768
1	ヘルパー組合への交付金額		千円	1,820	1,594	1,436	1,536	1,536
ゥ								
(2	2) 事務事業の目的							
_) 対象 誰、何を対象にしているのか)	3 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度
ア	牛の名義人で65歳以上の輸送手段 のない者又は婦女子	65歳以上の農家と婦女子	戸	500	400	400	400	400
1								
ゥ								
_) 意図 ②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度 (目標)
ア	出荷時の負担が軽減される	経営の安定化が図られる農家数	戸	380	272	255	250	240
1								
ゥ								
(3) 上位の基本事業							
_) 基本事業の意図 さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	経営体質が強化される。	認定農業者数	戸	316	307	301	315	315
1								
占								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

輸送手段を持たない、高齢者や婦女子に助成することで活力ある畜産経営の維持を図る。18年4月開始 高齢者や婦女子の方々が、ヘルパー組合の活用により、子牛出荷に係る労力等が軽減され、継続して畜産経営に取り組むことが出来ている。高齢者や婦女子の方々が、ヘルパー組合の活用により、子牛出荷に係る労力等が軽減され、継続して畜産経営に取り組むことが出来るので喜ばれている。

Л	車台	生曲	ωŧ	隹移		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
Ė	777	K A	, U) 1	胜物		丰四	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫支	出金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	方	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	の	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般具	1 源	千円	1,820	1,594	1,436	1,536	1,536
量		剚	業	費		千円	1,820	1,594	1,436	1,536	1,536

5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

ヘルパー組合利用農家数 255戸 ヘルパー組合利用件(頭)数 718件(頭) 補助金交付金額 1,436千円

子牛出荷に係る労力が軽減され、高齢農家及び婦女子の離農を最小限にとどめることができた。

=	事務コー	事業 -ド	01060	10403010106	事務事業名	子	牛出荷	支援事		担扣		部 課	農林犯	
6.	振り	返り <	SEE>							1-		由	及以日	1/王 水
				の目的は、基本事	事業の意図に網	古びついています	か?	安心、維	や婦女子に助 継続して畜産経 とされている。		ことは	、子牛は		労力の面で、 ので、経営体
۸			結びつ	いている				, ,,,	22.17 47 30					
A目的妥当性			間接的	に結びついてい	る									
野				いていない					to the state of the state of			D. A		ata tha tee a Ne
世	2	•税金	を投入し	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ればならない <i>0</i> ですか?	つですか?		当を農業 力の面づ 当である	で、安心、継続	婦女子 して畜	一に助用	成するこ 営に取り	とで、子牛)組むことが	出荷に係る労 出来るので妥
			妥当で											
H			見直す	必要がある				今谷む 様	単加守ス宮齢ま	きめは	ナユσ)	は帯に 低る	労力等による理
	3	成果が	向上する	る余地(可能性)	はありませんか	/ .			を業がなくなり					
			向上す	る余地はかなり	ある			,,,,,						
			向上す	る余地はある程	度ある									
			向上す	る余地はほとん	どない			-table > -	.					- to the total NA
В	4	廃止∙伯	木止の影	/響はありません	か?			事業を別 に取り組	を止・休止する lむことができた	ことで なくなる	高齢者 ることに	より影響	て子が継続し 撃がある。	して畜産経営
B 有 効			影響が	ある										
性			影響が	ほとんどない										
	⑤			†象・意図) 又は₹ ・んか?(市以外の			の事務	類似 合の事	事業がある場 事務事業名等					
			類似の	事業はない				類似の	事業はない					
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる								
	6	·事務事 ·補助金	業の手段など、交	设(やり方)を工夫す 付先に働きかけて	ることで、事業費、市の負担を削減	を削減できません なできませんか?	か?	であり、		後も高	高齢者	や婦女	子が継続し	の1から5分の1 て畜産経営に
			削減で	きない										
C 効			削減で			<u>→</u>) - ++ r	4. ヘ ナル 本文	: b -7	2 12 Mrs	Λ α 4-(1	lile). Eden			
率性	7	さません	か?	とくなり方)を工夫するなる。 なな委託により人作		土に佣り	叨金父 <u>竹</u> 事務	でめる	/こめ月!		地はない。			
		- 収臭 と	削減で		見を削減くとよ	E 70% :								
		_	削減で											
	8		業の内	容が一部の受益				畜産業	を営む全ての、	高齢	者や婦	女子が	対象である	こと、また、費
D 公平	_	<i>Φ1</i> - , ;		担の公平性が	催保されていま	すか?		用の一部	部を助成するも	50) Cd	めること	より、公	半・公正で	`める
性				公正である :必要がある										
_	<u>_</u>													
7.	1次	評価結	果 <f< th=""><th>PLAN>(組織</th><th>決定)</th><th>【参考】前</th><th>年度の改</th><th>革改善の方</th><th>向性≪</th><th></th><th>継</th><th>売</th><th></th><th>»</th></f<>	PLAN>(組織	決定)	【参考】前	年度の改	革改善の方	向性≪		継	売		»
1. 1		务事業 <i>(</i>	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	ŧ	統合		休止	廃止
以刊	等 の	方向性		0										
				対象農家の減少	いにより、予算の)減額を図った。								
革	(2)平成27年度の改 革改善の内容 (取り組むべき課題)													
				高齢農家の離別	臭を防ぐため、 ′	ヘルパー組織の	充実を図	図る。						
		成28年月 以組目標												
8.	2次	評価結	果(担	当部長評価)										
(1)	(主)	多事業の	おおり	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小	連携	4	統合		休止	廃止
		向性	→			,,,,,,,	.,,,							
						1				1				
(2))総	評												

事務事第コード	0106010403010106	事 務事業名		子牛	出荷支援事業		担当部 担当課	
9. コスト	の推移							
	(単位:千円)	平成26年	度 (決	算)	平成27年度	(当初予算)		平成28年度 (計画)
1 報	酬							
2 給	料							
3職4共	員 手 当 等 済 費							
	害補償費							
7 賃	金							
8 報	賞 費							
9 旅 10 交								
11 需	用費			0			0	0
	消耗品費							
-	燃 料 費 食 糧 費							
	印刷製本費							
-	光熱水費							
	修 繕 料 期 材 料 費							
-	飼料費							
	医薬材料費							
12 役	務 費通信運搬費			0			0	0
-	世后建版 <u>食</u> 広 告 料							
	手 数 料							
	保険料							
13 委 14 使月	託 料 用料及び賃借料							
	事請負費							
16 原	材料費							
	有財産購入費品 購入費							
	四 四 月 八 貝 登金補助及び交付金			1,436		1	,536	1,536
20 扶	助費							
21 貸 22 補償	付 金 質補填及び賠償金							
	是無							
	資及び出資金							
25 積	立 金							
26 寄 27 公	附 金 課 費							
28 繰	出 金							
計				1,436		1	,536	1,536
哲	国庫支出金県 支出金			0			0	
源 財	地 方 債			0			0	
内訳	その他			0			0	
	般 財 源 計			1,436 1,436			,536 ,536	1,536 1,536
1++ □1 -	雨			1,100			,500	1,550
補助型	県							
補助		la see				_		
	- 度補正 · 流用 ጳ <mark>• 初予算</mark>		160		度特定財源内認 区分		 名称	金額
	正予算	2,	0		E-/J		H TO	业份
			-		+			
			_					
			\dashv					
	用・充用 算合計	9	160			合 計		0
J'	AL HI HI	۷,				H H1		0

-	1. 基本	青報											
	事務事	業	0106010	303010106	主	学 夕	大类坛	長興会運営	4. 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	华		担当部	農林水産部
	그ㅡト	*	0100010	0.3010100	尹 孙尹 2	*1	术未 加	《兴云连音》	又1反于	未		担当課	農政畜産課
	政策	內	03	活力	ある産業の	りまち・	づくり					グループ	農政第1グループ
	施策律	各	01	農•ホ	木・水産業	の振興	Ĺ					電話番号	45-5111
	基本事業	業名	01	農林	漁業経営	体への	支援					内線番号	2311
	予	会計	一般	会計						± **	□ 単年度のみ		
	算	款	06	農林	水産業費					事業 期間	■ 単年度繰返 (開始	年度 一	不明)
	予 算 科 目	項	01	農業	費					初申	□ 期間限定複数年度	(~)
	Ħ	目	03	農業	振興費					根拠法令·条例等	霧島市補助金等の種類	及び補助率に関	引する要綱
	評価区	分		標準部	平価	評価	対象	2次評	価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

合併以前より旧市町毎に茶の生産者組織である茶業振興会が組織されていたが、霧島市の誕生に伴い平成19年3月にこれらの組織を統一して 霧島市茶業振興会が発足した。

振興会では、技術講習や先進地研修等を通じて高品質な茶づくりと「霧島茶」のブランド確立を目的に活動しており、市が活動支援のため費用の

振英芸(は、3、Wiffiel で光速地が16号を通じて同品質なポープリント線面ボープファンド線立を目的に活動している。 一部を助成している。 霧島市茶業振興会の他に牧園町銘茶研究会があった、この研究会は旧牧園町のお茶の品質向上と出品に向けた独自の研修を行ってきたが、一定の技術向上も図られたことから、平成25年度において牧園町銘茶研究会を霧島市茶業振興会の下部組織とした。 農政畜産課は事務局として振興会の運営に関わり、生産者と共に「霧島茶」のプランド確立に向けた活動を行っている。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	補助交付団体数		団体	2	1	1	1	1
1	研修会開催回数		口	27	18	18	20	20
ゥ								
(2	2) 事務事業の目的							
	対象 推、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	霧島市茶業振興会員	会員数	人	152	145	145	131	131
1								
ゥ								
	意図 ②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	生産技術が向上する	研修参加者数/会員数	%	50	50	50	60	60
1								
ゥ								
(3	B)上位の基本事業			,				
_	基本事業の意図 ぶらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	経営体質が強化される。	認定農業者数	戸	316	307	301	315	315
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

昭和40年代に茶生産者の技術向上等を目的に各市町・郡・県段階でも生産者団体が設立されたことをうけ、運営に対する助成を始めた。ペットボトル茶の消費が順調に推移している一方でリーフ茶の消費量が全国的に低迷している。合併後、霧島市茶業振興会が設立され、全体的な事業として、霧島ブランド銘柄確立に向けた取り組みをしている。霧島茶の品質向上のための研修会等を実施しており、今後も継続してほしいとの要望がある。

4	車道	生物	ທ‡	推移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	7.7			E15			+12	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫ま	を出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	ブ	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0	0	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	1,081	1,081	1,081	1,081	1,081
量		事	業	費			千円	1,081	1,081	1,081	1,081	1,081

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組)

(2)平成26年度の成果

霧島茶のPRを自主的におこなう「霧島茶おもてなし倶楽部」が設立され 霧島茶荒茶求評会、仕上茶研修会、出品茶に関する活動を行った。

技術講習や先進地研修等を通じて高品質な茶づくりと「霧島茶」のブランド確立を目的に活動しながら、会員相互間の技術向上にも寄与した。

哥	務	事業 -ド	01060	10303010106	事 務 事業名	茶業振	.興会運	営支援	事業		<u>当</u>		豊林水 豊政畜	
6.			SEE>	•	于 木石					1년	理目		長以田	生味
	_			の目的は、基本	事業の意図に終	古びついています	th?		方茶業振興会員				ことによ	って、経営体
	•			いている	1- >/C -> /C/ E-11-	10 27 27 017		負の短	化に結び付く。					
A				いている ニーニー]に結びついてい	 ۱۵									
日的				いていない	~~ <u>~</u>									
A目的妥当性	<u> </u>			ぜ市が行わなけ	ればならないの	Dですか?			勿のブランド化					
性	(2)	•税金	を投入し	て達成する目的	ですか?			を茶業	けではなく行政 長興会が行っ	こいるこ	レを考し			
			妥当で					て補助	することは妥当	である	0			
			見直す	がある				太 紫‡	長興会の一本化	レルで	キたが	群体の関係	2十:江5	さん亦うステレ
	3	成果が	「向上す	る余地(可能性)	はありませんか	١?		によって	、振興会会員 確立が期待で	の技術	5.7C.7C. 行統一化	ができ、全	国に向	けた茶販売
			向上す	る余地はかなり	ある			11 210-21	79111	C 000				
			向上す	る余地はある程	≧度ある ─────									
			向上す	る余地はほとん	どない			/I	ta mine (a)		>>/// I-b	-1.7.7.7.5		
₽	4	廃止∙	休止の影	/響はありません	か?			他の著	を産地に比べ競	競争力:	が維持で	できなくなる	00	
B有効性			影響が	ずある										
性			影響が	· ほとんどない										
	(5)	類似の	目的(対	対象・意図) 又は	形態(イベントや)	啓発等)を持つ他	の事務	類似合の	事業がある場 事務事業名等					
		-		事業はない	2 T 170 X 180 Y 18	000211307)事業はない					
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
			類似の		合又は連携で	 きる								
	6	-事務事	業の手段	<mark>役(やり方)を工夫で</mark> 付先に働きかけて	することで、事業費	貴を削減できません	いか?		会の活動を限定 は可能である。		いすること	で全体的	な事業	費削減をおこ
		一 一		きない	、中の貝担を削減	以 ぐさませんか?		اعاردا	より配くめる。					
С			削減で											
C効率性	_			殳(やり方)を工夫す	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減	現状で	では市が事務局	引機能	を担って	おり、生産	者やJA	などがこれを
性	7	できませ・職員以		芯や委託により人作	井費を削減できま	せんか?	3	担うこと 理手続	が可能であれ きに係る事務師	は、補助	助金甲語 削減する	清から支出 多事が可能。	に至る	までの事務処
			削減で	きない										
			削減で	きる										
D	8			容が一部の受益 負担の公平性が?			1	ハえる。	を生産者のほど 振興会会員は	は会費を	と負担し	ており、補」	助金が	辰興会の運
公平性				公正である		<u> </u>	,	営費全	体の8%程度で	であって	て他の補	助金とも公	・平性が	保たれる。
性			見直す	 必要がある										
7.	1次	評価結	男 く!	PLAN>(組織	(決定)					dele III I	1-4-4-4		.t.	
							年度の改革					・コスト館		≫
		务事業の 方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト約		連携 	ń	統合	休山	-	廃止 ————
					+ /x + . 	 振興会会員の技	O		- 人団は古は -	<u> </u>	キルグ	<i>n™+++</i> .□	1+15-2-	
革引	善	t27年月 の内容 むべき		また、茶業振興できないか協議	会の一本化は							を担うことが		
(3)	平月 生• 取	뷫28年月 又組目樹	度の方票	支援のため費用	目の一部を助成	地研修等を通じ ける。 長興会の運営に								
	0 2/m/	Su tar Ad	田 /4	사 세 트 등교 (교)										
8.	2 <i>3</i> X	評価結	果 (社	当部長評価)										par 1
		务事業の 向性	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト糸	宿小	連携	ń	統合	休山		廃止
~ -														
(2)	総	評												
				I										

事務	事業 ード	0106010303010106	事 務事業名		茶	業振り	興会運営支援事	業		3当部 3当課		木水産部 牧畜産課
9. ⊐	ストの	推移										
		(単位:千円)	平成26年	F度 ((決算)		平成27年度	医 (当初予算))	平	成28年度	(計画)
1	報											
2	給	料										
3		負 手 当 等										
4	共	済 費										
5		子補 償 費										
7 8	<u>賃</u> 報	<u>金</u> 償 費										
9	旅	<u>R</u>										
10	交											
11	需	用 費				0			0			0
	_	耗品費										
	燃											
	食印	糧 費 刷製本費										
		熱水費										
	修											
		材料費										
	飼											
10		薬材料費				0			0			
12	役通	務 費 信運搬費				0			0			0
	広											
	手											
	保											
13	委	託 料										
14		料及び賃借料										
15 16		事請 負 費 <u></u> 材 料 費										
17		M 科 頁 財産購入費										
18		<u> </u>										
19	負担金	補助及び交付金]	1,081		1	,081			1,081
20	扶	助費										
21		付金										
22		i填及び賠償金 利子及び割引料										
24		及び出資金										
25	積	立 金										
26	寄	附 金										
27	公	課費										
28	繰	出 金				1 001			001			1 001
	計	庫支出金				1,081 0]	0,081			1,081
F.	特定	支出金				0			0			
財源内訳	類地	庫支出金 支出金 方債 の他				0			0			
内即	•					0			0			
		般 財源				1,081			,081			1,081
		計			1	1,081		1	,081			1,081
補	亅	国県										
補	助	基本額										
		<u>-</u> €補正・流用も	大況		平月	【26年	度特定財源内記	R				
.,,,,,	当初]予算		,081	. 79		区分	•	名称			金額
	補正	予算		0								
				\dashv								
				_								
				\dashv								
				_								
				\dashv								
	流用	・充用										
		合計	1	,081				合 計				0

1. 基本	情報										
事務事	業	01060103	102010107	主	***	典材料	技術員連絡会運営	· 古怪車業		担当部	農林水産部
<u>П</u>	'	01000103	03010101	尹孙尹	木口	辰/N1)	(刑員) 医帕云连吾	义1次 事未		担当課	農政畜産課
政策:	名	03	活力	ある産業	のまち・	づくり				グループ	農政第2グループ
施策	名	01	農•材	・ 水産業	の振興	Į				電話番号	45-5111
基本事	業名									内線番号	2341
予	会計	一般	会計					+ *	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林	水産業費				事業期間	■ 単年度繰返 (開始年	F度 一	不明 年度~)
予 算 科 目	項	01	農業	費				初申	□ 期間限定複数年度(~)
目	目	03	農業	振興費				根拠法令·条例等	霧島市補助金等の種類及	び補助率に関	する要綱
評価区	分	7	標準訊	F 価	評価	対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

- 農林技術員連絡会に対し、補助金を交付し、霧島市の農林水産業の推進を図る。 《会員》 JA・森林組合・県・市等の農林業関係機関職員 217名 《対象活動》農林水産業関係の会議の開催・参加、研修会等の実施・参加等により会員の資質向上を図り、業務に反映させる。 ・主となる活動の単位は各支部ごとの各部会単位。 (支部)国分・隼人、溝辺、横川、牧園、霧島、福山(部会)農産・生活、林務水産、畜産、農地など

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	補助金交付団体		団体	1	1	1	1	1
1	研修会の開催回数		回	25	24	24	23	25
ゥ								
(2	2) 事務事業の目的						'	
_	対象 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	霧島市農林技術員連絡会会員	霧島市農林技術員連絡会会員数	人	188	220	217	230	230
1								
ゥ								
_	意図 ②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	資質が向上する	研修会等に参加した実会員数/会員数	%	87	90	90	90	90
1								
ゥ								
(3	3) 上位の基本事業							
_	基本事業の意図 ならにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度 (目標)
ア	経営体質が強化される。	認定農業者数	戸	316	307	301	315	315
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

農林業に関する機関の職員の連携と資質向上を目的に昭和40~50年代に各市町郡・県単位でも設立され、支援を行うこととなった。研修会の回数は減少しているものの、各支部・部会で充実した内容で行われており、会員の資質向上に繋がっている。

4.	事	类費	のŧ	隹移			単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度 (計画)
			玉	庫3	支 出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地 方 債			債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	その他			他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	300	300	300	285	285
量		哥	業	費			千円	300	300	300	285	285

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組)

|(2)平成26年度の成果

į		多事業 ロード	01060	10303010107	事務事業名	農林技術員	連絡会	·運営:	支援事業	担担	当当	部課		水産部 畜産課
6.			<see></see>	>	77.1					120	理	由	及以日	当 连 体
Г	П				事業の意図に終	昔びついていますが			JA等の関係様 、経営体の支					術の向上を図
	Ľ		結びつ	いている			·	عاداه	、胜百件少久	1及1〜テ	K11-121	こいろに		
A	H			かに結びついてい	 \る									
的	H			いていない										
目的妥当性	C	·こ(の事業をな	ぜ市が行わなけ	ればならないの	つですか?	1	技術員:	連絡会活動、	会員の)資質	句上と	連携強化を行	すうことで農業
1生	_	- 1元		て達成する目的	ですか?		3	辰興を	図るので公共	対チす	るべき	らところ	である。	
	┝			:める ⁻ 必要がある										
Н	Œ	_			4+11+11/4	. 0	2	各支部	・部会において	て、先i	生地研	修や会	会議等の開催	が積極的に行
	()			る余地(可能性)		, t	ž	われて	おり、会員の資	質向.	上が図	られて	いる。	
	L			る余地はかなり										
	L			る余地はある程										
	_			る余地はほとん]	事務事:	業を廃止した!	場合は	事業	豊の減.	少に伴い農材	林技術連絡会
B 有 効	(4	上)廃山	-・休止の景	ど響はありません	か?			が活動だ	が衰退し関係	機関と	の連携	考などに	こ影響が及ぶ	可能性がある
効性	L		影響が	、ある										
1	L			「ほとんどない										
	E	類似 事業	はありませ	対象・意図) 又は けんか?(市以外の	形態(イベントやを の主体が実施する	啓発等)を持つ他の ものを含む。))事務	類似 合の	事業がある場 事務事業名等					
			類似の	事業はない										
	L		類似σ	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
	L		類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる								
	Œ) · 事	務事業の手段 助金など、交	役(やり方)を工夫で 付先に働きかけて	することで、事業費、市の負担を削減	gを削減できませんか ずできませんか?	7	る余地に	において、活き はほとんどない	いが、石				
	r		削減で	きない			7	補助金	の額を減額す	る。				
Ç	r		削減で	: :きる										
C効率性	C	・事 7)できる	務事業の手具 ませんか?	设(やり方)を工夫で	することで、人件費	と (延べ業務時間)を	削減	削減す	る余地はない。	·				
吐		-職	員以外の対応	なや委託により人作	井費を削減できま	せんか?								
	L			きない										
L	L	= 7			**=	hu / / o		4日は	食費を負担し	ア江南	b1 7+	>h /\	可料けた用。	キカテロス
밌	(8	多また	等業の内に、受益者負	容が一部の受益 負担の公平性が	確保されていま	すか?	-	云貝は.	及其を貝担し	(伯男	JU CA	99, X	十江は唯体	240 CV 1/200
D公平性	L		公平•	公正である										
ı±			見直す	必要がある										
7.	12	欠評価	結果 <	PLAN>(組稿	決定)	【参考】前年	度の改革	改善の方	向性≪		報	続		>
(1) 重	終事	業の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト約	宿小	連携		統合		休止	廃止
		の方向		0			0							
				会員数や研修: 平成27年度の	L 会が減少してき	L L Tいるので、積極的	的に指導	尊する。	または、部会	同士の	統合	も視野	に入れて考え	とてみる。
(2) 平	成27年	手度の改	平成27年度の	開助金の領で3	70ルツトリる。								
		善の内 組むべ	容 き課題)											
				会員数や研修	会が増加してい	けるように行動を	図る。							
	٠.													
向') Y 性・	100 28 2 取組目	手度の方 目標											
				<u> </u>										
8.	2	欠評価	結果(推	当部長評価)										
			業の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト約	宿小	連携		統合		休止	廃止
改善	善ス	方向性												
						· '				•				
, -	\ A.	. =-												
(2)稅	》 評												

事務	事業一ド	0106010303010107	事 務 事業名		農林技術	所員 证	車絡会運営支援	事業		旦当部 旦当課		木水産部 牧畜産課
9. ⊐	ストの	推移										
		(単位:千円)	平成26年	F度	(決算)		平成27年度	(当初予算)		平	成28年度	(計画)
1	報	州										
	給	料										
		手当等				_						
	共災事	済 費 『補 償 費				\dashv						
	<u>炎</u> 賃	金				\dashv						
	報	償 費										
	旅	費				\Box						
	<u>交</u> 需	<u>際</u> 費 用費				0			0			0
''		<u>用 复</u> 耗品費				-			- 0			0
	燃											
	食											
	_	刷製本費				_						
	光修	熱 水 費 繕 料				_						
		材料費				+						
	飼	料 費										
		薬材料費				\bot						
12	役區	務 費信運搬費				0			0			0
	坦広											
	手					1						
	保											
	委	託 料				4						
		科及び賃借料 計 負 費				\dashv						
		材料費				+						
		財産購入費										
18	備品	購入費										
		補助及び交付金			3	300			285			285
	扶 貸	助 費 付 金				\dashv						
		<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>				1						
		利子及び割引料										
		及び出資金				4						
	積宏	立 金				\dashv						
	<u>寄</u> 公	附 金 課 費				\dashv						
	 繰	出金				\dashv						
	計				3	300			285			285
4	持国	庫支出金				0			0			
財源	定 県 耕	庫支出金支出金方債の他				0			0			
財源内訳	源を	の他				0			0			
訳		般 財源				300			285			285
		計			3	300			285			285
補	助率	国県				\dashv						
補	助	基本額										
		€補正・流用も	大況		平成2	6年						
,~~	当初]予算		300	. 1342		区分		名称			金額
	補正	予算		0								
					<u> </u>							
				-								
					<u> </u>							
		・充用										
	予算	[合計		300				合 計				0

				ττ -1 5	07年年	事 変事業長	YELIS. L	(T-\$	M - 15 25 (1)			
1. 基本	情報			平风	27年度	事務事業振	区りンート	・ (平成26年度 実施事	業の振返り)			
事務事		01060104	03010107	事務事	美 畜産基	基盤再編総合整備	事業		担当部担当課	農林水産部農政畜産課		
政策:	名	03	活力	ある産業の	まちづくり				グループ	畜産グループ		
施策:	名	01	農•ホ	木・水産業の	振興				電話番号	45-5111		
基本事		01	農林	漁業経営体	への支援				内線番号	2321		
予 会計 一般会計 □ 単年度のみ 事業 □ 単年度のみ												
算	款	06	農林	水産業費			事未 期間	□ 単年度繰返 (開始:	年度			
予算科目	項	01	農業	費			MIHI	■ 期間限定複数年度	(H25	~ H28)		
目	目	04	畜産	業費			根拠法令・条例等	畜産担い手育成総合整備	備事業実施要	綱		
評価区	☑分	1	標準部	平価	平価対象	1次評価	関連計画					
2. 事務	事業	の概	要・目	的-指標	<do></do>							
(1)事	務事	業の	概要(具体的なや	の方、手順	(、詳細を記述)						
飼料生産	1科生産基盤の整備と農業用施設整備を一体的に実施することにより、新たな畜産主産地の形成に地域ぐるみで取り組み飼料生産基盤に立脚した担い手の育成を											
ことができ	税局の指導により公社と市と事業参加者が三者契約を行うようになったが、市を通じて負担金を納入することで、事業参加者の税制度の負担を分散(原価償却)する とができる。											
【事業無悪機要施・事業メニュ ・事業メニュ ・補助率	主体	鹿 草 申 国	児島県 地造成 請時打:50%	県地域振興2 戊、畜舎・堆I 合せ→工程 県:22.5%	社 □舎設置、農 打合せ→契約 事業参加者	機具等導入 約→着工→竣工→検査 :27.5%	立会→支払事	務				

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度 (見込)
ア	補助事業対象農家		戸	()Clip()	2	1	1	2
1	農家負担金		円		7,031,800	20,544,800	8,264,000	20,000,000
ゥ								
(2	2) 事務事業の目的							
_	対象 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	事業に取り組む農家	事業に取り組む農家	戸		2	1	2	2
1								
ゥ								
	・ 意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度 (目標)
ア	安定した経営を行う	事業に取り組む農家	戸		2	1	2	2
1								
ゥ								
(3	3) 上位の基本事業							
6	基本事業の意図 ならにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	経営体質が強化される	認定農家数	戸	316	307	301	315	315
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等	
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等	£
畜産経営者の高齢化と後継者不足により、子 牛頭数が年々減少していることに加え、EPAI よる牛肉の段階的な関税減率やTPPへの参加 に対して先行きが不安である。 規模拡大を図り、経営基盤の強化を目指すた め、事業等のさらなる支援をお願いしたい。	JE

1	*) (1)	ω±	<u></u> 			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
4.	777	表現	,V) 1	生物			半四	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫ま	と出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地方債			債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	その他			他	千円	0	5,289	20,545	8,264	41,116
投入量			一般財源			源	千円	0	0	0	0	0
量		剚	業	費			千円	0	5,289	20,545	8,264	41,116
ľ												

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成26年度の成果

<左記の実績(取組)による成果を記載>

事業実施者 1件 整備内容 堆肥舎、畜舎、飼料倉庫、機械 農家負担額 20,544,800円

堆肥舎等の整備を行ったことで、経営基盤の強化が図られた。

튁	事務・	事業 ード	01060	010403010107	事 務 事業名	畜産基盤	路再編:	総合整	備事業		<u>当</u> 部 当 課		<u>水産部</u> 畜産課
6.	振り	返り <	SEE>	>						-	理由		<u> </u>
	_				事業の意図に網	きびついています	か?	一体的	に整備すること	で、経	営規模の	の拡大及び経営	と農業用施設を 営の安定が図ら
			結びつ	いている				11000	から、経営体質	良いが虫	1616年日 (パラ く。	
A			間接的	りに結びついてい	いる								
的平			結びつ	いていない									
A目的妥当性	2	·この事 ·税金	事業をな を投入し	ぜ市が行わなけて達成する目的	ればならない <i>の</i> ですか?)ですか?		業参加	者と三者契約で				ものについて事
			妥当で	ごある				がある。					
			見直す	必要がある									
	3	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんか	\ ?		畜産農	家が事業に取	り組む	ことで、音	畜産振興が図ら	かれる。
			向上す	「る余地はかなり	ある								
			向上す	る余地はある程	≧度ある								
			向上す	る余地はほとん	どない								
B	4	廃止∙ℓ	木止の景	影響はありません	か?			本事業なくなる	を廃止・休止すため、影響があ	つれば、 ある。	畜産農	家が事業に取	0組むことができ
B有効性		•	影響が	ぶある									
性			影響が	 バほとんどない									
	⑤			対象・意図) 又は せんか?(市以外の		客発等)を持つ他(ものを含む。)	の事務		事業がある場 事務事業名等				
		-	類似σ	事業はない				類似の	事業は無い。	I.			
			類似の		統合又は連携	できない							
			類似の)事業があり、統	合又は連携でき	 きる							
	6	·事務事 ·補助金				を削減できません なできませんか?	か?	補助金	など現時点での	の市の	負担は無	無いため削減で	きない。
		-	削減で	きない									
C 効			削減で	 きる									
率		事務事	業の手具	段(やり方)を工夫で	することで、人件費	(延べ業務時間)を	上削減で	削減で	きる要素はない	١, ٥			
性	7	さません	か?	芯や委託により人作									
		-		ごきない 									
┝		古改古	削減で	きる <mark>容が一部の受益</mark>	・キー信 - そい-	F4/40			る農家が取り組	T.かスa	で公立	でなる	
D 公	8			各が一部の受益				和主 9	の辰水が収り配	10700) (AT	(8),00	
公平性			公平・	公正である									
			見直す	「必要がある									
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組箱	決定)	【参考】前:	年度の改革	革改善の方	向性≪		継続		>
(1)	事》	務事業の	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	 連携	ŕ	 统合	休止	廃止
		方向性		0									
				国庫事業であり		 地域振興公社 [~]	であるた	 め、市て	で改革改善の余	 地は	無いが、	▲ 計画段階で農績	■ 家との協議をし
革司	收善	成27年月 の内容 Iむべき		ながら事業費の	列制につなけ、	~~~.							
		戓28年月 又組目標)、事業主体がり 抑制につなげ	県地域振興公社でいく。	であるた	め、市で	で改革改善の余	き地は 発	無いが、	計画段階で農業	家との協議をし
8	2次 2次	評価結	果 (非	3当部長評価)									
				継続	W11-4-31-44			65 J	\±#		** ^	休止	廃止
		務事業 <i>0</i> 向性	の改革	ባየር፡ ባንቴ	やり方改善	コスト拡充	コスト	・稲小	連携	ň	流合	N.T.	
													1
(2))総	評											

	多事業 一ド	0106010403010107	事 務事業名		畜産基	盤再	編総合整備事	業		3当部 3当課		*水産部 対畜産課
9. =	コストの	推移								·		
		(単位:千円)	平成264	主度(決質)		平成27年度	(当初予算))	平成	28年度	(計画)
1	報	酬	1 /2020	1/2 \	() (3F)		1 19027 1 190	(10) 1 97/		1 750	20 1 /2	ТИТИ
2	+ X 給	料				+						
3		手当等										
4	共	済 費										
5		子補 償 費				-						
7 8	<u>賃</u> 報	<u>金</u> 償 費				+						
9	+\ 旅	費				+						
10	交	際費										
11	需	用 費				0			0			0
		耗品費				_						
	燃食					+						
		 刷製本費										
		熱水費										
	修	繕 料										
	賄											
	飼					\perp						
12	 役	薬材料費 務 費				0			0			0
'-		信運搬費										0
	広											
	手											
	保					4						
13	委	託 料 料及び賃借料				+						
15		事請負費				+						
16		材料費										
17	公有	財産購入費										
18		品購入費										
19		補助及び交付金			20,54	15		8	,264			41,116
20	<u>扶</u> 貸	<u>助</u> 费				-						
22		並 対算及び賠償金										
23		利子及び割引料										
24		及び出資金										
25	積	立 金				\perp						
26	寄	附 金 課 費				-						
27 28	<u>公</u> 繰	課 費出 金				+						
	計				20,54	15		8	,264			41,116
	Œ	庫支出金				0			0			
財	特定財源					0			0			
財源内訳	財児を				00.5	0			0			41 110
訳	ر	の 他 般 財 源			20,54	0		8	0,264			41,116
		計			20,54	_		8	,264			41,116
	補助率	国										,
		県										
補		基本額										
平成		₹補正·流用∜			平成26		[特定財源内]	5				0.47
		可予算 三予算		,939 500	その他	X	分	推入(畜産基盤再	名称	紫 名 扣		金額 20,545
		<u>- ア昇</u> E第1号		<mark>,590</mark> ,590	ての他		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	#八(宙性基 <u>區</u> ‡	分酬 争	未貝担宝)	+	20,343
	11111	- ×12 · 3		,,,,,,								
				_	-							
				- 1	i i		I				- 1	

20,545

流用・充用 予算合計

平成	27年度	事	務	事業振過	返りシー	- - (3	平成26年度	実施事業(0振返り)		
1. 基本情報	alle								+0 1/ 47	## 44- 1. 75-4	- 7
事務事業 0106010403010108 事務事 コード 2	業 畜産総	圣営活	性	化資金利	子補給事	業			<u>担当部</u> 担当課	農林水産語農政畜産語	
政策名 03 活力ある産業の	きちづくり								<u>担ヨ昧</u> グループ	長以留生で	
施策名 01 農·林·水産業の									プループー 電話番号	45-5111	
基本事業名 01 農林漁業経営体								Į.	内線番号	2321	
<mark>- 子 会計</mark> 一般会計					± **		単年度のみ	<i>'</i> +			
算 款 06 農林水産業費					事業 期間	-	単年度繰過	▼ (開始年月	度 H	17 年度	~)
予算 表訂 一般会計 算期 06 農林水産業費 科項 01 農業費 日日 04 本産業費						会压	期間限定	复数年度(・ 	~ 医附黑綱 章)
- 日 04 宙座未貨	== /== +1 #=		4 3/1		根拠法令・条件		栓呂維持第 受維持堅急	· 支授咨全系	子補給全2	た か 付 更 紹	タ四 ロ 田
	評価対象		1次	(評価	関連計	쁴					
2. 事務事業の概要・目的・指標											
(1)事務事業の概要(具体的な	やり方、手順	、詳細	を記	記述)							
【大家畜経営活性化資金利子補給】 霧島市補助金等の種類及び補助率	※に関する要	綱に基	まづ	き借受者に	対して利	子補給を	行い、農家	の資金調達	を安易にす	·る。	
								,,	,	- 0	
【畜産経営維持緊急支援資金利子補 霧島市補助金等の種類及び補助率	掃掃↓ 図に関する要	綱に基	基づ	き借受者に	対して利	子補給を	行い、農家	の資金調達	を安易にす	る。	
※利子補給にあたり、あいら農業協	同組合レ利	乙油丝	>刧:	約お締結しっ	ついる						
※作り 1 価値にめがこり、めい の展来励	1円が正日 こかり	1 1111111	17()	かりる かけかけい	~ V "~Jo						
① 活動指標(事務事業の活動量)					単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	,						(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア 利子補給額						千円	66	95	97	92	88
1											
<mark>호</mark>											
(2) 事務事業の目的											
② 対象	③ 対	象指	標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(誰、何を対象にしているのか)	(左記	記②対	象0	の大きさを表	す指標)	+12	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア 大家畜経営活性化資金借入者	交付者:肉	用牛農	家			戸	2	1	2	2	2
イ 畜産経営維持緊急支援資金借入者	·	田生農				戸	1	2	2	2	2
	Z174 . M.	/11 1 /1500	<i>></i>			, .	1				
<mark>ㅎ</mark>											
4 意図	⑤ 成	果指	標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(②対象をどうしたいのか)	(左記	(4)意图	図 の	達成度を表	す指標)	丰四	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア資金調達が容易になる	融資農家					戸	3	3	4	4	4
7											
1											
<mark>ㅎ</mark>											
(3) 上位の基本事業											
⑥ 基本事業の意図	⑦基	本事	業0	の成果指標	Į.	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(さらにどのような成果に結びつくのか)	(左記	6意图	図 の	達成度を表	す指標)	丰四	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア 経営体質が強化される。	認定農業者					人	316	307	301	315	315
1											
<mark>ゥ</mark>											
3. 事務事業の環境変化・市民意	見等						24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会など		4. 4	1	養の推移		単位	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
_国県の制度の事業実施に伴い、平				国庫3	と出金	千円	0	0	0	0	0
及び平成23年度より利子補給を実施 農業の生産力の維持増進や 農業	している。 経営の改	3	<u>.</u>	財県支	出 金	千円	0	0	0	0	0
農業の生産力の維持増進や、農業善等に必要な資金を融資(利子補給)すること	3	型 2	源 + +	責	千円	0	0	0	0	0
により、農業経営の安定が図られてい	い る。	1	費	内にんり) 他	千円	0	0	0	0	0
		投			財 源	千円	66	95	96	92	88
		投 入 量 _		事業費		千円	66	95	96	92	88
		=									
			r								
			r								
5. 平成26年度の実績及び成果											
(1)平成26年度の実績(取組)	< 取組办案≠3	か信祭り	- j- jo	具体的に記載>	(2)	区成立の名		/ +:=	の実績(取組)	による成里なき	哉ゝ
既存資金借入者4件	→ 取雇口14Fでき	奴胆寺に	-A9:	会体的に配収と			+及の成末 を行った畜産				
既存實金僧八名 4件 利子補給額 96,004円						が図られば		:反水 ` 剂 '	. THI#□℃11°	رارسد لاسط	ハ、性呂の
1					1						

Juli.	事務等	事業 -ド	01060	10403010108	事 務事業名	畜産経営活	性化資	金利日	子補給事業	担当担当			水産部 畜産課				
6.	振り	返り <	(SEE>	•							理由						
	1			の目的は、基本事	事業の意図に新	びついています	か?	達が容	農家が本資金 易になり、生産 定化が図られ	[基盤の]	鱼化や紹	Y 営規模拡大	る)ことで資金調 を行うことで経 び付く。				
A			結びつ	いている													
鼠			間接的]に結びついてい	る												
目的妥当性			結びつ	いていない													
当性	2	•税金を	投入し	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ればならないの ですか?)ですか?			D制度に関連し あるため、市か				しての利子補給				
			妥当で														
			見直す	必要がある				三十八~1 44	用 ナル ーゴ	フキャルナ	/二と手型	4	bo TI will()#) +				
	3			る余地(可能性)		' ?			会を活用する音				知及び推進に)安定化が促進				
				る余地はかなり													
				る余地はある程													
			向上す	る余地はほとん	どない												
B有効	4	廃止∙位	木止の影	/響はありません	か?			融資機とはでき		給契約に	より、平	成47年度まで	では廃止するこ				
効性			影響が	ある													
'-			影響が	ほとんどない													
	⑤	類似の事業は	目的(対ありませ	†象∙意図)又は ∫ ∙んか?(市以外の	杉態(イベントや原)主体が実施する	啓発等)を持つ他 ものを含む。)		合の	事業がある場 事務事業名等								
			類似の	事業はない					種類により事業 きない。	業目的や	利子補給	給率が異なる	ことから、統合・				
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない											
			類似の	事業があり、統	合又は連携でき	きる											
	6	·事務事 ·補助金	業の手段など、交	设(やり方)を工夫す 付先に働きかけて	ることで、事業費、市の負担を削減	を削減できません なできませんか?	/か?	融資機関との契約で貸付金に対しての利子補給を実施していることより削減できない。(債務負担行為)									
			削減で	きない													
C			削減で	きる													
C効率:		・事務事	業の手段	设(やり方)を工夫す	ることで、人件費	(延べ業務時間)	を削減で	で 国・県の制度に関連した事業であり、業務の削減はできない。									
性	7	きません ・職員以	か? 外の対応	なや委託により人作	‡費を削減できま	せんか?											
			削減で	きない													
			削減で	きる													
Ď	8	事務事また、	業の内容 受益者負	容が一部の受益 担の公平性がで	者に偏っている 確保されていま	₹せんか? すか?			施要綱等に基 利子補給であ				し付けた融資機				
D 公平			公平∙么	公正である													
性			見直す	必要がある													
7	1 1/25	表示 / 正 4 ±	田 ノ ロ	PLAN>(組織	and a												
٧.	100	aT !!! 하다	* \		(大)	【参考】前	年度の改革	改善のプ	向性≪		継続		>				
		务事業の	D改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統	合	休止	廃止				
改善	いっこう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう しゅうしゅ しゅうしゅ しゅう しゅうしゅう しゅう	方向性		0													
				利子補給なので	で改革改善なし)	l										
(0)	. ज ⊢	サロフケーロ	±														
革司	女善(成27年度 の内容															
(取	り組	むべき	課題)														
				借入希望者があ	らった場合、融資	資機関等と連携	して適切	な事業	実施を行う。								
(0)		± 0 0 F F	- ~ -														
向性	平 生•取	成28年度 双組目標	をの方し														
0	o Ykz	評価結	用	と と と と と と と と と と に と に と に り と り と り													
ο.	- X	計画特	术(担														
		务事業0	D改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統	合	休止	廃止				
改善	5万[向性															
					I		·		I	1			1				
(2)	総	評															
				l													

事務事美コード	0106010403010108	事 務事業名	Ē	畜産経営活性	生化資金利子	補給事業	担当担当		農林水産部 農政畜産課	
). コスト	の推移									
	(単位:千円)	平成26年	度()	夬算)	平成27年	度 (当初予算	.)	平成28	3年度 (計画)	
1 報										
2 給	料									
	員 手 当 等									
4 共										
	害補償費									
7 <u>賃</u> 8 報	<u>金</u> 償 費						-			
9 旅							_			
· <u>////</u> 10 交	際費									
11 需	用 費			0			0			0
	消耗品費									
-	燃料費									
	食 糧 費 印刷製本費									
	光熱水費									
-	修繕料									
	賄 材 料 費									
	飼料費									
	医薬材料費 務 費									^
12 役 「	務費 通信運搬費			0			0			0
	広告料						-+			
	手数料									
	保 険 料									
13 委										
	用料及び賃借料									
15 工 16 原	事 請 負 費 材 料 費									
	品購入費									
19 負担	旦金補助及び交付金			96			92			88
20 扶										
21 貸	付金									
	賞補填及び賠償金 量金利子及び割引料						+			
	資及び出資金									
25 積										
26 寄	附 金									
27 公	課費									
28 計	出 金			96			92			88
	国庫支出金			0			0			00
行	県支出金			0			0			
特定財源内	地 方 債			0			0			
財源内訳	, ,			0			0			
_	般 財源			96			92			88
	計			96			92			88
補助	率									
補助										
平成26年	F度補正・流用∜	 尺況		平成26年	度特定財源区		•			
<u> </u>	á初予算		97		区分		名称		金額	
補	正予算		0							
			\dashv							
			\dashv							
			\dashv			1				
-			\dashv			+			+	
流	用・充用					1			1	
	5算合計		97			合 計				0

1. 基本	情報										
事務事	業	0106010	303010108	主	坐 夕 ₹	生たけ	ご生産振興会運	分字经重要		担当部	農林水産部
	ド	0100010	303010103	争协争	未 口 ラ	表/こ(ょ	工座派兴云座	百人1反爭未		担当課	農政畜産課
政策:	名	03	活力	ある産業の	のまちつ	づくり				グループ	農政第1グループ
施策	名	01	農•材	ト・水産業	の振興					電話番号	45-5111
基本事	業名	01	農林	漁業経営	体への	支援				内線番号	2313
予	会計	一般	会計					+ **	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林	水産業費	,			事業期間	■ 単年度繰返 (開始 ^生	F 度	不明)
予算科目	項	01	農業	費				初申	□ 期間限定複数年度	(~)
目	目	03	農業	振興費				根拠法令·条例等	霧島市補助金等の種類及	とび補助率に関	引する要綱
評価区	3分		標準部	严価	評価が	対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市葉たばこ生産振興会が行う、栽培技術向上を目的とする活動(先進地研修や技術検討会等)に対し補助金を交付する。

※福山地域を除く各旧市町単位で活動していた葉たばこ振興会を合併統合し、平成19年度に霧島市葉たばこ生産振興会を設立し、組織の合理 化・技術の集約向上を図る。(国分市葉たばこ生産振興会、溝辺町葉たばこ生産振興会、横川町葉たばこ生産振興会、牧園町葉たばこ生産振興 会、霧島町葉たばこ生産振興会、隼人町葉たばこ生産振興会の6組織が平成19年度に合併)

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度
ア研修会開催回数		□	(夫祖)	(美額)	(美祖)	(兄込)	(見込) 6
1							
<mark>ф</mark>							
(2) 事務事業の目的							
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 霧島市葉たばこ生産振興会員	霧島市葉たばこ生産振興会員数	人	5	5	5	5	5
1							
<mark></mark> ქ							
② 意図(②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア 栽培技術が向上する。	研修会への実参加者数/会員数	%	80	80	80	80	80
1							
<mark></mark> ქ							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア経営体質が強化される。	認定農業者数	人	316	307	301	315	315
1							
<mark>ウ</mark>							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

本地域において、葉たばこは古くからの意見等 本地域において、葉たばこは古くから重要な 基幹作物であり、特に国分平野のたばこは、お はら節にも歌われるほど全国的にも有名で、生 産者組織の強化を行なうことで、葉たばこ生産 の更なる振興を行なうことを目的とし開始された。 33年度8月にJTが実施した廃作募集により、霧 島市の葉たばこ農家は23戸から5戸へ大幅に減 少した。当該事業により、現地研修や各種検 討会等、協議会活動が、活発に行なわれてきた 経緯もあり、今後も継続してほしいとの意見が多 数。

4.	事美	美費	の‡	能移			単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度 (計画)
			玉	庫支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	ナ.	ī	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	σ.)	他	千円	0	0	0	0	0
投			_	般	財	源	千円	100	56	56	53	56
投入量	•	事	業	費			千円	100	56	56	53	56
_												
1												

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組)

(2)平成26年度の成果

JTが主催する研修会等にも積極的に参加し、振興会でも自主的に研修 会を実施した。 植え付け検査1回

農薬使用勉強会ほか5回

霧島市の葉たばこ農家を取り巻く環境は、健康志向による禁煙化や愛煙家の締め出し等による消費の減少などが葉タバコ買入価格に影響を及ぼしておりJTの購入価格も厳しくなっているが、振興会として会員の研修に努めるなどした結果、評価の高い作物を産出することができた。

릑	■務事		01060	10303010108	事務事業名	葉たばこ生	産振卵	会運営	支援事業	担当部		水産部
6			(SEE>		学 未有					理(畜産課
٥.	_				古世の帝國にが	+76-11-11	-4.0	霧島市	葉たばこ生産技		コ 培技術が向上す	ることは、経営
	① 3	_の事	労争 耒0	の日的は、基本	事業の息凶に称	昔びついています	ימו)	体質が	強化されること	に結び付く。		
Δ			結びつ	いている								
			間接的	」に結びついてに	いる							
A目的妥当性				いていない								
単性				ぜ市が行わなけ て達成する目的	ければならないの]ですか?	りですか?		振興組	織の育成は産	地拡大、農政	推進の観点から	ら必要である。
		•	妥当で	ある								
			見直す	 ·必要がある								
	(3) F	成果が	向上する	る余地(可能性)	はありませんか	١?		研修会	への参加率は	80%と推移し	ている。	
)			る余地はかなり								
				る余地はある種				-				
				る余地はほとん								
		_						会員減	少や耕作面積	が減少する中	において、補助金	金を廃止するこ
B 有	(4) J	発止・位	木止の影	/響はありません	vか? 			とは葉7	こばこ振興を衰	退させる恐れ	がある。	
B有効性			影響が	ある								
				ほとんどない	65					_		
					形態(イベントや原 の主体が実施する	啓発等)を持つ他 ものを含む。)	の事務	類似合の	事業がある場 事務事業名等			
		-	類似の	事業はない				該当な	L	-		
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない						
			類似の	事業があり、紡	合又は連携で	きる						
	6 :	事務事補助金	業の手段など、交	设(やり方)を工夫 付先に働きかけて	することで、事業費	きを削減できません 域できませんか?	か?	事業主とも減り	体の運営方法	について検討 い止める活動	の余地はあるが を行なわなけれ	、耕作者・面積ばならない状況
			削減で					にあり、	現時点での削	減はできない		
С			削減で									
C効率性		事務事	業の手段	_と (やり方)を工夫・	することで、人件書	貴(延べ業務時間)	を削減				4務手続きに大き	な変動がなけ
性		きませ職員以		なや委託により人	牛費を削減できま	せんか?		れは削	減する余地は	ま <i>い</i> 。		
			削減で	きない								
			削減で	きる								
D					と 全者に偏っている 確保されていま				こ振興会組織へ うことで公平性の		の、たばこ振興を	目的とした活動
公平性				公正である	HE INC 10 CO O	, , , , ,		_,,,,,,		.,,, =0		
性			見直す	 ·必要がある								
,	1 7/7 新	価針	# / [PLAN>(組制	(中央							
	1 (A) ET	im 4ct	* \			【参考】前	年度の改	革改善の力	向性≪	継続	_	>
	事務等の方)改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統合	休止	廃止
X =	- V//]	刊注		0								
				現在の事業を終	継続する。							
			その改 しゅうしゅう									
取	女善の り組む	いべき	課題)									
					こ生産振興会が	行う、栽培技術に	句上を目	的とする	る活動(先進地	研修や技術権	(討会等)に対し	補助金を交付
(O)	ਜ਼ ਦੇ (oo 선도 대	± 0. ±	する。								
	平		その方									
				<u> </u>								
3. :	2次評	価結	果(担	当部長評価)								
1)	事務	事業の	革셠C	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統合	休止	廃止
	等方向		~~									
					<u> </u>	I	<u> </u>			ı	1	ı
(2)	総評	Ŧ										

事務事	業 010	06010303010108	事 務事業名	葉	たばこ生産	E振興会運営支 持	爰事業	担当担当		林水産部政畜産課
9. コス	トの推	移								
	直)	単位:千円)	平成264	丰度 (決	算)	平成27年度	(当初予算))	平成28年度	(計画)
1 報		酬	1 774==			1 774-1 7			1 77-1 7	(1)
2 給		料								
3 職	t 員 =	手 当 等								
4 共		斉 費								
		補償費金								
7 賃 8 報		<u> </u>								
9 旅		費								
10 交	ξ ß	祭費								
11 需		サーサー サール・サール・サール・サール・サール・サール・サール・サール・サール・サール・			0			0		0
	消耗燃	毛 品 費 料 費								
	食	糧費								
		製本費								
		水 費								
	修 # +	善								
	期和飼	オ 料 費 <u></u> 料 費						_		
		材料費								
12 役	ž - 7	务			0			0		0
		運搬費								
	広エ	告 料								
	手保	数 料 険 料								
13 委		医科								
		び賃借料								
		青 負 費								
16 原		料費								
		産購入費 購入費						_		
		及び交付金			56			53		56
20 扶	Ę	助 費								
21 貸		寸 金								
		及び賠償金								
		·及び割引料 ゾ出資金								
25 積		<u> </u>								
26 寄	F B	付 金								
27 公		果 費								
28 繰計		出 金			56			53		56
	同点	支出金			0			0		90
特定	県 3	支 出 金			0			0		
別源	地	方 債			0			0		
訳 ——	,	の他			0			0		
" _	乃又	財源 <mark>計</mark>			56 56			53 53		56 56
1_6 = -		国			30			00		30
補助		県								
補具	助 基	本 額								
		正∙流用∜			平成26年	度特定財源内訓	5			
	当初予 補正予			56		区分		名称		金額
*	畑上了	升		0						
		- m								
流	用・ま	充用			1					

予算合計

1. 基本	情報										
事務事	業	01060104	02010100		本 本	- 協型	維持管理事業			担当部	農林水産部
Ī	ド	01000101	03010103	名	田田田	三加収	(神)寸目 生 尹未			担当課	農政畜産課
政策:	政策名 03 活力ある産業のまちづくり 施策名 01 農・林・水産業の振興 本事業名 01 農林漁業経営体への支援 会計 款 の6 農林水産業費)				グループ	畜産グループ
施策	名	01	農•材	ト・水産業	の振興					電話番号	45-5111
基本事	業名	01	農林	漁業経営	体への支持	爰				内線番号	2321
予	会計	一般	会計					± **	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林	水産業費				事業 期間	■ 単年度繰返 (開始	年度 H	17 年度~)
科	項	01	農業	 費				初申	□ 期間限定複数年度	(~)
目	目	04	畜産	業費				根拠法令·条例等	霧島市家畜審査場の設置及び管理に関する条例	、霧島市国分畜産研修センタ	一の設置及び管理に関する条例
評価区	分	7	漂準部	F価	評価対象	₹ I	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

畜産農家に研修の機会及び親睦の場を与え、畜産振興を図るため施設を設置している。また、地域住民のコミュニティ活動と憩いの場として、住民の交流と福祉向上に寄与する施設(溝辺・横川・霧島・福山家畜審査場、国分畜産研修センター)の施設維持管理に係る業務である。 指定管理の施設は、国分畜産研修センターのみで指定管理者は、きりしまPPP(株)である。 その他の施設(溝辺・横川・霧島・福山家畜審査場)は直営であり、年1回はシルバー人材センターへ清掃作業等を委託しているが、不足する部分については職員が年2回程度の草払い等を行っている。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 施設維持に係る光熱水費、施設の保障	寅、指定管理委託料等	千円	1,594	6,680	4,019	946	946
イ 畜産研修施設		施設	5	5	5	5	5
o							
(2) 事務事業の目的							
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 畜産農家	畜産農家数	施設	5	5	5	5	5
1							
<mark></mark> ქ							
① 意図(②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア 研修及び親睦を行う環境が整う	利用者数	件	50	50	50	50	50
イ 研修及び親睦を行う環境が整う	利用者アンケートで満足・やや満足と回答した割合	%	54	67	45	70	70
<mark>ゥ</mark>							
(3) 上位の基本事業							
基本事業の意図(さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 経営体質が強化される	認定農業者数	人	316	307	301	315	315
1							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

畜産農家に研修の機会及び親睦の場を与え、 畜産機類を図るため施設が設置された。また、地域住民のコミュニティ活動と憩いの場として、住民の交流と福祉向上に寄与するため。 共 進会や研修会等の開催により、畜産農家の方より 畜産審査場の設置により、土進会、研修会等の開催ができるので喜ばれている。

А	100 4		ωŧ	隹移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
4.	77.7	RI	W1	田彻			甲亚	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫 支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	方		債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	の)	他	千円	21	30	22	20	14
投入量			_	般	財	源	千円	1,573	6,651	4,059	946	964
量		剚	業	費			千円	1,594	6,681	4,081	966	978

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

(2)平成26年度の成果

国分畜産研修センターは引き続き指定管理を行った。他の各地区畜産 施設については、年1回のシルバー人材センターに除草作業委託を行 い、その他職員による除草作業を行い施設の適正な維持管理が図られ

【維持費実績等】

MEIT 月 天橋 守 1 ・国分 音産 研修 センター 1,335,780円 年12回の 草刈り、トイレ 清掃・ゴミ拾い・施設の 点検は週1回 ・その他の家 畜審査場 147,000円

年1回の草刈り×4施設(シルバー人材センター作業委託)

指定管理者の努力で施設全体の整備が適切に行われていた。他の地 区も関係職員の協力を得ながら環境整備に努めていただいた。

Ę		8事業 ード	01060	10403010109	事 務事業名	畜産加	を設維:	持管理	事業	担担	当	部 課		水産部 畜産課		
6.	振り	り返り <	SEE>								理	由				
	1)この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	古びついています	か?		家が本施設を 向上に繋がる							
Δ			結びつ	いている												
鼠			間接的	に結びついてい	\ る											
目的妥当性	L		1,50	いていない												
当性	2	・この事 ・税金を	投入し	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ればならないの ですか?)ですか?			家に研修の機 であることから				畜産振興を	図るための公		
	_		妥当で	ある 必要がある												
	3			る余地(可能性)	はありませんか	١?		大し、音	び親睦を行い 畜産経営の安定	営化に	寄与。	トる可能	と性がある。	設の利用が増 また、本施設の		
		-	向上す	る余地はかなり	 ある			利用に	満足される利用	用者の	増大	ぶ見込む	める。			
			向上す	る余地はある程	 ≧度ある											
	H		向上す	る余地はほとん	どない											
_모	4	廃止·休	*止の影	響はありません	か?			施設利響があ	用(共進会、研る。	修会	、検査	等)は約	継続して実施	直されるので影		
有効	Г	•	影響が	ある												
性			影響が	ほとんどない												
	(5)	類似の事業は	目的(対 ありませ	象・意図) 又は んか?(市以外の	形態(イベントやでの主体が実施する	啓発等)を持つ他(ものを含む。)	の事務		事業がある場 事務事業名等							
	Г	•		事業はない				他に類	似事業がない。)						
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない										
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる										
	6	・事務事・補助金	業の手段など、交付	は(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費、市の負担を削減	^{慢を削減できません} 域できませんか?	か?	国分畜	老朽化が進ん 産研修センター であるが、現段	ーの位	[置づ]	ナを検討	付し費用の打			
			削減で	きない				U里安	このいかい 、	re CI	ム日1/00	(64)	v 'o			
C 効率	L		削減で	きる												
率性	7) きません	か?			と (延べ業務時間)を	上削減で	るが、化	産研修センター	につい	いては	、シルノ	バー人材セン	/ターへの委託		
				や委託により人作	干費を削減できま	せんか?			する清掃(草刈 職員の業務量/				っているため	、全て委託でき		
	_		削減で					-								
	0	事務事	削減で業の内容	容が一部の受益	者に偏っている	ませんか?		市内の畜産農家全戸が利用可能であるので公平である。								
D 公 平	8	また、受	是益者負	担の公平性が	確保されていま	すか?										
性	\vdash			公正である 必要がある												
7.	13	文評価結!	果 <f< th=""><th>PLAN>(組織</th><th>決定)</th><th>【参考】前:</th><th>年度の改</th><th>革改善のブ</th><th>方向性≪</th><th></th><th>継</th><th>続</th><th></th><th>»</th></f<>	PLAN>(組織	決定)	【参考】前:	年度の改	革改善のブ	方向性≪		継	続		»		
(1))事	·務事業σ)改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト		連携		統合		休止	廃止		
		方向性		0												
革	牧善	成27年度 きの内容 組むべき		国分畜産研修- 他の地区も関係 利用者に満足し	系職員の協力を	ては、指定管理: 得ながら環境整(する。	者に施記 備に努る	安全体の けていく。	整備を適切に	行われ	1るよ <u>?</u>	にお願	いする。			
(3)	国分畜産研修センターにおいては、指定管理者に他の地区も関係職員の協力を得ながら環境整備に 3)平成28年度の方 向性・取組目標									行われ	13よ?	うにお願	いする。 -			
8.	<u>2</u> න්	文評価結!	果(担	当部長評価)												
				継続	1411-4-1-4			داد کی	7±14-		4+ ^		休止	廃止		
		務事業の う向性)改革	中にリソジ	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合		P)-III	元正		
										1						
(2))総	:評														

事務	事業ード	0106010403010	事 務 事業名		畜産施	設維持管理事	業	担当部担当課	農林水産部 農政畜産課
9. ⊐	ストの	推移							
		(単位∶千円	平成26:	年度 (決	算)	平成27年原	度 (当初予算)	平	成28年度(計画)
1	報	西							
2	給	米							
3		手当等							
4	<u>共</u>	済 費							
5 7	賃	子 補 償 費 金							
8	 報								
9	旅								
10	交								
11	需	用 費	t		118		17	'4	184
	消	耗品費			0]	.0	10
	燃				2			5	5
	食								
		刷製本費			110		1.	4	104
	光修	熱水費			116		11	15	124 45
	賄				U		2.	10	40
	飼							+	
		薬材料費							
12	役	務 費	t		29		3	39	41
	通	信運搬費							
	広								
	手				2			.0	11
10	保				27			29	30
13	委	託 料 料及び賃借料	_		459 149		75	0	753
15		請 負 費			3,077			0	
16		」。 			249			0	
17		財産購入費							
18	備品	片購 入 費	t						
19		補助及び交付金							
20	扶	助							
21	貸端偿据	付 金 領填及び賠償金							
22		利子及び割引料	_						
24		及び出資金							
25	積	立 金	_						
26	寄	附 金							
27	公	課費							
28	繰計	出 金	Ê		4.004			ec .	050
	国	庫支出:	4		4,081 0		96	0	978
	特児児		並 金		0			0	
財源	特定財源		遊 債		0			0	
財源内訳	源そ		他		22			20	14
八	- 1	般 財源	Ŧ		4,059		94		964
		計			4,081		96	66	978
補	亅	国果							
拙	助		5						
					W Et oe	在供中卧海 市	4 0		
一八八		E補正・流 用 D予算		1,224		度特定財源内 区分	訳 名	称	金額
		<u>アター</u> 予算	4	0	その他	<u>-</u> / J	家畜審査場使用		22
			+						

流用·充用 予算合計

24

4,248

1. 基本	情報													
事務事業 0106010303010100 事務事業名 農業関係資金利子補							I 依	少重类		担当部	農林水産部			
						文禾氏		11 学未	l Talan 農政畜産					
政策名 03 活力ある産業のまちづくり						うくり				グループ	農政第2グループ			
施策:	名	01	農•林	•水産業	の振興					電話番号	45-5111			
基本事	業名	01	農林流	魚業経営	体への	支援				内線番号	2311			
子	会計	一般	会計					± **	□ 単年度のみ					
算	款	06	農林ス	水産業費	,			一 事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 ⁹	年度 S	43 年度~)			
予算 款 06 農林水産業費 科 項 01 農業費 日 03 農業指願费						初申	□ 期間限定複数年度	(~)					
目	目	03	農業提	辰興費				根拠法令·条例等	霧島市農業近代化資金和	刊子補給金交付	寸規程			
評価区	評価区分 標準評価 評価対象 1次評価					讨象	1次評価	関連計画	なし					

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

①農業近代化資金利子補給金②農業経営基盤強化資金利子助成金③農業振興資金利子助成金の3つの利子補給制度によって、借受者に対し 利子助成金を交付して、農家の資金調達を容易にする。 《実施主体》国県市 《事業対象》①農業者全般②認定農業者③農業者全般(17年3月借入分まで・17年度利子助成廃止) 《補助率》①②は金利変動に伴い変動 ③今後実績なし

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	利子補給額		千円	5,027	4,245	3,269	5,799	5,799
1	借入件数(補助金申請件数)		件	8	12	15	20	20
ゥ								
(2	2)事務事業の目的							
_	対象 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	農業者	認定農業者	戸	316	307	301	305	300
1								
ゥ								
4	・ 意図 ②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度 (目標)
ア	農業の生産力の維持増進や、農業経 営の改善等を図る	現年度借入件数/前年度借入件数	%	67	150	125	133	100
1	農業の生産力の維持増進や、農業経 営の改善等を図る	現年度借入実行額/前年度借入実行額	%	85	154	77	177	100
ゥ								
(3	3)上位の基本事業							
6	基本事業の意図 ならにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	経営体質が強化される。	認定農業者	戸	316	307	301	315	315
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

国県の制度の実施に伴い昭和43年から、支援を行うこととなった。平成19年から3年間農業近代化資金は、認定農業者で500万円以上に関する部分は、国が無利子化を図ったので、市の利子助成は無くなった。農業経営基盤強化資金利子助成については新たに利子助成が開始された。農業者も用途に応じた低利な資金を利用している。

4.	事美	类費	の‡	能移			単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度 (計画)
			玉	庫 支	出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	380	339	238	975	616
	事業費	財源内訳	地	方	ī	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	の)	他	千円	0	0	0	0	0
投 入量			_	般	財	源	千円	4,647	3,906	3,531	5,004	5,362
量		哥	業	費			千円	5,027	4,245	3,769	5,979	5,978
_												

5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

<左記の実績(取組)による成果を記載

【参考:昨年度の内容】 農業近代化資金利子補給:3,291,658円 農業振興資金利子補給:4,503円 農業経営基盤強化資金利子補給:472,784円

利子補給が適正に行われ、資金借入を行っている農業者の経営の安 定が図られた。

픸	事務!	事業 -ド	010601	0303010109	事務事業名	農業関係	資金	利子補	給事業	担担	<u>当</u>		水産部 水畜産課
6.	振り	返り <	<see></see>							,- <u>-</u>			(田/正郎
	_			目的は、基本	事業の意図に網	吉びついています	か?	農業の調達を	の生産力の維持 容易にすること	寺増進 によっ	や、農業で、農業	経営の改善等経営の安定が	に必要な資金 図られ経営体質
		•	結びつい	いている					がされるため政				
A				こ結びついてい	 \る								
的亞			結びつい	いていない									
目的妥当性	2	·この	事業をなせ	市が行わなけ	ればならないの	のですか?							な産業であること 金面で農業担
II	0	•祝金	妥当であ	達成する目的	16970?				支援することは			及で抵進し、長	を囲く辰未担
				かる 必要がある									
	②				はありませんか	w 0							を図る制度であ
	3), t		り、利用	月者に対する成	果は出	さている	ため向上余地に	はない。
				る余地はかなり									
				る余地はある程									
	-	-		る余地はほとん				利子	歯給. 助成が無	Eくなる	と農業者	その負担が大き	くなり、経営規模
B有効性	4)	廃止・1	休止の影響	響はありません	√か? 			の拡大	、生産性の向_	上や経	営改善	が進まないと考	えられる。現在のから、利子補給
効性			影響があ	ある					することは出来				
_				まとんどない	65								
	5				形態(イベントや原 の主体が実施する	啓発等)を持つ他の ものを含む。)	D事務	類似 合の	事業がある場 事務事業名等				
			類似の	事業はない				類似	事業がない				
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない							
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる							
	6	·事務事 ·補助金	事業の手段(会など、交付	(やり方)を工夫で 十先に働きかけて	することで、事業費、市の負担を削減	費を削減できません; 或できませんか?	か?	現在(費の削	の利用者に対し 減は困難である	ンては、 る。	融資機	関との契約があ	っることから、事業
			削減でき	きない									
C 勃			削減でき	₹ る									
C効率性	(7)	・事務事できませ		(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)を	削減		の制度に関連事務で削減で)、利子補給事	務も決められた
-		・職員以	以外の対応な		牛費を削減できま	せんか?							
			削減でき										
		事務事	削減でき		者に偏っている	きせんか?		国・県	・・市・借受者と	も応分	の負担を	をしている。 また	市の利子補給
D 公	(8)				確保されていま			対象が象とする	ある時点での対 るので公平公I	対象は こである	、一定要 。	件を満たす全	ての農業者を対
公平性				正である									
_			見直す』	必要がある 									
7.	1次	評価結	果 <p< th=""><th>LAN>(組稿</th><th>t決定)</th><th>【参考】前年</th><th>F度の改革</th><th>革改善のフ</th><th>方向性≪</th><th></th><th>継続</th><th></th><th>»</th></p<>	LAN>(組稿	t決定)	【参考】前年	F度の改革	革改善のフ	方向性≪		継続		»
(1)	事剂	多事業(の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	á	統合	休止	廃止
改割	手の :	方向性		0									
				国・県の制度に	関連した事業で	であり、利子補給薬	事務と決	やめられ	た一連の事務	であるフ	ため、国	・県の制度見直	正し対応。
		艾27年 月											
		の内容 むべき											
				国・県の制度に	関連した事業で	であり、利子補給事	事務と決	と められ	た一連の事務	であるア	ため、国	・県の制度見直	正し対応。
(3)	亚点	戈28年 月	きの方										
		2組目標											
8.	2次	評価結	果(担	当部長評価)									
		多事業(の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	á	統合	休止	廃止
以至	ョカー	向性 ———											
(0)	総	雪亚											
(2)	中心	ĎΤ											

事剂	多事業 ード	0106010303010109	事務事業名		農業関係	資金利子補給	事業	担当部 農林水産部 担当課 農政畜産課			
9. =	コストの	推移									
		(単位:千円)	平成26年	度 (決	· 鱼)	平成27年月	隻 (当初予算)		平成28年	F度 (計画)	
1	報		1 /2== 1	~ ~~	(31-)	1 770= 7 1 75	× (= 1/3) 9F/		1 770=5	(A) (A) (A)	
2	 給										
3		手当等									
4	共	済 費									
5		評補 償 費						_			
7 8	<u>賃</u> 報	<u>金</u> 償 費						+			
9	 旅	_[]						+			
10											
11		用 費			0			0		0	
		耗品費									
	燃							\perp			
	食	糧 費 刷製本費									
	光							+			
	修							\pm			
	賄	材 料 費									
	飼										
1.0		薬材料費									
12	役區	務 費信運搬費			0			0		0	
	広							+			
	手										
	保										
13	委	託 料									
14		科及び賃借料						_			
15		ま 請 負 費 材 料 費						+			
16 17		材 料 費 財産購入費						+			
18		場所 場構入費						+			
19		補助及び交付金			3,769		5,	,979		5,978	
20	扶	助 費									
21		付 金						_			
22		i填及び賠償金 利子及び割引料						+			
24		及び出資金						+			
25		立 金						+			
26	寄	附 金									
27	公	課費									
28	繰	出 金			0.700		_	070		E 050	
	計画	庫支出金			3,769		ნ,	, <mark>979</mark>		5,978	
		支出金			238			975		616	
財源内訳	財地	方 債			0			0			
内即	,	の他			0			0			
凯	_	般 財源			3,531			,004		5,362	
		計			3,769		5,	,979		5,978	
*	補助率	具果			1/2			1/2		1/2	
補	助	基本額			1/2			1/4		1/2	
		₹補正•流用キ	大況		平成26年	度特定財源内	択				
]予算	6,1	111	. ///	区分		名称		金額	
		予算	,	0	県支出金		農業振興資金	利子補		2	
				\dashv	県支出金		農業経営基盤強化	匕資金利	子助成事業費	236	
				\dashv							
				\dashv							
				_							
			Ì	1	1				I		

コかり	0,111
補正予算	0
流用・充用	
予算合計	6,111

1 774-4 1 77-147-1		
区分	名称	金額
県支出金	農業振興資金利子補給事業費	2
県支出金	農業経営基盤強化資金利子助成事業費	236
		·
	合 計	238

	平月	成27年度	事務事業振	区りシー	- (3	平成26年度	実施事業σ)振返り)		
1. 基本情報 事務事業								担当部	農林水産部	R
コード	9106010303010110 事務事	業名	営振興資金貸付	基金事業				担当課	農政畜産調	
政策名	03 活力ある産業							ブループ	農政第2グ	ループ
施策名 基本事業名	01 農·林·水産業 01 農林漁業経営	*****						電話番号 内線番号	45-5111 2341	
予 会計	- 01 展	件****				単年度のみ		7 秋 田 万	2341	
算款	06 農林水産業費	,		事業 期間	-	単年度繰返	(開始年度	Е Н	17 年度	~)
科項目	01 農業費				_	期間限定複		: LI. # A A h	~)
日 目 評価区分	03 農業振興費 標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	10000	市農業経営 なし	仮與貝並貝	刊左宏米的	Ų.	
	の概要・目的・指標									
霧島市に居住 に必要な資金・ 要な資金・新規 (満35歳以下))	≹の概要 (具体的な する60歳以下の農 生産資材の購入その 就農者が経営開始に 及び新規就農者の資 年間)、償還方法は 理する事業	業を営む者及び の他経営振興上 ご必要な資金に 「金の場合は無	が営もうとする者が、 特に必要な資金・災対し、貸付限度額を 利子)、貸付期間は	《害復旧に と事業計画の 18年以内(お	必要なう ひ80% 居置期	資金・農業後 以内で最高 間3年以内(:継者が経営 300万円とし 農業後継者	さの改善、規 ノ、貸付利率 (満35歳以	!模拡大等を ¤は年1%(農 下)及び新ま	行うに必 農業後継者 見就農者の
① 活動指標	(事務事業の活動量	r)			単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度
ア借入実施件数	<u> </u>				件	1	0	1	2	2
					• •			1		
1										
ウ 本をませ	* • • • • • • • • • • • • • • • • • • •									
(2) 事務事業 ② 対象		(3) xt;	·····································			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
0	にしているのか)		②対象の大きさを表	す指標)	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア 60歳以下のとする者 イ ウ	D農業を営む者及び営む	3.5 農業従事者 月 者数(自営農業	農林業センサス 年齢別の 後に従事した世帯員数)15 <i>i</i>	農業従事議〜60歳	人	1,935	1,935	1,935	1,935	1,935
④ 意図(②対象をどう)	したいのか)	⑤ 成! (左記(果指標 〕意図の達成度を表	す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 農業経営の安 イ ウ		現年度利用	者/農業従事者数		%	0.05	0.00	0.05	0.10	0.10
(3) 上位の基 ⑥ 基本事業(⑦ 基 :	本事業の成果指標	_		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	ジルム な成果に結びつくのか		意図の達成度を表		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア 経営体質が強	単化される。	認定農業者	数		人	316	307	301	315	315
1										
ゥ										
	a 200 let etc //	* = Atr 1					0 = b= r=	0 0 to the	a= /= /=	
	D環境変化・市民 が 巻く環境変化、市民や議会な		4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
合併前に旧福山	」町で行っていた事業	美で、合併	国庫	支出金	千円	0	0	0	0	0
料の高騰により、	るようになったもの。		事源地	出金	千円	0	0	0	0	0
は厳しさを増して	ている。				千円	0	0	0	0	0
			1 10/1 0		千円	97	74	143	82	134
			投 一般 事業費		千円	97	75	143	82	134
					117	01	10	110	02	101
	度の実績及び成果 度の実績(取組)		値等により具体的に記載さ	(2) W	=ttoe.4	F度の成果	/±32	の実練(版知)/	こよる成果を記載	# \
【参考:昨年度の			皿・チェルノ火件が1年前報。			ド度の成条 管理された。	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(以胜)	- よるが大不で 正亡輩	

-		事業 ード	01060	10303010110	事 務 事業名	農業経営	振興資	金貸付	基金事業	担担	<u>当</u> 部 当 課		K 産部 畜産課
6.	振り	小返り <	SEE>	•							理由		
	1)この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	吉びついています	トか?	るためり	こ必要な資金を			見模の拡大及び り、経営体質強(
			結びつ	いている				糸に結	びついている。				
A			間接的	に結びついてい	る								
的亚			結びつ	いていない									
目的妥当性	2	·この ·税金	事業をな	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ればならないの ですか?	Dですか?			は生活の安定で 全面で農業を			、最も基本的な原 妥当である。	産業であること
	Г		妥当で	ある									
			見直す	 ⁻ 必要がある									
Г	3	の成果が		る余地(可能性)	はありませんだ), 3		利用	犬況については	は、意図	図的に向し	上させられない。	
	H		向トす		ある								
	-			る余地はある程									
	┝			る余地はほとん									
								経営規	規模の拡大、生	産性の	の向上や	経営改善が進ま	なくなる。
B 有	4) 廃止・1	木止の影	ジ響はありません	か? 						, , ,		
B有効性			影響が	ずある									
ı.	L		影響が	「ほとんどない									
	(5)			対象・意図) 又は たんか?(市以外の		啓発等)を持つ他 ものを含む。)	の事務	類似合の	事業がある場 事務事業名等				
			類似の	事業はない				類似	事業がない。				
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない							
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる							
	6	·事務事 ·補助金	事業の手段 会など、交	役(やり方)を工夫で 付先に働きかけて	することで、事業費 、市の負担を削減	費を削減できません 或できませんか?	か?	基金。	を活用した農業	経営の	の規模拡充	大や経営安定に	支障が生じる
			削減で	きない									
C 森			削減で	きる									
C効率	7		業の手段	殳(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減	予算	執行等の事務の	りみで	あって、肖	減の余地はな	\ \ _\ '
性	7	・職員以	人外の対応	なや委託により人作	井費を削減できま	せんか?							
	_		削減で	きない きる									
D	8	事務事	業の内	容が一部の受益				貸付? である。	央定は、霧島市	i金融i	軍営協議	会で協議し決定	するので適切
公平性	Ë	ま/こ、: ■		負担の公平性がる 公正である	准体されている	ייע פּי		(0),00					
性			見直す	⁻ 必要がある									
7	1 1/1	7号亚/东公士		PLAN>(組結	(法中)								
٠.	10		ж \ı			【参考】前	年度の改	革改善の方	方向性≪		継続		>
		務事業()方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	1	統合	休止	廃止
				O	ト 生産性の向	上や経営改善を	シ図る芳	羽左の	事業を継続す	ス ス			
革	次 善	成27年原 の内容 組むべき		12 17/01/2 34/				()u 12 · · ·	PACHEDO 7	3 0			
				経営規模の拡大	大、生産性の向	上や経営改善を	と図る為	、現在の	事業を継続す	る。			
	(3)平成28年度の方 向性・取組目標												
			m	t als dep les les									
8.	20	マ評価結	果 (推	当部長評価)									
		務事業の 5向性	の改革	継続 	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	1	統合	休止	廃止
UX T) -] I											
(2)総	評											

事務事業 0106010303010110	事務事業名	農	業経営振	興資金貸付基:	金事業	担当担当		農林水産部 農政畜産課
9. コストの推移	<u>'</u>						'	
(単位:千円)	平成26年原	隻 (決算	算)	平成27年	度 (当初予算)		平成28年	丰度 (計画)
1 報 酬								
2 給 料								
3 職員手当等 4 共 済 費								
5 災害補償費								
7 賃 金								
8 報 償 費								
9 旅 費 10 交 際 費								
11 需 用 費			0			0		0
消耗品費								
燃料費 食糧費								
食糧費 印刷製本費								
光熱水費								
修繕料								
期 材 料 費 飼 料 費								
医薬材料費								
12 役 務 費			0			0		0
通信運搬費								
広告料								
手 数 料 保 険 料								
13 委 託 料								
14 使用料及び賃借料								
15 工事請負費								
16 原 材 料 費 17 公有財産購入費								
18 備品購入費								
19 負担金補助及び交付金								
20 扶 助 費								
21 貸 付 金 22 補償補填及び賠償金								
23 償還金利子及び割引料								
24 投資及び出資金								
25 積 立 金								
26 寄 附 金 27 公 課 費						_		
28 繰 出 金			143			82		134
計			143			82		134
特 国庫支出金			0			0		
特定財源の大力・債・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			0			0		
対			143			82		134
一般財源			0			0		
計			143			82		134
補助率 国 県								
補助基本額								
平成26年度補正•流用状法			平成26年	度特定財源内	訳			
当初予算		12		区分		名称		金額
補正予算		0	その他		基金利子(農業	<u></u> 	興資金)	143
		\dashv						
		4						
		+						
		\dashv \mid						

流用・充用 予算合計 31 143

1. 基本	情報										
事務事	業	0106010	102010110	主	世々!	玄帝日	団体運営支援事業	4		担当部	農林水産部
I	ド	0100010	103010110	+ /力+:	木口	田圧口	山肸座西又16 尹末	•		担当課	農政畜産課
政策:	名	03	活力	ある産業の	のまち~	づくり				グループ	畜産グループ
施策:	名	01	農•ホ	木・水産業	の振興	Ĺ				電話番号	45-5111
基本事	業名	01	農林	漁業経営	体への	支援				内線番号	2321
予	会計	一般	会計					+ **	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林	水産業費	,			事業期間	■ 単年度繰返 (開始 ⁴	年度 H	18 年度~)
予 算 科 目	項	01	農業	費				79][F]	□ 期間限定複数年度	(~)
目	目	04	畜産	業費				根拠法令·条例等	霧島市補助金等の種類及	及び補助率に関	引する要綱
評価区	7分		標準診	平価	評価:	対象	1次評価	関連計画			

<D₀> 2. 事務事業の概要・目的・指標

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

環境保全型農業の確立、コスト削減、作業効率の省力化、経営の安定と効率的経営を図るため各団体において、研修、講習会、視察研修等を実施するための活動への助成を行う。

また、職員が研修会、講習会、視察研修等の企画や農家への指導助言も行っている。

【畜産団体運営補助金交付額】 霧島市肉用牛振興会1,565,000円、霧島市酪農振興会107,000円、霧島市肥育牛振興会90,000円

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度
ア 振興会会員数(肉用牛)		戸	637	592	531	494	470
イ 振興会会員数(酪農)		戸	17	17	16	15	15
ウ 振興会会員数(肥育牛)		戸	33	31	17	17	17
(2) 事務事業の目的							
 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年 度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 畜産農家(肉用牛・酪農)	肉用牛·酪農家	戸	675	638	570	545	515
1							
<mark>ゥ</mark>							
④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア 管理技術の向上、経営の安定と効率 的経営を図る。	研修会等参加農家	戸	600	580	510	490	460
イ 管理技術の向上、経営の安定と効率 的経営を図る。	研修回数	回	45	45	45	45	45
<mark>ㅎ</mark>							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年 度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 経営体質が強化される。	認定農業者数	戸	316	307	301	315	315
1							
р							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

環境保全型農業の確立、コスト削減、管理技術の向上、作業効率の省力化、経営の安定と効率的経営を図るため各種の団体へ補助することとなった。 関係する地域団体に全員の加入があることより、連携はもとより、環境保全型農業の確立、コスト削減、管理技術の向上、作業効率の省力化、経営の安定と効率的経営を図るさまざまな活動に参加し、畜産振興の高揚に繋がっている。 各団体への補助により、さまざまな活動が実施できており、継続して実施してほしいとの要望がある。

А	4. 事業費の推移						単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
+	- P	R IR	,V) 1	进19			中世	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫 支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財 県 支 出 金			金	千円	0	0	0	0	0	
	事業費	源内	地	方	ī	債	千円	0	0	0	0	0
	費	財源内 県支出金 地方債 その他		千円	0	0	0	0	0			
投入量			_	般	財	源	千円	1,602	1,497	1,762	1,421	1,421
量		哥	業	費			千円	1,602	1,497	1,762	1,421	1,421

5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

研修会等開催回数 45回 研修会等参加者数 510名

振興大会の実施や地区振興会での活動を活発にしていただき 研修会や講習会を通じて技術の習得と経営の安定に役立てて いただいた。

=	予防・コー	事業 −ド	01060	10403010110	事務事業名	畜産[団体運	営支援	事業	担当部		水 <u>産</u> 部 畜産課
6.	振り	返り <	SEE>	•						理由		<u>ш ут к</u> и
	_				事業の意図に終	詰びついています	か?	講演会	、視察研修を	行うことで、	振興会におい 飼養管理技術	の向上、経
			結びつ	いている				宮の安 に結び		どが図られるこ	ことから、経営	体質の強化
🔒			間接的	うに結びついてい	る							
的妥			結びつ	いていない				1				
目的妥当性	2	·この事 ·税金	事業をなを投入し	ぜ市が行わなけ て達成する目的	tればならないの oですか?	のですか?		省力化	、経営の安定	と効率的経	営を図るため	、作業効率の 各団体にお
			妥当で	きある					が修、講省会 振興ができる		を実施してい	ることより、
			見直す	必要がある								
	3	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんだ), 3		修の実	施を活発化る	させることで、	研修会や講 研修会等に参	参加する農家
			向上す	る余地はかなり	りある			み、コス	スト削減、作業	美の効率化か	境保全型農業 図られるなど	€への取り組 、更なる畜産
			向上す	る余地はある程	星度ある			経営の 	安定化が期	待できる。		
			向上す	る余地はほとん	どない							
₽	4	廃止∙何	休止の景	ジ響はありません	しか?						の機会が減少 業振興に影響	
B有効性			影響が	ずある				1				
性			影響が	「ほとんどない				1				
	5	類似の事業は)目的(対 ありませ	対象・意図) 又は さんか?(市以外の	形態(イベントや)の主体が実施する	啓発等)を持つ他 るものを含む。)	の事務	類似る合の事	事業がある場 事務事業名等			
			類似の	事業はない				類似の	事業はない。			
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない						
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	=====================================		1				
	6	·事務事 ·補助金	業の手段など、交	役(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費、市の負担を削減	貴を削減できません 或できませんか?	か?	交付を行	亍っている他の	団体の事業の組 農林水産関係	と続等に影響が 団体との調整か	でるが、補助金 ゞ可能であれば
			削減で	きない				- 、削減で -	ざる。			
ç			削減で	: :きる								
C効率	(T)	・事務事	業の手具	役(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減		あった旧市町単とより、削減の		:関係団体ごとに	こそれぞれ統合
性	7			なや委託により人作	牛費を削減できま	せんか?		CAUICC	.とより、日が残∨ノ	示地(よ/よ√ °。		
			削減で	きない								
D	8	事務事	業の内	容が一部の受益 負担の公平性が							†象となり、各団 も負担(会費納	
公平性		#/2.\?		公正である	は下でいている	יא איי:		いるので	で、公平・公正	である。	0只正(五页州)) () () (I) (M) () (
性				- - - 必要がある				1				
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組制	決定)	【参考】前	年度の改	革改善の方	向性≪	継続		>
		務事業の 方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統合	休止	廃止
~.		,,,, <u>,</u>		0			()				
革	女善	成27年原 の内容 lむべき		補助金額を見削	旦した。							
		成28年原 文組目標		研修会等を行い	い、農家の高齢	化による戸数、頭	頁数の洞	成少を最小	小限に抑える。			
8.	2次	評価結	果(担	当部長評価)								
		務事業 <i>の</i>	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	그지	~縮小	連携	統合	休止	廃止
改善	雪方	向性										
(2)	総	評										

事務事		事 務事業名	畜産団体運営支援事業					当部		林水産部 対畜産課
9. コス	トの推移									
	(単位:千円)	平成26年	F度 (決算)		平成27年度	(当初予算)		平月	成28年度	(計画)
1 報										
2 給										
3	t 員 手 当 等 E 済 費						\dashv			
	注						_			
7 賃										
8 報										
9 旅										
10 交				0						0
11 需	用 費 消 耗 品 費			0			0			0
	燃料費									
	食 糧 費									
	印刷製本費									
	光熱水費									
	修繕料 期材料費						_			
	朗 科 費			+			+			
	医薬材料費									
12 役	務 費			0			0			0
	通信運搬費									
	広告料						_			
	手 数 料 保 険 料						-			
13 委										
	用料及び賃借料									
15 I	事請負費									
16 原										
	有財産購入費									
	品 購 入 費 _{担金補助及び交付金}		1	,762		1	,421			1,421
20 扶			1	.,702		1	,421			1,421
	计 分 金									
	償補填及び賠償金									
	還金利子及び割引料									
	と資及び出資金									
25 積 26 寄										
27 公							\dashv			
28 線										
計			1	,762		1	,421			1,421
特	国庫支出金			0			0			
財源内	県支出金地・大・			0			0			
財源内訳	地 方 債 そ の 他			0			0			
訳	- 般 財 源		1	,762		1	,421			1,421
	計			,762			,421			1,421
補助	国									
	一									
	助基本額		-							
	年度補正·流用状				特定財源内訳		カチ			
- 4	当初予算 補正予算	1,	,762	区	分		名称			金額
	<u></u>									
,	5日,大田									
	t用・充用 <mark>予算合計</mark>	1	,762			合 計				0
	1 11 11 11	1.	,104			H PI				U

1. 基本	情報										
事務事	業	01060103	02010111	主	業 夕 典	1 类 2	後継者組織等育成	車業		担当部	農林水産部
⊐ —l	1,	0100010.	03010111	事 ⁄办事	木口辰	未必	对他们 組織寺 月以	尹禾		担当課	農政畜産課
政策:	名	03	活力	ある産業	のまちづく	くり				グループ	農政第1グループ
施策	名	01	農•材	ト・水産業	の振興					電話番号	45-5111
基本事	業名	01	農林	漁業経営	体への支	支援				内線番号	2311
予	会計	一般	会計					± **	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林	水産業費				事業 期間	■ 単年度繰返 (開始年	F度	不明)
予 算 科 目	項	01	農業	費				初申	□ 期間限定複数年度(~)
目	目	03	農業	振興費				根拠法令·条例等	霧島市補助金等の種類及	び補助率に関	引する要綱
評価区	分	7	標準評	严価	評価対	象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

農業後継者組織等(現在は隼人町コスモスクラブ・霧島町高原クラブ・福山町大地クラブの3組織)の研修・講演会・視察研修等を実施するための 活動の助成を行う。 市は、組織に補助金を支出するための事務(申請書の受付、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。

1) 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	TT /r 人 小用 /出口 /4-		-	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
<i>y</i>	研修会の開催回数		回	2	2	6	6	6
1	研修視察の開催回数		回	3	2	3	3	3
ゥ								
(2	2) 事務事業の目的							
) 対象 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	農業後継者組織の会員	会員数	人	38	39	39	39	39
1								
ゥ								
_) 意図 ②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度 (目標)
ア	農業技術が向上する	事業に参加した農業後継者等の数/農業後継者組織等の会員数	%	70	70	70	70	70
1								
ゥ								
(3	3)上位の基本事業							
_	基本事業の意図 さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	経営体質が強化される。	認定農業者数	戸	316	307	301	315	315
1								
		1						

事務事業の環境変化・市民意見等

ゥ

魅力ある農業農業経営を目指すために農業 魅力ある農業農業経営を目指すために農業 後継者同志が団結し、相互の意識・技術の向上 を図るため旧市町より引き継いでいる。 近年農 業従事者の高齢化・後継者不足により農業構造 の脆弱化が懸念されていることから、新規就農 者・農業後継者の育成確保が重要視されている。 また新規就農者数は増加している。 新規就農者、農業後継者等の育成は、地域農業の発展を図る為にも重要な課題であり今後も 引き続き支援が必要である。(議会)

1	А	4. 事業費の推移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度			
	+	777	R IR	,V) 1	进物			中世	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
1			国庫支出金				睁	千円	0	0	0	0	0
l	l	事	財県支出金			金	千円	0	0	0	0	0	
1	l	事業費	財源 県支出金 地方債 での他		債	千円	0	0	0	0	0		
l	l	費	訳	その他		他	千円	0	0	0	0	0	
l	投入量			_	般	財	源	千円	84	84	84	82	82
l	量		哥	業	費			千円	84	84	84	82	82
l	_												
l	l												
l	l												
۱	I												

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組)

(2)平成26年度の成果

各農業者が抱える問題解決に向けて、意見交換会や先進地研修などを 行い問題点の早期解決、生産性の安定、技術向上に関する活動を実施 れた。

団体数3:隼人町コスモスクラブ・霧島町高原クラブ・福山町大地クラ

交付額 :コスモス18,000円・霧島25,000円・福山41,000円

26年度研修・・コスモス2回 霧島3回 福山1回 計6回 視察・・コスモス1回 霧島1回 福山1回 計3回

会員相互の交流が広がり活動も活発に行なわれており、組織強化が図ら

틕	野コー		0106010	303010111	事 務 事業名	農業後	継者組	織等育	成事業	担担	当 当 課		水産部 畜産課
6.			SEE>		7 714 11					1=	理由	及以	田庄咏
	_			目的は、基本	事業の意図に約	きびついています	か?		後継者組織の会		、農業技術	術が向上するこ	とは、経営体
	•				7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7			貝加加	化されることに	将 ∪ ° →			
A			結びつい	・くいる :結びついてい	. Z								
目的妥当性				でいない	<u>'</u>								
妥当					 ればならないの	りですか?		農業征	後継者育成・確	保は、	市におい	ての重要課題	iとなっているこ
性	(2)		を投入して	達成する目的				とや各種により多	組織において研 そ当である。	开修·請	習会、研	修視察等を実	施していること
			妥当であ										
			見直す必	必要がある				\ P.I	ロエの知味) さ	elde an l	Bl1 0	/	A 1 4 4 H A
	3	成果が	「向上する	余地(可能性)	はありませんか	١?		会員を		こ流の	易としての	仏直付けもめ	の、成果は十分
			向上する	余地はかなり	ある								
			向上する	余地はある程	≧度ある								
			向上する	余地はほとん	どない								
В	4	廃止∙	休止の影響	響はありません	か?				攻善等さまざま 者の安定した網				ことにより、農
B有効性		_	影響があ	 iる								-	
性			影響がほ	 ほとんどない									
	(5)					啓発等)を持つ他	の事務	類似	事業がある場				
	9				の主体が実施する	ものを含む。)		他にな	事務事業名等				
				業はない	なみりは事業	テキナン		I E (C/a	•				
					統合又は連携 合又は連携でき								
_							ሐን	団体の	の一本化が図り	っれれり	ず事業費	の削減は可能	であるが、現段
	6	•補助金	など、交付	先に働きかけて	、市の負担を削減	費を削減できません 或できませんか?		階では	削減の余地は	ない。			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
			削減でき	ない									
C効率性			削減でき					1044	^ /! 	. ~ _ 1) > 7.	- キマケナ (ナキ)	- 1 - 2 1 - 2
率性	7	できませ	!んか?			関(延べ業務時間)	を削減		金交付事務では ば削減する余均			り事務手続きに	上大きな変動が
		*	削減でき		井費を削減できま	せんか?							
			削減でき										
					者に偏っている	ませんか?		霧島市	市の主たる園芸	振興	会を対象に	こしており、受る	益機会について
D 公	8		受益者負担	旦の公平性が	確保されていま			は、公立	平公正である。				
公平性			公平・公										
			見直す必	必要がある									
7.	1次	評価結	果 <pl< th=""><th>_AN>(組織</th><th>決定)</th><th>【参考】前</th><th>年度の改</th><th>革改善のブ</th><th>方向性≪</th><th></th><th>継続</th><th></th><th>»</th></pl<>	_AN>(組織	決定)	【参考】前	年度の改	革改善のブ	方向性≪		継続		»
(1)	事利	8事業の	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	á	 统合	休止	廃止
		方向性		0									
			名	予団体の一本化	上が図られるよう	う、働きかけを行っ	ð.			<u> </u>			
(2)	平月	戈27年 月	度の改										
		の内容むべき											
(-)/	<i>y</i> -1-1-1		WINCE?										
			担	旦い手等の育品		、農業後継者組	織等の研	开修•講	演会·視察研修	等を実	そ施するた	上めの活動の助	」成を行う。
		ጲ28年原 ス組目標											
8.	2次	評価結	果(担当	当部長評価)									
(1)	車系	多事業の	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	4	 统合	休止	廃止
		句性	//以半 _		, //3-46	11 HA76	-//	ania 13 1	Æ1/5	, T	, a H		
						l							
(2)	総	評											

	事業 ード	0106010303010111	事 務 事業名		農業後継	者組織等育成事	業	担当部担当課	農林水産部 農政畜産課
9. =	ストの	推移							
		(単位:千円)	平成26年	E度(決質)	平成27年度	(当初予質)	平	成28年度(計画)
1	報	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1 /2/20-		//	1 10021 +10			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
2	+k 給	 料							
3		手当等							
4	共	済 費							
5		子補 償 費							
8	<u>賃</u> 報	<u>金</u> 償 費							
9	旅	 							
10	交	際費							
11	需	用 費			0			0	0
		耗品費							
	燃食								
		刷製本費							
		熱水費							
	修								
	期 飼	材料費料費料費							
		薬材料費							
12	役	務費			0			0	0
		信運搬費							
	広								
	手保								
13		託料							
14		- 10 入び賃借料							
15		請 負 費							
16		材料費							
17 18		財産購入費							
19		コ 四 八 貝 補助及び交付金			84			82	82
20	扶	助費							
21	貸	付 金							
22		対							
23		^{利子及び割引料} 及び出資金							
25	積	立 金							
26	寄	附 金							
27	公	課費							
28	繰計	出 金			0.4			0.0	00
		庫支出金			84			0	82
ᇜ	特景				0	-		0	
財源内訳	財地	方 債			0			0	
内訳	_				0			0	
, T	_	般 財源 計			84 84			82	82 82
	n = :	国			84			82	82
袝 	亅	県							
補	助	基本額							
平成		₹補正•流用₺	大況		平成26年	度特定財源内訳			
		予算		84		区分	名	称	金額
	補正	予算		0		+			
				\dashv					
				_					
				\dashv					
				\dashv					
		· 充用		0.4			∧ =1		
	予 第	合計		84			合 計		0

1. 基本	情報										
事務事	業	01060104		改車業	2	上優良精液導入事	类		担当部	農林水産部	
 	' '	01060104	9	物争未行	北州一	广陵及相似等八争	未		担当課	農政畜産課	
政策	名	03	活力ある	る産業のま	ちづくり				グループ	畜産グループ	
施策	名	01	農・林・	水産業の排	長興				電話番号	45-1111	
基本事	業名	01 農林漁業経営体への支援							内線番号	2321	
予	会計	一般	会計				± ₩	□ 単年度のみ			
予 算 科 目	款	06	農林水	産業費			事業 期間	■ 単年度繰返 (開始年	F度 H	18 年度~)	
科	項	01	農業費				初申	^{7] □} □ 期間限定複数年度(~ ~)			
田	目	04 畜産業費					根拠法令·条例等	霧島市補助金等の種類及	び補助率に関	 する要綱	
評価区	分					1次評価	関連計画				

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

優良乳用牛の確保及び改良増殖を図るため、優良精液を導入し、優良雌牛造成を積極的に行う酪農家に対し、予算の範囲内で補助を行う。 補助金算定基準:①精液料金4,000円未満は対象外とする。②補助対象頭数は年間250頭とし、乳用牛1頭当たり2,000円とする。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	優良精液導入実施頭数		頭	249	245	250	250	250
1	優良精液導入利用酪農家数		戸	16	16	14	16	15
ゥ								
(2	2) 事務事業の目的							
	対象 推、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	酪農家	酪農家	戸	18	16	16	15	15
1								
ゥ								
	意図 ②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	優良な乳用牛を確保する	実施頭数	頭	249	245	250	250	250
1								
ゥ								
(3)上位の基本事業							
_	基本事業の意図 ならにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	経営体質が強化される	認定農家数	人	316	307	301	315	315
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等

生乳価格が低迷する厳しい環境の中で、乳用 牛の改良増殖を図り乳量増、個体強化等を行う ため優良精液を導入することとなった。 平成18 年度から事業実施 生乳価格が低迷する中で、 コスト等の高騰により厳しい現状にあるが、優良 雌牛の改良により乳量等の確保が出来ている。 乳用牛の改良増殖が図られ乳量増、個体強 化等に繋がっており、今後も事業を継続してほ しい。利用者が多いことから増額検討の意見が あった(平成22年度より増額)。

4	惠章	生物	ທ‡	佳移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
							—	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	を出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	源内	財 県 支 出 金 地 方 債 そ の 他		債	千円	0	0	0	0	0	
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	498	490	500	500	500
量		事	業	費			千円	498	490	500	500	500

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

実施農家数 14戸 実施頭数 250頭(本) 補助金交付額 500千円 事業に取り組んだ農家のほとんどが、優良精液の授精に協力して頂き、改良増殖が図られた。

3		事業 ード	01060	10403010111	事務事業名	乳用牛優	良精液導	入事業	担担	当当	部課		水産部 畜産課
6.		り返り <	(SEE)		学 术位				111	 理	_	長以	当 生味
					事業の意図に約	古びついていますか		青液を導入し、例 体強化等が図		用牛	を確保		
				いている			1日、旧	本質の強化に結				で日生化に系	0-9CCN-0'
A	-			に結びついてい									
目的妥当性				いていない									
数 当:		m		ぜ市が行わなけ	ればならないの	 Dですか?		1用牛の確保を					
性	2	•税金	を投入し	て達成する目的	ですか?			≜することは、本 牛の改良増殖					
	_		妥当で										
H			見迫す	必要がある			補助な	対象頭数を250頭	百レ1 マ	ており	- 共工	の宝楠頭粉の	増加け目みめ
	3)成果が	「向上す	る余地(可能性)	はありませんか	, 5	るが、きる。	乳用牛の改良だ	が進む	ことて	、更に	こ乳量・乳質の	改善が期待で
			向上す	る余地はかなり	ある								
	_		向上す	る余地はある程	度ある								
	L		向上す	る余地はほとん	どない			- 114 2 - 1-4 1 1 1			feet it.	## # 2# b 202	
B	4	廃止・	休止の影	/響はありません	か?		この事 が厳し	「業を廃止・休止 くなる。	:するこ	とは	、慢艮	雌牛造成が遅	れ、酪農経営
B 有 効			影響が	ある									
性			影響が	ほとんどない									
	(5)	類似の	目的(対	対象・意図) 又は	形態(イベントや原	啓発等)を持つ他の事	事務 類(以事業がある場 の事務事業名等					
	H	ず木16		事業はない	の王体が天心する	70022007		り事業はない。					
				事業はあるが、	統合又は連携	できない							
	\vdash		類似の	事業があり、統	合又は連携でき	<u></u> きる							
Т	6	- 事務事	業の手具	皮(やり方)を工夫で	することで、事業費	を削減できませんかっ 域できませんか?	・ 優良乳	1用牛の確保及 ド郷 - 統小士ス					
		✓ ●補助金	削減で		、中の其担を削減	以でさませんか?	八仁原	ど響、縮小するこ	_ 13</th <th>分兄叔</th> <th>階で</th> <th>ク削減の赤地に</th> <th>T/T/ ,º</th>	分兄叔	階で	ク削減の赤地に	T/T/ ,º
c	-		削減で										
C 効 率	-				よることで、 人 件者	と (延べ業務時間)を削	減 補助金	を交付事務が主	であり	、削減	載の余	:地はない。	
率性	7)できませ	んか?	なや委託により人作			""						
	Г	•	削減で	きない									
			削減で	きる									
Б	8	事務事	業の内	容が一部の受益 担の公平性が	者に偏っている	ませんか? すか?	全酪鳥	農家が受益者と	なって	いるオ	こめ公	平である。	
D公平性	_	<i>5/2√.</i>		公正である	年下これのこの。	<i>y 13</i> · .							
性			見直す	必要がある									
7	1 1/	7輕価結	里 〈	PLAN>(組結	(4年)								
-	10	CEL IM 45	* \'			【参考】前年度	の改革改善の	方向性≪	_	i	生統	<i>(</i> + .1	≫
		務事業(継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携		統合		休止 ————	廃止
		7751111		O Transfer of the state of the	· ** 1 · · · · · · · · · · · · · · · · ·		ا مان ما	th amaka mada	- 1-7	- 1			
				午度当初でそれ	1.七礼の農家に	配分しているが、農	家ことの敢	於調整を催天	C 9 60		有纫(こ活用したい。	
		成27年月											
		狙むべき											
				年度当初でそれ	いぞれの農家に	配分しているが、農	家ごとの最	終調整を確実し	こする	ことで	有効に	こ活用したい。	
(3)平	成28年	度の方										
向作	生•]	取組目標	票										
	O2l	e Str. bar Anle	H _ /4	No constitution (Inc.)									
8.	23	V評価結	宋 (当部長評価)								<i>p</i>	peter 13
		務事業(5向性	の改革	継続 	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携		統合		休止	廃止
-	ш /.	7 1. 3 III											
(2) 終	: 評											
_	∖ daΩ,	н											

事務事業コード	6010403010111	事 務事業名		乳用牛俑	憂良精液導入事	業	担当部担当課		林水産部 対畜産課
9. コストの推る	移								
(単	単位:千円)	平成26年	F度 (決	· 算)	平成27年度	隻 (当初予算)		平成28年度	(計画)
1 報	栖								
2 給	料								
3 職員									
5 災害補									
7 賃	金								
8 報 貸									
9 旅	費								
10 交 隙				0			0		-
11 需 月 消 耗				0			0		0
	料費								
	糧 費								
	製本費								
	水費								
	繕 料 材 費								
	料費								
	材料費								
12 役 務				0			0		0
	運搬費								
	告 料								
	数 料 険 料								
13 委 部									
14 使用料及									
15 工事請									
16 原 材	料 費								
17 公有財産									
18 備品 開 19 _{負担金補助}				500			500		500
20 扶 助				500			500		500
	寸 金								
22 補償補填及	及び賠償金								
23 償還金利子									
24 投資及び									
25 積 立 26 寄 所									
27 公 部									
28 繰 出									
計				500			500		500
特 国 庫	支出金			0			0		
特定財源内	支 出 金 方 債			0			0		
財源内訳を対象を	の他			0			0		
訳 一般	財 源			500			500		500
Ē	†			500			500		500
補助率	国								
	県								
		120		W-#	在社台里等于	ю			
平成26年度補 当初予		NT.	500		度特定財源内 区分		名称		金額
補正予	算		0		<u>-</u> 27J		-14°		<u>╨ 마</u> 只
				-					
流用・充	· 用			-					
予算合			500			合 計			0

1. 基本	情報										
事務事	業	01060103	002010112	主	業 夕 典:	茶車	門指導員設置事	华		担当部	農林水産部
	ド	0100010.	03010113	争协争	木口 辰	未寸	11111年貝以但尹	'未		担当課	農政畜産課
政策:	名	03	活力	ある産業の	のまちづく	くり				グループ	農政第1グループ
施策	名	01	農•材	◆林・水産業の振興◆林漁業経営体への支援						電話番号	45-5111
基本事	業名	01	農林	農林漁業経営体への支援						内線番号	2311
予	会計	一般	会計	7 11 11 2 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 1				# *	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林	農林水産業費				事業 期間	■ 単年度繰返(開始	年度 F	I 18 年度~)
予 算 科 目	項	01	農業費				체비	□ 期間限定複数年月	隻(~)	
目	目	03	3 農業振興費				根拠法令·条例等				
評価区			標準評価 評価対象 1次評価			1次評価	関連計画				

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

(1) 予切予末の概要(採体的なやり方、子順、詳細を記述) 霧島市管内における農家を中心に、経営指導や営農相談に応じる農業専門指導員を設置し、農畜産物の産地強化や農業経営体の育成強化に努 め、本市農業の振興を図る。 【指導員設置数】 ・農業専門指導員2名・経営専門指導員1名 【主法活動】 ・農家への巡回指導 ・営農・経営相談の応対 ・集落営農・新規就農者の育成

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 農家巡回指導日数(延べ)		目	780	637	673	650	650
イ 営農・経営相談の応対		件	65	65	67	70	70
<mark>ゥ</mark>							
(2) 事務事業の目的							
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市内の農家	農家数	戸	5,066	5,066	5,066	4,500	4,500
イ 新規就農者や後継者	新規就農相談者数	人	35	12	16	20	20
<mark>ゥ</mark>							
④ 意図(②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア 生産農家の技術の向上	農業粗生産額	千円	16,791	16,791	16,791	15,000	15,000
イ 新規就農者や後継者の確保	農家戸数	戸	6	13	8	10	10
o							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 経営体質の強化	認定農業者数	人	316	307	301	315	315
1				_			

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

多様化・高度化する農業生産技術や産地形成に的確に対応するため、高度な技術、専門的な知識を有する指導員を昭和の時代に設置をした。農協営農指導員や県普及指導員が大幅に人員削減されていることで、市専門指導員の活動範囲や重要性も大きくなっている。営農指導対象者から専門的な技術を有することなどから、今後も引き続き設置が望まれている。営農指導員による指導体制を強化してほしい。

4.	事美	美費	の持	能移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
								(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫す	と出	金	千円			0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円			0	0	0
	事業費	財源内訳	地	ブ	5	債	千円			0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円			0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円			6,677	6,972	6,972
量		事	業	費			千円	0	0	6,677	6,972	6,972
_												
	,											

5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

- ・農家巡回による営農指導及び経営指導 ・新規就農者の相談・育成

巡回指導による営農指導や経営指導を実施した結果、担い手農家の育成が行われた。しかし、それにもまして、高齢化などを理由とした離農が後を絶たない状況である。

		事業 ード	01060	10303010113	事 務事業名	農業専	1門指導	員設置	置事業	担担		部 課	農林才農政者		
6.	振り	り返り <	(SEE>	•							理	由			
	1			の目的は、基本	事業の意図に終	古びついています	ナか?		技術・営農指導 努めることで、」 る。						
L	L		結びつ	いている											
鼠			間接的	に結びついてに	\ る										
野妥			結びつ	いていない											
目的妥当性	2	・ 税金を	を投入し	ぜ市が行わなけて達成する目的	ればならないの ですか?	Dですか?		により 地域に	農指導員及び 機協の手の届か 勝ち得る強い	ゝない農 園芸及	豊家へ び畜産	の指導	尊も増えている ₹地を形成する	ることから、他 らためにも専門	
	_		妥当で	:ある 				知識を	有する専門指導	导貝の	設直に	ま 仏 安	十月欠である) ₀	
			見直す	一必要がある											
	3			る余地(可能性)		<i>n</i> . ડે			農指導員及び 出来るよう調整			員と通	重携を図り、円	滑で効果的な	
	<u> </u>		同上す	る余地はかなり	あ る										
	L		向上す	る余地はある程	度ある										
			向上す	る余地はほとん	どない										
B有効:	4)廃止·作	木止の景	5響はありません	か?			農家高 本市農	齢化による戸数 業の衰退は避	数の減 けられ	少、担 ない。	い手	への指導不足	により将来の	
効			影響が	゙ ある											
性			影響が	「ほとんどない											
	(5)	類似の事業は	目的(対 ありませ	対象・意図)又は	形態(イベントやり の主体が実施する	啓発等)を持つ他 らものを含む。)	の事務	合の	事業がある場 事務事業名等						
			類似の)事業はない					アクションサポ との連携により						
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない			明業務を分担・					, m = 1 = 1	
			類似の		合又は連携でき	====================================									
	6	・事務事 ・補助金		<mark>役(やり方)を工夫で</mark> 付先に働きかけて			か?		農指導員や県 中において、人					指導が縮小し	
			削減で	きない											
c	Г		削減で	 :きる											
C 効 率	H	· 車	業の手段	设(やり方)を工夫で	ナスニンで 人仕書	き(延べ業務時間):	を削減	事業費	はすべて賃金	のため	削減タ	余地が	ない。また、肩	農協営農指導	
性	7)できませ	んか?	ないでラカテをエス。 なや委託により人作			乙円1//以	員や県	専門技術員が負担が増える	縮小す	-る中に	こおい	て、業務時間	の削減は職	
	H				十貝で削減 じさよ	ניייים:		貝、W	只担が指える		る。				
	<u> </u>		削減で	きない											
	L		削減で												
D公平	8	事務事また、	受益者負	容が一部の受益 負担の公平性が	者に偏っている 確保されていま	ませんか? すか?		市内の	全農家が対象	となっ	ている	のでな	公平である。		
性性	\vdash			公正である											
			見直す	必要がある											
7.	12	V評価結	果 <i< th=""><th>PLAN>(組箱</th><th>決定)</th><th>【参考】前</th><th>年度の改造</th><th>直改善の力</th><th>方向性≪</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>»</th></i<>	PLAN>(組箱	決定)	【参考】前	年度の改造	直改善の力	方向性≪					»	
(1)事	務事業0	D改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	1	統合		休止	廃止	
		方向性	<i>-</i>	0											
					の奴骨生空 #	 見模拡大、担い手	E ~ 10 th	首な品(レ1 開放機関	しょ油	惟1 />	・ポミ - a	と古典类の伝	闘な図る	
革	改善	成27年月 きの内容 組むべき		TONIC, MA	い性百女だ、が		- 100	·	口し、 対	COE	17 4 C 14	.13-52-	r II Joe Av VIII.	맛 C IΔ' 강 :	
(3)平 性•]	成28年月 取組目標	度の方	農家を中心に、経営 【指導員設置数】 ・農業専門指導員2・ 【主な活動】 ・農家への巡回指導 ・農家、全部で ・農家・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	名·経営専門指導員 : :: :: 対	芯じる農業専門指導員 1名・畜産専門指導員	員を設置し、 11名	農畜産物	の産地強化や農業	経営体の	の育成強	食化に努	め、本市農業の振	興を図る。	
0	24	マ評価結	且 (北	当部長評価)											
0.	20	「日下 川 寺日	木 (1)												
		務事業の	D改革	継続 	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	i	統合		休止	廃止	
改	善力	7向性													
(2) 級					1				1		ı			

	事業 ード	0106010303010113	事 務事業名		農業専	門指導員設置事業	<u></u>	担当部担当課		林水産部 政畜産課
9. =	ストの	推移								
		(単位:千円)	平成26年	年度 (決	1隻)	平成27年度	(当初予算)		平成28年度	(計画)
1	報		1 774==	1 22 17	4317	1770=172	(1,5 7 51 7		1 774 1 72	(1)
2	 給									
3		手 当 等								
4	共	済 費								
5		補償費			0.055			070		
7 8	<u>賃</u> 報	<u>金</u> 償 費			6,677		ь	,972		6,972
9	 旅	<u></u>								
10	交	際費								
11	需	用 費			0			0		0
		耗品費								
	燃食									
		刷製本費								
		熱水費								
	修									
		材料費								
	飼	料 費 薬材料費								
12		務費			0			0		0
		信運搬費								
	広									
	手									
13	保 委	険料 新								
14		<u></u>								
15		事請 負 費								
16		材料費								
17		財産購入費								
18		講入費 補助及び交付金								
20	扶	助費								
21		付 金								
22		填及び賠償金								
23		利子及び割引料								
24 25	積	及び出資金 立 金								
26	 寄	 附 金								
27	公	課費								
28	繰	出 金								
	計画	康走业 4			6,677		6	,972		6,972
		庫支出金支 出金			0			0		
財 源	財地				0			0		
財源内訳		の他			0			0		
1/6	_	般 財 源			6,677			,972		6,972
		計			6,677		6	,972		6,972
*	甫助率	国県								
補	助									
平成	26年度	ᡛ補正∙流用₺	 犬況		平成26年	度特定財源内訴	Į.			
	当初]予算		,864		区分		名称		金額
	補正	予算		0						
				\neg						
				$\overline{}$						
										

合 計

流用・充用 予算合計 42 6,906

4 44 4	John der											
1. 基本	有報											
事務事	業			+ 2 6 + .	**	<u> - سد د</u>	- 00 Tr. / F E = 0 00 -	Alle		担当部	農林水産部	
J-18	1	01060103	803010113	事務事:	業名 農	美美与	門指導員設置	事業		担当課	農政畜産課	
政策	名	03	活力を	る産業の	のまちづく	くり				グループ	農政第1グル	
施策	名	01	農•林	水産業	の振興					電話番号	45-5111	年度
基本事	業名	01	農林漁	魚業経営	体へのき	支援				内線番号	2211	年代 ■
予	会計	一般	会計					+ **	□ 単年度のみ		元号選 √ 択	V i
算	款	06	農林才	×産業費				- 事業 - 期間	■ 単年度繰返 (開始 ⁴	年度 H		スト「山」
予算科目	項	01	農業費	ŧ				2011EI	□ 期間限定複数年度	(数字を入れ が付きます	رم د ۱۱۱
目	目	03	農業扱	長興費				根拠法令·条例等				
評価区	分	,	標準評	標準評価 評価対象 1次評価				関連計画				

2. 事務事業の概要・目的・指標 <D₀>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

(1) 予切予末の概要(採体的なやり方、子順、詳細を記述) 霧島市管内における農家を中心に、経営指導や営農相談に応じる農業専門指導員を設置し、農畜産物の産地強化や農業経営体の育成強化に努 め、本市農業の振興を図る。 【指導員設置数】 ・農業専門指導員2名・経営専門指導員1名 【主法活動】 ・農家への巡回指導 ・営農・経営相談の応対 ・集落営農・新規就農者の育成

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	農家巡回指導日数(延べ)		日	780	637	673	650	650
1	営農・経営相談の応対		件	65	65	67	70	70
ゥ								
(2	2) 事務事業の目的							
	・ 対象 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年 度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	市内の農家	農家数	戸	5,066	5,066	5,066	4,500	4,500
1	新規就農者や後継者	新規就農相談者数	人	35	12	16	20	20
ゥ								
_) 意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	生産農家の技術の向上	農業粗生産額	千円	16,791	16,791	16,791	15,000	15,000
1	新規就農者や後継者の確保	農家戸数	戸	6	13	8	10	10
ゥ								
(3	3) 上位の基本事業							
_	基本事業の意図 さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	経営体質の強化	認定農業者数	人	316	307	301	315	315
1								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

多様化・高度化する農業生産技術や産地形成に的確に対応するため、高度な技術、専門的な知識を有する指導員を昭和の時代に設置をした。農協営農指導員や県普及指導員が大幅に人員削減されていることで、市専門指導員の活動範囲や重要性も大きくなっている。営農指導対象者から専門的な技術を有することなどから、今後も引き続き設置が望まれている。営農指導員による指導体制を強化してほしい。

4	. 事業費の推移						単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A. >		,001	E 19			丰区	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	を出	睁	千円			0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円			0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円			0	0	0
	費	訳	そ	0	0	他	千円			0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円			6,677	6,972	6,972
量		哥	業	費			千円	0	0	6,677	6,972	6,972

5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

- ・農家巡回による営農指導及び経営指導 ・新規就農者の相談・育成

巡回指導による営農指導や経営指導を実施した結果、担い手農家の育成が行われた。しかし、それにもまして、高齢化などを理由とした離農が後を絶たない状況である。

-	事務事業 コード	01060	10303010113	事 務 事業名	農業専	門指導員設置事業 担当部 農林水産部 担当課 農政畜産課										
6.	振り返り・	<see></see>	>					理	由							
				事業の意図に終	古びついています	か? 農家の 確保に いてい	ニ努めることで、ノ	掌を定期的に 農業者の体質	行うことで、安定的 賃強化になり、政策]な農業経営の 体系に結びつ						
			いている													
A目的妥当性		間接的	りに結びついてい	る												
要			いていない			ette (da X	/ # IS * E =		-	- A A #						
醒			ぜ市が行わなけ て達成する目的		のですか?	により	農協の手の届か	ない農家への	員の減少や、販売 の指導も増えてい Eの産地を形成する	ることから、他						
	-	妥当で	きある			知識を	有する専門指導	算員の設置は	北必要不可欠であ	5.						
L		見直す	必要がある			曲44.6	4曲北洋只刀バ		早1.本株→.回10 円	温本林田めた						
	③ 成果が	「向上す	る余地(可能性)	はありませんか	3, را ا		は民指导貝及いる出来るよう調整		員と連携を図り、円	間で効果的な						
			る余地はかなり													
	-		る余地はある程													
		向上す	る余地はほとん	どない		典学	ご歩(ル)ァトス 戸米	そのは小 担	い手への指導不足	リアトル版本の						
B 有 効	④ 廃止・	休止の景	/響はありません	か?			動画化によるアダ 農業の衰退は避		V 1→ 1 0 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	こにより付米の						
効性	•	影響が	ずある													
'-			「ほとんどない													
			対象・意図)又は		啓発等)を持つ他(るものを含む。)	の事務 類位	以事業がある場)事務事業名等									
		類似の	事業はない			れあい	いとの連携により	、集落営農物	TAF(トータル・ア) 推進や新規就農相							
	-	類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない	など専	など専門業務を分担・連携して行える。 									
L			事業があり、統			4.0 典故的	世代 日次 日次 日次 日次 日次 日次 日次 日	車 囲	の削減により、巡回	7歩道が綻小1						
	事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか?補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか?						中において、人			11月分4411110						
	•	削減で	きない													
C 効	□ 削減できる					-t viis -t-		> > MI > > A		alle Life XV alle Life XVe						
率性	(7) できまt	せんか?	设(やり方)を工夫で なや委託により人作		費(延べ業務時間)を せんか?	員や児	関はすべて賃金 県専門技術員が り負担が増えるこ	縮小する中に	全地がない。また、 こおいて、業務時間	農協営農指導 引の削減は職						
			きない	TACITIES CC 04			771277 76700									
		削減で	きる													
D			容が一部の受益 負担の公平性がで			市内の	全農家が対象	となっているの	ので公平である。							
D公平:	-	公平∙∶	公正である													
性		見直す	必要がある													
7.	1次評価紀	果 <	PLAN>(組織	決定)	[参考]前:	年度の改革改善の	方向性≪			»						
)事務事業(継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止						
CX:	善の方向性 	:	0													
			引き続き、農家	の経営安定、規	見模拡大、担い手	への指導を強	化し、関係機関	とも連携しな	がら本市農業の振	興を図る。						
)平成27年 改善の内容															
	り組むべき															
			農家を中心に、経営 【指導員設置数】 ・農業専門指導員22	指導や営農相談に) A・経営専門指導員	応じる農業専門指導員 1名・畜産専門指導員	を設置し、農畜産! 1名	勿の産地強化や農業	経営体の育成強	化に努め、本市農業の抗	長興を図る。						
)平成28年		【主な活動】 ・農家への巡回指導 ・営農・経営相談のい ・集落営農・新規就別													
미,	性•取組目標	祟	・集落営農・新規就規	漫者の育成												
8.	2次評価紀	果(担	当部長評価)													
)事務事業(の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止						
改	善方向性															
								•		•						
(2)総 評															

	事業 ード	0106010303010113	事 務事業名	事務事業名農業専門			<u></u>	担当部担当課		林水産部 政畜産課
9. =	ストの	推移								
		(単位:千円)	平成26年	年度 (決	1隻)	平成27年度	(当初予算)		平成28年度	(計画)
1	報		1 774==	1 22 17	4317	1770=172	(1,5 7 51 7		1 774 1 72	(1)
2	 給									
3		手 当 等								
4	共	済 費								
5		補償費			0.055			070		
7 8	<u>賃</u> 報	<u>金</u> 償 費			6,677		ь	,972		6,972
9	 旅	<u></u>								
10	交	際費								
11	需	用 費			0			0		0
		耗品費								
	燃食									
		刷製本費								
		熱水費								
	修									
		材料費								
	飼	料 費 薬材料費								
12		務費			0			0		0
		信運搬費								
	広									
	手									
13	保 委	険料 新								
14										
15		事請 負 費								
16		材料費								
17		財産購入費								
18		講入費 補助及び交付金								
20	扶	助費								
21		付 金								
22		填及び賠償金								
23		利子及び割引料								
24 25	積	及び出資金 立 金								
26	 寄	 附 金								
27	公	課費								
28	繰	出 金								
	計画	康走业 4			6,677		6	,972		6,972
		庫支出金支 出金			0			0		
財 源	財地				0			0		
財源内訳		の他			0			0		
1/6	_	般 財 源			6,677			,972		6,972
		計			6,677		6	,972		6,972
*	甫助率	国県								
補	助									
平成	26年度	ᡛ補正∙流用₺	 犬況		平成26年	度特定財源内訴	Į.			
	当初]予算		,864		区分		名称		金額
	補正	予算		0						
				\neg						
				$\overline{}$						
										

合 計

流用・充用 予算合計 42 6,906

1. 基本	情報										
事務事業 0106010403010113 事務事業 肥育素牛販売促進事業							生生販売促進事業		·	担当部	農林水産部
. ⊐-ŀ	ド	0100010-	03010113	名	ЛL	1月米	(十)			担当課	農政畜産課
政策名 03 活力ある産業のまちづくり										グループ	畜産グループ
施策名 01 農・林・水産業の振興										電話番号	45-5111
基本事業	業名	01	農林流	魚業経営	体への	支援				内線番号	2321
予	会計	一般	会計					±*	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林	水産業費				事業期間	■ 単年度繰返 (開始 ⁴	F度 H	20 年度~)
予算 会計 一板会計 算 06 農林水産業費 科 項 01 農業費 日 04 本産業費								初申	□ 期間限定複数年度	(~)
目	目	04	畜産	業費				根拠法令·条例等	霧島市肥育素牛販売促送	進事業補助金	交付要綱
評価区分 標準評価 評価対象 1次評価						寸象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市内の肉用牛の肥育農家に対し霧島市肥育素牛販売促進事業補助金(以下「補助金」という。)を交付し、肥育農家が導入した肥育牛の枝肉成績を生産農家に提供することにより、肥育農家における経営の安定並びに生産農家における配育素牛の販売促進及び優良肥育素牛の改良増殖の促進を図ることを目的とする。 ○補助金の額は、補助対象牛1頭につき20,000円とする。対象牛の要件は次のとおり。

霧島市の生産者が姶良家畜中央家畜市場の子牛せり市場に上場した子牛とする。

・産歴が1産以内の母牛から産まれ、かつ、その種雄牛は当該年度における4月1日時点の年齢が12歳以内で当該年度の姶良地域の基幹種雄牛若しくは待機種雄牛であること又は霧島市内の種雄牛管理者により飼養されているものであること。(27年度より) ・自令270日以内のものであること。 ○補助対象牛の出荷先は全国和牛登録協会鹿児島支部の育種価に対応した食肉処理場とする。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度
ア	肥育農家		戸	14	14	13	13	13
1	出荷子牛		頭	5,862	5,512	5,299	5,200	5,200
ゥ	肉用牛生産農家		戸	637	607	542	530	500
(2	2)事務事業の目的							
_	対象 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	市内の生産農家	農家戸数	戸	637	607	542	530	500
1	市内の肥育農家	農家戸数	戸	14	14	13	13	13
ゥ								
_	・ 意図 ②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度 (目標)
ア	枝肉成績のフィードバックを受ける	判明頭数	頭	61	53	89	152	169
1	優良肥育素牛の改良増殖を促進する	全国共進会で入賞した頭数	頭	0	0	0	0	0
ゥ	子牛を導入しやすくなる	導入子牛	頭	99	142	169	180	150
S	B)上位の基本事業							
_	基本事業の意図 ぶらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	経営体質が強化される。	認定農業者	人	316	307	301	315	315
1								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

産内 水積がわからないと生産牛の導入・保留や更新等について迅速な対応ができず、肉用 中の改良が遅れてしまう恐れがある。市内生産の肥育素牛に対する購買意欲を高める。市内生産の肥育素牛に対する購買意欲を高めま施した。産子数の少ない母牛から生まれた子牛を市内の配育農家が積極的に導入している。母牛の産肉能力を早く知りたいとの要望がある。日齢と体重の制限を撤廃してほしいとの要望がある。家畜導入及び保留補助事業と連携した事業に見直しを図り霧島プランドの確立を図ってほしい。

4.	事美	模	の‡	隹移			単位	24年 度 (決算)	25年 度 (決算)	26年 度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
			玉	庫3	と出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	J	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			-	般	財	源	千円	1,980	2,840	3,380	3,600	3,600
量		耳	業	費			千円	1,980	2,840	3,380	3,600	3,600

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

(2)平成26年度の成果

導入子牛:169頭 判明頭数:89頭

ゥ

枝肉成績(繁殖雌牛の能力)を生産農家ヘフィードバックすることで、導入・保留した牛の産肉能力が判明し、そのことが優良肉用牛の保留・導入や淘汰・更新の目安となることで、さらなる優良肉用牛の確立と経営の安定化と主産地化が図られた。

luli.	事務事		01060	10403010113	素牛販売	促進	事業	担担		部 課	農林和農政部			
6.	振り	返り <	(SEE>	>							理	由		
	_	この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に絹	古びついています	デか? 1	確立に	R留した牛の産 つながる。 まななり、経営に安	た、優.	良肉用	牛の保証	習・導入や	
			結びつ	いている										
鼠			間接的	りに結びついてい	る									
目的妥当性			結びつ	いていない										
当	2	・この事	業をな	ぜ市が行わなけて達成する目的	ればならないの	Dですか?			産農家が母牛の事業により、					は困難であるこ
'-					C9 // ?				化を図るための					AECIAJII I V
			妥当で											
			見迫す	- 必要がある				☆ 143 -	の文のフルナ	~ o #	ر علاد <i>-</i> د	10 	nm 大曲に	ア. 1 ペンプ マショー 中井
	3	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんか	٧.	t t	買しては	~3産の子牛を らうことで、母 に残すことが出 長良肥育素牛の	生の産	内战线	書か 早.期	に判明さ	ナ優秀か子生
			向上す	る余地はかなり	ある 			また、個 入賞で	₹良肥育素牛の きる優秀な枝図	の改良が	増殖が 産が助	促進され 長される	いることで、 ことが期彳	共進会等で 寺できる。
			向上す	る余地はある程	度ある									
			向上す	る余地はほとん	どない									
B	4	廃止•億	木止の景	5響はありません	か?		J	事業廃 用牛の	止により市内の 保留・導入や液	別に育り	豊家の 夏新に	活発な類 影響する	購買意欲⊄ 。)低下、優良肉
B 有 効			影響が	 ある										
性			影響が	・ ほとんどない										
	⑤	類似の事業は	目的(対	対象・意図) 又はF とんか?(市以外の	杉態(イベントやPO主体が実施する	啓発等)を持つ他 ものを含む。)	の事務		事業がある場事務事業名等					
				事業はない			3	類似の	事業はない。					
			類似σ		統合又は連携	できない								
				事業があり、統										
H	(6) ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか?							要綱を	改正すること	により	り、事	業費の	削減を図	る。
				きない	C II O ALE ENTINE	x CC & C 7077 .								
C 効率			削減で		7 - 1 - 1 M - 1	b /25 - > 1/4 75-+ 772 -	to distants a	ᆂᇚᄼ	・ 交付事務が	·+ ~:	- II 7	u int on a	>+\h (++>	
性	7	きません	か?	役(やり方)を工夫す なや委託により人件			を削減で 1	畑切立	文刊 争伤が	± Ca	のり、F	リルベロファ	大地はな	ه' ۰
			削減で	きない										
			削減で											
	_			で <mark>容が一部の受益</mark>	老に偏っている	きせんか?	,	生産農	家、肥育農	家全で	が対	象であり	」 慜殖F	1雌牛全頭
D 公 平	8)	また、う	受益者負	負担の公平性が研	雀保されていま	すか?		こ適用	されるのでな	公平で	ある。	», cu	/ N/E/	1700 1 1125
並			公平・	公正である										
性			見直す	一必要がある										
7.	1次記	評価結:	果 <	PLAN>(組織	決定)	Tabak Tab	年度の改革	****		dik i	き . みし	力改善		»
									同性》	WAT.	9E - 70 9			
		§事業の 方向性	D改革	継続 	やり方改善	コスト拡充	コスト糸	宿小	連携	1	統合		休止 ———	廃止
ء کی		31.312		0			0							
				若い牛の産肉原肥育農家と連携	支績を判明する をして、できる	ため、対象子牛だけ早く産肉成	を1産目、	2産目 -ドバッ	の子牛に絞る。					
革司	女善0	27年度 D内容		na marakazar	,20 ((((0	(C1) ()±1 4/90		, ,	, 211,70					
(4义	ツ組る	むべき	 未起)											
				肥育農家と連携	まをして、できる	だけ早く産肉成	績のフィー	-ドバッ	クを行う。					
(3)	平成	28年度	きの方											
向性	生取	組目標												
8.	2次	評価結:	果 (担	当部長評価)										
1	中 型	7 = 44	N 71- ++	継続	かいナッキ	コフレセナ	7714	定小	·声##		法人		休止	廃止
	事務 售方向	§事業 <i>の</i> 句性	ノ改革	31-326	やり方改善	コスト拡充	コスト約	1月八)、	連携	i	統合			.,,,,
(2)	総	評												

事務コー	事業ード	010601040301	0113	事 務事業名		肥育	素	牛販売促進事業			旦当部 旦当課	農林水産部 農政畜産課
9. ⊐	ストの	推移										
		(単位:千	円)	平成26:	年度()	 決算)		平成27年度	(当初予算)	平	成28年度(計画)
1	報		酬									
2	給		<u>料</u>									
3		手当										
4	共		費_									
5 7	<u>災</u> 賃	評補 償	<u>質</u> 金									
8	<u>貝</u> 報		亚 費									
9	旅		<u>/</u> 費									
10	交		費									
11	需		費				0			0		0
	消燃		費 費									
	食		_更 費									
		刷製本										
		熱水	費									
	修		料									
	賄		費									
	飼	料 薬材料	費 _ 费									
12	<u> </u>		<u>艮</u> 費				0			0		0
		信運搬										
	広		料									
	手		料									
10	保		料									
13	委 使用制	託 科及び賃借	料 _料									
15		請負										
16			費									
17		財産購入										
18		購入				0.6	.00			2.00		2.000
19 20	扶	対	費			3,3	80			3,600		3,600
21	<u>小</u> 貸		<u>早</u> 金									
22		 填及び賠償										
23		利子及び割引										
24		及び出資										
25	積		金 _ _									
26 27	<u>寄</u> 公		金 費									
28	 繰		<u>会</u> 金									
	計					3,3	80			3,600		3,600
	特国	庫支出					0			0		
財	特定財源		金				0			0		
財源内訳	財 地 源 そ	<u>方</u> の	债 他				0			0		
訳	_		源			3,3			:	3,600		3,600
		計				3,3				3,600		3,600
	助率	国										
		県	⊕∓									
補			額									
平成2		[補正·流	用物		100	平成2		度特定財源内部	ŧ .	カエ		△ **
]予算 予算		2	0,400			区分		名称		金額
	110.44											
					-							

流用・充用

予算合計

980 3,380

					平	成2	7年度	3	事系	务事業振	返りシ-	-ト	(፯	平成26年度	実施事業	の振返り)		
	基本情					— 11t										+D VV 호7	曲井してみ	- 7
寻	事務事業 コード	0	01060104030	010114	事務		降灰均	也域	飼料	斗作物確保	対策事業	É			-	担当部 担当課	農林水産部農政畜産調	
	政策名		03	舌力			ちづくり									グループ	畜産グルー	
	施策名	_			木・水産											電話番号	45-5111	
_	本事業4 ₃ 会		01 月 一般会		漁業経常	営体	への支援							単年度のみ		内線番号	2321	
	予算 景				水産業乳	費					事業期間			単年度繰過		度 H	18 年度	~)
	科可		01 房	農業	費						別间			期間限定複	夏数年度(~)
		_			業費	===	加山 名	_			根拠法令・条							
_	平価区分			準許			価対象	_			関連計	囲						
	事務事	-					<do></do> 0方、手順		細を	>記述)								
飼料	斗作物は、	台:	地のた	- めお	※鳥の爆	発に	伴う降灰の	の被	害か	ぶ甚大で収量	量、品質の個	氐下;	が著	しくまた収穫	作業環境	悪く畜産経	:営が不安定	どなって
いる	5。このた	め降	灰に。	よる初	皮害等を	:克服	し、肉用 <i>⁴</i>	丰生.	産基	盤を確立す こに努め農業	るため飼料	斗作特	勿収オ	嚄調整用機	械施設の雪	を備を行い作	業能率の向	丁上と生産
韶 [*]	斗作物(17)	確調		継棒	の導入					内、一般地								
県主	単事業(湯	基地	地域7	5%.	以内、一	般地	域65%以	人内)	1000	71 /100	3,10702	1)						
														24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
1	活動指	標	(事務	事業	の活動	量)						単	位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	事業件数	[14	‡	1	2	1	2	2
	負担金											千	ш	7,520	30,881	36,924		
_	貝担並											'	[7]	7,520	30,001	30,924		
ゥ																		
_	2) 事務	事業	きの目	的		N		A. I	سول ما								0 - f- f-	0.0 =====
_	対象 誰、何を対	+ 免	にして	しいる	のかり	- 1	③対			れ の大きさを	丰-十七/ (声)	単	.位	(実績)	25年度 (実績)	(実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	音産農家					4	新産農家数 新産農家数				区 9 1日1示/	F		657	627		545	515
,	宙性辰豕	.(四)	用十•₹	七州日	F)		宙性辰 豕%	H1-1-	*和卅/		,	_	160	027	570	545	515	
1																		
ゥ																		
4	意図	意図 ⑤ 成果指標									畄	.位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
((②対象を	どうし	したい	のか	·)	_4	(左記	4億	(図)	の達成度を表	表す指標)	#	· 177	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア	自給飼料増産 事業に取り組む農家								14	‡	1	2	1	2	2			
1																		
ゥ																		
	3) 上位(の基	t 太 事	業		_												
<u> </u>	基本事					N.	⑦ 基	本事	丰	の成果指		224	<i>/</i> _	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(3	さらにどの。	ような	c成果(こ結び	びつくのフ	か)	(左記	.⑥意	(図)	の達成度を表	表す指標)	単	.位	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア	経営体質	が強	化され	る		Ī	認定農家数	ţ				F	=	316	307	301	315	315
1																		
ゥ						+												
		A 17 A																
	事務事:							4.	事	業費の推和	多	単	位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	全経営者(国庫	支出金	千	Ш	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画) 0
牛豆	質数が年	々減	少して	こいる	5ことにカ	加え、	EPAに		事			千				36,924	20,578	17,104
に対	けして先行	うきだ	が不安	であ	る。				事業費	財 県 支 加 水 そ	方債	千	_			0	0	0
め、	莫拡大を[事業等の) 25C	っなるま	支援	をお願い	1した	い。		費	訳そ	の他	千	円			0	0	0
また	上、機械の	更新	折での	事業	実施の	要望	がある。	投入量		一般	財源	千				0	0	0
								量		事業費		千	円	0	0	36,924	20,578	17,104
								1		<u> </u>								
5	平成26:	年成	E O ∃	(4)	及八成山	围		_										
	一成26) 平成26						斯如西 <u>索大</u>	life lists for	41 - L	い目はかいわま	(0)	V ct	20 A	中の 中田	z+3	己の実績(取組)	アトス・出田ナギ	_ 4±

旭ヶ丘飼料生産組合事業費 負担金 36,924千円 導入機械トラクター・バーチカルハロー・マニアスプレッダー・ディスクモアジャイロテッダー・ジャイロレーキ・ラウンドベーラ・ラッピングマシンフォーレージハーベスタ・裁断型コンビラップ・ブロードキャスターボンネットダンプ

飼料作物収穫調整用機械の導入を行ったことにより、自給飼料増産に よる経営の安定につながった。

Į.	事務事業 コード 010 . 振り返り <see< th=""><th>10403010114</th><th>事務事業名</th><th colspan="6">飼料作物確保対策事業 担当部 農林水産部 担当課 農政畜産課</th><th></th></see<>			10403010114	事務事業名	飼料作物確保対策事業 担当部 農林水産部 担当課 農政畜産課								
6			(SFF)		- 予不日					1년		_	長以	当 生味
<u> </u>					事業の意図に網	吉びついています	か?		参加者が本事見模の拡大及		り組み	み、自紀		
		•	結びつ	いている					に結びつく。					
습			間接的	 に結びついてい	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~									
的			結びつ	いていない										
目的妥当性	2	·この事	業をな	ぜ市が行わなけ	ればならないの	Dですか?			業は国県補助			、事業	主体に支払う	作業があるの
19				て達成する目的	ですか?			で、巾7	が関与する必要	学刀・め・	ఏ.			
		-	妥当で											
				必要がある				畜産農	家が事業に取	り組む	ことで	で、自糸	合飼料増産が	図られる。
	(3)	成果か	「同上する	る余地(可能性)	はありませんか	١٠?								
			向上す	る余地はかなり	ある									
			向上す	る余地はある程	きまる しゅうしゅう									
			向上す	る余地はほとん	どない				大陸工 仏工	la la h 12	· +	ケ曲 ⇔	1/1字米1/1字1/2	√π±. = 1. 1°-=±.
B	4	廃止∙億	木止の影	響はありません	か?				を廃止・休止するため、影響が		、畄四	E農家)	か事業に取り	組むことができ
B有効性			影響が	ある										
性			影響が	ほとんどない										
				 象・意図)又は んか?(市以外の		啓発等)を持つ他(ものを含む。)	の事務		事業がある場 事務事業名等					
		I		事業はない) <u> </u>	000211007			事業は無い。					
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
			類似の	 事業があり、統	ーーーー 合又は連携でる	 ≛る								
	6	•事務事	業の手段	と(やり方)を工夫す	することで、事業費	と 削減できません	か?	補助金	など現時点で	の市の	負担	は無い	ため削減で	きない。
	・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか? ■ 削減できない													
c		_	削減で											
C 効 率	・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削					上削減で	削減で	きる要素はない	· 1 ₀					
性	・争称争業の手段(ヤッカ)を工大することで、人件資(遅へ業務時间)を削 ・ 、 ・ 、													
			削減で	きない										
			削減で	きる										
D				容が一部の受益 担の公平性がそ				希望す	る農家が取り終	且める	のでな	公平で	ある。	
D公平性		•	公平・公	公正である										
性			見直す	必要がある										
7.	1次割	P価結	果 <f< th=""><th>PLAN>(組織</th><th>決定)</th><th>[参考]前:</th><th>年度の改造</th><th>では</th><th>市性≪</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>></th></f<>	PLAN>(組織	決定)	[参考]前:	年度の改造	では	市性≪					>
(1	事務	車業(D改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト		連携		統合	-	休止	廃止
		向性	704	0	. ,,,,,,,,,			116 -	~		1,70 —			
					<u> </u> であり、計画段	 階で農家との協議	長をしな7	がら事業	 費の抑制につ	なげ	ていく			
(2	平成:	27年日	度の改											
革	女善の)内容)べき												
(-12	7/11/		илк <u>и</u>											
				国県補助事業*	であり、計画段で	皆で農家との協議	長をしなれ	がら事業	費の抑制につ	なげ	ていく	0		
		28年月 組目標	度の方											
8.	2次評	F価結	果(担	当部長評価)										
(1	事務	事業の	D改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合		休止	廃止
	善方向													
					1	<u> </u>			·	1				1
(2)	総言	评												

事務事業 コード 0106010403010114 事務 事業名					峰灰地域 飼	料作物確保対	策事業	担当担当		農林水産部農政畜産課
	ストの推	较						,	WK .	及以田庄郎
э. Д	ヘトの推	199								
	<u>(i</u>	単位:千円)	平成26年度	(決	算)	平成27年原	度 (当初予算)		平成28年	F度 (計画)
1		酬								
	給	料								
3	職 員:	手 当 等								
4	<u>共</u>	斉 費								
5	災害	補償費								
7	賃	金								
8	報(賞 費								
9	旅	費								
		際 費								
11		用 費			0			0		0
		毛品費								
	燃	料費								
	食	糧 費						\perp		
		製本費								
		热水費								
	修	善 善 善 本 世 世 世						\perp		
		才料費								
	飼	料費						_		
10		材料費			0					0
12		務費			0			0		0
		運搬費						-		
	広手	告 料 数 料								
	保							-		
10		険料 託料								
		び賃借料						+		
		請負費						+		
	<u>- </u>	料費								
		全購入費 産購入費								
		講入費						+		
		カ及び交付金			36,924		20,	578		17,104
		助 費			00,021		20,	-		21,101
		付 金								
23	償還金利子	子及び割引料								
	投資及	び出資金								
25	積 :	立 金								
26	寄	附 金								
		課 費								
		出 金								
	計				36,924		20,	578		17,104
4	+ 国庫	支出金			0			0		
財		支 出 金			36,924		20,			17,104
源	地	方 債			0			0		
財源内訳	7	の他			0			0		
ш/ С	一般財源				0			0		
	ī				36,924		20,	578		17,104
補	助率	国			F = /3.0		- -	/10		
		県			7.5/10		7.5,	/10		7.5/10
	助基									
平成2		正・流用が		_		度特定財源内				
	当初予算)		区分		3称		金額
	補正予		36,924	_	県支出金	•	降灰地域飼料作	物確保対	対策事業費	36,924
	補正領		43,441							
	## IF 🗎	- / →-	ı –6 51'	r 1	1					

当初予算	0
補正予算	36,924
補正第3号	43,441
補正第7号	-6,517
流用・充用	
予算合計	36,924

0	区分	名称	金額
36,924	県支出金	降灰地域飼料作物確保対策事業費	36,924
43,441			
-6,517			
36,924		合 計	36,924

				1.7	<u> </u>		子/刀子不)灰.		(十成20千茂 天旭争)	木の派込り	
1. 基本	情報										
事務事	業	01060104	03010115	事務事	事業 。	知田仕	-災害事故共助事	华		担当部	農林水産部
П	ド	01000101	103010113	名	P	٦ллТ	火音争以共功争	未		担当課	農政畜産課
政策	名	03	活力な	ある産業	のまちつ	づくり				グループ	畜産グループ
施策	名	01	農•材	ト・水産業	美の振興					電話番号	45-5111
基本事	業名	01	農林	漁業経営	体への	支援				内線番号	2321
予	会計	一般	会計					± **	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林	水産業費	Ť			事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 ⁴	丰度 H	22 年度~)
予 算 科 目	項	01	農業	費				7切中	□ 期間限定複数年度	(~)
目	目	04	畜産	業費				根拠法令·条例等	肉用牛災害事故共助要領	頁	
評価区	分	7	標準訊	严価	評価対	対象	1次評価	関連計画			
2 事務	事業の	の無い	要•日	的。指数		Do>					

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

子牛セリ市、育成牛せり市、各種共進会、品評会、実牛を伴った研修会、登録審査時における積み降ろし中及びそれを目的とした行為中の牛の廃用、死亡事故及びかごしま中部共済組合の獣医師又はその指定獣医師が治療を必要と認めた場合、その損害に対する生産者の損失を軽減するために災害事故共助金を支払う。 共助金の負担割合 JAあいら35%、生産者35%、行政30% 共助金の管理(事務局): JAあいらの畜産部 あいら中央家畜市場の子牛取扱頭数実績: H26年度 5,862頭(霧島市出荷分) 1頭当たり50円で予算計上 【事務の流れ】事故発生→農家から事故報告→共助金交付申請→査定審査会(市職員も委員)→共助金の決定→JAより市負担分の請求、支払→JAより対象農家への支払

	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	加到10 株(新历事条》/伯勒里/		中四	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	補助交付農家		戸	3	1	2	2	2
1	補助交付金額		千円	72	55	89	100	100
ゥ								
(2	2)事務事業の目的						,	
_	対象 維、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	畜産農家(肉用牛繁殖)	肉用牛農家(子取り用雌牛飼養農家)	戸	637	607	542	530	500
1								
ゥ								
	意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	事故のリスクが軽減される	事業活用農家数/事故発生件数	戸	3	1	2	2	2
1								
ゥ								
(3	り上位の基本事業			,			'	
_	基本事業の意図 ならにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度 (目標)
ア	経営体質が強化される。	認定農業者数	人	316	307	301	315	315
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

対象家畜をせり市、共進会、品評会、予防注 対象で畜産農家が事故等による損失を軽減するともに、近年高齢化、多頭化が進む中、牛の取扱いに対する協力体制を強化することは、 生産者の経営安定と肉用牛基盤維持に繋がることから事業が開始された。 畜産農家から事故等に対する補償制度が欲しいとの要望があった。 平成20~22年度で子牛の予防注射であいら 管内で5頭の死亡事故があり農家が損害を受けた事例があった。

А	nte d)	ωt	隹移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
4.	777	R IR	,V) 1	生19			半四	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	と出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	ブ	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	Ø)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	72	55	88	276	266
量		- 耳	業	費			千円	72	55	88	276	266
_												

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

(2)平成26年度の成果

活用実績 2件 交付金額 88,400円

本来、実績が無い方が良い事業であるが、事故が発生した農家の損害 は非常に多大である。この事業によって損失補てんをする事で、農家の 経営の安定が図られた。

틕	事務等		01060	10403010115	事務事業名	肉用牛	災害事	故共即	力事業	担担	当当	部課		水産部 畜産課
6.		-	(SEE>		7.1					担	<u>=</u> 理	_	辰以	田 生 味
					事業の意図に終	古びついています	か?	畜産農	家が子牛せりる	有、各	種共:	進会、	品評会、実生	を伴った研修
				いている				中の事	欧番重時におり 故に対して生産 結び付く。					
A		_		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				32/1010	MH 0 11 (0					
山的形				いていない										
A目的妥当性	2	·この事	業をな	ぜ市が行わなけ	ればならないの	つですか?								して出品できる
性		•税金	投入し	て達成する目的	ですか?			ことによ 業振興	り、研修の機会 ができ妥当でる	き、せら ある。)市^	-の出	荷時のリスクか	・軽減され畜産
			妥当で											
				必要がある		_		不測の	事故等を想定	してお	り成	果向」	この余地はない	١,
	(3)			る余地(可能性)		٧٠,								
				る余地はかなり										
				る余地はある程										
				る余地はほとん				農家、	一 行政、JAで組箱	能しては	ස් ා	農家負	負担が増額され	1.る恐れがあり
B 有	4)	廃止・作	木止の影	/響はありません	か?			農家へ	多大な影響が	ある。			ti-ii gate.	
B有効性			影響が											
_		DIT IN A		ほとんどない	T . 145		7/2							
	5	類似の事業は	百的(x) ありませ	「家・意図) 又は ・んか?(市以外の	杉態(イベントやり り主体が実施する	啓発等)を持つ他の ものを含む。)	り事務	類似合の	事業がある場 事務事業名等					
			類似の	事業はない				類似の	事業はない					
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
				事業があり、統				-tt- #	A	2 /2 Lm 2		L BL who	- Alle A 1 A 2	111 750
	6	·事務事 ·補助金	業の手段など、交	设(やり方)を工夫で付先に働きかけて	けることで、事業費 、市の負担を削減	を削減できません; 成できませんか?	か?	事故に	家・JA・行政が よる損害を軽減 っているので、	或する	ことが	でき、	農家の安定的	-とは、不慮の りな畜産経営の
			削減で	きない				(C)XJ	, 2 C 1 , 2007 C 1	H11/950	77/12	E14/4	· V · O	
C 効			削減で	きる				15-1-4		2.2-6				S 10 1 2 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10
率性	7	きません	か?			となる。 としない といる といる といる といる といる といる といる といる といる とい	削減で	補助金は無い		つく事	- 務処	埋の	みであることか	ら削減の余地
		■	削減で	さない	「貝で削減 じさよ	E 1011 :								
		_	削減で											
Ĺ	8	事務事	業の内	容が一部の受益	者に偏っている	ませんか?			管内)で肉用牛 育産農家も一部					ハるので公平で
D公平性		また、5		<u>t担の公平性が₹</u> 公正である	性保されていま	970'?		め か。 E	自生辰多り 司) 貝担	9 WI.	上市吐のプ	くのり、公子・	ATE (MO
性		_		必要がある										
7	1次	评価結	里 < F	PLAN>(組織	決定)							and Andre		
		I live date	ж <.	継続		【参考】前年						迷続	休止	≫ 廃止
		§事業ℓ 方向性	D改革		やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合		<u> </u>	光工
				の事業の内容	ドクいて改革	 改善の余地は無	LX							
4 = 3		· - -		こ07 ず 来 07 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	トに グ・(以手	以音の示地は無	v ' ₀							
革司	女善(727年月												
(取	り組	むべき	課題)											
				- の事業の内容	ないてみま	改善の余地は無	し、車も	ケが郊井	: 才ス亜円ボル	ナンノナン	ストニ		空の字ぐらや	か 車地吐止
				の啓発を行う。	トに ソハ・(以手	以音の示地は無	v .º ≇⊾ñ	X//+7EII	. 外の安凶かり	<i>'</i> + <i>\'</i> +	(J) (L)	'云'刎'	寺の女 王忠侠	八、事政例正
(3) 向性	平成	28年月	度の方											
1.31.	/^	, H III IV	`											
8.	2次	評価結	果(担	当部長評価)										
(1)	事務	事業の) 本公	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合		休止	廃止
	善方向		~~~											
					<u> </u>	1			<u> </u>	1				
(2)	総	評												

事務事業コード	0106010403010115	事 務事業名		肉用牛奶	災害事故共助事	業	担当担当		林水産部 政畜産課
9. コストの)推移								
	(単位:千円)	平成26年	度(決	算)	平成27年月	度 (当初予算))	平成28年度	(計画)
1 報		1 177							181 (-1)
2 給									
	員 手 当 等								
4 共	済 費								
	害補償費								
7 <u>賃</u> 8 報	金								
9 旅									
10 交									
11 需	用 費			0			0		0
	耗品費								
燃									
食 FI	糧 費引刷製本費								
	· 柳 表 本 頁 _ - 熱 水 費								
									-
_	有材料費								
食									
	薬材料費						0		
12 役	務費			0			0		0
戊									
<u></u>									
係									
13 委	託 料								
	料及び賃借料								
	事 請 負 費 材 料 費								
	財産購入費								
	品購入費								
19 負担金	:補助及び交付金			88			276		266
20 扶	助費								
21 貸 22 補償补	付 金 捕填及び賠償金								
	# 県及び知頃亚 ・ ・ ・ 利子及び割引料								
	及び出資金								
25 積	立 金								
26 寄	附 金								
27 公	課費								
28 繰計	出 金			88			276		266
	庫支出金			0			0		200
哲恒				0			0		
<u> </u>	力 債			0			0		
=-				0			0		* * *
_	般 財 源 計			88			276 276		266
	■			88			210		266
補助率	県								
補助	基本額								
平成26年	・流用 も	 犬況		平成26年	度特定財源内	 訳			
当神	切予算		294		区分		名称		金額
補工	E予算		0						
			\dashv						
			\dashv						
			_						
			\dashv						
			\dashv						
	・充用								
	算合計	6	294			合 計			0

1. 基本	情報												
事務事	業	01060103	102010116	主	世 夕	少学证	長興組織育成事	主茶			担当部	農林水	産部
	ド	0100010.	03010110	争协争	木口	小守1/	以 共和	**			担当課	農政畜	産課
政策	名	03	活力	ある産業の	のまち~	づくり					グループ	農政第2	2グループ
施策	名	01	農•ホ	木・水産業	の振興	Į					電話番号	45-511	1
基本事	業名	01	農林	漁業経営	体への	支援					内線番号	2343	
予	会計	一般	会計						± **	□ 単年度のみ			
算	款	06	農林	水産業費	5				事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 ^年	F度	不	「明)
予 算 科 目	項	01	農業	費					79][F]	□ 期間限定複数年度	(~)
Ħ	目	03	農業	振興費					根拠法令·条例等	霧島市補助金等の種類及	とび補助率に ほんしょう しょうしん かいかん しょうしん かんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん し	引する要 終	網
評価区	<u></u>		標準部	平価	評価	対象	1次評価		関連計画				

2. 事務事業の概要・目的・指標

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

米等振興組織に補助金を交付し、生産拡大・品質向上等を目的として米等振興組織が行う現地検討会・栽培講習会等の活動を支援する。

【市の活動】

- 【中の活動】 ・米等振興組織に補助金を支出するための手続き(申請書受付、交付決定、実績報告受付、交付確定、補助金交付)等。・総会、研修会等への出席。 【米等振興組織の活動】 生産拡大・品質向上等を目的とした、現地検討会・栽培講習会等の活動の実施。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア補助金交付団体		団体	(夫祖)	(夫領)	(夫祖)	(兄込)	(兄込)
イ 現地検討会・講習会の開催回数		□	16	15	11	9	9
<mark>ф</mark>							
(2) 事務事業の目的							
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 米等振興組織の会員	米等振興組織会員数	人	83	82	77	77	77
1							
<mark>力</mark>							
② 意図(②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア 米の生産技術が向上する	検討会・講習会等に参加した実会員数	人	260	260	207	216	216
1							
<mark>力</mark>							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 経営体質が強化される。	認定農業者数	戸	316	307	301	315	315
1							
<mark>力</mark>							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

基幹作物である米の生産振興を図るため、組織力の強化を目的として事業開始された。近年、農家の高齢化や後継者不足に伴う食糧自給率の低下や荒廃農地の増加等が深刻化しており、担い手となる農家への農業の集約が喫緊の課題となっている。 米生産振興組織については、担い手の減少等を理由に、平成23年度末に横川・牧園地区の部会が合併し一本化された。当該事業については、米の生産振興、生産組織の強化等の観点から、今後も継続してほしいとの意見が多数となっている。

4.	事	类費	の‡	推移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
								(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
ll			玉	庫3	支 出	金	千円	0	0	0	0	0
ll	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
ll	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
ll	費	訳	そ	0	D	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	105	123	123	91	91
슬		哥	業	費			千円	105	123	123	91	91
\parallel^-												
ll												
ll												
ll												

5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載> (1)平成26年度の実績(取組)

基幹作物である米に関する講習会、座談会、先進地研修等を実施し、 組織力の強化、生産振興を図った。

4月…育苗講習会 7月…早朝座談会 9月…現地検討会、先進地研修

1月…実績検討会

主食用米については、県推奨品種の導入など「売れる米づくり」のための取組が拡大しつつあるほか、需要に沿った加工用米、新規需要米の 取組が進みつつある。

Ē	事務		01060	10303010116	事務事業名	米等	振興組	織育成	事業	担扣	当当	部課		水産部 畜産課
6.	振り	返り <	SEE>		7 515 E					1=	理	_	反以	当注除
					事業の意図に終	古びついています	か?		長興組織の会員 句上等に努め					に参加し生産びつく
		_	結びつ	いている				12/11/07	4T4(C2)	عددا	~ √ //±	id My	マン 3五 占 (0 3 0
A				に結びついてし	 \る			-						
的				いていない										
A目的妥当性	2	・この 事	事業をな	ぜ市が行わなけ	ければならないの	のですか?		振興組	1織の育成は、	農家	折得0	の向上に	こ繋がるため	必要である。
性				て達成する目的]ですか?									
			妥当で	である ・- ・- ・- ・- ・- ・- ・- ・- ・- ・- ・				_						
H	<u> </u>							需要增	身が見込まれる	加工	用米タ	や県奨原	动品種、水田	農業における
	3)	以朱刀		る余地(可能性)), , ,		新たな即地はある	対組みに向け る。	た検討	討会な	や講習会	会を開催する	ことで向上余
				る余地はかなり				-						
				る余地はある程										
	_			る余地はほとん				組織カ	ぶ弱体化し会員	減小	や水I	田農業(の減退が縣名	含される
B有効:	4	廃止・作	木止の景	/響はありません	しか?			Лат/прс //	WHILDY'S	41%/	(),()	m me me		7.040.00
効性			影響が	ある										
_			影響が	ほとんどない										
	⑤			†象・意図) 又は なか?(市以外の		啓発等)を持つ他 ものを含む。)	の事務	類似 ³ 合の ³	事業がある場 事務事業名等					
			類似の	事業はない				生産者	f組織に補助会	金を交	付す	る事業で	であり類似事	業はない。
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる								
	6	·事務事 ·補助金	業の手具など、交	设(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費 、市の負担を削減	費を削減できません 域できませんか?	か?	現在の これ以」)交付額は各約 この交付額の前	且織の 削減は	活動 困難	のための である。	の必要最小院	限の額であり、
		-	削減で	きない										
C 効			削減で	きる										
率性	(7)	・事務事できませ		段(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減		了っている業務 業務時間の削				穿に関するこ	とであり、これ
111		-職員以	外の対応	なや委託により人作	牛費を削減できま	せんか?			1233 3 113 3 1331	,,,,,,		. 0		
				きない				-						
			削減で		+*	+11 / 4.0		(日(44)	二対する補助で	st. いん	LTI, M	コナ促た	わている	
D.	8			容が一部の受益 負担の公平性が				小江州以口	-N y (2mb) (. 0001	×+11	141本/二	.40 CV "Do	
D公平性			公平•	公正である				_						
II			見直す	必要がある										
7.	1次	評価結	果 <f< th=""><th>PLAN>(組制</th><th>(決定)</th><th>【参考】前</th><th>年度の改</th><th>革改善の方</th><th>向性≪</th><th></th><th>報</th><th>継続</th><th></th><th>></th></f<>	PLAN>(組制	(決定)	【参考】前	年度の改	革改善の方	向性≪		報	継続		>
(1)	(事系	多事業の	がま	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	~縮小	連携		統合		休止	廃止
		方向性	<i>-</i>	0										
				主食用米につ	L ついては、引き網	上 売き県奨励品種の	り導入拡	大など「	売れる米づくり	」を推	進し	ていく。	Att orten 1 or	/D\#++ /= 5
(2))平瓦	龙27年 月	ぎの改	経宮所得女児 産地交付金を	E対策について と有効に活用し	は、米価下落に ながら、地域特性	対する門	E一ので えた作物	ーノアイネット> の選定・誘導る	可乗と を行う。	なるフ	「フン対	束の加入の	促進を行り。
		の内容むべき	課題)											
(· p ·	,,,_		#1.KZ/											
						による米の生産								
	_	D - -		ようになるが、こ 等が一体となっ		きな変革の波に <u>!</u> 要がある。	王産者だ	バスムーン	くに対応できる	より、-	早い 事	寺期から	生産者、関	係団体、行政
		成28年月 双組目標												
8.	2次	評価結	果(担	当部長評価)										
(1)	事系	务事業の	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	 連携		統合		休止	廃止
		向性												
								I		•		1		
(2))総	評												

事務	8事業 一ド	0106010303010116	事 務事業名		米等振	與組織育成事業		担当部担当部	
9. =	コストの	推移							
		(単位:千円)	平成264	年度 ((決算)	平成27年度	(当初予算)		平成28年度(計画)
1	報		1 774=1			1772-172	(13 7 71 7		1 // (A) = 1 // (A) = 1
2	給								
3		手当等							
4	共 " 🖪	済費							
5 7		子補 償 費 金							
8	 報								
9	旅	費							
10	<u>交</u> 需	<u>際 費</u> 用 費			0			0	0
11		用 費			0			0	0
	燃								
	食								
	_	刷製本費							
	光修								
		材料費		_					
	飼	料 費							
12	医 役	薬材料費 務 費			0			0	0
12					0			0	0
	広								
	手								
10	保工								
13	委 使用#	託 料 引及び賃借料							91
15		事請負費							31
16	原	材料費							
17		財産購入費							
18 19		講入費 補助及び交付金			123			91	
20	扶	助費			123			31	
21	貸	付 金							
22		填及び賠償金							
23		^{利子及び割引料} 及び出資金							
25		<u> </u>							
26	寄	附 金							
27	公	課 費出 金							
28	繰計	出 金			123			91	91
		庫支出金			0			0	
財	定県	支出金			0			0	
財源内訳	財源を				0			0	
訳	,	<u>の</u> 般財源			123			91	91
		計			123			91	91
ネi	甫助率	国							
補		基本額							
			P:0		317 Et 0.0 A	- 在株学品海市型			
十八		種正・流用 も □予算	√./ T	123	十八/20年	度特定財源内訳 区分		名称	金額
		予算		0					ш ид
				_					
		・充用					A =1		
	予算	合計		123		1	合 計		0

				<u> </u>	<u> </u>	、 予勿予不涉		1 (千成20年度 美胞争:	未の派巡り	
1. 基本	情報									
事務事	業	01060104	03010116	事務等	業	疫対策利子補給事	日本		担当部	農林水産部
<u>П</u>	ド	01000104	103010116	名	ПШ	校	10000000000000000000000000000000000000		担当課	農政畜産課
政策:	名	03	活力	ある産業	のまちづくり)			グループ	畜産グループ
施策	名	01	農•ホ	木・水産業	美の振興				電話番号	45-5111
基本事	業名	01	農林	漁業経営	体への支持	受			内線番号	2321
予	会計	一般	会計				+ **	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林	水産業費			事業期間	■ 単年度繰返 (開始:	年度 H	23 年度~)
予 算 科 目	項	01	農業	費			2411년1	□ 期間限定複数年度	(~)
目	目	04	畜産	業費			根拠法令・条例等	霧島市口蹄疫経営維持	緊急資金利子	補給金交付要綱
評価区	[分	7	標準部	平価	評価対象	1次評価	関連計画			
2. 事務	事業	の概	要・目	的•指标	₹ <do< th=""><th>></th><th></th><th></th><th></th><th></th></do<>	>				

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市口蹄疫経営維持緊急支援利子補給 口蹄疫の発生により間接的な被害を受けた市内の畜産農家の経営の再建を支援するため、予算の定めるところにより口蹄疫経営維持緊急資金 を融通した融資機関(以下「融資機関」という。)に対し、予算の範囲内において利子補給金を交付する。

平成23年度~32年度まで霧島市で畜産経営を営む18戸の農家 利子補給累計額3,620,000円

 活動指標(事務事業の活動量) 		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
① 加到相保 (事務事業の佰數里)		中世	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア 利子補給額		千円	515	458	386	323	261
1							
<mark>ბ</mark>							
(2) 事務事業の目的							
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 口蹄疫経営維持緊急支援資金借入者	肉用牛農家	戸	17	17	17	15	15
1							
<mark></mark> ბ							
④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア 利息負担軽減	融資農家						15
	110000000	戸	17	17	17	15	15
1	11000000	尸	17	17	17	15	15
<mark>イ</mark> ウ	THE OF THE OFFI	P	17	17	17	15	15
		P	17	17	17	15	15
<mark>ゥ</mark>	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ウ (3) 上位の基本事業 ⑥ 基本事業の意図	⑦基本事業の成果指標	,	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ウ (3) 上位の基本事業 (6) 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度(目標)

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

国県の制度の事業実施に伴い、平成23年度 から利子補給を実施している。 農業の生産力 の維持増進や、農業経営の改善等に必要な資 金を融資(利子補給)することにより、農業経営 の安定が図られている。

4	車 4	-	ωŧ	隹移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ŧ	77.7	R IR	,V) 1	生物			中位	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	支出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	源内	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	財		他	千円	0	0	0	0	0		
投入量			_	般	財	源	千円	515	458	386	323	258
量		剚	業	費			千円	515	458	386	323	258

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

(2)平成26年度の成果

既存資金借入者 18名 利子補給額 386千円

平成22年度に発生した口蹄疫により、間接的な被害(移動制限等により 出荷出来ない子牛の飼養経費の増加等)を受けた畜産農家へ利子補 給を行ったことにより、経営の安定が図られた。

Ę	事務事業 コード 0106 6. 振り返り <see< th=""><th>01060</th><th>10403010116</th><th colspan="4">)403010116 事務 事業名 口蹄疫対策</th><th>合事業</th><th>担扣</th><th>当当</th><th colspan="6">支対策利子補給事業 担当部 農林水産部 担当課 農政畜産課</th></see<>		01060	10403010116)403010116 事務 事業名 口蹄疫対策				合事業	担扣	当当	支対策利子補給事業 担当部 農林水産部 担当課 農政畜産課					
6.	振り	返り <	SEE>								理	由	22.71				
	1	この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	吉びついています	⁻ か?	営維持	変発生により間 緊急支援資金 が図られたこと	を借り	入れ.	. 利子神	補給を受けた	ことにより経営			
			結びつ	いている													
鼠			間接的	に結びついてい	\ る												
目的妥当性			結びつ	いていない													
性	2	·この ·税金	事業をな を投入し	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ればならないの ですか?	Dですか? 		国県	事業実施に伴う	5利子	補給⊄	つため、	妥当である。				
			妥当で	ある													
			見直す	必要がある													
	3	成果が	向上する	る余地(可能性)	はありませんか	v. š.		利子	補給率が決まっ	っている	るので	、成果	の向上の余	地はない。			
			向上す	る余地はかなり	ある												
			向上す	る余地はある程	度ある												
		•	向上す	る余地はほとん	どない												
퇃	4	廃止・	木止の影	響はありません	か?			融資を	幾関との契約等 ハ。	萨、国师	具の制	度上和	刊子補給を廃	止することは			
B有効性			影響が	ある													
性			影響が	ほとんどない													
	(5)	類似の事業は	目的(対 ありませ	象・意図) 又は んか?(市以外の	形態(イベントやをの主体が実施する	啓発等)を持つ他(ものを含む。)	の事務		事業がある場 事務事業名等								
				事業はない				類似の	の事業はない。								
			類似の		統合又は連携	できない		-									
			類似の	 事業があり、統	合又は連携で	 きる		1									
	6					を削減できません 域できませんか?	か?	国の対しての	制度に伴う事業の利子補給を領	であり)、また ている	こ、融資	₹機関との契う ら削減できな	約で貸付金に い。			
		_	削減で														
С			削減で	 きる													
C 効 率					することで、人件者	と (延べ業務時間) る	を削減で	主に利	利子補給補助 ₃	金を交	付する	5事務	であり、業務	の削減はでき			
率性	7	きません	か?	や委託により人作			_1771174 4	ない。									
		-	削減で	きない													
			削減で	 きる													
D	8	事務事また、	業の内 受益者負	容が一部の受益 担の公平性が	を を を と は と は と れ て い ま で い ま り て い ま り た り た り ま り ま り ま り た り ま り ま り ま り	ませんか? すか?		国・県・ る。	市・借受者とも	それそ	ごれ費	用分担	旦されており	公平・公正であ			
D公平性		-	公平・公	公正である													
性			見直す	必要がある													
7.	1次	評価結	果 <f< th=""><th>PLAN>(組稿</th><th>決定)</th><th>【参考】前</th><th>年度の改</th><th>革改善のブ</th><th>方向性≪</th><th></th><th>赮</th><th>続</th><th></th><th>></th></f<>	PLAN>(組稿	決定)	【参考】前	年度の改	革改善のブ	方向性≪		赮	続		>			
(1))事系	務事業の	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	;	統合		休止	廃止			
改	善の:	方向性		0													
				利子補給なの	で改革改善なし												
(2) 亚 F	成27年 _月	生の改														
革	收善	の内容															
(AX	い和	ייייב															
				周年 じゃいのき	*** へ 下 いんしょ	7,											
				例年どおりの事	r未、~い以り組み	ア											
(3)	平原	丈28年 月	度の方														
向作	生・耶	文組目標	Ë														
8.	2次	評価結	果(担	.当部長評価)													
		務事業の	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	;	統合		休止	廃止			
改	善方	向性															
					ı	ı	<u> </u>		1	1				1			
(2))総	評															

中央	事務コー	事務事業 □ード 0106010403010116 事務 事業名				口蹄疫対策利子補給事業						水産部 畜産課
1 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	9. =	ストの	推移									
1 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日			(単位:千円)	平成26年	度	(決算)	平成274	主度 (当初予算	()	平成	28年度	(計画)
2	1			1 774== 1			1 174=1	1 2 (- 13 7 3 1	<u> </u>		1 .~	
4 共 選 費 費												
5 及業補債長 7 質 金 8 報 債 費 10 交 際 費 月 用 贵 の の の の の の の の の の の の の の の の の の												
10 交 原 受 受 で で で で で で で で									\rightarrow			
9 旅 受												
1	9											
消耗品 受												
整料 登	11					0			0			0
会 選									+			
#												
修 緒 料 費												
腕材料費												
類 料 費									-+			
医薬材料費												
12 後 務 費												
広告料	12	役	務 費			0			0			0
手数料												
保験 料												
13									_			
15 工事請負費 16 原材料費 17 公有財産購入費 18 備品購入費 19 知産金申助及U文付金 386 323 258 22 構備補助及び開催金 23 構造金并及以制調料 24 投資及び出資金 25 積 面 金	13	_										
16 原 材 料 費	14											
17 公有財産購入費												
18 備品購入費 386 323 258 258 20 技 助 費									\rightarrow			
19 知日金和助及び文件金 386 323 258 20 扶 助 費									\rightarrow			
21 貸 付 金 22 補償輔填及び賠償金 23 備資金利子及び割引料 24 投資及び出資金 25 積 立 金 26 寄 附 金 27 公 課 費 386 323 258 財						386			323			258
22 補償補項及び賠償金 23 領域金利子及び割別料 24 投資及び出資金 25 積 立 金 26 寄 附 金 27 公 課 費 28 提 出 金 386 323 258 25												
23												
24 投資及び出資金 25 積 立 金 26 寄 附 金 27 公 課 費 28 繰 出 金 386 323 258 計 国庫支出金 0 0 0 定県支出金 0 0 0 支 別 地 方 債 0 0 0 一般財源 386 323 258 計 387 323 258 計 387 323 258 本前 392 258 258 本前 392 258 2									_			
25 積 立 金 26 寄 附 金 27 公 課 費 28 線 出 金 25 25 25 25 25 25 25												
27 公 課 費 1 金 1	25		立 金									
28 繰 出金												
計画												
特 国庫支出金	28		出 並			386			323			258
大京 大京 大京 大京 大京 大京 大京 大京		□	庫支出金									200
Real	財	定県	支 出 金						-			
Real	源中	財地源 -										
No. No.	記	, C										050
面		- 1							_			
補助基本額	4-	# 114 757							320			200
平成26年度補正・流用状況 平成26年度特定財源内訳 当初予算 392 補正予算 0 流用・充用 ()												
当初予算 392 補正予算 0 流用·充用												
補正予算 0	平成				000	平成26年		内訳	p TL			A total
流用・充用							区分		名称			金額
		IЩД	- 1 71									
					_							
					\dashv						+	
		法田	• 泰田									
					392			合 計				0

	1. 基本	情報												
I	事務事	業	01060104	02010117	事務事	業	去玄姑	E病予防対策事業				担当部	農林水	産部
L	1 4											担当課	農政畜	産課
I	政策	名	03	活力	ある産業の	のまちつ	づくり					グループ	畜産G	
I	施策	名	01	農•材	木水産業	の振興	Ĺ					電話番号	45-511	.1
I	基本事業	業名	01	農林	漁業経営	体への	支援					内線番号	2321	
I	予	会計	一般	会計					± **		単年度のみ			
ı	算	款	06	農林	水産業費	,			事業期間		単年度繰返(開始	年度	22 年	F度~)
ı	予 算 科 目	項	01	農業	費				체비		期間限定複数年度	(~)
ı	目	目	04	畜産	業費				根拠法令・条例等	なし	•	·		
	評価区	分	7	標準評	P価	評価	対象	1次評価	関連計画					

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

マ成22年度4月以降に宮崎県で発生した口蹄疫の影響により、畜産業だけでなく全ての産業に大きな影響を及ぼした。このようなことにより、今後の防疫対策は、まずは各畜産農家が口蹄疫だけでなく家畜の疾病に係る病原菌等を農場に侵入させない為の意識を高めるとともに、飼養衛生管理基準を遵守し実施することが必要である。通常、簡易な踏込み槽の設置や出入り口の消毒薬の散布は各農家で出来るが、動力噴霧器での畜舎消毒は器材や労力等要することより、小規模及び高齢農家にとっては、実施することが困難であること。また、宮崎での口蹄疫の発生を教訓とし、農家への飼養衛生管理基準の周知、徹底を行うための年1回の消毒作業を実施する。・動力噴霧器は22年及び24年度に度消毒作業のため市で購入した5台及びJA、共済組合の機械を借用・作業は技連会畜産部会(市、農協、共済組合)で実施。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	消毒実施戸数		戸	727	672	600	580	550
1								
ゥ								
(2	2) 事務事業の目的							
_	対象 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年 度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	肉用牛、酪農、養豚農家	農家戸数	戸	727	672	600	580	550
1								
ゥ								
	・ 意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	飼養衛生管理基準を遵守し、自主防 疫意識の向上を図る。	家畜疾病が発生した農家数(市内)	戸	0	0	2	0	0
1								
ゥ								
(3	B)上位の基本事業			,				
_	基本事業の意図 さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年 度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	経営体質が強化される。	認定農業者数	人	316	307	301	315	315
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

平成22年4月以降に宮崎県で発生した口蹄疫の影響により当事業を平成23年度から導入した。最近でも、中国をはじめとし、東南アジア諸国で口蹄疫、鳥インフルエンザが発生しており、今後も益々、防疫対策が重要である。現在9、市内を年1回消毒作業を実施しているが、横川地区地域審議会から、平成24年度に年2回実施の要望があった。

А	nder di	事業費の推移					単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ŧ	77.7		TCO.	进作 罗			中位	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	と出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	960	380	1,566	0	0
	事業費	源内	地 方 債		千円	0	0	0	0	0		
)	他	千円	0	0	0	0	0		
投入量			_	般	財	源	千円	834	419	3,543	800	800
量		閘	業	費			千円	1,794	799	5,109	800	800

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

(2)平成26年度の成果

一斉消毒の実施 各地区1回ずつ 対象農家戸数 600戸 車輛消毒装置の購入 4式

平成26年度は国庫事業で車輛消毒装置を4式購入し、市内畜産農家 の更なる防疫意識の高揚を図った。

=		事業	01060	10403010117	事務	家畜疫	生病予	 防対策	 事業	担	当	部	農林		
6	_	—ド 	COEEN		事業名					担	当	課	農政語	首産課	
٥.	_	り返り					, -	畜産農	家(肉用牛、酢	A農、 養	理 建鶏) 0	由)畜舎等	学に一斉消報	季を実施するこ	
	(1)この事	務事業(の目的は、基本	事業の意図に約	昔びついています	か?	とにより.	、飼養管理基は、畜産業の	準の連	宇と	家畜疾病	病予防に係る	る意識醸成を	
			結びつ	いている				化に結び							
且			間接的	に結びついてい	る										
目的妥当性			結びつ	いていない											
性性	2	・この ³ ・税金	事業をなを投入し	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ればならない <i>0</i> ですか?	つですか?		が実施	することは、家	畜伝導	と病が	発生した	た場合に想	巻がる取組を市 定される社会	
	Г	-	妥当で	ある				的な損害	害を未然に防	ぐことに	こ繋が	るためヨ	妥当である。		
			見直す	 必要がある											
	3)成果が	「向上する	る余地(可能性)	はありませんか	١?			霧器を持たな)、市内畜産農					には特に喜ば	
	H		向上す	る余地はかなり	<u></u> ある			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	(11111日)正原	(>)(->)	93/X/E	х род т > 11.	177 2000		
	-			る余地はある程											
				る余地はほとん											
				/響はありません				年月がi	過ぎると、口蹄	疫発/	主時の	様々な	困難な問題	を忘れてしま	
B有効	4				יוגוי :				意識が低下す り、農家の防犯					体で実施する	
効性	_		影響が												
	L)(T (n) =		ほとんどない											
	(5)			「家・恵凶) 又はた んか?(市以外の		啓発等)を持つ他の ものを含む。)	り 事務		事業がある場 事務事業名等						
			類似の	事業はない				類似の	事業はない。						
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない									
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる									
	6	·事務 ·補助会	事業の手段	g(やり方)を工夫す 付先に働きかけて	ることで、事業費、市の負担を削減	と と と と と と と と と と と と と も と も り と り と	か?	効果のは の支出に	ある薬剤で、劣 こ努めているフ	そ価のi ため、i	商品を 削減で	選定すきない。	ることで、子 また、継続	算の範囲内で 的に事業を実	
	Н	-	削減で					施するこ 向上にも	とで、畜産農 。寄与できる。	家はも	とより	関係者	•関係機関の)防疫意識の	
ç			削減で	 きる											
効率		-事務	事業の手段	と(やり方)を工夫す	ることで、人件費	貴(延べ業務時間)を	削減で			JA) Ø	協力	を得て	賁霧作業を	実施しており削	
性	(/	きません・職員」	いか? 以外の対応	でや委託により人件	費を削減できま	せんか?		減余地はない。							
			削減で	きない											
			削減で	きる											
D	8			容が一部の受益 担の公平性が				肉用牛、	酪農、養豚鳥	農家全	てを対	像とし、	ており、公平	・公正である。	
公平	Г		公平・公	公正である											
性			見直す	必要がある				-							
7	1 ½	7評価結	里 〈	PLAN>(組織	(決定)						415				
· ·	10	VIII IMI #F	× \1			【参考】前4	年度の改	革改善の方	向性≪		継	続	<i>(</i> +1	>	
		務事業(継続 	やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小	連携		統合		休止	廃止	
- W		> > 1 [-1 T	•	0											
				消毒液の選定は	3いて効果を落	とさず、安価の商	品を探	していき	たい。						
		成27年月													
		組むべき													
				いつどこで発生	するか分からな	い伝染病である	ので、フ	万全の体	制は整えてお	く。					
(3)) 亚	成28年月	金の方												
		取組目													
8.	23	マ評価結	果(担	当部長評価)											
		務事業の	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小	連携		統合		休止	廃止	
改割	善力	7向性													
										•		'			
(2))総	評													

事務事第コード	0106010403010117	事務事業名	家畜疾	病予防対策事業	担当部 農林水産部 担当課 農政畜産課			
9. コスト	の推移							
	(単位:千円)	平成26年度	(決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度(計画)		
1 報	酬							
2 給	料							
	員手当等							
4 5 災	済 費 害補償費							
7 賃	金							
8 報								
9 旅	費							
10 交	際費							
11 需	用費		1,977		800	800		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	消耗品費		1,977		800	800		
	燃料費 食糧費							
L	印刷製本費							
	光熱水費							
	修繕料							
H	賄材料費							
L	飼料費							
	医薬材料費		0			0		
12 役	務費 通信運搬費		0		0	0		
H	広告料							
	手数料							
	保 険 料							
13 委	託 料							
	用料及び賃借料							
	事請負費							
16 原 17 公	材 料 費 有財産購入費							
	品購入費		3,132		0			
	日金補助及び交付金		0,102					
20 扶	助 費							
21 貸	付 金							
	賞補填及び賠償金							
	^{金利子及び割引料} 資 及び出資金							
24 投 25 積	立 金							
26 寄	<u> </u>							
27 公	課費							
28 繰	出 金							
計			5,109		800	800		
特	国庫支出金		0		0			
財農	県支出金		1,566		0			
財源内訳	地 方 債 そ の 他		0		0			
訳	般財源		3,543		800	800		
	計		5,109		800	800		
補助	- 国							
	宗		1/2					
補助								
	F度補正·流用划			度特定財源内訳	<i>₽ 11-</i>	A 47		
	á初予算 前正予算	4,062	県支出金	区分 消費·安全対策	名称	金額 1.566		
	IIL卫昇 浦正第1号	4,062	宗 人 田 金	何其•女王对	水文刊金	1,566		
	>,, ,	1,002						

流用・充用 予算合計

475

5,337

合 計

1,566

				平瓦	【27年	度	事務事業	振i	区りシート	(平成26年度 実施事業	業の振返り)	
1. 基本	情報											
事務事	業	01060103	100010117	車	学夕 邸	技体	格安定事業				担当部	農林水産部
<u>П</u>	ド	0100010.	03010111	事 ⁄办事;	木口 封	米皿	竹女足事未				担当課	農政畜産課
政策	名	03	活力	ある産業の	りまちづく	くり					グループ	農政第1グループ
施策	名	01	農•ホ	木・水産業	の振興						電話番号	45-5111
基本事	業名	01	農林	漁業経営	体への支	ズ援					内線番号	2313
予	会計	一般	会計						± **	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林	水産業費					事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 ^生	F度 S	54 年度~)
予算科目	項	01	農業	費					79][F]	□ 期間限定複数年度	(~)
目	目	03	農業	振興費					根拠法令·条例等	等価格安定事業関係業務	所取扱要領、霧	島市補助金等の種類
評価区	፟፟፟分	7	標準部	F価	評価対	象	1次評価		関連計画			
2. 事務	事業の	の概要	要・目	的-指標	<d< th=""><th>。></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></d<>	。 >						
(1) 事	1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)											

県が産地指定したもの、または市が重点品目とした作物について、天候等の影響で市場価格が保証基準を下回った場合に、保証基準と市場平均販売額の差を補い産地形成のため補助金を交付する。 【交付先】[A, (財)鹿児島県野菜価格安定資金協会 【事業の流れ】各交付団体を通じて、生産農家へ交付する。 【対象野菜】きゅうり、にがうり(県単野菜価格安定対策事業) 白ねぎ、ごぼう、かぼちゃ(JA指定野菜価格安定対策事業)

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度
ア 補助を受けた生産農家数		人	40	40	40	40	40
1							
'							
(2) 事務事業の目的							
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア対象野菜の生産農家	対象野菜の生産農家数	人	82	78	75	75	75
1							
o							
④ 意図(②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア 市場へ安定供給できる。	対象野菜生産量	t	336	327	320	350	380
1							
o							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア経営体質が強化される。	認定農業者数	戸	316	307	301	315	315
1							
<mark>ウ</mark>							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

天候等の影響による価格変動から農家を守り、野菜の安定供給を図る必要があることから昭和54年頃に開始された。近年、対象作物の栽培技術の向上により、価格が安定しつつあり、減少傾向にあるが、急激な気候変動や他産地の高品質化により価格が低迷することもある。生産者は補償があることで、安心して栽培できるなどの声がある。

А	車手	* 曲	m±	# 122			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	事業費の推移 国庫支出						丰区	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			国	庫3	と出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	ブ	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳			他	千円	0	0	0	0	0	
投入量			_	般	財	源	千円	803	741	291	291	291
量		事	業	費			千円	803	741	291	291	291

5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

市補助金 上期 23,748円 下期 46,000円

補償があることで、安心して栽培でき、経営安定につながった。

+		事業 ード	01060	10303010117	事務事業名	野	菜価格	安定事		担扣	当当	部課		水産部 畜産課
6.	振り	リ返り <	SEE>	•	7 313 12					1==		_	及此	五庄杯
					事業の意図に終	きびついています	か?		野菜の生産農業に結び付く。	家が市	場へ	安定供	給できること	は、経営体質
					7 2/4 27 10 10 10 1			0万9111	に指しいて、					
Α	_			いている	, Z									
目的妥当性	_			に結びついてし	'ବ									
妥当	-	.= •		いていない <mark>ぜ市が行わなけ</mark>	h 1#t>2 t>1 \	Dですかつ		野茲(価格の安定け	野茲農	:家の	休啠站	化を図スため	のに重要な課題
性	2	· 税金	を投入し	て達成する目的	ですか?	<i>D</i> C 9 <i>D</i> · :			それらを達成					
			妥当で	ある										
			見直す	必要がある										
	3	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんか), S			生産量を維持 地はない。	するこ	とが多	安定供約	合につながる	ことから、向上
	┢		向上す	る余地はかなり	 ある									
			向上す	る余地はある程	建度ある									
	H	_	向上す	る余地はほとん	どない									
			ᅷᇿᄭᄝ	ジ響はありません	<i>t</i>) 2			天候	等の不可抗力	に左右	され	、農家が	ぶ安心して農	産物を栽培す
B 有 効	4) 廃止。))), :			ることが	できなくなり、	離農な	どに	繋がるた		
効性	_		影響が											
	L	WE IN C		ほとんどない	T. 45		o = 3r	New Acres						
	(5)	類似の	り目的(ヌ	対象・意図)又は たんか?(市以外の	形態(イベントや) の主体が実施する	啓発等)を持つ他 ものを含む。)	の事務	類似合の	事業がある場 事務事業名等	【参え	考:昨	年度の	内容】	
			類似σ	事業はない				類似事	業なし。					
			類似σ	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
			類似σ	事業があり、統	合又は連携で	きる								
	6	・事務事・補助会	業の手段	设(やり方)を工夫で 付先に働きかけて	することで、事業費	きを削減できません 載できませんか?	か?	県等7	が定める規定に	こより事	業費	が決定	される。	
	H	18293		きない	(1) V JQ 111 C 171/11	2 (
c			削減で											
C 効率	H				することで、人件看	貴(延べ業務時間)	を削減				め、そ	の事務	手続きに大き	きな変動がなけ
率性	7)できませ	んか?	むや委託により人作		れば削	減する余地は	ない。						
		•	削減で	きない										
			削減で	きる										
_	8	事務事	業の内	容が一部の受益	*者に偏っている	ませんか?		対象をある。	野菜を生産する	る全ての	の農業	家を対象	象としており、	公平・公正で
D公平性	_	また、!		<mark>負担の公平性が</mark> 公正である	唯体されている	9 70 ?		α), J ₀						
性	-	_		 - 必要がある										
					hat wha									
7.	13	く評価結	果 <	PLAN>(組織	(決定)	【参考】前	年度の改	革改善のプ	方向性≪		ŧ	生統		>
		務事業(継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小	連携		統合		休止	廃止
改	善σ.)方向性		0										
				農家の価格保証	証の為、必要な	事業である。								
(2)平	成27年月	度の改											
		い内容 狙むべき	課題)											
, ,														
				県が産地指定し		は市が重点品目と	した作	勿につい	いて、天候等の	影響で	市場	価格が	保証基準を	
				l【交付先】IA、(財)鹿児島県野	額の差を補い補 菜価格安定資金	協会		0					
(3) 平 性•]	成28年原取組目標	度の方	【事業の流れ】 【対象野萃】きょ	各交付団体を追 ⋼うり にがうり(1	通じて、生産農家 具単野茎価格安	へ交付 定対策	事業)						
		NITH I		白	ねぎ、ごぼう、ヵ	いぼちゃ(JA指定	野菜価	格安定	対策事業)					
8.	27	マ評価結	果 (非	当部長評価)										
				継続	1411-1-1-1			65 J	\ + 1/4		<i>u</i> + ^		休止	廃止
		務事業の 可性	の改革	ጥርድ ባንር	やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小	連携		統合		FINAL	75.11
(2) 総	評												
`_	. 410													

事務事業コード	0106010303010117	事 務事業名	野	菜価格安定事業		担当部担当課	農林水産部 農政畜産課
9. コストの	D推移						
	(単位:千円)	平成26	年度 (決算)	平成27年度	(当初予算)	平	成28年度(計画)
1 報		1 19020	112 (7)	1 /2/27 1/2	(1 10 1 3+7	'	AND THE WHILL
2 給							
	 員 手 当 等						
4 共	済 費						
	害補償費						
7 賃 8 報	<u>金</u> 償 費						
8 報 9 旅							
10 交							
11 需	用 費			0	(0	0
	肖 耗 品 費						
1 -	大 料 費						
	き 糧 費 『刷製本費					+	
	光熱 水費						
I —	多繕料						
I –	有材料費						
	司料費						
12 役	医薬材料費 務 費			0		0	0
_					<u>'</u>		U U
	<u> </u>						
	手数料						
	保険料						
13 委	託 料						
	料及び賃借料 事 請 負 費						
16 原	材料費						
	財産購入費						
	品購入費						
	☆補助及び交付金		7	0	29	1	291
20 扶 21 貸	<u>助 費</u> 付 金					+	
	<u>业</u> 補填及び賠償金						
	金利子及び割引料						
	【及び出資金						
25 積	立 金						
26 寄 27 公	附 金 課 費						
28 繰	<u></u> 出 金						
計	<u> щ</u>		7	0	29	1	291
	国庫支出金			0		0	
特定財源内	表 出 金			0		0	
財源内訳				0		0	
訳	t の 他 般 財 源		29	0	29:	0	291
	計		29		29.		291
抽中本	国						
補助率							
補助							
	度補正•流用	犬況		年度特定財源内訳		· L	_ ^ +T
	初予算 正予算		291	区分	名 和	孙	金額
T用	上 「 						
流用	・充用						

予算合計

				1 /	<u> </u>	- <u>汉</u>	子切子未派		(十成20千及 天旭争)	卡の派送り/	
1. 基本	情報										
事務事	業	01060104	103010118	事務事	事業 _	乙生杏	·成牛舎整備助成	車柴		担当部	農林水産部
П	ド	01000101	103010110	名		I T FI	风干音歪脯奶风	ず 未		担当課	農政畜産課
政策:	名	03	活力な	ある産業	のまちつ	づくり				グループ	畜産グループ
施策:	名	01	農•材	木・水産業	美の振興					電話番号	45-5111
基本事	業名	01	農林	漁業経営	体への	支援				内線番号	2321
予	会計	一般	会計					+*	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林	水産業費	Ť			事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 ⁹	手度 H	25 年度~)
予 算 科 目	項	01	農業	費				初申	□ 期間限定複数年度	(~)
目	目	04	畜産	業費				根拠法令・条例等	霧島市子牛育成牛舎整備	備助成事業補助	助金交付要綱
評価区	分	7	標準訊	严価	評価対	付象	1次評価	関連計画			
2 事務	事業	の無い	要•日	的 指		Do>					

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

(1) 手術学来が保文(長体内がより力、計画、計画と正定) 黒毛和種子牛生産農家の労働力の軽減及び飼養規模の拡大を支援し、商品性の向上と効率的かつ安定的な畜産経営の実現を図るため、子牛の育成牛舎の整備を図る。 交付対象者:50歳以下の霧島市内の黒毛和種子牛生産農家で、次に掲げる条件を満たすものとする。 ただし、霧島市堆肥舎整備事業、パドック付きドーム型牛舎整備事業の補助金を受けていない者は、この限りでない。 (1) 前年度の子牛出荷頭数が20頭以上であること。 (2) 市税の滞納がないこと。 補助金の額:パドック1㎡当り5,000円とし、交付限度額は150万円とする。 回転柵は1柵あたり10,000円、既存牛舎の整備はパドック1㎡あたり2,000円とする。

① 活動	指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア補助金	企 交付農家		件		2	1	1	1
イ 補助金	企 交付金額		千円		2,078	1,500	1,500	1,500
ウ								
(2)事	務事業の目的							
② 対象 (誰、何	・ を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 畜産農	農家(肉用牛繁殖)	肉用牛農家	戸		607	542	530	500
1								
ゥ								
④ 意図 (②対象	 をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア 環境保 向上を	R全、作業の効率化、商品性の と図る	整備面積	m²		238	300	300	300
1								
ゥ								
(3) 上	位の基本事業			,				
	事業の意図 でのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア経営体	・ 体質が強化される	認定農業者数	人		307	301	315	315
1								
<mark>ウ</mark>								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

農家からの要望により、平成25年度事業を実施 したが、まだまだ農家からの実施要望がある。 年齢要件や出荷頭数要件についての見直し の意見がある。

4. 事業費の推移				単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度			
4.							甲亚	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			国	庫3	支出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0	0	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	0	2,078	1,500	1,500	1,500
量		耳	業	費			千円	0	2,078	1,500	1,500	1,500
_												

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

(2)平成26年度の成果

実施農家:福山地区1戸 整備面積:300㎡ 補助金額:1,500千円

1戸の農家において、繁殖牛の増頭及び子牛牛舎の環境改善による商品性の向上と作業の効率化が図られた。

Ħ	事務事業コード		0106010403010118 事務 事業名 子牛育成牛舎						# 1					
	_	•	(055)		争耒名					担		課	農政音	産課
ь.	_	返り <			+ # - -			良い牛	舎環境の中で	子牛の		中 き理を行	うことにより)、商品性が向
	(1)	この争	務事業(り目的は、基本	事業の意図に新	吉びついています		上し、ま	た、牛舎の環 ることから、経営	境衛生	向上と	:畜舎清	掃等の作業	業の効率化が
Δ			結びつ	いている										
A目的妥当性			間接的	に結びついてい 	Vる									
野安				いていない										
性	2	·この事 ·税金を	業をなた投入し	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ればならないの ですか?	のですか?		減少し	高齢化及び後 ており、本市畜	産業を	:維持・	半い、農 発展させ	家戸数・飼 せるため、規	養頭数共に 関棋拡大可能
		•	妥当で	ある				な農家	を支援する必要	要がある	5.			
			見直す	· 必要がある										
	3	成果が	向上する	る余地(可能性)	はありませんか), Š		性の向	上と経営の安定	定が図	られる	0		行われ、商品
			向上す	る余地はかなり	ある			市内全 慮したる	域で施設整備 畜産経営を行う	を徐々	に行っ 期待で	っていくこ ごきる。	とで、周辺]環境にも配
			向上す	る余地はある程	 ≧度ある									
			向上す	る余地はほとん	どない									
В	4	廃止•億	木止の影	/響はありません	か?				模の拡大(増頭 、意欲ある担V					
B有効性		•	影響が	 :ある				,	.,,		-124			
性				ほとんどない										
	⑤	類似の	目的(対			啓発等)を持つ他	の事務		事業がある場事務事業名等					
		事未は		事業はない	の主体が美胞する	のものを含む。)			も類似する事	業は無	Ę۷۱			
				事業はあるが、		できたい					-			
				事業があり、統										
	6					さる 貴を削減できません 或できませんか?	か?		た牛舎面積に対 とから削減で			の交付	であり、交付	付限度も定め
		- MH P) 32	は し、又 削減で		、中の真理で削減	% CS & E 1013 · :		(1.00	-20 201100 00	C'AY 0				
С			削減で											
C効率性					ナスニンで 人件者	貴(延べ業務時間)	を削減で	補助金	交付事務であ	り、最低	:限の	事務作業	を のため削	減は出来ない
性	7	きません	か?	いた。		0								
		•	削減で	きない										
			削減で	 きる										
7	8			容が一部の受益					緊殖農家が対					
D 公 公)	また、5 ■		<mark>担の公平性がる</mark> 公正である	唯保されていま	9701?		J C 9 W	意欲ある担い	ナセス	1友 り 〜	尹未し	x)@/=@/、:	ム十へめる。
公平性				び正 じめる ・ ・必要がある										
	_													
7.	1次	評価結	果 <f< th=""><th>PLAN>(組織</th><th>決定)</th><th>【参考】前</th><th>年度の改革</th><th>改善の方</th><th>向性≪</th><th></th><th>継</th><th>読</th><th></th><th>></th></f<>	PLAN>(組織	決定)	【参考】前	年度の改革	改善の方	向性≪		継	読		>
		務事業 <i>0</i> 方向性	D改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	ŕ	統合		休止	廃止
以主	-	刀叫土		0										
				事業に取り組む	農家との打ち合	合わせ、内容の配	権認を十	分行うこ	とで事業がスク	ムーズに	こ行え	るように	努める。	
		成27年月	度の改											
		の内容	課題)											
				要綱の改正を行	「い、増頭を希 」	望する意欲ある技	担い手に	整備を持	推進する。					
(0)		+00/=	± 0. ±											
		成28年月												
8.	2次	評価結	果 (担	当部長評価)										
(1)	事	務事業の	D改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	 連携	á	流合		休止	廃止
		向性	- ~+			2.00				,				
					<u> </u>	<u>I</u>	<u> </u>			1				
(2)	総	評												

事務	事業ード	01060104030101	事務事業名		子牛育成	牛舎整備助成	事業	担当担当		農林水産部 農政畜産課
9. 🗆	ストの	推移								
		(単位:千円	平成.26	年度 (決	(算)	平成27年月	度 (当初予算))	平成.28年	度(計画)
1	報	西州	, , , , , ,	1 2 10	.51 /	1774=116	~ (- 1,3) 31	<u> </u>	1 774== 1	<u>~ (11-7)</u>
2	<u></u> 給	料	1							
3		手当等								
4	共	済 費								
5		字補 償 費								
7 8	<u>賃</u> 報	金 								
9	 旅		1							
10	交	際費								
11	需	用 費			0			0		0
		耗品費								
	燃食									
		程 貸 利 製 本 費								
		熱水費								
	修									
		材料費				-				
	飼									
12	医 役	薬材料費 務 費	-		0			0		0
12		信運搬費			0			0		0
	広									
	手	数料								
	保									
13		託 料								
14 15		料及び賃借料 事 請 負 費								
16		材料費								
17		財産購入費								
18		購入費								
19		補助及び交付金			1,500		1	1,500		1,500
20	<u>扶</u> 貸	助費								
21		付 金 i填及び賠償金								
23		利子及び割引料								
24	投資	及び出資金								
25	積	立 金								
26	寄	附 金								
27	<u>公</u> 繰	課 費出 金								
28	計	ти ж			1,500		1	1,500		1,500
	ΙΞ	庫支出会	È		0		-	0		1,000
印	定県	支出会	È		0			0		
財源内訳	特定財源				0			0		
別訳	, ,				1.500			0		1.500
	_	般 財 源 <mark>計</mark>			1,500 1,500			1,500 1,500		1,500 1,500
	h = ' - '	国			1,500			.,000		1,500
補	助率	県								
補	助	基本額								
平成		₹補正・流用	_			度特定財源内	訳			
		予算	3	3,000		区分		名称		金額
	補正	予算		0						
		·								
				-	-					

合 計

1,453 4,453

流用・充用

予算合計

				平	成27	年度	Į	<u>事</u> 矜	事	業振	返りシ	<u>/—</u>	~ (3	平成26年	度	実施事業0)振返り)		
1. 基本情	報																		
事務事業	E 0	10601030	03010118	事務事	業名	農業・	農木	寸活	性化	(推進	施設等	整備	事業((農政)			担当部	農林水産部	
コード		0.0	УТ. — .				/2-					J. 7117	7 /10	020.547			<u>担当課</u> グループ	農政畜産調	
政策名 施策名		03		ある産業 k・水産業													ブループ 電話番号	農政第1グ	<i>/////</i>
基本事業		_	,	漁業経営		., ,											内線番号	2311	
	_	-般:		MACAL F								Alle.		単年度の	D み		11小田 1	8011	
予算利	次 (06	農林	水産業費							事期		-	単年度終	喿返	(開始年度	Ę	H18 年度~)	
		01	農業													数年度(〜) C推理施設寺整備事業夫施要唄、 X補助率に関する英綱		
		03	<i>,,</i> , , , , , ,	振興費	=== /	тча		-13	√ム ⇒元	/m²	根拠法令		雯島	古補助全	、	の種類及び	補助率に	日よろ更細	大旭女侠、
評価区分			票準部			西対象		17	次評	Щ	関連	計画							
2. 事務事		_				<do></do>	-51C -	(em. le											
(1)事務 鹿児島県単				具体的花	よやり	万、	、詳	伸を	記述)									
廃北の東東 主な事業大 事業内容と	施主	本:3	芦以.	上の農業村整備	学者団 対策	体、農業 4/10以	性協同	引組1 産地	合、市づくり	ī町村)対策	1/3以	力、農	*村づく						
① 活動指	標(事務	多事業	の活動』	量)							j	単位	24年度 (実績)	- 1	25年度 (実績)	26年度 (実績)	(見込)	(見込)
ア事業件数	tr												件	(大順)	0	(大順)	(大順)		(元达)
1															_				-
ウ (0) 東変	- 11		3 66					_											
(2) 事務 ② 対象	争耒	O) E	1 IN		_	③ 対	- 45a +	5 福				_		0.4年日	=	05年亩	06年度	07年由	20年由
(誰、何を	計争()	-1 7	コハス	のかり						キャた:	表す指標	5)	単位	24年度	- 1	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	(見込)
			(V .Q)	(1717)			(کے با	竹家	V)/(GC.T.	1人 7 1日17		686 N. I	(大順					
ア事業実施	也王体				Image: Control of the]体数						組	織、法人		0	0	1	. 2	1
1																			
ウ																			
4 意図						⑤ 成	田土	날등						24年度	Ŧ	25年度	26年度	27年度	28年度
(②対象を	どうし	たい	のか))						文度を	表す指標	賈) .	単位	(実績	- 1	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア生産量が	-		,		#	芸茶生産量			- 100		- () THI	117	t	1,7		1,834	1,623		1,680
/ 上注重//	AHV.	٧			71	U/N _L/±. =	E.						·	1,1	03	1,034	1,020	1,000	1,000
1																			
ゥ																			
(3) 上位	の基	本導	業												_				
⑥ 基本事	業σ	意	図			⑦基	本■	事業	の月	【果指	標		ж <i>1</i> т	24年度	Ŧ	25年度	26年度	27年度	28年度
(さらにどの	ような	成果	に結て	ゾつくの 7	g2)	(左記	60000000000000000000000000000000000000	[図0	り達り	뉯度を	表す指標	票)	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア経営体質	ぼが強	化され	いる		認	忍定農業者	針数						人	3	16	307	301	315	315
1																			
ウ																			
3. 事務事	業の	環均	竟変化	と·市民	意見	等	4	1 11 1	坐曲	の推和	2		単位	24年度	Ŧ	25年度	26年度	27年度	28年度
(法改正や事業を	取り巻	く環境	変化、市	「民や議会	などからの	の意見等)	4.	777					丰江	(決算))	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
後継者不足り、農業の省						ルてお					支出:	金	千円				C	0	0
グ、成木の日	1// 16	1.4.C	73-750	99 CV	<i>a</i> √0			事	財源内訳			_	千円				1,133		3,000
								事業費	内	地		-	千円				C		0
							±љ	具	訳	そ			千円				С		0
							投入量				设 財 :	****	千円				0	_	0
							量		_ 事	業費		-	千円		0	0	1,133	5,076	3,000
							1			-								-	
							1	-				+						-	
r webee	Are ste	∕ 0.5	- 66 -	t or Carlle II			<u> </u>	<u>_</u>											
5. 平成26						÷ ¢O chech	المار المار	(r) - 1	lo E II	66) ·		\ .	Book	· 库 4 - **			Londardar (mt. fr.)	1×1×-100 1 1	#A >
(1)平成2		-			< H	対組内容を	数値等	きにより	リ具体	封に記載				度の成			の実績(取組)	による成果を記述	成 >

事業実施主体名及び事業内容 霧島製茶 堆肥舎1棟 総事業費及び補助金額 3,672,000円 1,133,000円 事業導入により良質な堆肥ができ生産性向上が図られた。

Ę	事務事		01060	10303010118	事 務 事業名	農業•農村活	生化推	進施設等整備事業		当部		水産部
6			(SEE>		尹未位		(辰	(文)	担 :	当 課 理 由		畜産課
Ο.	-				車業の音図にぬ	古びついています	th 2	農業機械等の導入に	より、省			農業に取り組み
	0				事業の息凶に常	古いついています	אייר	やすい環境ができる				
Α				いている								
目的				に結びついてし	^る							
目的妥当性				いていない	م احد ترجئة المرا	D-Z-+-1-0		市町村は間接補助事	業老で	なる名で	シェでなる	
性	2	·この事 ·税金る	まそな と投入し	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ですか?	ひぐすか?		川町竹は側狭備切争	来有し	める何女	t ∃ (<i>w</i>)	
			妥当で	ある								
			見直す	必要がある								
	3	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんか)\?		補助事業であり、市費	か上乗	せも無い	いため向上する	余地は無い
			向上す	る余地はかなり	ある							
			向上す	 る余地はある程	 ≧度ある							
			向上す	る余地はほとん	どない							
l _R	4	廃止•億	木止の景	/響はありません	か?			補助事業の導入がで	きなくな	るため景	彡響 がある	
B有効		_	影響が	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
性		_		 ほとんどない								
	6	類似の	目的(対	象・意図)又は	形態(イベントや)	啓発等)を持つ他の	の事務	類似事業がある場				
	(5)			んか?(市以外の	の主体が実施する	ものを含む。)		合の事務事業名等 類似の事業は無い				
				事業はない	<i>44.4.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.</i>			規図の事業は無い				
				事業はあるが、								
H		- 事		事業があり、統		きを削減できません	<i>t</i> v 2	市費の上乗せは無い				
	6	·補助金	など、交	付先に働きかけて	、市の負担を削減	載できませんか?	,,, .					
			削減で	きない								
C 効率			削減で					旧の悪病燃に甘 2/2	· 12 1611.5-	44.		
半 性	(7) 7	できませ	んか?	设(やり方)を工夫で なや委託により人作		貴(延べ業務時間)を サイかる	削減	県の要項等に基づくた	こめ月1万	以 ぐさない	, ,	
		・戦員と		きない	+負を削減できま	200°						
		_	削減で									
	(8)			容が一部の受益	者に偏っている	ませんか?		県の要項等に基づきた	負担等に	は公平で	である	
D 公 平	0			担の公平性が	確保されていま	すか?						
性性				公正である ⁻ -必要がある								
_												
7.	1次評	個結	果 <	PLAN>(組制	決定)	【参考】前年	度の改	革改善の方向性≪			1	>
			の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小連携	紛	充合	休止	廃止
改割	善の方	「向性		0								
								産組合において乗用型 みずま園においては堆				
			度の改			お茶を生産する。		, ormit—10. Clorin	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	VK C 10 1 BA		,,e., <u>.</u> . ()
)内容	課題)									
				県単独補助事		7年小・古絵小め	戸腹が	の進展も相まった産地	明┷夕	の油化	わ じ ナナナナ	※1 ナた(単1 ブ
(2)	ਹ ।	20年日	±	おり、「食と農の	先進県」として	が成分・同節化で 将来にわたって発 的に推進する。	と展して	いくために、より効果的	的に時旬	この課題	に的確に対応	版しるを増して した重点化を図
		20年月	度の方	主か事業実施:	主体:3戸以 Fa	り農業者団体. 農	業協同	組合、市町村 医地づくり対策 1/3以	内. 農林	けづくりす	t策 1/3以内	
				- 200 AP CHOS			• \ /=	12/4/10 1/00/	1 /201	• > //	-271 25/11	
8.	2次評	F価結	果(担	当部長評価)								
			D改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小連携	紛	——— 充合	休止	廃止
改割	善方向]性										
					•				•		•	•
(2)	総言	评										

事務事業 010601030301011		0106010303010118	事 務 事業名	農業	• 農村活性化:	推進施設等整個	#事業(農政)		1当部	農林水産部
	<u>ード</u>	010001000010110	事業名	及木	及117日11日	正医心区守证》	冊子木(及以)	担	1当課	農政畜産課
9. =	コストの	推移								
		(単位:千円)	平成26年	F (# /	(油質)	亚成27年1	支 (当初予算)		ज हो १	3年度(計画)
			平成204	一反	(次 异)	十八27年)	支(ヨ彻ア昇)		十八20	年及(計画)
1	報	栅								
2	給	料								
3		手当等								
4	共	済費								
5		子補 償 費								
7	賃	金								
8	報	償 費						-		
9	<u>旅</u> 交	<u>費</u> 際 費						_		
11	_ <u>文</u> 需	<u>际</u>			0			0		0
''		<u>用 貝</u> 耗品費			0			- 0		0
	燃燃									
	食									
		刷製本費						_		
	光							-+		
	修							-+		
	賄									
	飼	料 費								
	医	薬材料費								
12	役	務 費			0			0		0
	通	信運搬費								
	広									
	手									
	保									
13	委	託 料								
14		及び賃借料								
15		請負費								
16		材料費								
17		財産購入費								
18		購入費			1 100			070		2.000
19	扶	^{補助及び交付金} 助 費			1,133		0	5,076		3,000
21								-		
22		 対算及び賠償金								
23		利子及び割引料						_		
24		及び出資金								
25		立 金								
26	寄	 附 金								
27	公									
28	繰	出 金						$\neg \uparrow$		
	計				1,133		5	,076		3,000
	_娃 国	庫支出金			0			0		
財	特定財源				1,133		5	,076		3,000
財源内訳	財地	方 債			0			0		
内記					0			0		
D/C	_	般 財源			0			0		
		計			1,133		5	,076		3,000
*	甫助率	国			a /-			1 /0		
		県			1/3			1/3		1/3
補		基本額	h 100				-			
平成		₹補正·流用∜	大況			度特定財源内	訳	D TL		A 47
]予算 子質	4	122		区分	曲光,曲44714.11	名称	· 加松市/出市平井	金額 1 122
		<mark>予算</mark> E第1号		133 823	県支出金		農業·農村活性化	推進施		1,133
		E 弟 I 亏 E 第 3 号		527						
		E第7号		163						
	1,111	~~J		100						

合 計

1,133

流用・充用 予算合計

1,133

1. 基本	情報											
事務事	業	01060103	102010110	主	サタ ∓	骨倍化	· 全型農業直接	5 去 ‡	妥 计		担当部	農林水産部
	ド	0100010.	03010119	尹孙尹	木口	米児区	主主法是未包括	XX1	友刈水ず未		担当課	農政畜産課
政策:	名	03	活力	ある産業	のまちつ	づくり					グループ	農政1グループ
施策	名	01	農•ホ	木・水産業	の振興						電話番号	45-5111
基本事	業名	01	農林	漁業経営	体への	支援					内線番号	2313
予	会計	一般	会計						中来	□ 単年度のみ		
予 算 科 目	款	06	農林	水産業費					事業 期間	□ 単年度繰返 (開始 ^を	F度 H	年度~)
科	項	01	農業	費					MIL	■ 期間限定複数年度		∼ H32)
目	目	03	農業	振興費					根拠法令·条例等	現場 東 現 現 現 に 関 に は に は に は に は に は に は に は に は に は に は に に	反对束夫他安徽 更綱	両、務局巾補助金寺の
評価区	7分		標準部	平価	評価:	対象	1次評価		関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

(1) 予切予末の概念(共体的なやり方、子順、詳細を記述) 環境保全効果に高い営農活動に取り組む農業者に対して直接支援を行う交付金制度である。 (支援対象取組)化学肥料等の5割低減とカバークロップの作付の取組 化学肥料等の5割低減と炭素貯留効果の高い堆肥の施用 有機農業の取組 (支援単価)10a当たり3,000~8,000円 負担割合国:県:市=2:1:1 (実施期間)平成23年度から平成27年度までの5年間であったが平成32年度まで延長

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア申請件数		件	34	32	36	40	40
1 申請面積		a	8,792	9,401	10,076	10,500	10,500
ウ 助成金額		円	3,517	3,487	3,972	4,140	4,140
(2) 事務事業の目的							
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア環境に配慮した農業の実践者	エコファーマー認定件数	件	209	212	212	215	215
1	有機農業者数	人	37	37	37	40	40
<mark>ੈਂ</mark>							
④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア 環境に配慮した農業を行う	環境に配慮した営農が実践された農地	a	8,792	9,401	10,076	10,500	11,000
1							
<mark>ੈਂ</mark>							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 経営体質が強化される。	有機農業者数	戸	37	37	37	40	43
1							
<mark>†</mark>							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

平成23年度に国の事業の開始と共に開始した。平成26年度は大きくは変化していないが、交付要綱・要領の一部改正により、平成27年度から農業者団体の組織化が義務付けられ申請方法等にも変更が生じることとなった。補助金の振込が国からと市(県費十一般財源)に分かれて振り込まれるので、同じにして欲しいと要望があり、平成26年度は鹿児島県水土里サークルが販りまとめ一括振込を行った。 取りまとめ一括振込を行った。

А	. 事業費の推移						単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	-T'>		021	エヤシ			丰区	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫ま	と出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事	財県支出金				金	千円	1,759	1,746	2,037	6,400	2,070
	業	事 講 原 支 出 金 世 方 債 そ の 他				債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	1,759	1,791	2,034	2,100	2,070
量		哥	業	費			千円	3,517	3,537	4,071	8,500	4,140

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成26年度の成果

申請件数:36件

取組面積: 10,076a 補助金交付額: 国→3,951,550円 県→2,013,575円 市→1,937,975円 合計→7,903,100円 環境に配慮し、安心・安全な農作物の供給が図られた。

6. 振	コード					型農業直接支援対策事業 担当部 農林水産部 担当課 農政畜産課						
	しょう く	'CEE'		事業名					担		由	以备座課
	_	務事業の目的は	+ 其木豆	主業の音図に紹	±びついています	-tv 2				者が環		農業を行うことは、
				未の息因に前	- O Di Ci ci s 9	י אוי	経営体質	質がが強化さ	れること	に結て	が付く。	
A		結びついている		7								
自的		間接的に結びつ		'ବ								
目的妥当性		結びついていた 業業をなぜ市が行		カげたらないの	つですか?		組織の首	が成け産地拡	大. 農	政推准	の観点からもも	/要である。
性	2 - 税金を	投入して達成す	する目的	ですか?	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		7,000	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	., .,,,,	,,,,,,,,		
		妥当である										
		見直す必要がる	ある				一 松曲 3	₩ rm lab. →	+r. ≥. ≥ 1	由米の	W/#)+ - 4, 185	,
	③ 成果が	向上する余地(可能性)	はありませんか	٧,		有機農 身	冬寺、塚現を	ちんに)	喪業(グ	推進につながる	ο.
		向上する余地に	はかなり	ある								
		向上する余地に	はある程	度ある								
		向上する余地に	はほとん	どない								
В	④ 廃止·6	木止の影響はあ	りません	か?			生産者やは環境の	つ耕作面積が R全型農業を	減少す衰退さ	「る中に せる恐	こおいて、補助: れがある。	金を廃止すること
B有効	•	影響がある										
性		影響がほとんと	どない									
(目的(対象・意図 ありませんか?(の事務	類似事 合の事	議業がある場 務事業名等	【参表	考:昨年	度の内容】	
		類似の事業は							l .			
		類似の事業は	あるが、	統合又は連携 [・]	できない							
		類似の事業が	あり、統	合又は連携でき	 €る							
(事務事補助金	業の手段(やり方)など、交付先に働)を工夫す きかけて	ることで、事業費、市の負担を削減	できません できませんか?	か?		びずに事業 の単価を削減				成果の低下は避
		削減できない					けられな	٧٠°)				
C 効		削減できる										
率	7)できませ	業の手段(やり方) んか? 外の対応や委託に				を削減		·交付事務でる 域余地はない		め、その	事務手続きに	大きな変動がなけ
		削減できない										
		削減できる										
D 公	8 事務事また、受	業の内容が一部 受益者負担の公	部の受益 ・平性が配	者に偏っている 確保されていま	ませんか? すか?			:全型農業に 活動を行なう				環境保全型を目
D公平性		公平・公正であ										
		見直す必要が	ある									
7. 1	次評価結	果 <plan< th=""><th>>(組織</th><th>決定)</th><th>【争考】前</th><th>年度の改革</th><th>な善の方</th><th>向性≪</th><th></th><th>継</th><th>売</th><th>></th></plan<>	>(組織	決定)	【争考】前	年度の改革	な善の方	向性≪		継	売	>
	事務事業の	2改革 継	続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	-	統合	休止	廃止
改善	の方向性)									
革改	平成27年度 善の内容 J組むべき	この改	業であり	、市の裁量によ	る業務内容の変	変更等は	困難であ	ే .				
(3)平 向性·	平成28年度 •取組目標	また。 「支援対策を対し、 「支援対し、 「力 「力 「力 「力 「力 「力 「力 「力 「力 「力	対象者) :: : 農(農業 対象取組 : 単価) 10	cコファーマー。 者グループ)。)化学肥料等の 化学肥料等の 有機農業の a当たり3,000~	05割低減とカバ 05割低減と炭素 取組	境規範に ークロッド 長貯留効	こ基づく) プの作付 果の高い	点検を行って の取組				生産する農業者、
8. 2	次評価結	果(担当部長	長評価)									
	事務事業 <i>の</i> 方向性	2改革 継	続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	i	統合	休止	廃止

(2)総 評

	務事業	0106010303010119	事 務 事業名	環境保全型	農業直接支援対策事業	担当音	
	ュード		争耒名	77K 30 PIC		担当詩	農政畜産課
9. :	コストの	推移					
		(単位:千円)	平成26年	年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)		平成28年度(計画)
1	報	栖					
2	給	料					
3		手当等					
4	共	済費 まば機悪					
5 7		害 補 償 費 金					
8	<u>具</u> 報						
9	+\ 旅	費					
10	 交	際 費					
11		用費		80		80	80
	_	月 耗 品 費		20		20	20
	炒炒			60		60	60
	<u>///</u> 食						
	E]刷製本費					
	廾	光熱 水費					
	修	善繕料					
	財	有材料費					
	飵	引 料 費					
		臺薬 材 料 費					
12	役_	務 費		20		20	20
		通信運搬費		20		20	20
	戊						
	手						
	伢						
13	委	託 料					
14		料及び賃借料					
15		事請 負 費					
16		材料費					
17		財産購入費					
18		品購入費 注補助及び交付金		2.071	0	100	4 140
19 20	扶	助費		3,971	0	,400	4,140
21	<u></u>	付 金					
22		ガ <u>亚</u> 捕填及び賠償金				-	
23		計算及び記員並				_	
24		及び出資金					
25		立 金					
26	寄	 附 金					
27	公	課費					
28	繰	出 金					
	計			4,071	8	,500	4,240
	5 5	庫支出金		0		0	
B+	特定財源			2,037	6	,400	2,070
財源内訳	財団			0		0	
内記	7			0		0	
九	_	般 財源		2,034		,100	2,070
		計		4,071	8	,500	4,140
;	補助率	国					
			事業費:	1/4、事務費:10/10	事業費:1/4、事務費:10	0/10	事業費:1/4、事務費:10/10
祁	助	基本額					

平成26年度補正•流用状況

当初]予算	4,100
補正	予算	0
流用	・充用	152
予算	合計	4,252

平成26年度特定財源内訳

十成20千及行足别源的	76 I	
区分	名称	金額
県支出金	環境保全型農業総合推進事業費	100
県支出金	環境保全型農業直接支払交付金	1,937
	合 計	2,037

	平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)											
1. 基本	情報											
事務事	業	01060103	03010121	車	2 活動力	く山周辺地域防災	台票	1 类	担当部	農林水産部		
<u>П</u>	' '	01000100	33010121	学 协于木1	自由野ノ	人田川及地域的火	西辰刈水田	未	担当課	農政畜産課		
政策	名	03	活力	ある産業のま	ちづくり	·			グループ	農政第1グループ		
施策	名	01	農•林	水産業の担	長興				電話番号	45-5111		
基本事	業名	01	農林	漁業経営体	への支援				内線番号	2312		
	会計	一般	会計				± **	□ 単年度のみ				
予 算 科 目	款	06	農林	水産業費			事業 期間	■ 単年度繰返 (開始年	F度	S50 年度~)		
科	項	01	農業	費			79][F]	□ 期間限定複数年度(~)		
Ħ	目	03	農業	辰興費			根拠法令·条例等	活動火山対東特別措直は 率に関する更綱	、 務島 巾 棚 切	金寺の種類及の補助		
評価区	[分	7	標準訊	F価 評	価対象	1次評価	関連計画					
2. 事務	事業(の概要	更・目	的•指標	<do></do>							
(1)事	(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)											
国庫事業	国庫事業(国補助金1/2 + 県補助金(激甚地域25%以内、一般地域15%以内) 但し農山漁村交付金については県費無し)											

農村地域防災減災事業:土壌矯正、畑灌施設、被覆施設特幹自然災害対策施設緊急整備事業:洗浄機械施設、収穫調整機等農山漁村地域整備交付金:被覆施設資材更新県単事業(激甚地域75%以内、一般地域65%以内)活動火山周辺地域防災営農対策事業:土壌矯正、畑灌施設、被覆施設、洗浄機械施設、収穫調整機等

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
①加利山 林(于奶子木····································		T-12	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア事業件数		件	1	1	9	6	3
1							
o							
(2) 事務事業の目的							
② 対象	③ 対象指標	光工	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(誰、何を対象にしているのか)	(左記②対象の大きさを表す指標)	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア事業実施主体	団体数	組織、法人	1	1	9	6	3
1							
o							
4 意図	⑤ 成果指標		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(②対象をどうしたいのか)	(左記④意図の達成度を表す指標)	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア生産量が増える	荒茶生産量	t	1,709	1,834	1,623	1,680	1,680
1							
'							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図	⑦ 基本事業の成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(さらにどのような成果に結びつくのか)	(左記⑥意図の達成度を表す指標)	中位	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア経営体質が強化される	認定農業者数	人	316	307	301	315	315
1							
<mark>ウ</mark>							
		1				1	

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

桜島火山の爆発に伴う降灰等により、農作物等 の被害が発生し、農業経営に多大な影響を及 ぼしていることから、事業の導入により被害を最 小限に抑えることができ、経営の安定を図が図 られている。

4	Teler di	-	ant.	推移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
4.	777	表現	W1	任何			单 位	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	支出	金	千円			0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円			65,375	41,739	40,000
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円			0	0	0
	費	訳	そ	0	D	他	千円			0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円			0	0	0
量		哥	業	費			千円	0	0	65,375	41,739	40,000

5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

<左記の実績(取組)による成果を記載ご

事業実施主体名及び事業内容 実績 65,375千円 相霧島中央製茶 捕採制洗浄機1台、指水貯水施設1式 構器小中央製茶 捕採制洗净機1台、指水貯水施設1式 構福水包、製茶 捕採機能付き除灰機1台 制備水製本 椭採機能付き除灰機1台 海水のあずま園 摘採機能付き除灰機1台 治床のあずま園 摘採機能付き除灰機1台 冷下のあずま園 摘採機能付き除灰機1台 内露島中央製茶 捕採機能付き除灰機1台 内霧島中製茶 捕採機能付き除灰機1台 山下茶生産組合 捕採機能付き除灰機1台 国分下や生産組合 被覆張替之 住吉下下生産組合 被覆張替之

機械導入やハウスの被覆張替えによって、お茶、トマト、ゆりそれぞれ生 産効率が高まった。

(3) 東 少 (틕	事務	事業 -ド	01060	10303010121	事 務 事業名	活動火山周辺	□地域	防災営	農対策事業		当 <u>部</u> 当課		水産部 畜産課
1	6.	振り	返り <	SEE>	•	7 313 22					1=			五/上 杯
■ 動びついている						事業の意図に終	古びついています	か?						こ抑えることが
回版を別に結びついている			_	結びつ	いている				(0.07)	沙胜日少女人	-W-M-0	MOCA .2	' 0	
■ 要当である □ 見思す必要がある □ 見上する余地はかなりある □ 向上する余地はかなりある □ 向上する余地はかなりある □ 向上する余地はほとんどない ■ 影響がある ■ 所上する余地はほとんどない ■ 影響がある ■ がたいたいのの単なが関するかのと言ない □ 数値の事故がはい □ が成のの事故があり、結合又は連携できない □ が成のの事故があり、結合又は連携できない □ が成のの事故があり、結合又は連携できない □ が成のの事故があり、結合又は連携できない □ が成のの事故があり、結合又は連携できない □ が成のの事ながあり、は合又は連携できない □ が成のの事ながあり、は合义は連携できなんか? ■ が成の事ながあり、は合义は連携できなんか? ■ が成でをない □ が成でをない □ が成でをない □ がまるがあらが、は合えは連貫できなんか? ■ がまるがあらが、は合えは連貫できなんか? ■ がまるがあらが、は合えはできないか? ■ 別域できない □ がまるがあらが、はたいによりなから。 ■ がまるがあらがは、はたいにまずか。 □ 見まである □ 見ますがある □ 見ますがある □ 見ますがある □ 見まがある □ 見まがある □ 見まがまがある □ 見まがまがある □ 見まがまがある □ はまが表のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	A					 \る								
■	的													
■	当	<u> </u>				ればならないの	Dですか?		市町村	は間接補助事	業者で	ある為妥	当である	
□ 見書す必要がある ② 成果が向上する余地は可能性はありませんか? □ 向上する余地は初を程度ある □ 向上する余地はほとんどない ② 表生・休止の影響はありませんか? ■ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 原加・事者はおい □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がある □ 影響がまたとどない □ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業があるが、統合又は連携できない □ 類似の事業があるが、統合又は連携できない □ 別似の事業があるが、統合とは達成できない □ 別域できない □ のはまないである □ 別域によいであるのできを変別・合かれて地域楽のできなん発展と図から同性・取組目標 □ 別域は、できないのできないであるのできを図別・合かれて地域楽像の能なな発展と図が、「記念人田の場をに作り海が楽したり、「の様へ山田の地域とおいで集を修命のを表も完全し、最高経営に多大・企場である。「記念人田の場をに作り海が楽したり、「の様へ山田の地域とおいで集を修命のできないを表でを変別・合かれて地域楽像の能なな発展と図が、「の性・取組目標)」「いまままないのはないで集を表できないで、「の様の場をないで集を表できないで、「の様の場をないで、「の様の表をないで、「の様の表をないで、「の様の表をないで、「の様の表をないで、「の様の表をないで、「の様の表をないで、「の様の表をないで、「の様の表をないで、「の様の表をないで、「の様	性	(2)	•税金	を投入し	て達成する目的	ですか?								
図、原来が向上する余地(可能性)はありませんか? 類別事業であり、影響の上乗せも思いため向上する余地は思い 同上する余地はある程度ある 国 向上する余地はある程度ある 国 向上する余地はある程度ある 国 向上する余地はある程度ある 国 向上する余地はある程度ある 国 の上する余地はあるとなるい 類切の事業がある 影響がほとんどない 類切の事業がある 影響がほとんどない 類切の事業はあるが、総合文は連携できない 類切の事業はあが、総合文は連携できない 類切の事業はあるが、総合文は連携できない 類切の事業はあるが、総合文は連携できない 類切の事業はあるが、総合文は連携できない 類切の事業はあるが、総合文は連携できない 国 例案するの事業があり、総合文は連携できない 国 所属できない 国 公平である日報に対し、行意を制度できませんか? 国 公平である 国 所属できない 国 所属できない 国 所属できない 国 の要項等にと、メイヤに動かけて、赤の質能を制度ではませんか。 国 所属できない 国 公平である 国 の要項等によい、デザック 国 公平である 国 の要項等によい、原発を制度できませんか。 国 の要項等に基づくため、同様できない 国 公平公正である 国 公平公正である 国 の要項等に基づくたい、「の事務事業の外籍が、事のの要素に関っていますか。 国 公平公正である 国 公平公正の表示の表示の表示の表示の表示の表示の表示の表示の表示の表示の表示の表示の表示の														
□ 向上する条地はから9巻6 □ 向上する条地はから4度ある □ 向上する条地はから4度ある □ 向上する条地はから4度ある □ 向上する条地はから4度ある □ の上する条地はほとんどない □ 影響がある □ 影響がほんしない □ 類似の事業はあが、第合2は連携できない □ 類似の事業はあが、統合2は連携できない □ 類似の事業があり、統合2は連携できない □ 類似の事業があり、統合2は連携できない □ 財滅できるが、第一次で表することで、本籍を開業できませんかっ 情報から2、大学を表することで、大学を開業できませんかっ 情報できませんかっ 明滅できない □ 財滅できるい □ 削減できるい □ 別域できる □ 別域できるした。第一級関係できませんかっ 明滅できまない □ 別域できる □ 見 対域できるとない。 「中央主義の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	┡			見直す	がある				おいま	**ベキル 士曲	のしま	in La Amen	よよらしよっ	△ 4/k) → 4/m)、
向上する余地はある程度ある		3	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんか) ['] ?		無助争	柔 じめり、 叩貨	の上来	リ無けが	ため回上する	示地は悪い
■ 同土する余社は定人とない 担助事業の導入ができなくなるため影響がある 影響がある 影響がある 影響がある 影響がある 影響がある 影響があめまたいであるのままましたとない 類似の事業はありませんがで、				向上す	る余地はかなり	ある								
(4) 廃止・休止の影響はありませんか? ■ 影響がある □ 影響がほとんどない 「類似の事業はない」 「類似の事業はありまが実施するものを含む。」 「類似の事業はない」 「類似の事業はあるが、統合又は連携できるのと含む。」 「類似の事業はあるが、統合又は連携できない」 「類似の事業はあるが、統合又は連携できない」 「類似の事業はあるが、統合又は連携できない」 「類似の事業はあるが、統合又は連携できない」 「類似できない」 「別域できる。 (5) ・非常事の手段(いり)がと工夫することで、人件資(匿べ業務時間)を削減でませんか? 「利域できなと、文付は上機かがて、市の負担を削減できませんか?」 「利域できな。」 「利域できる。 (7) ・非常事の手段(いり方)を工夫することで、人件資(匿べ業務時間)を削減できませんか?」 「利域できな。」 「利域できる。 「制域できる。 「利域できる。」 「利域できる。 「利域できる。」 「利域できる。 「利域できる。」 「利域できない」 「利域できる。 「利域できる。」 「利域できる。 「利域できる。 「利域できる。」 「利域できる。 「利域できる。 「利域できる。」 「利域できる。 「対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、				向上す	る余地はある程	建度ある								
●				向上す	る余地はほとん	どない								
□ 影響がほとんどない □ 類似の事業はない □ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似であるがあり、統合又は連携できない □ 別域できない □ 別域できない □ 別域できる □ 削減できる □ 削減できない □ 削減できる □ 削減できる □ 削減できる □ 削減できる □ 削減できる □ 別域できない □ 削減できない □ 削減できる □ 別域できない □ 削減できない □ 削減できる □ 別域できない □ 削減できない □ 削減できる □ 別域できない □ 別域が関係を対していませんか? □ 別域できない □ 別域が関係を対していませんか? □ 別域できない □ 別域できない □ 別域できない □ 別域できない □ 別域できない □ 別域できない □ 別域が関係を対していませんが? □ 別域が関係を対していることから、被対が関係を対して対域に対していることから、被対が関係を対して対域に対していることがら、被対が関係を対して対域に対していることが、以前に対して対域に対していることが、以前に対して対域に対していることが、以前に対して対域を対域を対して対域を対域を対域を対して対域を対域を対して対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対	В	4	廃止・	木止の景		か ?			補助事	業の導入がで	きなくな	るため影	響がある	
□ 影響がほとんどない □ 類似の事業はない □ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似であるがあり、統合又は連携できない □ 別域できない □ 別域できない □ 別域できる □ 削減できる □ 削減できない □ 削減できる □ 削減できる □ 削減できる □ 削減できる □ 削減できる □ 別域できない □ 削減できない □ 削減できる □ 別域できない □ 削減できない □ 削減できる □ 別域できない □ 削減できない □ 削減できる □ 別域できない □ 別域が関係を対していませんか? □ 別域できない □ 別域が関係を対していませんか? □ 別域できない □ 別域できない □ 別域できない □ 別域できない □ 別域できない □ 別域できない □ 別域が関係を対していませんが? □ 別域が関係を対していることから、被対が関係を対して対域に対していることから、被対が関係を対して対域に対していることがら、被対が関係を対して対域に対していることが、以前に対して対域に対していることが、以前に対して対域に対していることが、以前に対して対域を対域を対して対域を対域を対域を対して対域を対域を対して対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対	有熱		_	影響が	 「ある									
(3) 野似の事故(対象・意図又は移態(イベントや啓発等)を持つ他の事務	性													
■ 類似の事業はない □ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業があり、統合又は連携できない □ 情報できない □ 情報できない □ 削減できない □ 削減できない □ 削減できる □ 前減できる □ 削減できる □ 見直す必要がある □ 以の変現等に基づため削減できない □ 削減できる □ 以の変現等に基づため削減できない □ 削減できる □ 以の変現等に基づため削減できない □ 削減できる □ 以の変異者に偏っていませんか? □ 以の変現等に基づき負担等は公平である □ 見直す必要がある □ スーツ・公正である □ 見直す必要がある □ 以の場底に保が確保されていますか? □ 公平・公正である □ 見直す必要がある □ 以の表表を関心がある □ 以の表表を関心がある。 □ はの表表を関心がある。 □ はの表表を関心がある。 □ はの表表を関心がある。 □ はの表表を関心がある。 □ はの表表を関心がある。 □ はの表表を関心がある。 □ はの表表表を関心がある。 □ はの表表表表を関心がある。 □ はの表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表		(E)	類似の	目的(対	対象・意図)又は	形態(イベントや)	啓発等)を持つ他(の事務	類似	事業がある場				
□ 類似の事業があり、就合又は連携できない □ 類似の事業があり、就合又は連携できない □ 前滅できない □ 削滅できない □ 削減できる □ 削減できない □ 削減できる □ 削減できない □ 削減できる □ 別域できない □ 削減できる □ 公本・公正である □ 別域できない □ 別域できない □ 別域できない □ 日本・変量がある □ 公本・公正である □ 日東す必要がある □ 公本・公正である □ 公本・公正である □ 日東す必要がある □ 公本・公正である □ 日東す必要がある □ 公本・公正である □ 公正である □ 公正である。 □ 公正である。 □ 公正である。 □ 公正である。 □ 公正である。 □ 公正である □ 公正である □ 公正である □ 公正である。 □ 公正である □ 公正である。 □ 公正である。 □ 公正である □ 公正である。 □		3	事業は			の主体が実施する	ものを含む。)							
□ 類似の事業があり、統合又は連携できる ⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業務を削減できませんか? ・補助金など、支付款に働きかけて、市の負担を制減できませんか? ・ 補助金など、支付款に働きかけて、市の負担を制減できませんか? ・ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件寮(延/素務時間)を削減 「できせんかの別なや委託により人件寮を削減できませんか? ・									類似の	事業は無い,				
(6) ・事務事業の手段(やり方を工才ることで、事業を告別域できませんか? - 補助金など、交付法に働きかけて、市の負担を削減できませんか? - 一 削減できる - 一 一 削減できる - 一 一 削減できない - 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一														
② ・補助金区と文件名に働きがけて、市の負担を制度できませんか? □ 削減できる	_							h. 0	古弗の	し乗出け無い				
□ 削減できる		6	・補助金	まの手見など、交	付先に働きかけて	、市の負担を削減	できませんか? 「なった」	ימיי?	印頂が	上木 では無い				
■ 削減できな □ 削減できる □ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか? また、受益者負担の公平性が確保されていますか? □ 公平・公正である □ 見直す必要がある 7. 1次評価結果 〈PLAN〉(組織決定) □ ② 事務事業の改革 □ ② 世校・以方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止 改善の内容(取り組むべき課題) □ ② は、				削減で	きない									
■ 削減できな □ 削減できる □ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか? また、受益者負担の公平性が確保されていますか? □ 公平・公正である □ 見直す必要がある 7. 1次評価結果 〈PLAN〉(組織決定) □ ② 事務事業の改革 □ ② 世校・以方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止 改善の内容(取り組むべき課題) □ ② は、	C 効			削減で	きる									
■ 削減できない □ 削減できる ② 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか? また、受益者負担の公平性が確保されていますか? ■ 公平・公正である □ 見直す必要がある 7. 1次評価結果 〈PLAN〉(組織決定) ② *** ② ** ② ** ② ** ② ** ② ** ② ** ②	率性	(7)			设(やり方)を工夫で	することで、人件費	費(延べ業務時間)を	上削減	県の要	項等に基づくた	こめ削減	載できない	`	
□ 削減できる ■ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか? また、受益者負担の公平性が確保されていますか? ■ 公平・公正である □ 見直す必要がある 7. 1次評価結果 〈PLAN〉(組織決定) 「参加事業の改革 を記念の方向性 「(1)事務事業の改革 を記念の方向性 「(2)平成27年度の改革の対象をである。	1	0	・職員じ			牛費を削減できま	せんか?							
■ 本務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか? また、受益者負担の公平性が確保されていますか? ■ 公平・公正である □ 見直す必要がある 7. 1次評価結果 〈PLAN〉(組織決定)														
② また、受益者負担の公平性が確保されていますか? □ □ □ □ □ □ □						キャー 信ってい	++/+0		目の声	百竿に 其べきん	5 田笙)	ナルザで	· なる	
7. 1次評価結果	D 公	8							水ツ女	女子に巫 フロリ	M1241	4AT (w/J	
7. 1次評価結果	年 4			公平・	公正である									
(1)事務事業の改革 改善の方向性	Ξ.			見直す	必要がある									
□ 改善の方向性 □ ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組制	t決定)	[参考]前4	年度の改革	革改善の方	向性≪				>
改善の方向性 ○	(1)	古3	攻市 类/	アンドギ	継続	わり古改善	コスト拡充	コスト	綋小		4:	* -	休止	廃止
楼島人山の爆発に伴う降灰等により、農作物等の被害が発生し、農業経営に多大な影響を及ぼしていることから、被害を改善の内容(取り組むべき課題) 国庫事業(国補助金1/2 + 県補助金(激甚地域25%以内、一般地域15%以内) 「被島人山の爆発に伴う降灰等により、活動人山周辺地域において農作物等の被害が発生し、農業経営に多大な影響を及ぼしていることから、この様な事態に対処して、農業者の経営の安定を図り、合わせて地域農業の健全な発展を図るため、取り組みを行う。 「おり、といることから、この様な事態に対処し、一般地域15%以内)を収息しいの場発に伴う降灰等により、活動人山周辺地域において農作物等の被害が発生し、農業経営に多大な影響を受け、合わせて地域農業の健全な発展を図るため、防災営農対策事業を総合的に実施する。 「おり、大海機械施設、収穫調整機等 1					0	(5)万以吉		٦٨١٠	네티스.1 .	上15	η.	<i></i>		
小限に抑えることとし、農業者の経営の安定を図り、合わせて地域農業の健全な発展を図るため、取り組みを行う。 (2) 平成27年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題) 国庫事業(国補助金1/2 + 県補助金(激甚地域25%以内、一般地域15%以内) 桜島火山の爆発に伴う降灰等により、活動火山周辺地域において農作物等の被害が発生し、農業経営に多大な影響及ほしていることから、この様な事態に対処して、農業者の経営の安定を図り、合わせて地域農業の健全な発展を図るため、防災営農対策事業を総合的に実施する。 活動火山周辺地域防災営農対策事業:土壌矯正、畑灌施設、被覆施設、洗浄機械施設、収穫調整機等 8. 2次評価結果 (担当部長評価) (1) 事務事業の改革 総続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止 依止 依止 依止 依止 依止 依止 依					_	 発に伴う降灰等	 により、農作物等	の被害	が発生し	、農業経営に	<u> </u> 多大な	:影響を及	 とぼしていること	から、被害を最
革改善の内容 (取り組むべき課題) (国庫事業(国補助金1/2 + 県補助金(激甚地域25%以内、一般地域15%以内) 被島火山の爆発に伴う降灰等により、活動火山周辺地域において農作物等の被害が発生し、農業経営に多大な影響及ぼしていることから、この様な事態に対処して、農業者の経営の安定を図り、合わせて地域農業の健全な発展を図るため、防災営農対策事業を総合的に実施する。活動火山周辺地域防災営農対策事業:土壌矯正、畑灌施設、被覆施設、洗浄機械施設、収穫調整機等 8. 2次評価結果 (担当部長評価) (1)事務事業の改革改善方向性 継続 やり方改善コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 体止 廃止	(0)		+ 07/= 5	± 0.74	小限に抑えるこ	ととし、農業者の	の経営の安定を	図り、合え	わせて地	地域農業の健全	な発用	を図るた	とめ、取り組みを	:行う。
国庫事業(国補助金1/2 + 県補助金(激甚地域25%以内、一般地域15%以内)	革司	大善	の内容											
桜島火山の爆発に伴う降灰等により、活動火山周辺地域において農作物等の被害が発生し、農業経営に多大な影響及ぼしていることから、この様な事態に対して、農業者の経営の安定を図り、合わせて地域農業の健全な発展を図るため、防災営農対策事業を総合的に実施する。活動火山周辺地域防災営農対策事業:土壌矯正、畑灌施設、被覆施設、洗浄機械施設、収穫調整機等 8. 2次評価結果 (担当部長評価)	(取	り紐	むへさ	誅趄)										
桜島火山の爆発に伴う降灰等により、活動火山周辺地域において農作物等の被害が発生し、農業経営に多大な影響及ぼしていることから、この様な事態に対して、農業者の経営の安定を図り、合わせて地域農業の健全な発展を図るため、防災営農対策事業を総合的に実施する。活動火山周辺地域防災営農対策事業:土壌矯正、畑灌施設、被覆施設、洗浄機械施設、収穫調整機等 8. 2次評価結果 (担当部長評価)					日度事業/日均	÷ H- △ 1 / 9 ↓ Ⅱ	目 本 叶 女 / 夢 甘 山	₩0E0/	rh19	. in the tent 1 ⊏ 0/ 1	(r d -1/1			
(3)平成28年度の方向性・取組目標 、防災営農対策事業を総合的に実施する。 活動火山周辺地域防災営農対策事業: 土壌矯正、畑灌施設、被覆施設、洗浄機械施設、収穫調整機等 8. 2次評価結果 (担当部長評価) (1)事務事業の改革改善方向性 総続 やり方改善コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止					桜島火山の爆	発に伴う降灰等	等により、活動火	山周辺均	也域にま	3いて農作物等	その被害	手が発生!	、農業経営に	多大な影響を
8. 2次評価結果 (担当部長評価) (1)事務事業の改革 改善方向性 継続 やり方改善コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止	(3)	平原	或28年	度の方	、防災営農対策	5事業を総合的	に実施する。							
(1)事務事業の改革 機続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止 改善方向性	(P) 13	土 * 月	X組日付	兲	10 390 7 (11) (1)	及地域的火日	成八水子来: 上9	K/III III.	A四1年761	人、以1支加以、	17017719	THAT MERKY	1人1支 阿正 及寸	
(1)事務事業の改革 機続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止 改善方向性														
(1)事務事業の改革 機続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止 改善方向性	0	2 Mr	電影/研究	用 /北	 半部 									
改善方向性	٥.		14.1ml 独国	未 (担									44.1	r i. .1
				の改革	推 税	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	糸	充合	14年	廃止
(2)総評	- F	1/1	· 3 II											
(2)総評														
(Δ/ ΝΟ σΤ	(2)	松	雪亚											
	(2)	HACK	пТ											

事務	多事業 一ド	0106010303010121							世当部 農林水産部 農政畜産課		
	コストの	推移						, , <u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	~~m/±w	
J. –		(単位:千円)	平成26年度	₹ (決:	算)	平成27年	度 (当初予算)	平成28年	度(計画)	
1	報	西州									
2	給	料									
3	職員	員 手 当 等									
4	共	済 費									
5		子補 償 費									
7	賃	金									
8	報	償 費									
9	旅	費									
10	<u>交</u>	際 費			0					0	
11	需	用 費 i 耗 品 費			0			0		0	
	燃燃										
	食										
	光										
	修										
	賄	i 材 料 費									
	館										
		薬材料費									
12	役	務 費			0			0		0	
		信運搬費									
	広										
	手保										
13		託料									
14		<u> </u>									
15	工事										
16		材料費									
17	公有	財産購入費									
18	備品	品購入費									
19		補助及び交付金			65,375		4	1,739		40,000	
20	扶	助費									
21	貸	付 金									
22		i 填及び賠償金 利子及び割引料									
24		及び出資金									
25	積	<u> </u>									
26	寄	 附 金									
27	公	課費									
28	繰	出 金									
	計				65,375		4	1,739		40,000	
	特區	庫支出金			0			0			
財	特定財源				65,375		4	1,739		40,000	
財源内訳	財源を				0			0			
訳	_	の 他般 財源			0			0			
		計			65,375		4	1,739		40,000	
	A 61 -4-	国			30,010		1	,		10,000	
*	甫助率	県			6.5/10		6.	5/10		6.5/10	
補	助	基本額									
平成	26年月	建補正・流用 状			平成26年	度特定財源内	訳				
	当初	刀 予算		0		区分		名称		金額	
	補』	E予算	66,49	_	県支出金		活動火山周辺地	域防災営農	対策事業費	65,375	
		正第1号	17,79								
		正第3号	56,24								
	#用」	E第5号	-7,54	Ö							
				1	İ		1				

当初予算	0
補正予算	66,493
補正第1号	17,796
補正第3号	56,243
補正第5号	-7,546
流用・充用	
予算合計	66,493

	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
区分	名称	金額
県支出金	活動火山周辺地域防災営農対策事業費	65,375
	· 合 計	65,375

	1. 基本	情報									
Γ	事務事	業	0106010	西2010122 車	数重	自治な	1			担当部	農林水産部
事務事業名 鳥獣被害対策実践事						一一一一	双百刈水大成事未			担当課	農政畜産課
Г	政策	名	03	活力ある	産業のまち	づくり				グループ	農政第1グループ
施策名 01 農・林・水産業の振興										電話番号	64-0910
I	基本事	業名	01	農林漁業	経営体への	の支援				内線番号	2314
Γ		会計	一般	会計				± **	□ 単年度のみ		
ı	算	款	06	農林水産	業費			事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 ^年	F度 H	14 年度~)
ı	予算科目	項	01	農業費				7列申	□ 期間限定複数年度	(~)
目 03 農業振興費								根拠法令·条例等	霧島市イノシシ等被害防」	止事業補助金	交付要綱
評価区分 標準評価 評価対象 1次評価							1次評価	関連計画	霧島市鳥獣被害防止計画	1	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

イノシシ・シカ等により農作物への被害が発生する恐れがある農地に電気柵等を設置することにより、農作物への被害を防止または軽減する。 【事業対象】 ・霧島市鳥獣被害対策協議会の運営、わな、電気柵購入に伴う補助要件は、農家3戸以上

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 箱わな、くくり罠購入基数		基	63	38	50	30	38
イ 電気柵設置受益面積		ha	33	203	201	150	150
ウ協議会活動		件	2	2	2	2	2
(2) 事務事業の目的							
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 農家	申請件数(電気柵)	件	4	22	31	20	20
イ 捕獲指示	申請件数	件	118	128	130	120	130
<mark>ф</mark>							
④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア イノシシ・シカ等による農作物への被害 を防止する。	農作物被害金額	千円	15,486	17,761	15,931	9,499	9,400
1 捕獲活動	捕獲頭数	頭	2,091	2,951	2,203	2,951	2,951
<mark>†</mark>							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 経営体質が強化される。	認定農業者数	戸	316	307	301	315	315
1							
o							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

平成21年度に霧島市島獣被害防止計画(H2 2~H24)により、平成22年度より国の補助要件を満たす。平成24年度に霧島市島獣被害防止計画を策定する。 農業・林業に対し大きな被害がでていることから、被害を受けやすい山手の農地の荒廃が進行している。また、構皮の剥ぎ取りによる被害がある。近年、鳥獣被害が増加しており、街中にも出没しているため、被害防止と駆除に対する助成をしてほしい

4	車型	生物	לת:	佳移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
7.	402		,001	שנים			+12	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	を出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	5,133	26,776	34,557	16,523	16,523
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	705	62	71	110	110
量		耳	業	費			千円	5,838	26,838	34,628	16,633	16,633
_												
l												

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

箱わな:50基 電気柵:31件 実績額:34,628,191円

電気柵等を設置したことにより、鳥獣の侵入を防ぐことができ、農作物へ の被害を防止できた。

=	事務事業コード	01060	10303010122	事務事業名	鳥獣	被害対策	策実践事業				部 課		水産部 畜産課
6	•	<see></see>	>	于木口					担	理	由	長以百	ョ <u>佐</u> 味
	_		の目的は、基本	事業の意図に終	古びついています	まか?		バイノシシ・シス 行うことで、経営		易獣に	よる農		害防止や捕獲
			いている	1- NC 1- NC 1-1-1-	10 27 27 07	, ,,	平雨で	口りことで、栓?	呂 14- (ノ)	畑16を	国力し、	、収束体糸に	- 桁 U 17 \ 。
A			かにいる 一 りに結びついてい										
日的			いていない										
目的妥当性	@ ·:	の事業をな	ぜ市が行わなけ	ればならないの	Dですか?								後能等が損なわ
性			て達成する目的	ですか?			れ、災智 ひが妥	§等の発生要[当である。	因となり	う得るだ	こめ、F	†において事	「業を実施する
H			必要がある				集落	単位または、一	・団の農	息地で(の共同	『防除が図れ	るよう防除計
	(3) 成身	^{果が同上す}	る余地(可能性)	はありませんだ	۱۱?	Ī		作成できれば					
	-		「る余地はかなり										
			る余地はある程										
		同上す	「る余地はほとん	どない			農 批/	い族休祉が加	声化士	ス 農	州が幸	き肉まれげ	農村が持つ美
B	4 廃」	上・休止の影	影響はありません	か?			ノい 景谷	見が損なわれる 生要因となる。	るほか、	農地	の貯水	機能等が損	なわれ、災害
B有効性	•	影響が	ぶある				4.4270	工及四℃なる。					
I			ドほとんどない										
			対象・意図) 又は せんか?(市以外の			の事務		事業がある場 事務事業名等		/シ等/ 等直接			事業・中山間
		類似0)事業はない				国の事	事業を優先して	取り組	しんでい	ヾ。		
	•	類似0)事業はあるが、	統合又は連携	できない								
		3 79(17))事業があり、統				15-41-	to Mr					
	⑥ 请	務事業の手具 助金など、交	段(やり方)を工夫で 付先に働きかけて	けることで、事業費 、市の負担を削減	費を削減できません 域できませんか?	いか?		事業であるため はない。)、その	事務日	护続さ	に大きな変態	かなければ削
		▮ 削減で	きない										
C 効		削減で	きる										
率性	(7) でき	ませんか?	没(やり方)を工夫す			を削減		金交付事務でる 減余地はない		か、その	り事務	手続きに大き	きな変動がなけ
	• 職		なや委託により人作 ごきない	F賞を削減できま	せんか?								
_	◎ 事務	多事業の内	容が一部の受益	者に偏っている	ませんか?		採択	要件及び受益	者負担	の公平	戸性は	保たれている	స్త
D公平:	◎ また		担の公平性がる	確保されていま	すか?								
性			公正である 「必要がある										
_				State (
7.	次評価	桁米 く	PLAN>(組織	(决定)	【参考】前	年度の改革	改善のブ	ī向性≪		継	続		>
	事務事:	業の改革	継続 	やり方改善	コスト拡充	コスト約	宿小	連携	i	統合		休止	廃止
	= 02731~3		0	() 14 × m)	設置した電気材	m teta v	- W. L.	anda S. N. E. C. A	7 7	- -	Im fets	- Netro Control	To a solution and a
革	改善の内	年度の改 容 (き課題)			利用し鳥獣被害				<i>31</i> 207	、电水	गा॥ च	ブルロック/StrX IE	.灰U.自在心
)平成28: 生•取組[年度の方 目標	防止または軽減 【事業対象】	成する。 医対策協議会	への被害が発生 の運営、わな、(等を認	设置す	ること	こより、農作物	勿への被害を
8	<mark>2次評</mark> 価	·結里_(#	3当部長評価)										
			継続	1511-1-01-46			eb .t	North 125		/± ^		休止	廃止
)事務事 善方向性	業の改革	447 476	やり方改善	コスト拡充	コスト約	伯小	連携	;	統合		F1****	176.12
(2))総 評												

事務	事業ード	010601030301012	事 務 事業名		鳥獣被	害対策実践事	業	担当部担当部		農林水産部農政畜産課
9. ⊐	ストの	推移								
		(単位:千円	平成26年度	(決	質)	平成27年	度 (当初予算)		平成28年	度(計画)
1	報		/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /		, 71 /	1 19,27 —			1 /2/207	-及《阳四》
2	<u>報</u> 給	 料								
3		手 当 等								
4	共	済 費								
5	災害	『補 償 費								
7	賃	金								
8	報	償 費								
9	旅	費								
10 11	<u>交</u> 需	際 費 用 費			0			0		0
'''		<u>用</u>			0			- 0		0
	燃									
	食									
		刷製本費								
	光									
	修	繕 料								
	賄									
	飼匠	料 費薬材料費								
12		務 費			0			0		0
12		信運搬費			-					
	広									
	手									
	保									
13	委	託 料								
14		斗及び賃借料 								
15 16		請負費材料費								
17		財産購入費								
18		場								
19		補助及び交付金			34,628		16,	633		16,633
20	扶	助費								
21	貸	付 金								
22		i填及び賠償金								
23		利子及び割引料								
24 25	積	及び出資金 立 金								
26	寄	<u></u> 附 金								
27	公	課費								
28	繰	出 金								
	計				34,628		16,	633		16,633
	特国	庫支出金			0			0		
財	定児				34,557		16,	523		16,523
財源内訳	特定財源 巻 で				0			0		
訳		の ff 般 財 源	R .		71			0 110		110
	- 1	計			34,628			633		16,633
	ADJ	国			01,020		10,			10,000
補	亅	県		事業	達費:10/10		事業費:10	/10		事業費:10/10
補	助	基本額								
平成	26年度	₹補正•流用	状況	_	平成26年	度特定財源内	訳			
]予算	29,861			区分		名称		金額
		予算	16,074	-	県支出金		鳥獣被害防止網	総合対策	交付金	34,557
	補工	E第5号	16,074	-						
				1						
				1					+	

当初予算	29,861
補正予算	16,074
補正第5号	16,074
流用・充用	152
予算合計	46,087

29,861	区分	名称	金額
16,074	県支出金	鳥獣被害防止総合対策交付金	34,557
16,074			
152			
46,087		· 合 計	34,557

1. 基本	情報								
事務事	業	01060103	車	学夕 切い 3	F アクションサポー]		担当部	農林水産部	
<u>П</u>	1,	01000103	担当課	農政畜産課					
政策:	名	03	活力ある産業	のまちづくり				グループ	農政第2グループ
施策	名	01	農•林•水產業	業の振興				電話番号	45-5111
基本事	業名	01	農林漁業経営	営体への支援				内線番号	2342
予	会計	一般	会計			± **	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林水産業費	事		事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 ^生	F度 H	19 年度~)
予 算 科 目	項	01	農業費			初申	□ 期間限定複数年度		~)
Ħ	目	03	農業振興費			根拠法令·条例等	なし		
評価区	分	7	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市担い手総合支援協議会の活動を支援するため、補助金を交付する。 【活動内容】

【音動門谷】】 農業従事者の高齢化や後継者不足、農業就業人口の減少など、地域農業の担い手不足が顕著化してきている今日、将来にわたり農業生産活動 の持続的な発展を図るため、地域の担い手を明確にしながら、認定農業者への誘導や農業経営法人化の推進、集落営農への取組支援等、地域 農業を担う農業者育成に関係機関・団体と一体的に取り組むことで、望ましい農業構造を確立する。

主な支援策 研修会の開催、経営診断・相談会、担い手育成支援、集落営農組織化推進

C) 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	補助金交付団体数		団体	1	1	1	1	1
1	補助金額		千円	1,297	1,187	1,187	1,907	1,907
ゥ								
(2	2) 事務事業の目的							
) 対象 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	霧島市担い手農家(認定農業者及び 認定志向農業者)	担い手農家数(姶良・伊佐地域振興局データ)	戸	429	405	349	405	405
1	集落営農組織(取組開始地区含む)	集落営農組織数	集落	4	3	3	4	4
ゥ								
4) 意図 ②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	・地域の中核的農業者(将来の地域農業を支える担い手)となる。	新規認定農業者数	戸	5	5	8	5	5
1	・組織化(労働力の補完や生産コストの低減化)について合意する。	集落営農合意形成(準備導入)地区数	地区	2	2	2	2	2
ゥ								
(3	3) 上位の基本事業							
_) 基本事業の意図 さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	経営体質が強化される。	認定農業者数	戸	316	307	301	315	315
1								
	1	1				l	1	(

事務事業の環境変化・市民意見等

国は、平成19年度から平成21年度までを農政の集中改革期間と位置づけ、前年度まで県農政の集中改革期間と位置づけ、前年度まで県設階に設置されていた地域担い手育成総合支援協議会を市町村段階に設立することなった。平成22年度からは国庫事業がされているが、国の指導に基づき支援を継続している。農業就業人口の減少や農業者の高齢化、農業後継者不足が深刻化しており、将来の地域農業を支える担い手や集落営農組織の確保・育成が急務となっている。自己の経営改善や組織活動への取組意欲に応じた支援を行って欲しいとの要望が、事業対象者(農業者)から出ている。

4.	事事	美費	の‡	隹移			単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度 (計画)
			玉	庫3	と出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	ブ	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投			_	般	財	源	千円	1,297	1,187	1,187	1,907	1,907
投入量		事	業	費			千円	1,297	1,187	1,187	1,907	1,907
I –												
1												

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

(2)平成26年度の成果

- ・研修会の開催:パソコン簿記講座 40回 ・経営診断・相談会:相談員による経営支援 ・担い手農家育成支援:

ゥ

- ・12い 子展 永 月 成 又 抜: 経営改善計画 作成 指導 終期 到来者の計画達成状況確認 随時 ・集落営農組織化推進: 座談会開催 随時、研修会の実施1回 ・認定農業者等のスキルアップ事業 (大型特殊免許・牽引免許取得に係る一部助成 随時)

- ・担い手育成・確保支援事業 (担い手研修バス借り上げに係る助成 随時)

- パソコン簿記講座により、担い手自身の経営診断がより分かりやすくなり
- 認定農業者への移行や規模拡大への支援ができた。 地域農業を支える担い手や集落営農組織の確保・育成ができた。 認定農業者等の効率的・安定的な農業経営を支援することができた。

寻	粉り	事業 -ド	01060	10303010123	事 務 事業名	担い手ア	7クショ:	ンサポート	事業	担当担当	課		:水産部 :畜産課	
6.	振り	返り <	SEE>	•						•	里由	120-7-	, <u>pri</u> , <u>pr</u> , pr 1,	
	1	この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	昔びついています	トか?					呼来の地域 織化(労働フ		
		•	結びつ	いている								は、経営体質		
A				に結びついてい	 \る									
A目的妥当性			結びつ	いていない										
当	2			ぜ市が行わなけ		つですか?						い手不足が		
ΙΞ	•		を投入し 妥当で	で達成する目的	ですか?			落営農組網	哉の確保・育	成が急務	きとなっ	るためには、 ているため、 必要がある	市及び関係	《機
				<i>ა</i> る ──── ·必要がある				()	一体となり	くず未に	(メソル丘と	必安かる	にの女コく	נהינט
						_		現在、全	認定農業者	一律に能	力・技行	析向上のため	りの研修会等	等を
	(3)	成果が	「同上す	る余地(可能性)	はありませんか	٧?		実施してい	るが、参加	意欲及び	経営改	善意欲に格 とすることによ 、認定農業者	差があること	も事
			向上す	る余地はかなり	ある			部門でのり営農組織会	ーダー育成 全体の活性	が更に仮 化が期待	と進され できる。	、認定農業和	針組織及び	集落
				る余地はある程										
			向上す	る余地はほとん	どない			七古光ナ		Δ > h ∃	トベ曲当	· 本 1. 胆 板 操	囲. 団 仕ぶ	. /-
3	4	廃止∙ℓ	休止の影	/響はありません	か?			本事果で となって取	発エレに場り組んできた は結めかっち	一成果が急	は一根表現の	者と関係機	関・団体が 恐れがあり、 • 発展させる	将来
B有効生			影響が	ある				が困難とな		ルロゾよ居	未工性	行列で配付	・光灰させる	ے۔د
Ŧ			影響が	ほとんどない										
	⑤			 (市以外の) (本の) (**) (啓発等)を持つ他 5ものを含む。)	の事務	類似事業 合の事務	業がある場					
		-	類似の	事業はない										
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	<u>き</u> る								
	6	·事務事	業の手段	设(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費	慢を削減できません ずできませんか?	か?	望ましい。		確立のた	めに必	要な補助金	であり、削減	の余
		110-93 2	削減で		(1)	X CC 01 C 10 N		2,41011						
c			削減で	きる										
C効率性		-事務事	業の手段	设(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減	協議会の	事務局は市	が設置し	ている	また、各総	合支所に担	い手
生	(7)	できませ・職員じ	けんか? 人外の対応	なや委託により人作	井費を削減できま	せんか?		えるよう、打	三当職員が兼	兼務で配置	置されて)、地区毎に いる。 協議会の棒		
			削減で	きない				協も同様の)役割を担っ	ており、こ	と成員	の削減余地	はない。)辰
			削減で	きる										
D	8			容が一部の受益 担の公平性が				目的が担 る。	⊍い手を支援	する事業	である	とめ、公平性	を確保され	てい
公平性		•	公平・公	公正である										
生			見直す	必要がある										
, ·	1次	評価結	果 <f< th=""><th>PLAN>(組制</th><th>決定)</th><th>7.0.4.74</th><th>Ar street</th><th></th><th>. //</th><th></th><th>継続</th><th></th><th></th><th></th></f<>	PLAN>(組制	決定)	7.0.4.74	Ar street		. //		継続			
				継続				革改善の方向				休止	<u>≫</u>	
		务事業の 方向性		11 11 11	やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小	連携	統合	ì	NII.	光山	_
				※たに英担前	0	│ O E着化を図るため	× 4417	計典系切 学	が担い手曲	*************************************	しで 巨.†	田正校なぶ	- 典类士法	また. 白
				につけるため研	「修受入農家に	対して支援を行 设置)を実施する	う。パソニ	コン簿記講	座及び農業	径営改善	研修会	、経営診断・	相談会:相	談員
		成27年月 の内容		部負担、集落の)法人化へ向け	を支援を継続し を助成しスキルフ	て行う。)	また、認定層	農業者等を対	付象とした	大型特	殊免許•牽引	月免許の取	得に
取	り組	むべき	課題)	PROMES SELECTION	(1/40)	21,31,740.	,, ,,							
				# H- W - 11 - 12	h _ d= 6	ette totals are seen as	L 12 C	المستون وا	1,1,10,00	دد س و	= :		25	
				ーダーとなり得	る農業者(認定	農地を集落全体農業者)の育成	が必要で	ぎある。						
		丈28年		地域におけるていく。	農業生産店期(の持続的発展の	でめ、性	い手への	文仮をより独	1化•里炽1	とし、米	軟性を持た	せに文援を	仃つ
可性	Ĕ•取	紅組目標	#											
	o vlad	=17 /ac.4-1	H /40	war E Sales										
· ·	2次	評価結	果(担	当部長評価)								11-1		
(1)	事務	务事業の		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統合	ì	休止	廃止	<u>:</u>
(1)	事務			継続	0	-				0				
(1)	事務	务事業の		継続 〇 農業後継者等 支援した後、定	O 育成就農支援事	事業を統合するこ ないなどの課題も	とによっ ら多い。	のて新規就別	豊者への支持	受も取り組	みの一	つとなるが、	予算の確保	よや
(1) 改善	事務	务事業の 向性		継続 〇 農業後継者等 支援した後、定	O 育成就農支援事	事業を統合するこ	とによっ ら多い。	のて新規就別	豊者への支持	受も取り組	みの一	つとなるが、	予算の確保	よや

事務	事業 ード	0106010303010123	事 務 事業名		担い手ア	クションサポート	事業	担当担当		林水産部 政畜産課
9. =	ストの	推移								
		(単位:千円)	平成26年	· 使 / 注	1質)	亚成27年度	E (当初予算)		平成28年度	(計画)
1	#C		十八次20年	- 及 (升/	十八八十万	文 (当70) / 异/		一	
2	報 給	 料								
3		1 手 当 等								
4	共	済 費								
5		評補 償 費								
7	賃	金								
9	<u>報</u> 旅	<u>償</u> 費								
10	<u></u> 交									
11	需	用費			0			0		0
		耗 品 費								
	燃									
	食									
		刷製本費 熱 水 費								
	修							\dashv		
	賄	材 料 費								
	飼	料費								
10		薬材料費								
12	役逼	務 費信運搬費			0			0		0
	広									
	手									
	保									
13	委	託 料								
14		科及び賃借料 「 誌 台 弗								
15 16		請負費 材料費								
17		財産購入費								
18		購入費								
19		補助及び交付金			1,187		1	,907		1,907
20	扶	助費								
21 22		付 金 填及び賠償金								
23		型								
24		 及び出資金								
25	積	立 金								
26	寄	附 金								
27	<u>公</u> 繰	課 費 出 金								
28	計	<u>н</u> <u>т</u>			1,187		1	,907		1,907
		庫支出金			0			0		_,,,,,,
財	定県	支 出 金			0			0		
財源内訳	財地源	庫支出金支出金方債の他			0			0		
訳		の 他 般 財 源			1 197		1	0 007		1 007
		数 財 源 計			1,187 1,187			,907 ,907		1,907 1,907
,	+ 10 4	国			1,101			.,001		1,501
	輔助率	県								
		基本額								
平成		₹補正・流用も			平成26年	度特定財源内	R			
	当初]予算	1,	187		区分		名称		金額
	7用 止	予算		0						
					<u> </u>					
				-						

流用・充用

予算合計

1,187

1. 基本	情報										
事務事	業	01060103	102010124	車	举夕 //	上产罪	整推進事業			担当部	農林水産部
	ド	0100010.	03010124	事 (力 事 :	*1	工生师	11年11年中未			担当課	農政畜産課
政策:	名	03	活力	ある産業の	のまちづ	づくり				グループ	農政第2グループ
施策	名	01	農•ホ	木・水産業	の振興					電話番号	45-5111
基本事	業名	01	農林	漁業経営	体への	支援				内線番号	2343
予	会計	一般	会計					+ *	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林	水産業費	,			事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 ^年	F度 S	40 年代~)
予算科目	項	01	農業	費				797111	□ 期間限定複数年度	(~)
目	目	03	農業	振興費				根拠法令·条例等	経営所得安定対策等実施	色要綱(農林水	産事務次官依命通知)
評価区	7分		標準部	平価	評価文	対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

経営所得安定対策及び水田活用の直接支払交付金の交付事務を円滑に実施するため、行政と農業者団体から構成される霧島市農業再生協議 会(事務局:霧島市農政畜産課)に補助金を交付し、関係機関・団体等が連携した取組を推進する。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 補助金交付団体数		団体	1	1	1	1	1
イ 補助金交付金額		千円	8,561	8,360	6,896	8,560	8,560
o							
(2) 事務事業の目的							
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 経営所得安定対策対象農家	対象農家数	戸	5,282	4,966	4,891	4,891	4,891
イ 経営所得安定対策加入農家	加入農家数	戸	569	493	476	476	476
o							
(② 意図(②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア 経営所得安定対策に加入する	加入率	%	10.7	10.0	9.8	9.8	9.8
イ 経営を安定させる	交付金の交付額	千円	198,181	191,217	214,982	214,982	214,982
<mark>†</mark>							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図(さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア経営体質が強化される	認定農業者数	戸	316	307	301	315	315
1							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

昭和40年代に米の生産過剰と古米在庫の累積 を背景に開始された制度。近年では、従来の休 耕や転作の推進を柱とする内容から、経営所得 の安定や食料自給率の向上を意図した内容へ と変化している。現行制度は、平成26年度から 28年度までを対策期間として実施。農林水産業 ・地域の活力創造プランでは、平成30年産から 行政による生産数量目標の配分に頼らず、生産 者や集荷業者・団体が需要に応じた生産を行う ことされており、米の直接支払交付金は廃止さ れることとなっている。

4.	事美	装 費	の‡	佳移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
								(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	支出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	8,561	8,360	6,896	8,560	8,560
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0	D	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	0	0	0	0	0
量		哥	業	費			千円	8,561	8,360	6,896	8,560	8,560
Ι_												

5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

- ○補助金の交付実績(市→協議会) 6,796千円 ○霧島市農業再生協議会の活動 ・営農計画書、推進チラシの作成 ・農家説明会の実施 ・作付確認依頼書(営農計画書)及び交付申請書の発送、受付等 ・助成金要件現地確認 ・助成金要件確認書類作成・提出(鹿児島値域センター) ・総会、幹事会の実施

配分数量 9,268.3トン 面積換算值 1,907.6ha 配分率57% 対象農家数 4,891人 加入者 453人 加入率 9.3% 交付金額214,982,478円

III.	事務	事業 -ド	01060	10303010124	事務事業名	生	産調整	推進事	 業	担担	当当	部課		水産部 畜産課
6.	振り	返り <	(SEE>								理	由		
					事業の意図に終	きびついています			得安定対策に 化につながるの					とは、経営体
					7 2/4 2 7 3 - 4			貝の独	口につないの	クで宿	ارس	V • C V •	·0.	
Α				いている	. 7									
目的	_			」に結びついてし	<u>'</u> ৯									
A目的妥当性				いていない	Ldo 148+>> +>1 > 0	DZ+4.0		国が定	める経営所得	左定法	· 笙 生	お田幼	留竿に甘べい	ア宝梅される
性	2	·この事 ·税金る	を投入し	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ですか?	ひ ど り か ?			あるため妥当で			加女业	両守(□巫)(て大旭される
			妥当で	ある										
			見直す	必要がある										
	3	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんか), Š			が増えることと、 也がある。	、交付	金額	の単価	i等が見直され	いることで向上
			向上す	る余地はかなり	りある									
			向上す	る余地はある程	星度ある									
			向上す	る余地はほとん	どない									
물	4	廃止∙億	木止の景	/響はありません	しか?			村で実						て全国の市町 止・休止を判断
B有効性			影響が	ある				くらのヨ	*未てはない。					
性			影響が	ほとんどない										
	(5)			対象・意図) 又は んか?(市以外の		啓発等)を持つ他 るものを含む。)	の事務		事業がある場 事務事業名等					
		-	類似の	事業はない										て全国の市町
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない		削し夫	施されている事	*来 C	めるに	-02、翔	似争来はな	′ ′°
			類似の)事業があり、統	合又は連携で	 きる								
	6	·事務事 ·補助金	業の手段など、交	设(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費 、市の負担を削減	きを削減できません 或できませんか?			協議会に補助会 おり、市の負担			る事業	。補助金は全	全額国県費で賄
		_	削減で	きない										
c			削減で	 きる										
効率		-事務事	業の手具	设(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減	市として	は補助金を交	で付する	る事業	きであり)人件費削減	の余地はない。
性	(7)	できませ・職員以		なや委託により人作	牛費を削減できま	せんか?								
			削減で	きない										
			削減で	きる										
D	8			容が一部の受益 担の公平性が					める経営所得る					て実施されて
公平性	┢	6/23		公正である	HE INC 10 CO 'S	. 9 13 .			,			.,,.	- 1. 30	
性				必要がある										
_	4 1/12	表示 / 正 4 士	_		424 白)									
/.	八八	計価結	朱 〈!	PLAN>(組絹	()	【参考】前	年度の改革	改善の方	ī向性≪					>
		多事業 <i>0</i>		継続 	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	1	統合		休止	廃止
以音	当の.	方向性		0										
				制度の取扱いるめ、近隣市町等	が26年度と異な 学の状況を調査	る部分もあるのでした。	で、農家へを進める。	への啓発	きを徹底する。;	水田台	帳の	システ	ム改修を行う	必要があるた
		成27年月	度の改											
		の内容 lむべき	課題)											
				国が定める対策		~H28) であるの	で、平成	26年度	に引き続き協議	養会に	補助	金を交	付し事業を円]滑に進める。
(0)	\ -	±00 ===												
		成28年月 以組目標												
8.	2次	評価結	果(担	当部長評価)										
(1)) 車図	务事業の	がま	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合		休止	廃止
		カチェリ 向性	/以牛		. ,,,,,,,,	11 11476			X=1/3		.,, ,,			
					l .		<u> </u>							
(2))総	評												

事務	事業 ード	010601030301012	事 務 事業名		生産	調整推進事業	:		当部		水産部 (畜産課
9. =	ストの	推移									
		(単位:千円)	平成26年度	(決	算)	平成27年	度 (当初予算)		平成	28年度	(計画)
1	報	西州									
2	給	料									
3		手当等									
4	共	済費 費									
5 7	<u>火</u>	子補 償 費 金									
8	 報										
9	旅	費									
10	交	際費									
11	需	用費			100			100			100
	燃燃	耗品費 料費			100			100			100
	食										
		刷製本費									
	光										
	修										
	鮪飼										
		薬材料費									
12	役	務費			0			0			0
	通	信運搬費									
	広										
	手										
13	保 委	: 険 料 託 料									
14		<u>- 『L 171</u> 料及び賃借料									
15		事請 負 費									
16		材料費									
17		財産購入費									
18 19		品購入費 補助及び交付金			6,796		0	,460			8,460
20	扶	助費			0,790		0	,400			0,400
21		付 金									
22		i填及び賠償金									
23		利子及び割引料									
24	投資 積	及び出資金 立 金									
25 26	<u>惧</u> 寄	<u></u> 附 金									
27	公	課費									
28	繰	出 金									
	計	CE			6,896		8	,560			8,560
		庫支出金			6,896		O	,560			8,560
財涯	財地				0,890			0			0,300
財源内訳	源そ	<u>の</u> 他			0			0			
訳		般財源			0			0			
		計			6,896		8	,560			8,560
補	亅	国 県			10/10		11	0/10			10/10
補	助	基本額			10/10		1	5/ 10			10/10
		建補正・流用	 状況		平成26年	度特定財源内	訳				
	当初]予算	8,56			区分		名称			金額
		予算	-1,66		県支出金		生産調整推進		ŧ		6,896
	補」	E第7号	-1,66	4							
				+							
]							
				4							

6,896

流用・充用 予算合計

6,896

1. 基本	情報														
事務事	業	01060103	02010126	主	娄 夕	曳 山) 海	お光光ルル	プロミジュ	- カト古怪な	付金事業(農政)	担当部	農林	木水産部		
	'	01000103	03010120	争仂尹	木口厅	改四係	(不) (百) 土丁山	17 471	上21人1人1人	门亚尹禾(辰以)	担当課	農區	女畜産課		
政策	名	03	活力な	ある産業の	のまちづ	づくり					グループ	農區	女第2グル	/一プ	
施策	名	01	農•林	•水産業	の振興						電話番号	45-	5111		
基本事業	業名	01	農林》	魚業経営	体への	支援					内線番号	234	2		
予	会計	一般	会計						± **	□ 単年度のみ					
算款		06	農林	水産業費					事業 期間	□ 単年度繰返 (開始年	三度				
予 算 科 目	項	01	農業費	貴					7列申	■ 期間限定複数年度(H25	~	H29)	
目	目	03	農業排	長興費				·	根拠法令·条例等	農山漁村の活性化のための定	住等及び地域間]交流	の促進に	関する治	去律
1 評価区	· 分	,	運 淮評	価	評価 🌣	け象	1次評	価	関連計画	霧鳥市春山地区活性化計	-画i				

2. 事務事業の概要・目的・指標

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

関山漁村は、心豊かな暮らしと自然、文化、歴史を大切にする良き伝統を代々伝え、我が国にとってかけがえのない存在となっている。しかし、少子高齢化の急速な進行や所得の減少、都市部に比べて生活環境の整備が遅れていることなどから、地域としての活力の低下傾向が続いている。このような中、近年の農山漁村に対する都市住民の関心の高まりを受け、家族の多様なニーズ等に応じたライフスタイルを実現するための手段の一つとして二地域居住を実践する者等、新しい形態で農山漁村と関わりを持つ者が増えはじめている。これらを踏まえ、農山漁村における定住や二地域居住、都市との地域間交流を促進することにより、農山漁村の活性化を図るため、市町村が創意工夫を活かし、地域住民の合意形成を基礎として作成する活性化計画に基づく取組を総合的かつ機動的に支援するため、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金を交付する。本市に於いては、国分重久地区を霧島市春山地区として活性化計画を作成し、事業を実施しており平成26年度で当初の計画である各種農業関連の整備を完了している。

a) 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
L	//日朔月178 (尹切ず木)/日朔里/		+14	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	受益面積		m²		5,017	8,017		
1								
ゥ								
(;	2) 事務事業の目的							
2)対象	③ 対象指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(誰、何を対象にしているのか)	(左記②対象の大きさを表す指標)	+12	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	農山漁村活性化を図るために本事業 を活用する者	事業実施主体	件		1	1		
1								
ゥ								
_)意図 ②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア	農園への来園者数の増加	観光農園来園者数	人		60,000	60,000		
1	新規従業者の雇用	新規雇用者数	人		0	1		
ゥ								
(;	3) 上位の基本事業							
_) 基本事業の意図 さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	経営体質が強化される	認定農業者数	人	316	307	301	305	300
1								
<u> </u>								

事務事業の環境変化・市民意見等

農山漁村における定住や二地域居住、都市と

農山漁村における定住や二地域居住、都市と の地域間交流を促進し、農山漁村の活性化を 図るため、平成19年度より開始された。 本市においては、平成25年度から本事業に 取り組んでいるところであるが、事業実施主体か らは本事業を活用することで、観光農園来園者 数の増加や新規雇用の創出など、地域の活性 化に繋ぐため、今後とも本事業を活用していき たいという意見があがっている。計画は5年間で あるが、H26年度でひとまず終了。

4	事	生槽	ທ:	推移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
							—	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			国	庫3	支出	睁	千円		121,799	24,500	0	0
ll	事	財	県	支	出	金	千円		0	0	0	0
ll	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円		0	0	0	0
ll	費	訳	そ	0	D	他	千円		0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円		0	0	0	0
<u>수</u>		耳	業	費			千円	0	121,799	24,500	0	0
ll												
ll												·
ll												

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

(2)平成26年度の成果

≪事業内容≫ 農業用木チップボイラー施設整備 ≪総事業費≫49,050,000円

《交付金》 24,500,000円 ※参考

《H25事業内容》

低コスト耐候性ハウス整備、金柑等処理加工・販売促進施設整備 堆肥製造施設整備

年に製垣地政策哺 《総事業費》243,652,000円<繰越>76,337,000円 《交付金》 121,799,000円<繰越>38,142,000円

25年度に整備が完了している施設を稼働させるために、26年度でボイラー施設を整備した。実際に導入した施設を活用し農園来園者や新規雇用者が増加するなどの成果があらわれるのは、27年度以降となるため、2 6年度での成果はなし。

릨	事務事業 コード	01060	10303010126	事 務 事業名	農山漁村活性金		コジェクトラ (農政)	支援交付	担担	<u>当</u> 当	部課		木水産部 女畜産課	
•		<see></see>	•	学术石	<u> </u>	尹未	(長以)		担		由	長以	以苗座誄	
_				事業の意図に総	古びついていますか)/ S	各種農業園			トること	とによっ			
	⊕ 2079		いている	于宋沙心园门中	10 20 00 00 7/3		産地の育成強化に繋が		よ農業	栓呂:	基盤()) 博 梁까凶(つれし、栓捏	4年質(
ļ.			いている かに結びついてし	<u></u>										
9			いていない	··o										
4.目夕妥当生	0		ぜ市が行わなけ	ければならないの	Dですか?			こおける観光						進、定
ŧ	② .税金	を投入し	て達成する目的	ですか?			住促進を目	的としてい	るため	5、公	共関与	は妥当で	ある。	
		妥当で												
_		見直す	がある				事業を活用	オストレル	⊦n #	豊山浦	ā ★:ナ+ - 11-	域の活性生	が批告で	ベキ せ
	③ 成果/	が向上す	る余地(可能性)	はありませんか	٧,		を、平成26 観光農園3	年度に事業	を実	施し翁	斤たに	農業用機板	を導入し	たこと
		向上す	る余地はかなり	りある			果が向上す			2/13 12	200.200	1/44/4 /04/2		3/4/
		向上す	る余地はある程	星度ある 										
		向上す	る余地はほとん	どない				z.() .	A-CI	V ## 13	-	+ E + * .	11. 1. 44.0	L L-A \
3.可办:	④ 廃止・	休止の景	/響はありません	いか?			本事業を廃力の低下がことが困難	*懸念される	5ほか	、安定	ご的な 鳥	農業生産活	動を持続	退域の行きさせる
n h		影響が	 ある				ここり 121米比	こなり、胚音	1 中 貝	マン加៤ミ	3761-	光いる心で	111-107/Jo	
É		影響が	「ほとんどない											
	⑤ 類似(5) 事業(5)	の目的(対 はありませ	対象・意図) 又は けんか?(市以外の	形態(イベントや原 の主体が実施する	啓発等)を持つ他の ものを含む。)	事務	類似事業 合の事務	がある場 事業名等						
	•	類似σ	事業はない				要綱·要領	により定め	られて	いるた	こめ削	減余地はな	:V 1°	
		類似σ	事業はあるが、	統合又は連携	できない									
		類似σ	事業があり、統	合又は連携で	きる									
	⑥ ·事務· 補助:	事業の手段金など、交	设(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費、 市の負担を削減	慢を削減できませんか 或できませんか?	.5.	補助金交付いため削減	け等に係る。 なの余地は7		注で	あるた	め、市の金	銭的な負	担はな
C効率生		削減で	きない											
		削減で	: :きる											
	(7) できませ	せんか?	受(やり方)を工夫で なや委託により人		と (延べ業務時間)を	削減	補助金交付 い。	†等に係る	事務が	注で	あるた	め、人件費	削減の余	や地はな
	1,300		きない	192111119 000	2.0%									
		削減で	きる											
<u> </u>	(8)	77 34 + A	<mark>容が一部の受益</mark> 負担の公平性が	Trto / 17	41.0		要綱·要領	により実施	してい	るため	り、公□	平・公正でお	らる。	
D公平生		公平・	公正である											
_		見直す	必要がある											
	1次評価新	# <	PLAN>(組織	决定)	【参考】前年	度の改造	革改善の方向性	ŧ≪					>	
1)	事務事業	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合		休止	厚	廃止
	善の方向性													0
			平成26年度で	当初の計画では	ある各種農業関連の	の整備	を完了して	いるため、	平成2	7年度	どで取り	0組む事業	はない。	
2)	平成27年	度の改												
	枚善の内容 り組むべき													
				ら平成29年度。 狙む事業はない	までの事業期間で	あるが	、当初の計	画である各	種農業	 業関連	の整体	備を完了し	ているため	め、平月
3)	平成28年	中の七	20一及(40///	近日 手来はない	Ō									
	生取組目													
•	2次評価新	集 (推	<mark>当部長評価)</mark> I											
	事務事業	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合		休止	J§	廃止
Į į	善方向性											0		
			霧島市春山地止とする。	区活性化計画に	は平成29年度までの	の計画	であり、今行	发、事業実	施主体	に更	なる施	設整備の	意向がある	3ので
C \	<i>(4)</i> -π													
(۲	総評													

事物	务事業 ⊢ード	0106010303010126	事務 事業名	漁村活性化プ	ロジェクト支援3 政)		21年 21年 21年 21年 21年 21年 21年 21年 21年 21年	展M水座部 農政畜産課
	コストの)推移				,		及以田庄師
<u> </u>		(単位:千円)	平成26年度	(油質)	平成27年	度 (当初予算)	亚成28	年度 (計画)
1	#G		十成20千尺	(八开)	十八八十	及 (十7,20	十及(川四)
2	<u>報</u> 給							
3								
4	共	 						
5		<u> </u>						
7	賃	- III (B 						
8	 報							
9	旅	費						
10								
11	需	用 費		0		0		0
	洋	耗品費						
	炒	料 費						
	食	糧 費						
		刷製本費						
	_	熱 水 費						
	修							
		材料費						
	館							
10		薬材料費				^		
12	役	務費		0		0		0
	坦	值信運搬費 法 告 料						
	手							
	ほ							
13	<u> и</u> 委	託料						
14		<u>日</u> 日日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日 11日						
15		事請 負 費						
16		材 料 費						
17		財産購入費						
18	備品	品購 入 費						
19		補助及び交付金		24,500				
20	扶	助費						
21	貸	付 金						
22		填及び賠償金						
23		利子及び割引料						
24 25		及び出資金 立 金						
26	<u>惧</u> 寄	<u>立</u> 金 附 金						
27	公	課費						
28	 繰	出 金						
	計			24,500		0		0
		庫支出金		24,500				
B+	定児	支 出 金						
財源内訳	特定財源 単光	方 債						
内記								
חר	_	般 財源						
		計		24,500		0		0
*	補助率	国県		1/2				
補	1 助	基本額		24,500				
		<u>奉 本 観</u> 度補正・流用 ∜	L:0		 度特定財源内			
一八八		の予算 の予算	24,500		区分区分	名称		金額
		<u>カア弁</u> E予算	24,500	国庫補助		農山漁村活性化プロ		24,500
								

24,500

流用・充用 予算合計

24,500

				平月	成27:	年度		事	務事	事業振 道	区りシ-	- ト	(平	成26年度	実施事業の	0振返り)		
1. 基本																		
事務事		0106010	303010127	事務事	業名	強い	農業	業づ	くりっ	と 付金事	業					担当部	農林水産部	
コー	-		70° 1					-	• • •							担当課	農政畜産調	
政策		03		ある産業												グループ	農政第2グ	ルーフ
施策	• •	01	, r v .	木・水産業		•										電話番号	45-5111	
基本事		01		漁業経営	514~0	// 文援							_	出た中の1		内線番号	2342	
予 算 科 目	会計款	_	会計	小女米#	2,						事業			単年度のみ		¥		
昇料	項	06	農業	水産業費	Ţ.						期間				호 (開始年月 第45 年 (Ž		1
目	目	01	_	<u>貝</u> 振興費							根拠法令・条		;	期間限定複	女 数平皮(~	,
評価区		03	簡易評		= □ /田	対象		-	次	正価	関連計							
		_ Luur							LIVI	ТІЩ	因廷司							
				<mark>的•指標</mark> 具体的な		(D ₀ >												
中津川地	也区(牧	園)に	こおい		産、流	通、販					1合法人。	イザナキ	ぎが、	、国庫補助	事業を活用	して米乾燥	調整施設(愛	基 屋1棟
①活動	为指揮	(事	 密車業	の活動量	물)							単位	,	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
· /LA	WI 10 1 W	(+ 2	<i>D</i>	· V 1 1 397 3	B./							7 12		(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア米乾	燥調整	施設(建屋)の	整備数								棟				1		
イ米乾	燥機の	整備券	r									基	+			3		
	/9K1/XLV23	正加多										45	+			3		
ウ		_																
(2)事		業の	目的										_					
② 対象						3 🛪						単位	. l	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(誰、何	「を対象	きにし	ている	のか)		(左)	記2	2)対象	(もの)	大きさを表	す指標)	T-1-		(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア事業	実施主	体			事	業実	施主	E体	数			法人	.		1	1		
イ 受益	農家				妥	益農家	家F	ラ数				戸			48	48		
ウ													H					
<u> </u>	_																	
4) 意图	_					⑤ 成						単位	,	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(②対象	象をどう	したい	ハのか)		(左記	Z4);	意図	の遺	成度を表	す指標)			(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア作業	が効率の	ľŁL,	品質が「	句上する。	事	業実法	拖地	也区	こお	ける1等	米比率	%			72.5	76.3		
,													_					
1																		
ウ																		
(3) 上	位の	基本	事業										_					
⑥ 基本						(7) 基	太	事	ŧの	成果指模	Į			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(さらに	どのよう	な成り	果に結び	びつくのカ	(2)					成度を表		単位	Ī.	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
	体質が			· (· · ·		定農	_	_	. , .	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	7 7 1 1 1 1 1 1 1			() ()()	307	301	(11.140)	(11 140
	IT-54.7 .	AILC	4000		DIC.								+		007	001		
1													4					
ウ																		
				比•市民			4	. 事	業	貴の推移		単位	<u>.</u>	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				「民や議会な : 庄 に 甘 船			-	_		园 庄 -	± 111 A	-7 III	-	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
て以降、農	特件業受	託組	織(平成	三度に基盤 24年度に	農事組	合法			_		支出金		-			0	0	0
人化し農理化等に対け	事組合注 応した4	よ人イ 産体	ザナギと 制を確	なる。)を 立。地域の	設立し、	高齢の進	11	事	則	県支			-			4,790	0	0
行が著しく	年女	经営币	種が拡	:大门. 作等	を集中に	こよろ		事業		地	方 債		-			0	0	0
画知言理 が懸念され	すい遅れている	。特に	収穫・	低下さらに	は経営 よ、既存	施設	II		大部		の 他		-			0	0	0
の老朽化ス	が作業を	2遅延	させるタ	要因。また、 えている。	、施設迂	工牌住	投	岗	L	一 般	財源	千円				0	0	0
業実施主事業導入	体からオ	₹乾燥	調整施	設の整備に	こついて	て補助	A 量	1		事業費		千円	$_{\perp}$ T	0	0	4,790	0	0
ず木等八	ッノ女主	1口吹/	<i>σ•αν*</i> ⊅ [Ξ	-0			$\prod_{i=1}^{n}$		T				\Box					
							П	- 1				1	\top					

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

<左記の実績(取組)による成果を記載>

事業導入により、実施主体が、①米乾燥調整施設 建屋1棟(平屋100㎡ 事業導入により農作業の効率化が図られた。)、②乾燥機(25石)3基を整備。

lali	事務事業コード	01060	10303010127	事 務事業名	強い農	業づくり)交付会	金事業	担担			水産部 畜産課
6.		SEE>		車業の音図に級	吉びついています	-かつ				理	由	
			いている	于								
魚		間接的	に結びついてに	いる								
A目的妥当性			いていない 	 ければならないの	りですか?							
性	② ・税金	投入し	て達成する目的	ですか?								
			· ·必要がある									
	③ 成果が	向上す	る余地(可能性)) はありませんか	١?							
			る余地はかなり									
			「る余地はある私 「る余地はほとん									
В	4 廃止・1		/響はありません									
B有効性		影響が	 「ある									
性			ぼとんどない									
	多事業は	目的(対	対象・意図)又は ∵んか?(市以外・	形態(イベントや原の主体が実施する	啓発等)を持つ他(るものを含む。)	の事務	類似合の	事業がある場 事務事業名等				
			事業はない		できない							
				合又は連携で								
	⑥ ·事務事	業の手段など、交	设(やり方)を工夫 付先に働きかけて	することで、事業費、 市の負担を削減	を削減できません 或できませんか?	か?	おり、コ	業実施要領に スト削減につい	基づき	:事業を 分考慮	と実施。国・県から されている。 市の	査定を受けて 補助金負担は
_	•	削減で	きない				ない。					
C 効率	- 車	削減で		することで 人件者	となる とうない とうしゅ とうしゅ とうしゅ とうしゅ かいま しゅう はい	を削減	主として	で補助金交付に	⊆係る§	事務では	あるため、人件費	コスト削減策は
率性	(7) できませ	んか?		件費を削減できま		- H1//94	特に考	えていない。				.,,,,,,,,,
			きない									
_			容が一部の受益	益者に偏っている							_	
D公平性	また、また、	_	担の公平性が 公正である	確保されていま	<u>すか?</u>							
性		見直す	必要がある									
7.	1次評価結	果 <i< th=""><th>PLAN>(組制</th><th>(決定)</th><th>【参考】前:</th><th>年度の改革</th><th>革改善の力</th><th>方向性≪</th><th></th><th></th><th></th><th>></th></i<>	PLAN>(組制	(決定)	【参考】前:	年度の改革	革改善の力	方向性≪				>
	事務事業の きの方向性	D改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	i	統合	休止	廃止
	30001011											
(2)) 平成27年月	度の改										
革司	改善の内容 り組むべき											
(3) 向性	平成28年原生·取組目標	度の方										
8.	2次評価結	果(非	」 当部長評価)									
	事務事業の		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	;	統合	休止	廃止
	善方向性											
(2)	総 評											

事務	事業ード	0106010303010127	事務事業名		強い農業	美づくり交付金	拿事業		当部		水産部 畜産課
9. =	ストの	推移							. — , ,,,,,,	200	
		(単位:千円)	平成26年	度 (決	質)	亚成274	手度 (当初予算)		亚百	戊28年度	(計画)
1	盐品	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	+1,020+	及(八	开 /	十八八27-		_	T-79	20千尺	
2	<u>報</u> 給										
3		 負 手 当 等									
4	共	済 費									
5		子補 償 費									
7	賃	金									
9	報 旅	<u>償</u> 費 費						_			
10	<u></u> 交										
11	需	用費			0			0			0
	消	耗 品 費									
	燃										
	食										
	光	刷製本費 熱 水 費						\dashv			
	修										
	賄										
	餇										
1.		薬材料費									
12	役	務費			0			0			0
	进	信運搬費 告 料						\dashv			
	手										
	保										
13	委	託 料									
14		料及び賃借料									
15 16		請負費材料費									
17		財産購入費						_			
18		品購入費									
19		補助及び交付金			4,790			0			
20	扶	助 費									
21	貸										
22		博及び賠償金 利子及び割引料						_			
24		及び出資金									
25	積	立 金									
26	寄	附 金									
27	公	課費									
28	繰計	出 金			4,790			0			0
		庫支出金			4,790			0			0
₽∔		· 支 出 金			4,790			0			
源	財地	, 方 債			0			0			
財源内訳	,				0			0			
"	_	般 財源			0			0			0
		計国			4,790			0			0
 補	輔助率	- 県			1/2			\dashv			
補	助	基本額									
平成	26年度	₹補正·流用×	 犬況		平成26年		 内訳				
	当初]予算		0		区分		名称			金額
		三予算 	4,7		県支出金		強い農業づくり	交付	金 		4,790
		E第1号 E第7号	5,2 -4	55 65			+			_	
	竹用」	エ お / ク	-4	00			+				
				_							

4,790

流用・充用 予算合計

4,790

1. 基本	情報											
事務事	業	0106010	303010128	主	業々 🏥	典批计	『間管理事業				担当部	農林水産部
	ド	0100010	303010123	争协争	木口厅	灵地丁	門目垤尹禾				担当課	農政畜産課
政策:	名	03	活力	ある産業の	のまちつ	づくり					グループ	農政第2グループ
施策	名	01	農•材	ト・水産業	の振興						電話番号	45-5111
基本事	業名	01	農林	漁業経営	体への	支援					内線番号	2342
予	会計	一般	会計						± **	□ 単年度のみ		
算	款	06	農林	水産業費					事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 ⁴	丰度 H	26 年度~)
予算科目	項	01	農業	費					利申	□ 期間限定複数年度	(~)
目	目	03	3 農業振興費						根拠法令·条例等	農地中間管理事業の推進	生に関する法律	t
評価区	3分		標準評価 評価対象 1次評価						関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

- 公益財団法人鹿児島県地域振興公社が実施する農地中間管理事業業務の一部を受託し、農地の集積・集団化等を促進する。 ①農地中間管理事業の窓口の設置 ②人・農地ブランの作成・見直し ③農用地利用配分計画(案)の作成 ④農地の出し手の掘り起し ⑤借受希望者との交渉 ⑥機構集積協力金の交付事務等

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 人・農地プランの作成・見直し		地区			6	10	15
機構を通じて貸し付けられた面積		ha			2	10	15
ウ機構集積協力金の交付事務		名			0	4	20
(2) 事務事業の目的				'	<u>'</u>		
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	3 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア認定農業者	認定農業者数	戸			301	305	300
イ 認定就農者	当該年度中に認定された認定就農者数	戸			8	7	,
<mark>ゥ</mark>							
① 意図(②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア機構を通じ農地の集積・集約	機構を通じて貸し付けられた面積	ha			0	10	15
1							
o							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア農業者の経営体質が強化される。	認定農業者数	戸			301	315	31
1							
o							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

農業者の高齢化・後継者不足が進むとともに、 これに起因して条件不利な農地から耕作放棄 地が進むと予想される一方で担い手が確保され ていた地域においては、担い手農家の集積・集 約化が進むと考えられる。

4.	事章	生物	の‡	隹移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
								(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫ま	₹出	睁	千円			0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円			0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7.	-	債	千円			0	0	0
	費	訳	そ	σ.)	他	千円			1,614	4,452	4,452
投			_	般	財	源	千円			88	103	103
投入量		哥	業	費			千円	0	0	1,702	4,555	4,555

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

(2)平成26年度の成果

平成26年4月1日より事業が始まり、農地中間管理機構である県地域振 興公社から事務を受託し、霧島市では平成26年10月1日より事業の推進 を図る。 平成26年度は事業の周知を主な活動とした。

農家への説明会は30回行い、約320名へ事業の推進を行った。 その結果、わずかではあるが事業への参加したいとの農家も出てき始め ている状況である。

1	事務事		01060	10303010128	事務事業名	農	地中間管	理事	 業		当当	部課		k産部 see==		
6	振り返		(SEE>		尹禾1					担	理	由	長以自	畜産課 		
٥.	_				事業の辛回に参	+***OUTU+-			を導入すること		農坩	业集積・	集約化が図	られ、生産性		
	0 -	-の す	務争 果り	の日的は、基本・	事業の息凶に常	昔びついています	377Y?	や農業	所得の向上が	見込ま	れる。					
			結びつ	いている												
鼠			間接的]に結びついてに	\ る											
目的妥当性				いていない												
性	2:	この事税金を	事業をな を投入し	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ればならないの ですか?	りですか?)施策により農 して行うことが前					務の一部を市		
			妥当で	ある												
			見直す	 ·必要がある												
	3 F	大果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんか	v?		本市に		集積率/	はまた	ど低いの	ので事業を進	めることにより		
			向上す	る余地はかなり	ある											
			向上す	る余地はある程	度ある											
			向上す	る余地はほとん	どない											
B	④ 身	隆止•位	木止の景	/響はありません	か?		0	農地中間管理機構が実施する事務の一部を市が受託して行う前打 の事業である。 また、農地集積率がまだ低いので廃止となれば耕作放棄地のさら								
B有効性			影響が	ある					:地来傾平がま が考えられる。	(/_IEV	10)	・廃皿と	7よ4 いよが1 F/	以来地 りごりな		
性			影響が	「ほとんどない												
				才象・意図) 又は んか?(市以外の		啓発等)を持つ他 ものを含む。)	の事務	事務 類似事業がある場合の事務事業名等								
			類似の	事業はない			ž.	去律が行	制定され、類化	事業に	は整理	里された	ため、類似	事業はない。		
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない										
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる										
	6	事務事 補助金	業の手段など、交	设(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費、市の負担を削減	貴を削減できません 域できませんか?	いか?		務委託実施要 ≀ている。	領が定	めら	れてお	り、コスト削減	について十分		
			削減で	きない												
C 効			削減で	きる												
率性	(7) で	きませ	んか?	设(やり方)を工夫で なや委託により人作		き(延べ業務時間) せんか?			振興公社からの			に係る	事務であるた	め、人件費コ		
			削減で	きない												
			削減で	きる												
D				容が一部の受益 担の公平性が					間管理事業業 間管理機構が							
D 公平				公正である		·										
性			見直す	 必要がある												
7	1 % 部	/正 4 生	用 / [PLAN>(組績	4年中/											
-	1 X BT	IIIII WED	* \I			【参考】前	年度の改革	改善の方	向性≪					>		
	事務事		の改革	継続 	やり方改善	コスト拡充	コスト約	宿小	連携	糸	统合		休止 ————	廃止		
UX T	= 07/]	111111111111111111111111111111111111111		0												
				農地の出し手名 進員と共に事業		業が周知しつつる	あるが、また	だ足りた	ないところがある	る。平成	ጀ 27⁴	年度は	、集積ができ	るように事業推		
革)平成2 改善の !り組む	内容														
				生液で活動1っ	ついろ抽献を ュ	デル地区として	*農地の生	語がで	きストシに重要	お批准	をオス					
				米荷で旧動し、	(A . O E DAY G /)	- / /P 超色CU (. DC 10 V) AC	:1貝//- C	とのよりにず木	5.C.1EYE	<u>.</u> , , , , ,) ₀				
) 平成2 生•取約															
1411	工 4X利	山口伤	R													
8	<mark>2次評</mark>	価結	里 (生	当部長評価)												
													/ + -L	 成 L		
(1 改	事務等	事業 <i>0</i> 性	D改革	継続 	やり方改善	コスト拡充	コスト約	宿小	連携	糸	统合		休止 ————	廃止		
(2))総 評	Ī														

事務事業	0106010303010128	事 務事業名		農地口	 -間管理事業		担当部	農林水産部
コード	0100010303010128	事業名		/ JC → U 寸	旧日生尹木		担当課	農政畜産課
9. コストの	D推移							
	(単位:千円)	平成26年	度(決	算)	平成27年度	(当初予算)	Σ	平成28年度 (計画)
1 報	酬							
2 給	料							
	員 手 当 等							
4 共	済費						516	516
	書補償費			1 417		2	EEO	2 550
7 <u>賃</u> 8 報				1,417		ა,	,559	3,559
9 旅	費							
10 交	際費							
11 需_	用 費			285			360	360
_	肖 耗 品 費			200			180	180
炒				85			180	180
	建 糧 費							
l —	比熱 水費							
<u></u>								
<u> </u>	有材料費							
食								
	医薬材料費							
12 役	務費			0			120	120
<u>1</u>	通信運搬費 法 告 料						60	60
_	5 日 村 F 数 料						60	60
<u>-</u>								
13 委	託 料							
	料及び賃借料							
	事請負費							
16 原	材 料 費			-				
	品購入費品購入費							
	an ハサ ノ							
20 扶	助 費							
21 貸	付 金							
	補填及び賠償金							
	金利子及び割引料							
24投資25積	び出資金 立 金							
26 寄	附金							
27 公	課費							
28 繰	出 金							
計				1,702		4.	,555	4,555
特	国庫支出金							
財源								
特定財源				1,614		1	,452	4,452
訳	般 財 源			88		- 1,	103	103
	計			1,702		4,	,555	4,555
補助率	国							
	保			1.011			450	
補助	基本額	· \=		1,614			,452	4,452
	度補正•流用状 初予算	で光	0		を特定財源内訳 区分		名称	金額
	<u>例 ア 昇</u> 正 予 算	1	720	その他		地中間管理		宣祖 1,614
	26.9補正		000				· //\ Ø HUW	1,01-
	27.3補正		280					

当初予算	0
補正予算	1,720
H26.9補正	2,000
H27.3補正	-280
流用・充用	
予算合計	1,720

1 /20-0 1 /2 14 /2 /41 /6/11		
区分	名称	金額
その他	農地中間管理事業委託金	1,614
	合 計	1,614

1. 基本	情報												
事務事	業	01060103	02010202	3	学夕 山山	旧田州	也域等直接支払:	車柴		担当部	農林水	産部	
Ī	1,	01000103	55010302	→1カ →-2	*10 T H	1111111	四级守回安久70	ず未		担当課	農政畜	産課	
政策:	名	03	活力ある	る産業の	りまちづくり)				グループ	農政第	2グル	/一プ
施策:	名	01	農・林・	水産業	の振興					電話番号	45-511	1	
基本事	業名	03	集落営	農の推済	進					内線番号	2341		
予	会計	一般	会計					# *	□ 単年度のみ				
算	款	06	農林水	産業費				事業 期間	□ 単年度繰返 (開始年	F度	左	F度~	·)
予 算 科 目	項	01	農業費					利申	■ 期間限定複数年度	(H12	~ F	ł31)
Ħ	目 03 農業振興費							根拠法令·条例等	霧島市補助金等の種類及	び補助率に関	引する要	綱	
評価区	価区分 標準評価 評価対象 1次評価						1次評価	関連計画					

2. 事務事業の概要・目的・指標

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

この制度は急傾斜地等を持つ中山間地域で集落において話し合いを行い、農地を守る取り決めをし、耕作を続ける方に、交付金を交付する。平成12年度から制度が開始されており、H27~H31の5年間、第4期対策として実施される。 (対象地域) 地域振興8法等指定地域及び知事が定める特認地域 (対象者) 集落協定又は個別協定に基づき5年間以上継続し耕作を行う農業者等 (主な交付単価》田 急傾斜 21000円/10a 畑 急傾斜 11500円/10a 緩傾斜 8000円/10a 緩傾斜 3500円/10a (集落協定に基づく活動)

《集落協定に基づく活動》 ①農業生産活動等を継続するための活動 ②体制整備のための前向きな取組

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 協定参加集落数(実数)		集落	79	79	79	77	77
イ協定参加農地面積		ha	543	543	543	535	535
р							
(2) 事務事業の目的							
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア協定参加者数	協定参加者数(実人数)	人	1,593	1,582	1,582	1,556	1,556
1							
<mark>ф</mark>							
④ 意図(②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア 集落営農確立にむけた組織化が進む。	集団で農業生産活動に取り組む集落数	集落	79	79	79	77	77
イ 農地保全活動が活発になる。	農地保全活動実施集落数(延べ)	集落	632	663	663	637	637
<mark>ф</mark>							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 集団化により営農規模を維持・拡大する。	集落営農数	集落	4	3	3	4	4
イ 集団化により営農規模を維持・拡大する。	集落営農面積	ha	16	30	30	16	16
<mark>ウ</mark>							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

本事業は、中山間地域の農業生産活動の条件不利を解消することや、耕作放棄地の増加を抑制することを目的に、平成12年度より開始された。農業者より、本事業を活用することで、集落のまとまりが良くなったり、農地や周辺地の管理状態が良くなったという意見がある一方で、事務事業の簡素化や、集落の代表者を決定することに苦労を感じているとの声が寄せられている

。 平成26年度から、日本型直接支払が新設されるため、類似事業である多面的機能支払制度との連携を図り、農地の保全や耕作放棄地の発生防止を推進する必要がある。

1	4	Table 4	-	ant.	隹移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
I	4.	777	表現	W1	田伊			甲亚	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
II				玉	庫3	支出	金	千円	0	0	0	0	0
II		事	財	県	支	出	金	千円	46,091	46,118	46,099	45,584	45,584
II		業 内 地 方 債		方 債		千円	0	0	0	0	0		
II		費	訳	そ			他	千円	0	0	0	0	0
II	投			_	般	財	源	千円	16,837	16,856	16,851	16,597	16,597
II	入量		事業費				千円	62,928	62,974	62,950	62,181	62,181	
Ш													
Ш													
II													
II													

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成26年度の成果

- <協定数>79集落
- <交付面積>5,435,165㎡ <交付金>62,213,580円

集落において協定を締結し、それに沿った農業生産活動を行うことで、 中山間地域の耕作耕作放棄地の増加を抑制することができた。 また、本事業を活用することで、農業生産条件の不利な地域と平地との

生産コスト差の軽減に繋がった。

Ę	事務 コー	事業	01060	10303010302	事 務 事業名	域等直接支払事業 担当部 農林水産部 担当課 農政畜産課									
6		•	SEE>		尹未石					担 :	理由		以苗座誄		
٥.	_				主業の帝國に名	古びついています	t to 2				落営農	と	進むこととなり、集		
	U				争未の息凶に	古のプいていまり	ית	団化に』		能進の 抗	大につ	のながるため旅	・ 策体系に結びつ ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
A				いている	_										
目的				に結びついてい	いる										
A目的妥当性				いていない	- Ja J- 12 かっこう かっこう C	2-440		水 事 类 /	7年歩におい	ナル 圧	の悪領	4. 西 <i>谷</i> 1ァトn z	を付金の一部を		
性	2	·この事 ·税金る	を投入し	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ですか?	D C 9 TV ?		市が負担	見するよう定め との維持・増え	られてい	いる。ま	た、中山間地	域等における多 ながるため公共関		
			妥当で	ある				与は妥当	当である。	ピルムブ	(*) 田田田	LV / 16 / C(C)	よがらにの五六氏		
			見直す	必要がある											
	3	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんか	٥, ١,			の高齢化と減り 難しく向上の分				i積拡大と協定の		
			向上す	る余地はかなり	ある										
			向上す	 る余地はある程	度ある										
			向上す	る余地はほとん	どない										
	4)	廃止・(休止の景	/響はありません	か?			中山間地域等で荒廃農地や離農者が増加するとともに、水路管理 が困難になるなど営農環境の悪化、集落機能(集まり、交流、伝統							
B有効性	_		影響が					か困難になるなど 呂辰塚現の悉化、 集洛機能(東より、 交流、 伝統 行事) の低下、 過疎化が加速される。							
性				・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											
					形態(イベントや)	啓発等)を持つ他	の事務	類似著	事業がある場	A 7 4	L LVI AIA -	- let their oder			
	5			んか?(市以外の		合の事	務事業名等			支払制度 (本払制度の)	1-11- 274				
				事業はない				機能支持	ム制度が類似	事業とし	て考え	られるが、制	しつとして、多面的 度上両方の事業		
				事業はあるが、				。 S 旧时(- 収り組ん ぐも) T 1 , C C	こなっ	こわり、形で 9	*ることはできない		
L				事業があり、統				宝松西台	頃により定めら	カブい	スため当	温を抽けた			
	6	・補助金	業の手段 など、交	ば(やり万)を工大き付先に働きかけて	、市の負担を削減	費を削減できません 或できませんか?	אמט:?	大心女	気により足のら)4 C C V "	S)/C0/H	7000次元12000	ν · ₀		
			削減で	きない											
C 効			削減で	きる											
率性	7	できませ	んか?			貴(延べ業務時間)	を削減	削減の名	全地はない。						
				なや委託により人作	井費を削減できま	せんか?									
			削減で												
H	0		11111111	_{さる} <mark>容が一部の受益</mark>	老に偏っている	きせんか?		実施要領により実施しているため公平・公正である。							
D 公	8			担の公平性が											
公平性			公平•	公正である				1							
			見直す	·必要がある 											
7.	1次	評価結	果 <i< th=""><th>PLAN>(組稿</th><th>決定)</th><th>【参考】前</th><th>年度の改</th><th>革改善の方</th><th>向性≪</th><th></th><th>継続</th><th></th><th>></th></i<>	PLAN>(組稿	決定)	【参考】前	年度の改	革改善の方	向性≪		継続		>		
(1)	事系	务事業 <i>6</i>	が改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	 連携	紛	——— i合	休止	廃止		
		方向性		0	0										
				第4期対策の開	 始にあたり見正	L 重された手続き、	】 制度を置	沓まえ、会	計経理の適」	I E化に取	対組む	0			
(2)	平瓦	戊27年 月	きの改												
革	女善(の内容													
\ \	7 1111		W ()												
				耕作放棄地の	発生を防止、中	山間地域等の農	と 用地の	減少を防	i.L.。						
(3) 向性	平月 生•耶	成28年月 又組目標	度の方 票												
8.	2次	評価結	果(担	当部長評価)											
(1)	車型	务事業の	がまれる	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小	連携	<u>\$</u> 7	·····································	休止	廃止		
改善	事が き方に	対争未り 向性	7以半		. 773% 🖪		7/31	ma 4	~= 1/3	לווי					
						l	<u> </u>			1		1			
(2)	総	評													

				ı	10 4*	db 11 1 -4- 4-5
事務事業	業 0106010303010302	事 務 事業名	中山間地	域等直接支払事業	担当部	農林水産部
		争未石			担当課	農政畜産課
9. コスト	-の推移					
	(単位:千円)	平成26年	丰度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	3	平成28年度(計画)
1 報						
2 給						
3 職						
4 共						
	害補償費					
7 賃			254		264	264
8 報						
9 旅						
10 交			400		000	200
11 需			422		382	382
	消耗品費燃料費		161 261		151	151
	食糧費		201		231	231
	印刷製本費					
	光熱水費					
	修繕料					
	期 材料費					
	飼料費					
	医薬材料費					
12 役			60		50	50
	通信運搬費		60		50	50
	広 告 料					
	手 数 料					
	保 険 料					
13 委	託 料					
	用料及び賃借料					
	事請負費					
16 原						
	有財産購入費					
	品購入費					
	旦金補助及び交付金		62,214	61	,485	61,485
20 扶						
21 貸						
	賞補填及び賠償金					
	愛金利子及び割引料 資及び出資金					
25 積						
26 寄						
27 公						
28 繰						
計			62,950	62	,181	62,181
	国庫支出金		0	- 02	0	32,101
財源内	県支出金		46,099	45	,584	45,584
が 財	地方債		0		0	,
財源内訳	その他		0		0	
	般 財源		16,851	16	,597	16,597
	計		62,950		,181	62,181

補助基本額 平成26年度補正·流用状況

補助率

玉

県

当初予算	63,046
補正予算	0
流用・充用	31
予算合計	63,077

平成26年度特定財源内訳

事業費:3/4、事務費:1/2

一次20十支付足別級2100									
名称	金額								
中山間地域等直接支払交付金	45,731								
中山間地域等直接支払推進事業費	368								
· 合 計	46,099								
	名称 中山間地域等直接支払交付金 中山間地域等直接支払推進事業費								

事業費:3/4、事務費:1/2

事業費:3/4、事務費:1/2

-	I. 基本	情報											
	事務事	業	0106010	303010303	主	坐 夕	电类因		7 [经]	車柴		担当部	農林水産部
	그ㅡト		0100010	303010303	学 がサッ	木口 5	文 未协	M	(1反	ず未		担当課	農政畜産課
Г	政策	名	03	活力	ある産業の	つまちつ	づくり					グループ	農政第2グループ
	施策律	名	01	農•ホ	木・水産業(の振興						電話番号	45-5111
	基本事業名		03 集落営農の推進									内線番号	2344
	予	会計	一般会計							# *	□ 単年度のみ		
ı	算	款	06	農林	水産業費					事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 ^生	F度 S	59 年度~)
ı	予 算 科 目	項	01	農業	費					利申	□ 期間限定複数年度	(~)
	目	目	03	農業	振興費					根拠法令·条例等	霧島市補助金等の種類及	なび補助率に関	 する要綱
	評価区分		標準評価 評価対象 1次評価					1次評価		関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

主として作業用農機具にかかるコストを抑制し農業経営の安定化・農業機械の効率的な利用を図ることを目的に設立・運営されている各農業機械銀行等の組織の運営に対し、補助金を交付する。 《対象》霧島市農業機械銀行・牧園地区農業管理センター 《活動》農作業(耕起・代かき・収穫)受託 ※国分・牧園地区内にある農地の管理者で、それぞれの地区毎に対応する。また料金体系もそれぞれの地区により異なる。

Œ) 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	年間延受託回数(霧島市農業機械銀行	r)	П	202	153	120	148	150
1	年間延受託回数(牧園地区農業管理セ	シンター)	п	70	69	76	52	60
ゥ								
(2	2) 事務事業の目的							
_) 対象 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	農作業の委託を必要とする小規模農 家	委託を行った実農家数	戸	122	112	119	120	120
1								
ゥ								
_) 意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	農業機械作業を委託できる。	作業受託面積	ha	93	80	81	82	82
1								
ゥ								
S	3) 上位の基本事業							
_) 基本事業の意図 さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	集団化により営農規模の維持・拡大する。	集落営農数(集落営農に取り組んでいる集 落数)	団体	4	3	3	4	4
1	集団化により営農規模の維持・拡大する。	集落営面積(集落営農に取り組んでいる集 落営農面積)	ha	16	30	30	16	16
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

国分農業機械銀行は昭和59年、牧園地区農業管理センターは平成3年に発足し同時期にそれぞれ組織育成補助を開始したと思われる。 国分農業機械銀行については大規模耕作者への集約等の理由から受託面積は減少傾向にあっ

る。 牧園地区農業管理センターについては高齢 化等により受託面積が増加傾向にある。 事務 局をもつJAでは、機械の老朽化に伴い修理代 等がかさんでいるなどの声がある。

1	. 事業費の推移						単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
i	चरत	K A	, U) Ţ	比19			丰四	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	を出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投 入量			_	般	財	源	千円	224	224	224	151	151
量	事業費						千円	224	224	224	151	151
-												
ı												

5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

霧島市農業機械銀行補助金 159,000円 牧園地区農業管理センター補助金 65,000円

各農業機械銀行等の組織に補助金を交付することにより当該組織の事業運営が適正になされ、小規模農家等が作業委託することができた。

Ę	事務		01060	10303010303	事務事業名	班銀行運営支援事業 担当部 農林水産部 担当課 農政畜産課								
6.			SEE>		予末1					担	理		長以	新生味
					事業の意図に終	古びついています			行に補助金を		活動		することは、纟	集団化による営
	•	- ,,,		いている	4- >/C 4-> /C (E-1)	10 10 00 00		展規快	の維持拡入に	#音 U^1	.1 <°			
A				いている 」に結びついてい	<u> </u>									
A目的妥当性				いていない										
妥当	<u> </u>			ぜ市が行わなけ	ればならないの	Dですか?			や小規模農家					
性	2	•税金	を投入し	て達成する目的	ですか?			け負うこ る。	とから、市が補	亅助金	を交付	けし活動	を支援する	ことは妥当であ
			妥当で											
			見迫す	必要がある				運骨築	の見直しにより	受託	大制な	・向 トさ	せる全地が	ふ ろ
	3	成果が	(向上す)	る余地(可能性)	はありませんか	١?		左 口 4	の元匠のにより	XIII.	ح 11،11 €	. 1411.0	C.03(1)	x).20°
			向上す	る余地はかなり	ある									
			向上す	る余地はある程	≧度ある ─────									
			向上す	る余地はほとん	どない			HE MICLIAL	I b An / =	1 New 33	/ \SHH	mba (.)	T A Julio L -	Lia I . 18 feb 3 10
B	4	廃止∙値	休止の影	/響はありません	か?			農業機 委託者	械銀行の円滑 へも影響が及ん	な連盟	書が阻 2性が	きる。	受託料金の	値上げ等により
B有効性			影響が	 ある										
狸			影響が	「ほとんどない										
	⑤			対象・意図)又は んか?(市以外の		の事務		事業がある場 事務事業名等						
		, ,,,,,,,,		事業はない		0000000								
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
			類似の		合又は連携で	====================================								
	6	·事務事	業の手段	皮(やり方)を工夫で	することで、事業費	費を削減できません 或できませんか?	か?	今後、₹	事業内容や現績	兄把握	を精	査するこ	とで削減の	余地はある。
			削減で		、中の異点と問題	% CE & E 70 // .								
С			削減で											
C効率性	_		業の手段		することで、人件	貴(延べ業務時間)を			う事務としては	、補助	金交	付事務	のみであるた	上め削減余地は
性	(7)	できませ ・職員り	んか? 人外の対応	なや委託により人作	牛費を削減できま	せんか?		ない。						
			削減で	きない										
			削減で	きる										
D	8	事務事また、	業の内 受益者負	容が一部の受益 負担の公平性が	を を とれていま	おり、依	行は水稲・園芸 頼者は高齢農	家や	農業村	幾械を有	しない方等	が対象となっ		
D公平性			公平・公	公正である					ド、国分・牧園: 要がある。	地区以	人外も	含め農	豕全般が対	家となるよう見
性			見直す	必要がある										
7.	1次	評価結	果 <f< th=""><th>PLAN>(組箱</th><th>t 決定)</th><th>[A+1th</th><th>年度の改革</th><th>お参加さ</th><th>南條《</th><th>.20</th><th>结</th><th>スト縮</th><th>ıls</th><th>></th></f<>	PLAN>(組箱	t 決定)	[A+1th	年度の改革	お参加さ	南條《	.20	结	スト縮	ıls	>
(1)	+ 2		0 7/ #	継続	ムリナルギ			1		1		AT WE	休止	廃止
		务事業の 方向性			やり方改善	コスト拡充	コスト		<u>連携</u>		統合			<i>5</i> 022
				平成27年度か	 	 	C 3会の補J		ない 霧島市農	農業機	械銀	行補助4	金を削減をつ	トろ。
(0)	. -	+ o z /= =	± 0.75	1 ////21 1 // 2//	3 T BW CL (1)	ж. т	· 24 · > 1113 ·) 3 <u>312</u> · > /)	7.2.4.7 (7.55 pag 114)2	C/C//	19,4324	1 1111-50	ECHINAC)	. 30
革	火善 (成27年月 の内容												
(取	り組	むべき	課題)											
				委良市農業(数4	最銀行について	「は、引き続き適」	正か劫を	かたい	わているか答。	佣士ス	<u> </u>			
				務面印成未成		. ra、TromLo加。	IL/4-17(1)	127-1142	40 C V OW - E V	±) 'a	'o			
(3)	平月	戊28年月 ₹組目標	度の方											
] L⊷i	т 4)	K //III III // // // // // // // // // // // //	A											
				<u> </u>										
8.	2次	評価結	果 (担	当部長評価)										
				44.4字				绽小	油堆		歩 へ		休止	廃止
		多事業の 句性	の収革		やり方改善	コスト拡充	コスト	148/1,	連携 		統合			
(2)	(総	評												

事務事業コード	0106010303010303	事 務 事業名		農業機械	銀行運営支援事	業		担当部 農林水産部 担当課 農政畜産課		
9. コストの	推移									
	(単位:千円)	平成26年	F度 (決	(算)	平成27年度	(当初予算)		平成28:	年度 (計画)	
1 報	栖									
2 給	料									
	手当等									
4 共 5 災 署	<u>済費</u> 害補償費									
7 賃	金									
8 報	償 費									
9 旅	費									
10 交 11 需	<u>際費</u> 用費			0						
_	用 費			0			0		0	
燃燃										
食	糧 費									
	刷製本費									
光	熱水費 繕料						_			
	了一牌。 科_ 有材料費									
館										
	薬材料費									
12 役	務費			0			0		0	
	值信運搬費 法 告 料									
手										
· 保										
13 委	託 料									
	料及び賃借料									
	事請負費 材料費									
	<u>170 代 貝</u> 財産購入費									
	湯 購 入 費									
	補助及び交付金			224			151		151	
20 扶	助費									
	付 金 捕填及び賠償金									
	:利子及び割引料									
24 投資	及び出資金									
25 積	立 金									
26 寄	附金									
27 公 28 繰	課 費 出 金									
計	<u>11</u>			224			151		151	
	庫支出金			0			0			
財に帰	支出金			0			0			
財源内訳	庫支出金 支 出 金 - 方 債 - の 他			0			0			
=-	般 財源			224			151		151	
	計			224			151		151	
補助率	国									
	県									
	基本額									
	使補正·流用∜ □ ろ 笆		224		度特定財源内部		夕私		♣茄	
三 三 名 補 T	刃予算 E予算		0		区分		名称		金額	
			_							
			\dashv		+					
- 海田	・充用									
	李合計		224			合 計			0	

-	1. 基本	情報										
	事務事	業	0106010	303010401	重	学 夕	典类公	後継者等育成就是	电立径电类		担当部	農林水産部
	그ㅡト		0100010	303010101	学 加サ:	木口	辰 未也	对性伯 寺 月以观点	支入1及 尹未		担当課	農政畜産課
	政策	名	03	活力	ある産業の	りまち・	づくり				グループ	農政第2グループ
	施策律	名	01	農•ホ	木・水産業	の振興	Į				電話番号	45-5111
	基本事業名		04	農林	水産業の	新規就	党(就	農等)の支援			内線番号	2341
Γ	予	会計	一般	会計					± **	□ 単年度のみ		
ı	算	款	06	農林	水産業費				事業 — <mark>期間</mark>	■ 単年度繰返 (開始 ⁴	手度 H	18 年度~)
ı	予 算 科 目	項	01	農業	費				261111	□ 期間限定複数年度	(~)
	目	目	03	農業	振興費				根拠法令·条例等	霧島市農業後継者等育局	戈就農支援助 原	戈金交付規則
	評価区	分		標準許	平価	評価	対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

(1) 〒30年来の保安(資本の後、70人・予順、計画を記述) 新規就農の促進や定着化を図るとともに、優れた農業後継者を育成し、市農業の振興に寄与することを目的に助成金を交付する。 【交付対象】市の交付規則に基づき、就農計画を認定された認定就農者(新規参入者、新規学卒就農者、Uターン者等、農業後継者) 《交付条件》①本市に居住し、農業以外の他産業並みの農業所得を確保し得る中核的農業専従者となり得ると見込まれる者②農業者年金に加入 資格を有する者にあっては、加入する者③就農時の年齢が55歳未満の者で、かつ、就農意欲が高いと市長が認めるもの <交付金額>単身者:月額90,000円 扶養家族がある場合:月額135,000円 <交付の期間>農業後継者等 6ヶ月以上1年未満の期間 新規参入者等 6ヶ月以上2年未満の期間

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ア	新規就農研修生		人	(実績)	(実績) 1	(実績) 1	(見込)	(見込)
1	助成金交付金額		- 千円	0	450	540		
ゥ								
	 2) 事務事業の目的							
_	対象 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	新規就農希望者(新規就農相談者)	新規就農希望者数(相談者数)	人	22	12	16		
1								
ゥ								
_) 意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア	農業技術を習得する	新規就農者数(事業実施者)	人	0	1	1		
1								
ゥ								
	3) 上位の基本事業							
	基本事業の意図 さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	新規就労(就農等)者を育成・確保する	新規就農者数	人	8	13	17		
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

新規就農者を支援するために、旧横川町の事業を引継ぎ(平成14年度~)、霧島市単独事業として平成18年度より新たにスタートした。農業従事者の高齢化・後継者不足により、農業生産の脆弱化が進行している。国の方針において、農業担い手の確保・育成が重要視されている。5年前と比較して、年間の新規就農相談の件数が増加している。平成25年4月1日より霧島市農業後継者築含成時農支援助成を交付組 級が相加している。 下ルとのデザカーはより 市農業後継者等育成就農支援助成金交付規 則の規則第8条の負担金の負担割合の見直し を行い受入農家の負担金の額を減額した。

4	車章	生物	ທ‡	生愁			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	. 事業費の推移						+12	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫は	と出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	150	180	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	0	300	360	0	0
量		耳	業	費			千円	0	450	540	0	0

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

霧島市牧園町在住の新規参入者1名 平成25年11月より研修中である。 月額助成金90,000円×6ヶ月=540,000円

牧園在住の新規参入者1名に対して、農業技術を習得させることができた

哥	事務事業	01060	10303010401 事務 農業後継者等育				接等育成就農支援事業 担当 部 農林水産部 担当 課 農政畜産課				
	コード			争耒名	201120121		70,227,327,717		4 HVIV	農政	畜産課
6.	振り返り					新	規就農希望者が農		理 由 ・翌得す	つろことけ 新規	就労(就農築)
	 この™ 	事務事業の	の目的は、基本	事業の意図に約	詰びついています		の育成と確保に結び		. 🗖 19 /	DCC16(75179)	70073 (1000A 117
		結びつ	いている								
鼠		間接的	に結びついてい	る							
A目的妥当性		結びつ	いていない								
性			ぜ市が行わなけ て達成する目的		つですか?	に	農業開始時に必要がなり得る新規就労(就農)をア			
	-	妥当で	: ある			与	することから妥当で	ある。			
		見直す	 必要がある								
	③ 成果:	が向上す	る余地(可能性)	はありませんか	٧?	名	農業者の高齢化、後以上の新規就農が 以上の新規就農が かしたがら 新規	あり、十分	子な成界	見が出ていると	認められる。
		向上す	る余地はかなり	ある		ウ/て	かしながら、新規原 いウ等を教える農家 助成金の一部を負	(指導者担する仕)が、一 組みとた	定の労働力の	提供があるとし
		向上す	る余地はある程	度ある		5	受入農家の負担軽 仕組みを検討する	咸やきめ;	細やかれ		確保面で受入
		向上す	る余地はほとん	どない				,			
B有効:	④ 廃止	・休止の影	/響はありません	か?		実	▶市においては新規 践的な研修を行う機 とだし、平成27年度	炎会は本	事業以	外にないため影	ど響が大きい。
効性		影響が	ある			行	うこととなっている。				
1.		影響が	ぼとんどない					_			
			対象・意図) 又は たんか?(市以外の		啓発等)を持つ他の ものを含む。)	の事務	類似事業がある場 合の事務事業名等				
		類似σ	事業はない								
		類似σ	事業はあるが、	統合又は連携	できない						
		類似σ	事業があり、統	合又は連携で	きる						
	⑥ 事務			することで、事業費、市の負担を削減	を削減できません。 成できませんか?	付	又入のない研修期間 している。事業費を 入れ可能な農家が	削減し、	研修受		
		削減で									
C 効		削減で				4	出几人大山市沙水	トフェム	7. の市	ツケエ・仕もに上	もれ亦乱ぶんは
率性	(7) できま	せんか?	设(やり方)を工夫で なや委託により人作		₿(延べ業務時間)を せんか?		前助金交付事務では ば削減する余地は		ての事	- 伤士祝さに人	さな変動がなり
		削減で	きない								
		削減で	きる								
D			容が一部の受益 負担の公平性が				F齢制限を設けては 公平性は保たれて		就農意	欲のある者につ	ついては、受益
公平性			公正である		• •						
性		見直す	 がある								
7	1 次輕価為	き里ノ	PLAN>(組結	(本史)							
7.	1 次 町 脚 🌣			IN IE	【参考】前年	年度の改革改	善の方向性≪	継続	やり方		>
	事務事業 きの方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮ん	小 連携	統	合	休止	<u>廃止</u>
革	平成27年 牧善の内容 り組むべる	\$	その分上乗せし	て交付する。	 手総合支援協議 度で廃止とする。		 作内容を見直して実	 施。市は	 担い手	l アクションサポ	
	平成28年 生·取組目	標 	関の連携を強化				支援協議会が主体 農者の確保につな		亥事業を	と実施することと	する。関係機
8.	2次評価制	吉果 (推	当部長評価)								
	事務事業 善方向性	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮ん	小 連携	統	合	休止	廃止
								<u> </u>			
(2)	総評										

事務コ	8事業 一ド	0106010303010401	事 務 事業名		農業後継	者等育	育成就農支援	事業		旦当部 旦当課		林水産部 政畜産課
9. =	ストの	推移										
		(単位:千円)	平成26年	F度((決算)		平成27年度	(当初予算)	1	平	成28年度	(計画)
1	報	一										
2	給	料										
3		手当等										
4	共	済費				-						
5 7		子補 償 費 金				-						
8	 報											
9	旅	費										
10	交	際 費										
11	需	用 費 耗 品 費				0			0			0
	燃											
	食	糧 費										
		刷製本費										
	光修	: 熱 水 費 : 繕 料										
	_	材料費										
	餌	料費										
		薬材料費										
12	役	務 費 信運搬費				0			0			0
	进 広					+						
	手											
	保											
13	_ 委	託 料				-						
14 15		料及び賃借料 事 請 負 費				-						
16		材料費										
17	公有	財産購入費										
18		品購入費										
19 20	_{負担金} 扶	対 費			54	0						
21	<u>坏</u> 貸											
22												
23		利子及び割引料										
24		及び出資金										
25 26	<u>積</u> 寄	<u>立</u> 金 附 金										
27	公	課費										
28	繰	出 金										
	計				54	0			0			0
	特世	庫支出金 支出金				-						
財源内訳	特定財源 単足	, 方 債										
内記	,	**			18							
- I	_	般財源			36	_						
		計国			54	U			0			0
補	甫助率	県										
補	助	基本額										
平成		€補正・流用∜			平成26	年度物	寺定財源内訳					
		刀予算				区分	}		名称			金額
	補工	予算		0							-	
				\dashv								
				-								
	\	-										
		· 充用 [合計		0				計				0
	1, 2	FHRI		U				- PI				0

1. 2	基本'	情報									
事	務事	業	0106010	303010402	医数重型	名 青年記	担当部	農林水産部			
-	그ー	<u> </u>	0100010	303010102	计分书木	月十月	见 辰和门亚尹未	担当課	農政畜産課		
正	女策?	名	03	活力ある	る産業の	まちづくり				グループ	農政第2グループ
施策名 01 農・林・水産業の振興					水産業の)振興				電話番号	45-5111
基本	基本事業名			農林水	産業の親	f規就労(就	農等)の支援			内線番号	2344
7	3	会計	一般	会計				+ *	□ 単年度のみ		
算	拿	款	06	農林水	産業費			事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 ^年	手度 H	24
予算科目	4	項	01	農業費				初申	□ 期間限定複数年度	(~)
	目目			農業振	興費			根拠法令·条例等	新規就農·経営継承総合	支援事業実施	要綱(国)
評	評価区分			標準評価	E .	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

経営の不安定な就農初期段階における青年の新規就農者及び経営継承者の所得の確保及び経営の安定を図るため青年就農給付金を給付する

【給付対象】霧島市に住所を有し、かつ、将来にわたり霧島市の中核的農業者として地域農業の振興に寄与すると認められる者。 《給付要件》①独立・自営就農時の年齢が45歳未満であり、農業経営者となることに強い意欲を有していること。②独立・自営就農であること。 ③自ら作成する経営開始計画が、独立・就農5年後には農業で生計が成り立つ実現可能な計画であること。④人・農地ブランに位置付けられてることが確実であること。⑤生活保護、求職者支援制度などの生活費を支給する国の他の事業と重複受給でないこと。 〈給付金額〉年間150万円(前期75万円、後期75万円)

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	経営開始直後の新規就農者		人	4	9	17	20	20
1	給付金交付金額		千円	3,000	13,500	28,500	30,000	30,000
ゥ								
(2	?) 事務事業の目的							
	対象 推、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	要件を満たす新規就農者	要件を満たす新規就農者数	人	4	9	17	20	20
1								
ゥ								
_	意図 ②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	金銭的支援を受ける	青年就農給付金の給付された農業者数	人	4	9	17	20	20
1								
ゥ								
(3	り上位の基本事業							
_	基本事業の意図 らにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	定着できる環境を整える	新規就農者数	人	8	13	17	10	10
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

平成24年度に新規創設された国庫事業。就農 後間もない青年新規就農者の所得の確保と経 営の安定を図り、もって、新規就農の確保及び 定着に資することが目的とされている。 当事業は制度設立以前から大変注目を集めた 事業であり、事業実施要望も相当数に及ぶが、 給付要件が厳レく、事業を実施できる者は少数 に限られる。

1	100 4	計画	n t	坐			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ŧ	. 事業費の推移 国庫支出金						中世	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	支出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	300	13,500	28,500	28,500	33,750
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0	D	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	0	0	0	0	0
量		哥	業	費			千円	300	13,500	28,500	28,500	33,750

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

(2)平成26年度の成果

前年度までの給付対象者9名と平成26年度から8名を給付対象とし計17 | 給付金による青年就農者の生活安定を図ることができた。

削甲及まで火加ロイルの10-10-11 名に対し給付を行った。 12名×前期分75万円 17名×後期分75万円 小計21,750,000円 27年度前倒し分 9名×前倒分75万円 小計 6,750,000円 小計28,500,000円

To the	事務事業 コード 6. 振り返り		01060	10303010402	事務事業名	青年	就農絲	合付金事	業	担扣	当当	部課	農林力農政	
6.	振り	返り <	(SEE)								理	由	2000	
					事業の意図に絹	吉びついています	か?	青年のきを図るた	新規就農者及 め給付金を受	び経営	継承	者が	所得の確保及 就農者の定着	び経営の安定 に結びつく。
			結びつ	いている										
A目的妥当性			間接的	に結びついてい	Vる									
野妥			結びつ	いていない										
当性	2	·この事 ·税金を	事業をな と投入し	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ればならないの ですか?	のですか?		新規就付主体。	豊・経営継承総 となっているた	総合支 め。	援事	業実施	亜要綱(国)で、	市町村が給
			妥当で	ある										
			見直す	必要がある										
	3	成果が		る余地(可能性)), Š		要綱(国	やり方、進め方])に定められて 綱も国の要綱/	ている。	、霧鳥	:市青	年就農給付金	(経営開始型)
				る余地はかなり				γ <i>,</i> °						
			向上す	る余地はある程	i 									
	_		向上す	る余地はほとん	どない			th 344.47/	de de 20 out de 1	n nh/11) % []	H-64 1 . 3		
B	4	廃止∙億	木止の影	響はありません	か?			農業促-	事者、後継者の	り催保	:7) 本	難とな	'వం	
B有効性			影響が	ある										
性			影響が	ほとんどない										
	⑤			 ★・意図) 又は んか?(市以外の		啓発等)を持つ他の るものを含む。)	の事務	類似 合の 副	事業がある場 事務事業名等					
			類似の	事業はない						•				
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる								
	6	·事務事 ·補助金	業の手段など、交	设(やり方)を工夫で付先に働きかけて	続きにオ	度に基づいて行 てきな変動がな うため市の負担	けれり	ば削減	交付事 載する:	務であるため 余地はない。	、その事務手 また全額補助			
			削減で	きない				122 (0)	77.207111177	-16.6	• 0			
C 効		□ 削減できる ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減												
率性	(7)	・事務事できませ	業の手段	设(やり方)を工夫で	することで、人件費	費(延べ業務時間)を	を削減	新規就給付金	豊・経営継承絲 事業に基づい	総合支 て補助	援事	業実施 付事	国要綱(国)別言 務を行っている	記1青年就農 ため人件費を
'				さや委託により人作	委託により人件費を削減できませんか?				る事務事業の	手段(-	やり方)を工	夫する余地は	ない。
			削減で	きない										
L			削減で						ET FF 1 - ++ 30	1.1 	- (₋ 1. ·	7.1	-th 0 = 10	1176/E 51
Ď	8			容が一部の受益 担の公平性が				国の安かいる。	啊寺に基づい	(刈)心	10x	うもの	であり、公平性	は確保されて
D公平性			公平・公	公正である										
性			見直す	必要がある										
7.	1次	評価結	果 <f< th=""><th>PLAN>(組績</th><th>決定)</th><th>[参考]前:</th><th>年度の改</th><th>革改善の方</th><th>向性≪</th><th></th><th>#</th><th>続</th><th></th><th>></th></f<>	PLAN>(組績	決定)	[参考]前:	年度の改	革改善の方	向性≪		#	続		>
(1) 事系	务事業 <i>0</i>	D改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合		休止	廃止
		方向性		0										
				就農後の定着を	L を図るために今	 後も給付者を増 ²	やしてい	ヾ。		<u> </u>		_		
(2)) 亚 F	成27年 _月	±∩≫											
革	收善	の内容												
ХР	り和	וטיפו	休起)											
H				計典祭の完美を	も図るために合	後も給付者を増え	め1 アル	\ <u></u>						
				加成区区	- M-2/C-2/C-1	KOMILI-P S-P	, , ,	\ 0						
(3)	平原	成28年月 以組目標	質の方											
LHJ	т-4.	X NIL II 177	Ř											
Ω	2 /h	評価結	里 /坦	<u> </u> 当部長評価)										
													/+ ·L	ja., L
		务事業 <i>0</i> 向性	D改革	継続 ————————————————————————————————————	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合		休止	廃止 —————
(2))総	証												
(2.	, the Cy	DI.												

事務コ	条事業 ード	0106010303010402	事務事業名		青年	就農給付金事業	Ė	担当部		林水産部 改畜産課
9. =	コストの									
		(単位:千円)	平成26年月	度 (決	算)	平成27年原	度 (当初予算)		平成28年度	(計画)
1	報	栖								
2	給	料								
3		手当等								
4	共	済 費								
5		F 補 償 費								
7		金								
8	報	賞 費								
9	旅	費_ 際 費								
10	<u>交</u> 需	<u>際</u> 費 用費			0			0		0
''		耗品費			0					
	燃燃									
	食									
		刷製本費								
	_	熱水費								
	修	繕 料								
	賄	材料費								
	館									
		薬材料費								
12	役	務 費			0			0		0
		信運搬費								
	広									
	手保									
13		· 険 料 託 料								
14		<u>れ イキ</u> 料及び賃借料								
15		事請負費								
16		材料費								
17		財産購入費								
18	備品	品購入費								
19		補助及び交付金			28,500		28	,500		33,750
20	扶	助費								
21	貸	付金								
22		博 及び賠償金 利子及び割引料								
24		及び出資金								
25		立 金								
26	寄	 附 金								
27	公	課費								
28	繰	出 金								
	計				28,500		28	,500		33,750
	特国	庫支出金			0			0		
財	定 児	支出金			28,500		28	,500		33,750
財源内訳	特定財源 円 代 一 代 一 代 一 代 一 代 一 代 一 代 一 代 一 代 一 代	方債			0			0		
訳	_	の 他 般 財 源			0			0		
		計			28,500		28	,500		33,750
	***	国			,000					,.00
	甫助率	県			10/10		10	0/10		10/10
補	助	基本額								
平成		€補正•流用∜		_	平成26年	度特定財源内				
		7予算	16,50			区分		名称		金額
		子算 工符 0 日	15,7		県支出金		青年就農給付	金事業費		28,500
		E第3号 E第7号	9,00							
	1用」	⊥弗/亏	6,7	00						
				\dashv						
				\dashv						

コ lu li ガ	10,000
補正予算	15,750
補正第3号	9,000
補正第7号	6,750
流用・充用	
予算合計	32,250

区分	名称	金額
県支出金	青年就農給付金事業費	28,500
	合 計	28,500

1. 基本	情報												
事務事	業	1060102	02010501	主	学 夕 /	久禾世	· 業関連施設管	油車	华		担当部	農林水産部	ß
	ド	1000102	03010301	争勿争	未 口 1	口性层	未民生旭以日	性事	未		担当課	農政畜産課	Į.
政策:	名	03	活力	ある産業の	のまちつ	づくり					グループ	農政第1グ	ループ
施策:	名	01	農•材	*•水産業	の振興						電話番号	45-5111	
基本事	業名	05 地産地消の推進									内線番号	2311	
子	会計	一般	会計						± **	□ 単年度のみ			
算	款	06	農林	水産業費	·				事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 ⁴	 手度	不明))
科	項	01	農業	費					初申	□ 期間限定複数年度	(~)
目	Total					根拠	拠法令·条例等	村の設直及い官理に関す 平山地区コミュニティー広	る余例、務局 場の設置及び	中国分上之 答理に関す	受・		
日 02 農業総務費 評価区分 標準評価 評価対象 2次評価					2次評価	星	連計画						

2. 事務事業の概要・目的・指標

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市民等が利用しやすい施設の維持管理等にかかる予算の適正執行を行う。農産物加工施設については、地元農産物を利用し味噌・めんつゆや ふくれ菓子等の製造を目的とした利用が多く、グループによる利用が大半を占めている。お茶の加工施設については、全国お茶品評会の加工研修施設として農家の技術向上に寄与している。コミュニティー広場については、地域住民によりグランドゴルフやゲートボールに利用されている。 <直接管理施設 > 11施設・霧島市都辺営農研修センター、霧島市牧園農村活性化センター、霧島市霧島農畜産物処理加工施設、霧島市霧島多目的集会施設、霧島市隼人松永農産物加工施設、霧島市福山生活改善センター、霧島市福山農村女性の家、霧島市福山活性化センター、霧島市福山農村青年の館、お茶加工研修館(溝辺)、霧島茶ふれあい工房(牧園) <指定管理者 > 4施設・霧島市福山会で農産財産の場合の場合では、1000年間に、1000年間、1000年間、1000年間、1000年

<指定管理者> 4施設 ・霧島市国分営農研修センター、霧島市横川農業交流センター、上之段・塚脇・平山地区コミュニティー広場、霧島市霧島緑の村

				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	施設管理費		千円	43,912	91,663	39,099	36,646	36,646
1								
ゥ								
(2	2) 事務事業の目的						I.	
_) 対象 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	施設	施設数	施設	15	15	15	15	15
1	市民	市民	人	127,475	127,283	126,733	129,360	129,360
ゥ								
_) 意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア	適切に運営される	利用者アンケートで満足・やや満足と回答し た割合(指定管理施設のスタッフ対応)	%	_	79	100	100	100
1	施設を利用できる	施設の利用者数	人	45,636	47,689	48,792	48,792	48,792
4								
ゥ								
_	3) 上位の基本事業							
(3 (6)	3) 上位の基本事業) 基本事業の意図 ならにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度(目標)	28年度(目標)
(3 (6)	基本事業の意図		単位 %					
(3 (6	基本事業の意図 さらにどのような成果に結びつくのか)	(左記⑥意図の達成度を表す指標)		(実績)	(実績)		(目標)	(目標)
(3 ⑥ (さ	基本事業の意図 ならにどのような成果に結びつくのか) 安心・安全な農林産物を供給する。	(左記⑥意図の達成度を表す指標) 学校給食への供給率 地元産の農林産物を積極的に購入している	%	(実績) 25	(実績) 24		(目標)	(目標)

地元の農産物を利用した加工食品の開発をすることにより、農業所得の向上を図るため。施設の利用者が農業関係者だけでなく、一般市民の利用も増えてきている。 加工施設の備品が老朽化しているため、突発的な修繕・取替必要な備品が増加することが考えられる。

А	nt d	* #	ωt	推移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
4.	* **	R IR	,V) 1	进刊罗			中世	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	を出	睁	千円	0	50,000	810	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	ブ	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0	0	他	千円	3,934	3,805	3,667	3,186	3,454
投入量			_	般	財	源	千円	39,978	40,169	34,843	33,768	33,192
量		哥	業	費			千円	43,912	93,974	39,320	36,954	36,646
_												
	T '											

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組)

(2)平成26年度の成果

施設管理にかかる賃金・光熱水費・修繕料・委託料等の支払事務 他R 日本にガルる貝並、九窓が貝、ド暦代・安託代 危険個所等の確認を行い、適切な修繕を行なった。 ・修繕37件 2,729千円 ・臨職9人雇用 11,533千円 ・指定管理施設4施設 8,813千円

施設を適正に維持・管理することにより、市民が多くの加工品を製造することができた。また、茶加工施設については全国出品茶の加工指導をすることにより技術向上が図られた。

Ę	事務事業 コード 106010203010501 事務 事業名 各種農業					業関連施設管理事業 担当部 農林水産部							
6		<u>下</u> 返り <	'SEE'		尹禾石					担当	理由		畜産課
0.	_			の目的は、基本	事業の音図に終	きびついていまる	t 10 2			られること	や市国	これが施設を利用で	できることは、安
					サ末 の心 囚 にゅ		9 /3* :	心•安全	とな農林産物供	は給するこ	ことに統	ぎびつく。	
A				いている	. 7								
目的				かに結びついてし	<u>ა</u> გ								
目的妥当		□ •= •		いていない <mark>ぜ市が行わなけ</mark>	わげたらない	Dですか?		各施	投の設置目的等	等を考慮	すると	市の施設として	市が管理する
性	(2)	•税金	を投入し	て達成する目的	ですか?	7,77		ことが多	を当である。	, - ,,	,	, ,, , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1,11,11,11
			妥当で	:ある 									
			見直す	必要がある				+/ ∹⊓.	7.44年英田書へ	たよ フェカ	/事業)	は、嘱託職員(管	畑」)の辛熱
	3	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんか), 5		改革を		利用しゃ	っすい	ょ、嘱託職員(官 を設にできるため	
			向上す	る余地はかなり	ある			41.11/11.D	WW. 2010.0V.	.E.N -007-020			
			向上す	る余地はある程	建度ある								
			向上す	る余地はほとん	どない				offer to a second				hadr I all an
В	4	廃止∙億	木止の景	/響はありません	か?			は必要	不可欠である。	事務事	業を廃	するにあたり農産 止・休止した場合	合、同様の加工
B 有効		-	影響が	 ずある				施設は	他になく行政所	直策の推	進にも	影響が及ぶ可能	性は高い。
性			影響が	·ほとんどない									
	⑤	類似の事業は	目的(対	対象・意図) 又は けんか?(市以外の	形態(イベントや)	啓発等)を持つ他	の事務		事業がある場 事務事業名等				
		-		事業はない	3 T H. W X 18 7 6	0000000			似事業がない。				
			類似σ	事業はあるが、	統合又は連携	できない							
			類似σ)事業があり、統	合又は連携で	 きる							
	6	-事務事	業の手段	役(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費	貴を削減できません。	しか?		及び施設内の仮 込まれるなど経			としていることにん	半い、経費の増
		- HH D) 30		きない	、川の真理を削削	ж СЕФЕ/0//·:		73473 - 70	25 34 V 3/ 3 C /E	, AUTO B	////	1000	
c		_	削減で										
C効率	_	·事務事	業の手具	设(やり方)を工夫で	することで、人件書	貴(延べ業務時間)	を削減	施設	管理については	は、現在で	 市職員	による草刈等を	実施していると
性	7	できませ・職員以	んか? l外の対応	芯や委託により人作	牛費を削減できま	せんか?		又、隣:	妾する施設の指	定管理	者が隣	咸の余地がある。 接または類似す	
			削減で	きない				を文け	た場合、経費の	月1/成(こ	712773	ు	
			削減で	きる									
D	8	事務事また、	業の内 受益者負	容が一部の受益 負担の公平性が	を者に偏っている 確保されていま	ませんか? :すか?		に関す				勿加工施設等の 一化を図ったたる	
公平性			公平・	公正である				ある。					
性			見直す	- 必要がある									
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組制	快定)	[余志]#	年度の改造	では	in性≪	維練	やりブ	一种	>
(1)	古羽	ケ市業の	カコトサ	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト		連携	統		休止	廃止
		务事業 <i>0</i> 方向性	グ以中	0	0				Æ155	nyc.	н		
						<u> </u> ど朽化しているこ			 り増加が見込ま	 れるため	り、早日	┃ 目の点検を実施 [・]	L する。
(2)	\ \17 =	戊27年月	₣₼₼										
革司	女善(の内容											
(AX	ツ和	むべき	沐 起)										
				各種農業施設	管理								
				<直接管理施 ・霧島市溝辺営	設> 11施設 :農研修センタ-	一、霧島市牧園原	農村活性	化セン	ター、霧島市霧	島農畜	産物処	理加工施設、霧	島市霧島多目
(3) 向性	平月生・取	成28年月 双組目標	度の方	活性化センター	、霧島市福山/	、農産物加工施記 農村青年の館、							、霧島市福山
	_ ',					一、霧島市横川原	農業交流	・センタ・	一、上之段・塚原	協•平山:	地区コ	ミュニティー広場	、霧島市霧島
				緑の村									
8.	2次	評価結	果(担	3当部長評価)									
(1)	事系	务事業の	 D改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統	 合	休止	廃止
		向性											
					l	I .	1		<u> </u>	1		1	l
(2)	総	評											

事務事業 コード 事 務 事業名 担当部 農林水産部 106010203010501 各種農業関連施設管理事業 農政畜産課 担当課

9. =	コストの推移			
	(単位:千円	平成26年度(決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度(計画)
1	報 酬			
2	給 料			
3	職員手当等			
4	共 済 費			
5	災害補償費			
7	賃 金	11,532	12,369	12,369
8	報 償 費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需 用 費	11,593	10,661	10,661
	消耗品費	510	510	510
	燃料費	2,166	1,921	1,921
1	食糧費			
	印刷製本費			
	光熱水費	6,188	5,970	5,970
	修繕料	2,729	2,260	2,260
1	期 材 料 費			
	飼料費			
10	医薬材料費	017	000	000
12	後 務 費	817	820	820
	通信運搬費	497	488	488
	広 告 料	00	0.0	00
		82 238	82 250	82 250
12	保 険 料 委 託 料	13,700		
13	安 式 科 使用料及び賃借料	15,700	10,937	10,937
15	工事請負費	36	300	39
16	原材料費		300	
17	公有財産購入費	<u> </u>		
18	備品購入費	1,620	1,800	1,800
19	負担金補助及び交付金	1,020	8	1,000
20	扶 助 費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利子及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積 立 金			
26	寄 附 金			
27	公 課 費			
28	繰 出 金			
	計	39,320	36,954	36,646
	₅ 国庫支出金		0	
B	是 東 支 出 釒		0	
財源内訳	特定財物を対象を		0	
内即			3,186	3,454
九	一般財源	34,843	33,768	33,192
	計	39,320	36,954	36,646
ż	浦助率 国	1/3		
補	助 基 本 額			

平成26年度補正•流用状況

当初予算	37,393
補正予算	2,430
補正第1号	3,370
補正第7号	-940
流用・充用	534
予算合計	40,357

平成26年度特定財	源内訳	
区分	名称	金額
国庫支出金	社会資本整備総合交付金	810
その他	活性化センター使用料	753
その他	多目的集会施設使用料	417
その他	農村女性の家使用料	192
その他	加工処理施設使用料	708
その他	生活改善センター使用料	111
その他	青年の館使用料	26
その他	営農研修センター使用料	837
その他	雑入(福山活性化センター自販機電気料)	39
その他	雑入(お茶加工技術研修料)	584
	合 計	4,477

1. 基本	情報										
事務事	業	01000100	車:	改 車 学 夕	小江石	 	中		担当部	農林水産部	
	ド	01060103	903010301	伤争未有	土伯机	ガガグルーク 育成・	尹未		担当課	農政畜産課	
政策:	政策名03活力ある産業の施策名01農・林・水産業の				づくり				グループ	農政第1グループ	
施策	名	01	農•林•水	産業の振り	興				電話番号	45-5111	
基本事	基本事業名 05 地			の推進					内線番号	2311	
予	会計	一般	会計				± **	□ 単年度のみ			
算	款	06	農林水産	業費			事業 期間	■ 単年度繰返 (開始年	F度	不明 年代~)	
科	項	01	農業費				79][F]	□ 期間限定複数年度(~)	
Ħ	コード 政策名 03 施策名 01 基本事業名 05 予算 款 06 科目 項 01 目 03		農業振興	費			根拠法令·条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱			
評価区	施策名 01 農・林・水産業 基本事業名 05 地産地消の推 予算 款 06 農林水産業費 科目 01 農業費 日 03 農業振興費			評句	対象	1次評価	関連計画			·	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

生活研究グループの会員が農村のよりよい生活や働き方を学び、その知識・経験を活かし食育講座などのイベントを通じ地域住民へ食文化などについて普及啓発を図っていく活動に補助金を交付する。また、各支部の総会や各種講座(伝承講座)等の準備から進行までを支援し、活動の促進を図っている。 1団体5支部(国分・牧園・霧島・隼人・福山)会員:総数78名・各支部の活動:食文化の普及啓発のため伝承講座等

				0.4左座	0.5 左 曲	00左曲	07左曲	00左座
1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	各種研修会の開催		□	37	29	20	20	20
1	イベント等への参加		п	25	11	10	10	10
ゥ								
(2	と) 事務事業の目的			,			'	
_	対象 准、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	霧島市生活研究グループ連絡協議会 会員	霧島市生活研究グループ連絡協議会員数	人	101	80	78	66	66
1								
ゥ								
_	意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア	活動が活発化する	現年度会員数/過年度会員数	%	82	79	97	100	100
1								
ゥ								
(3) 上位の基本事業							
6	基本事業の意図 ならにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア	安心・安全な農林産物を地域に供給 する	地元産の農林産物を積極的に購入している 市民の割合	%	76	77		77	77
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

昭和40~50年代に農山漁村に居住する女性を中心に労働条件の改善や生活環境の向上などを目的に組織が設立され、その活動に対し支援を行っている。 設立当初は、会員自身の生活環境向上が主であったが近年は、食農講座等を実施するなど若年層に対して食文化を伝承するボランティア的な役割も担っている。

4.	事業	生 槽	の‡	推移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
								(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫ま	と出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	ブ	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	168	168	168	151	151
量		事	業	費			千円	168	168	168	151	151

5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

県・地区・市各役員会 イベント等への参加(10回) 伝承講座(1回)

生活研究グループの活動により、市民への食育の普及が図られた。

Ę		事業	01060	10303010501	事務	生活研	究グル	 一プ育	 成事業		当音		水産部
		•	COEEN		事業名					担	当意		文畜産課
О.	_		(SEE)		*** 0		- 1. 0	霧島市	生活研究グル	ープ連	絡協議	由 会会員が食伝	承講座等のイベ
	Ш	この事	務事業(の目的は、基本	事業の意図に	詰びついています	「か?	介活動	を支援し、活動	カが活発	€化すオ		(を)や加工品の紹 (全な農林産物を
Δ			結びつ	いている				地域に	供給することに	結ぶっ	o<.		
鼠			間接的	に結びついてに	\ る								
目的妥当性			結びつ	いていない									
性	2			ぜ市が行わなけ て達成する目的		のですか?		推進は	市の課題の一	つでも	あるため	ージ等の観点が り、市が関連事	から、地産地消の 業を展開する団
		-	妥当で	ある				体を支	援することは妥	当であ	る。		
			見直す	 必要がある									
Г	(3)	成果が	前上す	る余地(可能性)	はありませんだ), 3							めることで、地域 繋がる余地があ
				る余地はかなり				産の良る。	/// // // // // // // // // // // // //	生用 征	木のし	ひりい、云貝墳に	- 茶川の木地川の
				- る未地はかなり る余地はある程									
				る未地はのるも る余地はほとん									
	_							批産·	地消活動の推済	生や行i	砂が第	定した食育計画	
B	4	廃止・作	木止の景	ジ響はありません 	♪か?				、同団体の協力				44.5×2004.c
B有効性			影響が	ずある									
II			影響が	「ほとんどない									
	⑤			対象・意図) 又は たんか?(市以外の		啓発等)を持つ他 Sものを含む。)	の事務		事業がある場 事務事業名等				
			類似σ	事業はない				該当な	L	<u> </u>			
			類似σ	事業はあるが、	統合又は連携	できない							
			類似σ		合又は連携で	 きる		1					
Г	6	-事務事	業の手具	设(やり方)を工夫で	することで、事業費	貴を削減できません 載できませんか?	か?	食の作	伝統講座等若い 今号	7世代	へ継承	するため、支部	での活動費にも
					、市の負担を削減	或できませんか?		と継承	が困難となり、芸具	これ以上	もめり、上の削液	百貨 (の負担 減余地はない。	が増加するととも
				きない 									
C効率性			削減で		+7=1- 7 1-14-=	单 / 7.7 ♣ ※ ※ 75 n± 88 \	ナ 如 は	補助	全由諸等にかれ	かる重彩	玄 加 押 三	E続のみであり	削減余地はない
性	7	できませ	んか?	な(やり万)を工大。 なや委託により人作		費(延べ業務時間) せんか?	を削減	o 11111297.	亚山田 4 (二)、	7°7.±17	n Xer	- NOL 0 2 0 7 C 00 2 9	日刊がスパンピリス・ス・
				きない									
			削減で	きる									
┢	(R)	事務事	業の内	容が一部の受益 対の公平性が	者に偏っている	ませんか?							文化の伝承、農
D 公	0	-	~= = = >		確保されていま	すか?			.品(みそ、めん ることから公平:			音導など、グル・	ープ員外への受
公平性				公正である									
_			見迫す	必要がある									
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組稿	t決定)	【参考】前	年度の改	革改善の	方向性≪		継制	ì	»
		务事業(継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	糸	充合	休止	廃止
改氰	善の:	方向性		0									
						ト 格協議会会員がた ることにより、安心							
(2)	平原	龙27年 月	ぎの改	映パル上面の	稲川 佰野で 9 で	ひことにより、女化	>• 女王/	長杯性	物で地域に快	和りる	一切(2/	よるより又抜りる	υ ₀
		の内容 むべき	理題)										
\-\-\	7 111		H/N (25)										
				生活研究グルー	ープの会員が農	計のよりよい生	舌や働き	大を学	び、その知識・	経験を	活かし1	食育講座などの	イベントを通じ地
				域住民へ食文化 1団体5支部(化などについて 国分・牧園・霧』	「普及啓発を図っ 島・隼人・福山)会	ていく活 会員:総	5動に補 数78名	助金を交付す	る。			, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
(3) 向小	平原生。斯	成28年月 双組目標	度の方	・各支部の活	動:食文化の普	及啓発のため伝	承講座	等					
I PJ 1.	т н,	X /VIII I I 17	7										
8	2次 2次	評価結	果(非	当部長評価)									
				継続				.				休止	廃止
		务事業の 向性	の改革	和 本 和 元	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	糸	充合	沙正	浄止
(2)	総	評											

事務	事業 ード	0106010303010501	事 務 事業名	生活研究グループ育成事業						担当部 農林水産部 担当課 農政畜産課			
9. =	ストの	推移											
		(単位:千円)	平成26年	度(法	央 算)		平成27年度	(当初予算)		平	成28年度	(計画)	
1	報					+							
2	給	料											
3		手当等				_							
5	共 ※ 章	済 費 『補 償 費				+			\dashv				-
7	賃	金				\top							
8	報	償 費											
9	<u>旅</u> 交	<u>費</u> 際 費				+							_
11	需	<u>际</u> 用 費				0			0				0
	消	耗 品 費											
	燃					-							
	食印	糧 費 刷製本費											
		熱水費											
	修												
	期	材料費料費				-							
		薬材料費				+							
12	役	務費				0			0				0
	通広	信運搬費告料											
	手												
	保	険 料											
13	委	託料				\perp							
14		科及び賃借料 計 負 費				+							-
16		材料費				+							
17		財産購入費				\perp							
18		講入費 補助及び交付金			16	18			151				151
20	扶	助費			10				101				101
21		付 金											
22		i填及び賠償金 利子及び割引料				+			_				_
24		及び出資金				+							
25	積	立 金											
26	- 寄	附金				+							
27 28	<u>公</u> 繰	課 費 出 金				+							_
	計				16	88			151				151
	特温	庫支出金				0			0				\exists
財源	足 児 財 地	庫支出金支出金方債の他				0			0				\dashv
財源内訳						0			0				
i)(_	般 財源			16	_			151				151
		計国			16	8			151				151
	甫助率	県				1							
		基本額											
平成		E補正・流用も		100	平成26		特定財源内部	₹	カエ			. A b≠	
	当 利 補 正]予算 予算		168		凶	分		名称			金額	
	,												
				\blacksquare			-						\dashv
				\dashv			+						\dashv
				\dashv	-								\dashv
				\dashv									\dashv

流用・充用

予算合計

168

1. 基本	情報											
事務事	業	01060103	202010502	事務事	坐 夕 i	日兄世	園運営事業				担当部	農林水産部
	ド	0100010.	003010302	尹 孙尹:	未 1 1 1	コレス店	医图度百ず未				担当課	農政畜産課
政策:	名	03	活力	ある産業の	のまちづ	らくり					グループ	農政第2グループ
施策	名	01	農•ホ	・・水産業	の振興						電話番号	45-5111
基本事	業名	05	地産:	地消の推	進						内線番号	2341
予	会計	一般	会計					-t-4	ΨL	□ 単年度のみ		
予 算 科 目	款	06	農林	水産業費	,			事 事 期 問	耒 明	■ 単年度繰返 (開始 ⁴	F度 S	57 年度~)
科	項	01	農業	費				79711	₽J	□ 期間限定複数年度	(~)
目	目	03	農業	振興費				根拠法令・	条例等	市民展園整備促進法、特 に関する注律	正展地質何に	-関する展地法の特例
1111年11日	7分		煙淮彭	2.価	シャイン シャング シャング シャング かんしゅう かんしゅ かんしゅう かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ	计争	1次評価	朗油目	計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

農業者以外の市民が土とふれあい、農業・食糧に対する理解と興味を深め、さらには親子のコミュニケーションの場、市民のレクリエーションの機会を提供することと、地元で生産された安心・安全な食材への関心を深めていただくことを目的とし、現在、市内5カ所に市民農園を設置している。 具体的な手順としては、土地所有者から年間20,000円/10アールで農地を借上げ、1区画約25㎡の区画を作り、貸付を希望する市民へ無料で貸し出している。貸し出し期間は2年間。貸し出しの申し込みは農政畜産課窓口で受け付けている。 職員の事務としては、利用申込み受付・貸出事務及び空き区画等の整備である。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	利用者数		人	88	87	87	87	87
1	整地面積		m²	2,626	2,626	2,626	2,626	2,626
ゥ	講習会開催数		П	0	0	0	2	2
(2	2)事務事業の目的							
_	対象 維、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	霧島市民で農園利用を希望する農業 者以外の者	市民	人	127,475	127,283	126,842	129,360	129,000
1								
ゥ								
4	意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	農業に対する理解を深め、地産地消 の意識を高める。	市民農園の利用率	%	98	100	100	100	100
1								
ゥ								
(3	3)上位の基本事業							
_	基本事業の意図 ぶらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	安心・安全な農林水産物を供給する。	地元産の農林産物を積極的に購入している 市民の割合	%	76	77	76	78	78
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等

「農業者以外でも気軽に利用できる農園を開設してほしい。」と、市民から要望があり、旧国分市において昭和57年頃から開設している。当初2農園を開設していたが、利用希望が多かったため、徐々に開園数を増やし、現在は5農園を開設している。開設当初に比べ、特定農地貸付事業や市民農園整備促進法が制定されたことで、市町村の農園整備体制が整い、全国的に多くの市民農園が開設されている。

4.	. 事業費の推移						単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
								(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	と出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	ブ	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	53	53	53	53	53
量		事業費					千円	53	53	53	53	53

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

5農園について、利用希望のある市民へ農園の貸し出しを行い、空き区画は、病害虫の発生要因とならないよう管理した。 26年度は53千円を使用料として支出

利用者の農業に対する理解を深めるとともに、自家消費用野菜を生産することで地産地消の意識を高めることができた。

-	事務事業 コード 0106010303010502 事務 事業名 市					市民	農園	運営事	 業	担当部 農林水産部 担当課 農政畜産課				
6.			<see></see>	•	7-7/- 1					175		_	及以	田庄吥
	П				事業の意図に終	きびついています:					費用	野菜		されている では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
	_			いている	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7			医地質に結び		೧೭೭	よ、女	心*罗	で主な地元座の	ノ辰性物の供和
A	H			いている ニーニー 」に結びついてい	. Z									
目的妥当性	H				'ବ									
妥当	Н	.= 0		いていない <mark>ぜ市が行わなけ</mark>	- h 1 # t > C t > 1 \ (りですかっ		木市に	おいては、民間	男での	農園	盟設/	Sはもしん,どかい	ため 現時占
性	2	•税金	を投入し	て達成する目的	ですか?	7 (9 1) :			実施するのが				714670674	1000 C 5000 M
			妥当で	ある										
			見直す	必要がある										
	3	成果	が向上す	る余地(可能性)	はありませんか	٧?		現在10	00%の利用率	の為、	向上	する名	食地はほとんど	ない。
	F		向上す		ある									
	H		向上す	る余地はある程	 ≧度ある									
	H	_	向上す	る余地はほとん	どない									
	a) 處止	・休止の暑	ジ響はありません	.tv 2									が気軽に土や
B 有 効 性	4) 廃止),j, :			目然に	親しむ機会が	少ない	ため	影響7	がある。	
効 性	L		影響が											
	L	U INT. Inc.		「ほとんどない 12	T. 45		7/2			1				
	(5	類似 事業	の目的(ヌ	対象・意図) 又は たんか?(市以外の	形態(イベントや) の主体が実施する	啓発等)を持つ他 <i>0</i> らものを含む。)	り事務		事業がある場 事務事業名等					
	Г		類似の	事業はない										
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
	Г		類似の	事業があり、統	合又は連携で	≛ る								
	6	- 事務	事業の手段	设(やり方)を工夫で 付先に働きかけて	することで、事業費	を削減できませんが ずできませんか?	か?	事業費	は借地料(必頭	要最低	限)0	りみで	あり、削減の名	余地はない。
	H	110-25.	削減で		、中の英語と西郷	x CC & C7010 .								
c	H		削減で											
C効率性	H				することで、人件看	貴(延べ業務時間)を	·削減			の申	請手組	売きを	行なうのみでる	あるため削減余
性	7	')できま	せんか?	むや委託により人作				地はな	<i>∨</i> ,					
	r	-	削減で	きない										
			削減で	きる										
_	8	事務	事業の内	容が一部の受益 負担の公平性が	者に偏っている	ませんか?								との違いがある 検討していく必
D公平性	Ľ	<i>عاد</i> .		公正である	は下でなっている	9 13 :		要があ		2104 /	<i>7</i> \ 2	. == /3 1	BM WSIX E. C.	展刊して (治
性	H			必要がある										
	- 1 1/				h Silveria									
7.	13	火評価	応果 < I	PLAN>(組箱	(决定)	【参考】前年	度の改革	本改善の方	方向性≪		i	生統		>
			の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合		休止	廃止
改	善()	り方向性	Ξ	0										
				地域性を考慮し	ながら市民から	らの要望に応じて	、国分均	也域以夕	トの場所への記	ひ置を	検討	してい	<i>ن</i> <.	
			度の改											
		售の内額 組むべ₹	字 き課題)											
				地域性を考慮し	ながら市民から	らの要望に応じて	、国分均	也域以夕	トの場所への記	ひ置を	検討	してい	<i>ن</i> <.	
(3 向) 平 性•	成28年 取組目	度の方 標											
8.	27	欠評価領	吉果 (担	当部長評価)										
				継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	綻小	連携		統合		休止	廃止
		·務爭業 方向性	の改革		トソカ以苦	コヘド加工	176	_{ዛባ} ዘ ላ	建 仿		יואר 🗖			
(2) 総	注												

事務事業 010601	0303010502	事 務事業名		市民	農園運営事業	_	担当部担当課	農林水産部 農政畜産課
9. コストの推移								
(単位	立:千円)	平成26年	年度(》	夬算)	平成27年度	(当初予算)	ম	亞成28年度(計画)
1 報	栅							
2 給	料业等							
3 職員手	э 寺 費							
5 災害補								
7 賃	金							
8 報 償	費							
9 旅	費							
10 交 際 11 需 用	費 費			0			0	0
消耗				0			0	0
燃料								
食 糧								
印刷製								
光 熱								
修								
飼料								
医薬材								
12 役 務	費			0			0	0
通信運								
広 告								
手 数 保 険								
13 委 託	料							
14 使用料及び				53			53	53
15 工事請								
	料 費							
17 公有財産則 18 備品購								
18 備品購								
20 扶 助	費							
21 貸 付								
22 補償補填及び								
23 償還金利子及								
24 投資及びb 25 積 立	金							
26 寄 附	金							
27 公 課	費							
28 繰 出	金							
計				53			53	53
特 国庫 3				0			0	
特定財源内である。				0			0	
財源内訳を対象を				0			0	
一般	す 源			53			53	53
計				53			53	53
補助率	国							
補 助 基 :	県 木 頞							
平成26年度補正		÷:0		立中で	连特定財源内訳			
当初予算		\ <i>/</i> /b	53		区分区分		 名称	金額
補正予算	[0					
流用・充足	刊							
予算合計			53			合 計		0

		平成2	7年度	1	事系	务事	業振:	返りシ-	-ト	(3	平成26年度	実施事業の	の振返り)		
1. 基本情報															
事務事業	0106010203010502	事務事業	名 物産館	官管	理证	重営	事業						担当部	農林水産部	
コード				,н ц			1.71						担当課	農政畜産課	
政策名		ある産業のま											グループ	農政第1グ	ルーフ
施策名	75.4	林・水産業の技術	辰興										電話番号	45-5111	
基本事業名		世消の推進								_	単年度のみ		内線番号	2311	
予会計算款科項		水産業費						事業 期間			単年度のの		¥ ⊔	13 年度	~)
<u>昇</u> <u> </u>	00 展初							期間			期間限定義		ξ Π	13 午及)
	75 471	₹其						根拠法令・条	別等		州间收足物	数十尺			,
評価区分	簡易		価対象		1	次評	価	関連計							
					_	D/L P I	Іш	因是旧							
2. 事務事業(<do></do>	章字:	√m /	∌n \4	2)								
<mark>(1)事務事</mark> 【物産館維持管		(具体的なや)	力、于順	、計	神ど	记划	<u> </u>								
国分物産館じょ・4つの物産館の	うもん市場 の施設維持	、溝辺町物産 管理のために	館よこで・ こ、建物保	一ろ、険の	. 横J 文技 技	川物公い	産館よこ および値	でーろ、ネ を理等を行	畐山ふう。	ふくふ	ふくふれあい	館			
① 活動指標	(事務事業	美の活動量)							単位	位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア修理件数													0	0	0
イ物産館数													4	4	4
ウ入館者数													687,908	690,000	692,000
(2) 事務事	業の日的												,	,	,
② 対象	*** H H J		③ 対	争;	台框						24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(誰、何を対象	きにしている	5のか)	_				・きさかま	長す指標)	単	位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
	KICO CV a) 4 2 14 /	(/工,µ		^J =>		10024	人 / 1日1水/			(天/頃)	(大小貝)	(天/頃)	()[[2]	()[(2)
ア															
1															
_															
ウ															
4 意図			⑤ 成						単	位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(②対象をどう	したいのか	7)	/ (左記	4) 意	[図(の達	成度を表	長す指標)	·	_	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア															
1															
ウ															
(3) 上位の	基本事業														
⑥ 基本事業	の意図		⑦ 基	本	非非	<u>(</u> (က)	戊果指	漂	224	<u>/</u> _	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(さらにどのよう	な成果に結	びつくのか)	(左記	⑥意	図の	の達	成度を表	長す指標)	単	1立	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア															
1															
ウ															
0 東敦東雲	クロボカ	化 士日辛日	3 66					_			0.4左座	05年度	00左座	07年度	00左座
3. 事務事業((法改正や事業を取り)				4.	事:	業費	の推移	3	単	位	(決算)	25年度 (決算)	26年度	27年度 (計画)	28年度 (計画)
旧市町の4カ所							日庫	支出金	7.1		(伏昇)	(仄异)	(決算)		
光客に利用され	ι売り上げも	が順調に推移し	人でおり	l		B+			千				0	0	0
、喜ばれている	0			l	事業費	財源内訳	県支		千				0	0	0
				l	書	内	地	方 債	千				0	0	0
				ŧл	۶	訳		の他	千				190	3,797	3,797
				投入量				財源	千				0	0	0
				量	\vdash		事業費		千	円	0	0	190	3,797	3,797
				1	1										
				1	1										
				1	$ldsymbol{ld}}}}}}$										
				<u> </u>	L										
5. 平成26年)	度の実績	及び成果													
(1)平成26年	度の実績	(取組)	取組内容を	数値等	争によ	り具体	的に記載	> (2) ³	平成2	26年	F度の成果	<左言	この実績(取組)	こよる成果を記載	成>
• 建物保险								適性	ア協議	ひが	運営された				

5. 平成26年度の実績及び成果 (1) 平成26年度の実績(取組) < (2) 平成26年度の成果</th> < 左記の実績(取組)による成果を記載> ・建物保険 じょうもん市場: 45,366円 よこで一ろ: 35,103円 よいやんせ: 36,711円 ふくふくふれあい館: 15,603円 適性に施設が運営された。 ・修理件数: 0件。 (2) 平成26年度の成果 本記の実績(取組)による成果を記載> 適性に施設が運営された。 ・修理件数: 0件。 (2) 平成26年度の成果 < 左記の実績(取組)による成果を記載>
Ę	事務・コー	事業 -ド	01060	10203010502	事務事業名	物産	館管理	里運営事	業	担当部担当課		水産部 畜産課
6.		-	<see></see>	•	7.7.1					理由		当 连咏
					事業の意図に終	詰びついています	⁻ か?					
			結びつ	いている								
A]に結びついてい	 \る							
的型			結びつ	いていない								
A目的妥当性	2	·この [‡]	事業をな	ぜ市が行わなけ	ればならないの	のですか?						
^I		□□	を投入し	て達成する目的 	1692017							
				。。 ·必要がある								
	<u>(2)</u>			る余地(可能性)	けなりませく. #	i) 2						
)· :						
				「る余地はかなり 「 る余地はある程								
				る未地はのるた る余地はほとん								
							_					
B有効性	(4)			が響はありません 	ンか? 							
効性			影響が									
		※五/以 4		ばとんどない	IIA台にノノジャコ (内)	マッキ ナセクル	の声数	*天 /N =	5 # 48 ± 7 ±0			
	5	事業は	ありませ	る。原図)又は、	の主体が実施する	啓発等)を持つ他(るものを含む。)	の争伤	無似事合の事	事業がある場 事務事業名等			
			類似の	事業はない								
				事業はあるが、								
				事業があり、統			4: 0	並湿田 2	たい ァ 々畑	産館組合より使	田料な郷面1	この 全類の笠
	6	• 補助金	事業の手見 となど、交	付先に働きかけて	、市の負担を削減	費を削減できません 或できませんか? 	י'תי	囲内には	さいて修繕等?	産品組合よりで を実施している。 接的な負担はな		- C 0 / 亚 (枳 0 / 単区
			削減で	きない) LL C	223(110)	2100	•••	
C 効率			削減で	きる					1-74 - v - V	1 11 -11 44 44 - 11.1	N = A Idaa a A	
平 性	7	できませ	せんか?	设(やり方)を工夫で なや委託により人作		貴(延べ業務時間)る	を削減	文払い	事務のみの為,	人件費等の削減	ぬの余地はない。	0
		●		きない	十貝で削減できま	200 F						
			削減で									
	<u>(R)</u>	事務事	業の内	容が一部の受益	者に偏っている	ませんか?						
D公平性		6/21	<u> </u>	()E () A	確保されていま	:すか? 						
性				公正である ⁻ 必要がある								
	الماد د				A SE prints							
/.	1次	評価報	果 <	PLAN>(組織	(决定)	【参考】前:	年度の改	革改善の方	向性≪			>
		多事業(方向性	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統合	休止	廃止
以音	当07.	刀 IPJ 1主		0								
				物産館と連携を	で取って利用促	進を図りながら、	適正な約	推持管理	に努める。			
(2) 革記	平原 安善	成27年 の内容	度の改									
		むべき										
				・施設維持管理	見のために、引き	き続き建物保険の	支払い	·修理等	を行う。			
(3)	平原	戊28年	度の方									
[P] ⁽ [生・耶	双組目	票									
8	2 /v	評価紀	男 (拒	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·								
				継続	The Control of			(r) :	\ 146	<i>(</i> + <i>)</i>	休止	廃止
(1)	事務	务事業(向性	の改革	<u> </u>	やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小	連携	統合	NATT	光工
(2)	(総	評										

事務コー	事業ード	0106010203010502	事務事業名		物産的	館管理運営事業	担当		林水産部 改畜産課
9. ⊐	ストの	推移					,,	22.	<u> </u>
		(単位:千円)	平成26年	度(決	算)	平成27年度 (当初予算	<u>.</u>)	平成28年度	(計画)
1	報	置							
2	給	料							
3		手当等							
4	共 #	済 費							
5		補 償 費金							
8	<u>賃</u> 報								
9	_ +以 旅								
10	<u>交</u>								
11	需	用 費			3		3,657		3,657
		耗 品 費							
	燃	料費							
	食	糧 費刷製本費							
	光				3		4		4
	修	善繕 料			0		3,653		3,653
	賄	材料費							
	飼	料 費							
		薬材料費							
12	役	務費			133		140		140
		信運搬費							
	広手	<u></u> 告 料 数 料							
	保				133		140		140
13	<u> 体</u> 委	<u> </u>			54		140		140
14		 ∤及び賃借料							
15	工事	請負費							
16		材料費							
17		財産購入費							
18		購入費					0		
19	扶	^{輔助及び交付金} 助 費							
21	<u>ਨ</u> 貸	<u></u> 付 金							
22		 填及び賠償金							
23	償還金	利子及び割引料							
24		及び出資金							
25	積	立 金							
26	寄	附金課費							
27	<u>公</u> 繰	<u>珠 复</u> 出 金							
	計	<u> </u>			190		3,797		3,797
		庫支出金			0		0		
財	定県	支 出 金			0		0		
財源内訳	特定財源	方 債			0		0		
訳		の他			190		3,797		3,797
	— f	_投 财源			100		3 707		2 707
		国			190		3,797		3,797
補	助率	県							
補	助	基本額							
		補正·流用も			平成26年		•		
	当初	予算	3,7	797		区分	名称		金額
		予算		0	その他	建物貸付料			124
				\dashv	その他	土地貸付料			66
				\dashv					
				\dashv					
				_	<u> </u>				

当初予算	3,797
補正予算	0
流用・充用	108
予算合計	3,905

区分	名称	金額
その他 その他	建物貸付料	124
その他	土地貸付料	66
	合 計	190

1. 基本	情報											
事務事	業	01060103	-02010502 車系	な車 幸 夕	夕田 を	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	車業		担当部	農林水産部		
コート	,	01000103	₩ 1.	力学木石	土田角	7.四叶云山四人16	ず未		担当課	農政畜産課		
政策	名	03	活力ある産	産業のまち	づくり				グループ	農政第1グループ		
施策	名	01	農•林•水	産業の振り	興				電話番号	45-5111		
基本事業	業名	06	農林水産	物のブラン	ド化の	性進			内線番号	2311		
予	会計	一般	会計				±**	□ 単年度のみ				
算	款	06	農林水産	業費			事業 期間	■ 単年度繰返 (開始年	F度 H	19 年度~)		
予算 会計 一板会計 算							79] [F]	□ 期間限定複数年度(~)		
目 03 農業振興費							根拠法令·条例等	* 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱				
評価区分 標準評価 評価対象 1次評価					対象	1次評価	関連計画					

2. 事務事業の概要・目的・指標

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

全国茶品評会への出品に対する補助事業。出品実績に応じ1点当りの定額を補助(30,000円/点)する。 茶で有名な宇治や知覧・八女・静岡等の産地は、毎年開催される全国茶品評会の各部門で第1位を数多く獲得しているため茶関係者はもとより多くの消費者へ一流産地として認識されている。 このように全国の品評会で上位に入賞することは、公に品質や加工技術の高さを実証することとなり、霧島市としても霧島茶のブランド確立を図るためにも重要なものである。一方で、出品する際の加工・調整等の指導を行なっているが、実際の生産コストが大きな負担となっている。出品者の負担軽減を図り、全国品評会への取り組みを促進するため、出品した実績に応じて補助するものである。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	全国品評会への出品点数		点	39	33	34	34	34
1								
ゥ								
(2	?) 事務事業の目的							
_	対象 推、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	霧島市茶業振興会員	人数	人	152	145	145	131	131
1								
ゥ								
_	意図 ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	良質茶を出品させる	全国茶品評会入賞点数	点	3	1	3	3	3
1								
ゥ								
(3	り上位の基本事業							
_	基本事業の意図 ならにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	競争力を強化する	荒茶生産量	t	1,709	1,834	1,468	1,600	1,600
1								
ゥ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

字治や静岡等の産地は、全国茶品評会の各部門で第1位を数多く獲得しており、そのため茶関係者はもとより多くの消費者へ一流産地であることが認識されているため、霧島市としても、「霧島茶」の知名度向上及びブランド確立のため平成19年度から開始した。ペットボトル茶の消費が順調に推移している一方で主となるリーフ茶の消費量が全国的に低迷している。合併後、銘柄確立に向けて霧島市茶業振興会が設立され、全体的な事業として会員の理解のもとで、全国お茶まつりへの取り組みを実施している。

4.	事美	装 費	のŧ	推移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
								(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫す	を出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	源 地 方				債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0	0	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	1,170	990	990	960	990
量		哥	業	費			千円	1,170	990	990	960	990

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

出品点数は34点と増加、事業費は縮小。

四品点数[3.54点と理加、事業 普通煎茶10kgの部 16点 〃4kgの部 8点 〃がぶせ茶の部 10点 合計34点 1等1席 有限会社福永製茶 1等4席 存限会社末重製茶

平成26年度補助金額960,000円

出品点数は1点増加し、昨年逃した産地賞・農林水産大臣賞も奪還した が、事業費は削減された。

Ę	事務	事業 -ド	01060	10303010602	事務事業名	全国茶	品評会	出品支	援事業		当 部 当 課		水産部 畜産課
6	_	<u></u> 返り <	(SFF)							1보	理由		田庄环
·	_			の目的は、基本	事業の音図に終	きびついていまる	すか?				質茶を出	品することによ	り、霧島茶の評
					ず未の心内にい	BO 20 CO &	<i>y 1</i> ,5 · ·	価が同	上し、産地として	ての競争	争力が領	風化される。	
A				いている									
目的妥当性				に結びついてい	^ る								
妥业				いていない	1 186 > 6			曲立	物のブランド化	は土耳		71 124 EM11	ナムテムル ヘ
醒	2	·この事 ·税金	事業をな を投入し	ぜ市が行わなけ て達成する目的	れはならない。 」ですか?	りですか?		国茶品	かのフラント化 評会で上位入 こめ市が支援す	賞を果る	たすこと	により霧島茶の	メイル てわり、主)ブランド化が図
			妥当で	ある				54621	C07川1//3-又1反 9	عاسدا	*女コこ	·サイの。	
			見直す	必要がある									
	3	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんだ	٥١/؟			市の茶生産者にの技術を高位				を術研修等により がある。
		_	向上す	- る余地はかなり	lある				21111 - 7 1 1 -				
			向上す	る余地はある程	 ≧度ある								
			向上す	 うる余地はほとん	 どない								
_	4)		* ተ ጣ ጀ	ジ響はありません	,t) ?								バ減少することが
B有効性	9				<i>713</i> .			才想3	れ、結果、他の	余座地	(CFL^)	に競争力が維持	寺できなくなる。
効性			影響が										
		おかりの		「ほとんどない 対象・意図)又は	エンイチビ/ ノベヽ.レ トンi	改み生)たはつか	1の車数	*星 \n	車業がま 7 担				
	5			んか?(市以外の			307 字 作力		事業がある場 事務事業名等				
			類似σ	事業はない				類似の	事業はない				
			類似σ	事業はあるが、	統合又は連携	できない							
L			類似σ	事業があり、統	合又は連携で	きる							
	6	·事務事 ·補助金	業の手段など、交	殳(やり方)を工夫で 付先に働きかけて	することで、事業費、市の負担を削減	費を削減できません 載できませんか?	んか?	ろことと	たるが、出品補	助を削	減する	- とで、出品者・	品質を維持す 出品数とも減少
		•	削減で	きない				し、他産	を地と競争力が	低下す	ることと	なるため削減で	<i>ぎきない。</i>
င္ည			削減で	: :きる									
C効率性	(A)	・事務事	業の手具	设(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減	補助:出来な	金申請等の事務	务に係る	ら時間の	みであるのでド	削減することは
性	<i>(</i>)	できませ・職員以	人外の対応	むや委託により人作	牛費を削減できま	せんか?		四木/よ	v ' ₀				
			削減で	きない									
			削減で										
D	8	事務事また、	業の内 受益者負	容が一部の受益 担の公平性が	を者に偏っている 確保されていま	ませんか? ∶すか?			者は市茶業振り いる農家への助				
公平性		•	公平・	公正である									
性			見直す	- 必要がある									
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組績	赴決定)						district.		
				継続		1	作度の改革			Ι.	継続	休止	廃止
		务事業の 方向性			やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	粉	社合	水正	光工
				O	夕迁北华亚场	·か) - L lo 4 オナ		· 나 · ·	※ リートファー ロ	de de la compansión de	m		マグヰなねい
						等により生産者 比べた競争力が							る経質負担か
		成27年月 の内容	度の改										
		むべき	課題)										
				全国茶品評会 全国の品評会	会への出品に対 会で上位に入賞	する補助事業。	出品実績 茶関係者	責に応じ はもと。	1点当りの定額 より多くの消費者	を補助	(30,0 た産地と	00円/点)する	る。 うことになる。
(3)	平原	戊28年 月	きの方	公に品質や加	『工技術の高さ	を実証することに	こより、霧	島茶の	ブランド確立を	図る。			
向怕	生・取	2組目標	Ę.										
8.	2次	評価結	果(推	当部長評価)									
		多事業の	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	紛	た合	休止	廃止
仪著	5万	向性											
(2)	総	評											

事務コ	条事業 一ド	0106010303010602	事務事業名		全国茶品	品評会	出品支援事	業		旦当部 旦当課		林水産部 改畜産課	
9. =	コストの	推移											
		(単位:千円)	平成26年	度(法	央算)		平成27年度	(当初予算))	平	成28年度	(計画)	
1	報		1 777== 1	·~ ·*	1217		177-172	. (= 1,5 1 51 /			.,,,== 1,,~	· · · · · ·	
2	給												
3		手当等											
4	共 #	済費											
5 7		子補 償 費 金				+							-
8	 報	<u></u> 償 費											
9	旅	費											
10	交	際費											
11	需	用 費 耗 品 費			-				0				0
	燃燃												\dashv
	食												
		刷製本費											
		熱水費											
	修賄	# 料 樹材 料 費				+							\dashv
	飼	料費											\dashv
	医	薬材料費											
12	役	務費)			0				0
	通広	信運搬費告料				-							_
	手												
	保												
13	委	託 料											
14		科及び賃借料				-							_
15 16		ま 請 負 費 <u></u> 材 料 費											
17		財産購入費											\dashv
18	備品	購入費											
19		補助及び交付金			99				960			!	990
20 21	<u>扶</u>	助 費 付 金											
22		<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>				+							\dashv
23		利子及び割引料											
24		及び出資金											
25 26	<u>積</u> 寄	<u>立</u> 金 附 金				-							_
27	可 公	課費											
28	 繰	出 金											
	計				99				960				990
	特層	庫支出金)			0				
財源	足 児 財 地	庫支出金支出金方債の他							0				
財源内訳	源を	の他							0				_
訳		般 財 源			99				960				990
		計			99)			960				990
衤	甫助率	国県				+							\dashv
補	助	基本額											
平成		₹補正・流用も	大況		平成26	丰度 特	非定財源内訓	₹					
	当初]予算		990		区分			名称			金額	
	補业	予算		0	-		+						\dashv
													\equiv
								,					
				\dashv	-								\dashv
				\dashv			+						_
			I	- 1	1						- 1		- 1

流用・充用

予算合計

990

1	. 基本	情報											
	事務事	業	0106010	303010604	主	学 夕	電 色点	三物等ブランド 確	# 	DD重紫		担当部	農林水産部
	コート	,	0100010	303010001	学 がサッ	*1	粉 四 圧	三7の守ノフィド作	E 1/.	IN事未		担当課	農政畜産課
	政策	名	03	活力	ある産業の	りまち~	づくり					グループ	農政第1G
	施策	名	01	農•ホ	木・水産業(の振興	Į					電話番号	45-5111
2	基本事業	業名	06	農林	水産物のご	ブラン	ド化の排	 推進				内線番号	2314
	予	会計	一般	会計						± **	□ 単年度のみ		
	算	款	06	農林	水産業費					事業 期間	■ 単年度繰返 (開始 ^年	 手度	年度~)
	予 算 科 目	項	01	農業	費					77][1]	□ 期間限定複数年度	(~)
	目	田	03	農業	振興費					根拠法令·条例等	霧島市補助金等の種類及	及び補助率に関	引する要綱
	評価区	分		標準評	平価	評価	対象	2次評価		関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市の農産物を広く内外にPRし、地場農産品のブランド化へつながるきっかけ作りを展開する。また生産者から地域消費者へ地産地消の理解を得るため、地元商店街などのイベントを活用した農商工連携により更に消費を促す事業を創出する。(平成26年度は国・県とも事業採択なしのため、お茶関係のみの事業となる)

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア TVCM等実施回数		回	4	32	3	30	30
1							
<mark>ф</mark>							
(2) 事務事業の目的							
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
市民	市の人口	人	127,475	127,283	126,773	129,360	129,679
1							
<mark>ф</mark>							
① 意図(②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア霧島農産物の知名度向上	PRホームページのアクセス数(述べ)	件		17,998	4,826	20,000	20,000
1							
<mark></mark> ქ							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 競争力を強化する	荒茶生産量	t	1,709	1,834	1,456	1,850	1,850
1							
<mark>ㅎ</mark>							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

本事業は、平成24年度国の緊急雇用事業を活用して開始された。メディア等を活用した継続的なPRに対し、生産者から好評を得ており、継続して欲しいとの要望が強い。

А	車手	* 曲	m±	推移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	-T'>		,001	圧ヤシ			丰区	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			国	庫3	と出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	12,000	6,004	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	J	ל	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	0	3,108	3,264	1,698	1,698
量		事	業	費			千円	12,000	9,112	3,264	1,698	1,698

5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組)

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載

・霧島産物PRホームページ作成 ・リビング新聞への観光農園広告・農産物PR記事・年末物産館情報掲載

平成26年度は、ホームページ「霧島の旬」やリビング新聞に観光農園開園広告や霧島市の農産物に関する記事、年末年始の物産館情報を掲載し霧島市の農産物PRに取組んだ。その結果、知名度向上・消費拡大 へと繋がった。

		事業 ード	01060	10303010604	事務事業名	霧島産物	等ブラン	ンド確式	ZPR事業	担扣	当当	部課		水産部 畜産課
6	_	J返り <	(SEE)		- 予不日					1년		_	長以	田 庄 味
<u> </u>				の目的は、基本	車業の音図に約	±びついていまっ	ナかっ	霧島	産物に係るPR	により	霧島	産物の地	也域内外にお	おける知名度の
					サ未 の 心 囚 に 巾	BO 20 CO & 9	9 /3 · :	向上を	図ることは、競	争力の)強化	に繋が	る。	
L	<u> </u>			いている										
A目的妥当性	_			に結びついてい	\									
妥当	L			いていない	1. 184. > 4.1.	n-+1. n		士の「	豊産物のPR、	ブニい	いルナ	, p +6-4	一面如ったり	
性	2	·この事 ·税金る	まをな と 投入し	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ればならないのですか?	りじゅか?		11107)	長生初のFR、)) /	1176	. 口1日 9	AXALL COSS.	女ヨしめる。
			妥当で	ある										
			見直す	必要がある										
	3	成果が	向上する	る余地(可能性)	はありませんか	٧?			アやイベント活 余地はある。	f用等.	より効	果的な	PRを推進す	ることによる成
	T	-	向上す	ー る余地はかなり	ある									
			向上す	 る余地はある程	 ≧度ある									
			向上す	 る余地はほとん	どない									
L	4)廃止⋅€	木止の影	・ ど響はありません	<i>か</i> ?			農産	物のPR. ブランの廃止、休止	/ド化/	は時間	をかけ	て取り組む。	と要があり、現
B有効性	Ë		影響が					权陷し	り 廃止、	は事未	:3017	73-72 V 1	0	
州性	\vdash			`øる 'ほとんどない										
	<u></u>	* 新小の		·はこんこない 対象・意図) 又は	形態(イベントや)	啓発等)を持つ他	の事務	類似	事業がある場					
	5			んか?(市以外の			100 T- 101	合の	事務事業名等					
			類似の	事業はない				該当な	L					
	_		類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
	L			事業があり、統					東米)をおか	-7 - 1.	~: ldt 1	ルヘ た	4ナ.巫.ロップ	ま 本 本 小 小 ト っ
	6	・事務事・補助金	業の手段など、交	役(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業質 、市の負担を削減	愛を削減できません 域できませんか?	いか?	ながる。		ること	で相り	奶金父'	内を交けてす	¥業費削減につ
			削減で	きない										
C 効 率			削減で	きる										
率性	7	事務事できませ	業の手段	设(やり方)を工夫で	することで、人件	貴(延べ業務時間)	を削減	補助	事業等で実施	してい	るため	入人件	費削減の余	地はない。
-	Ľ			なや委託により人作	井費を削減できま	せんか?								
	_			きない										
	_	車数車	削減で	さる <mark>容が一部の受益</mark>	**ターにってい	±++4.10.2		市の日	農産物を全般に	わた Pi	RLで	おりが	、平・公正で	ふ ろ
D 公平	8			担の公平性が				.,,,,,,	K/11 1/4 C 11/1X/	. 51 – 2				-> 40
平性			公平・	公正である										
			見直す	必要がある										
7.	1次	(評価結	果 <f< th=""><th>PLAN>(組稿</th><th>決定)</th><th>【参考】前</th><th>年度の改</th><th>革改善のフ</th><th>5向性≪ 継</th><th>続・や</th><th>り方に</th><th>枚善・コ</th><th>スト縮小</th><th>></th></f<>	PLAN>(組稿	決定)	【参考】前	年度の改	革改善のフ	5向性≪ 継	続・や	り方に	枚善・コ	スト縮小	>
(1) 車:	務事業の	おおり	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小	連携	T	統合		休止	廃止
		方向性	744	0	0				~		170 1			
				-	_	<u> </u> ントを活用したF			 ージの内容を	 充実さ	せる。			
(2) 亚	成27年月	±or≥t											
革	改善	の内容												
(4)	くつ小	TO. 40	本区/											
				霧島市の農産	<u></u> を物を広く内外し	こPRし、地場農	産品のフ	ブランドイ	上へつながるき	つかに	ト作り?	を展開っ	する。また生涯	産者から地域消
				費者へ地産地る。	肖の理解を得る	ため、地元商店	街などの	ハイベン	トを活用した農	商工证	車携に	より更	に消費を促っ	上事業を創出す
		成28年月 取組目標												
	_													
8.	2次	(評価結	果(担	当部長評価)										
(1) 車:	務事業の	はない	継続	やり方改善	コスト拡充	776	·縮小	連携		統合		休止	廃止
		份事業0 「向性	/以半		1 //3 - 4	VI 1/A / C	-//	-murari	<i>是仍</i>		-176 H			
					<u> </u>	l	L		<u> </u>					
(2)総	評												
				İ										

事務コー	事業ード	01060103030	010604	事 務 事業名		哥	雾島産物 ^会	 等ブランド確立	PR事業	担当担当		林水産部 改畜産課
9. ⊐	ストの	推移										
		(単位∶∓		平成264	年度	(決	算)	平成27	丰度 (当初予算	.)	平成28年度	(計画)
1	報		酬									
2	給		料									
3	職員	. 手 当	等									
4	共	済	費									
5	災害	補償										
7	賃		金									
8	報	償	費									
9	旅	T/a/a	費				133	3		150		150
10 11	<u>交</u> 需	<u>際</u> 用	費費				100	\		0		0
''		 耗品					100			0		0
	燃		費				100					
	食	糧	費									
		刷製本					(0		
		熱水										
	修	繕	料									
	賄											
	飼	料	費									
		薬材料										
12	役区	務	費				1,548			1,548		1,548
	坦広	信運搬					1,548			1 540		1 5 4 0
	手	<u>告</u> 数	料料				1,548			1,548		1,548
	保		料料									
13	<u> ^</u> 委	<u>联</u> 託	料料				483	1		0		
14		 ↓及び賃借					(+		0		
15		請負										
16	原	材 料	費									
17		財産購入	_									
18		購入										
19		補助及び交					1,000			0		
20	扶	助	費									
21 22	貸端偿摊	付 填及び賠償	金									
23		利子及び割り										
24		及び出資										
25	積	立	金									
26	寄	附	金									
27	公	課	費									
28	繰	出	金									
	計	<u> </u>	11. ^				3,264	:		1,698		1,698
	特児	庫支出					(1		0		
財源	特定財源		遺				(0		
財源内訳	源を	<u></u> の	他				(0		
訳		 般 財	源				3,264			1,698		1,698
		計					3,264			1,698		1,698
神	助率	国					-					
		県										
補		基本										
平成2		補正・流	用划		0.7.1		平成26年	F度特定財源	内訳	h *L		A +T
	当初]予算 子質			,664			区分		名称		金額
		予算 E第7号			<mark>,700</mark> ,700							0
	I.411	-2117		0	,,,,,,							

当初予算	3,664
補正予算	8,700
補正第7号	8,700
流用・充用	18
予算合計	12,382

区分	名称	金額
		0
	合 計	0

事務事業	1 其士	梅椒			平	成27	7年度	3	事系	务事	集	₹振	返	リシ	_	- (平成	26年度	実	施事業(の振り	図り)				
20年度 1989年8月 20日本の子の 20日本的保持管理生産 20年度 20年度 20年度 20年度 20年度 20年度 20年度 20年度 20日本の子の 20日本の子の 20日本の子の 20日本の子の子の子の子の子の子の子の子の子の子の子の子の子の子の子の子の子の子の子					± 75.	، بالد ج	4,	(A) A		۰, مود	. ^	al - 10	4 17 1		fint-	-m	4				担当	部	農林	水産	-B	
無策名 3.1 仲 今公は改選の相談			01060103	307010201	事務事	事業名	1 牧園絲	総合	支店	折庁	舎	内茶	〈樹 〉	維持	管	里事業	皂									
基本業別 22 所有整めの過出等現と有効所用			07					づくり)																ルー	プ
###		• •		0-	2 0.7.4.740		7,00.													_						
##					「財産の近	適正管	理と有効	为活力	Ħ								1 224	ケー エー・	71		内線	番号_	2311			
評価医分 評価を対し 評価の対象 である。 である	*** *** *** *** *** *** *** *** *** *							開始年月	ŧ	Н	4	年度	~)													
評価区分 評価区分 評価の対象 1次評価 関連計画 1次評価 1元 1元 1元 1元 1元 1元 1元 1	科													期間	引						~	• •	~	12		
1) 著語事業の概要・目的・指揮			03	農業	美振興費								_			0.0										
(1) 事務事業の郵優・具体的水やウル、中間、溶解を示診							価対象		1	次訊	価	_	異	連記	十画											
(全国を含文所庁舎の沿道に英樹3000本程度と大茶樹が中心のために植栽してあるので、維持管差するものである。 (本語) 活動指標(事務事業の活動量) 単位 (実験) (実験) (実験) (実験) (実験) (実験) (実験) (実験)																										
報告 操作																										
中位 (実績) (実統) (実統) (実統) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込																										
2)	① 活動	指標	(事務	务事業	きの活動	量)										単位										
で	ア管理	作業														П		5		5		5		5		5
で	1														\top											
(2) 事務事業の目的 (2) 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標) 単位 (左記②対象の大きさを表す指標) 第 (実績) (実績) (実績) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込															+											
②対象 (進、何を対象にしているのか) (左記②対象の大きさを表す指標) 単位 (実績) (実績) (実績) (実績) (実績) (実績) (実績) (実績)	ウ																									
(左記②対象の大きさを表す指標) (実績) (実績) (実績) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込) (見込			業の	1的																						
7 高道末			5171 ×	アレ、フ	(DA)						_ +_	\$- ≠. -	#}-	- 144	,	単位					1					
***			KILL	(11/3)V)/J ⁴)	34				(0))	(2)	223	交 9	扫悰		AA- ==					-		(5		()	
(金) 意図 (2対象をどうしたいのか) (左記④意図の達成度を表す指標) 単位 (実績) (実績) (実績) (目標) (目標) (目標) (目標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日	ア 沿道:					Yr.	1直条植根	財場乃	η						_	箇別		3		3		3		3		3
 ② 意図 ②対象をどうしたいのか) ②対象をどうしたいのか) ○ 成果指標 (左記①意図の達成度を表す指標) 単位 (実績) (実績) (実績) (目標) (目標) プ 適切に管理する	イ大茶	樹				ナ	大茶樹植植	計場所	F							箇所		1		1		1		1		1
(②対象をどうしたいのか) (左記①意図の達成度を表す指標) (左記①意図の達成度を表す指標) (左記①意図の達成度を表す指標) (支統) (実統) (実統) (実統) (実統) (実統) (実統) (実統) (目標) (目標) (目標) (目標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日	ウ																									
(空対象をどうしたいのか) (左記④意図の達成度を表す指標) 単位 (実績) (実績) (目標) (目標) (目標) (目標) (1 標) (1 样)	7					(5) _{fi}	里	台標	ı							2	4年度	2!	5年度	26	年度	27:	年度	28:	年度	
(3) 上位の基本事業 (6) 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか) ア 新たに確保された自主財源額 実績額 千円 77 85 89 89 89 イ カ		-	したい	いのか	<i>i</i>)						成月	度を表	表す	指標)	単位					1		1			
(3) 上位の基本事業 (6) 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか) ア 新たに確保された自主財源額 東繍額 ・ 千円 77 85 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89 89	ア適切	こ管理・	する			隊	余草回数									□		5		5		5		5		5
(3) 上位の基本事業 (③ 基本事業の意図 (さらにとのような成果に結びつくのか) (左記⑥意図の達成度を表す指標) (左記⑥意図の達成度を表す指標) (左記⑥意図の達成度を表す指標) (実績) (実績) (実績) (実績) (実績) (実績) (実績) (実績	,																									
(3) 上位の基本事業 (6) 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか) (左記⑥意図の達成度を表す指標) (左記⑥意図の達成度を表す指標) (支稿) (実績) (実績) (実績) (実績) (実績) (実績) (実績) (実績															+		-									
(金 基本事業の意図 (左記⑥意図の達成度を表す指標) 単位 (実績) (25年度 (実績) (1目標) (目標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日標) (日																										
(まらにどのような成果に結びつくのか) (左記⑥意図の達成度を表す指標) 単位 (実績) (実績) (実績) (目標) (目標) (目標) ア 新たに確保された自主財源額 実績額 千円 77 85 89 89 89 89 89 4											_				_											
ア 新たに確保された自主財源額 実績額 千円 77 85 89 89 89 イ ウ 3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法文庫や事業を取りを保障変化、市民や議会などからの意見等) (法文庫の事務事業の環境変化、市民や議会などからの意見等) (法文庫の事務事業の環境変化、市民や議会などからの意見等) をは、業績み体験や各種イベントで利用するため植 我し管理してきた。また、収穫本業は加工し町 内の学校給食等でPRを兼治本業は消費されて とた、管理形態については本庁農政畜産課に おいて行っていたが、平成25年度政畜産課に おいて行っていたが、平成25年度政畜産課に おいて行っていたが、平成25年度か畜産課に おいて行っていたが、平成25年度が高の樹木 としての管理のみを実施。市民等からの意見は 特になし。 4. 事業費の推移 単位 (決算) (決算) (決算) (決算) (決算) (決算) (決算) (決算)					w 10 - 4 m	, ,								바스		単位										
1								心思	以凶) 達	卢 及 <i>[</i>	夏 ど オ	衣す	括悰		- m	1		1				((
3. 事務事業の環境変化・市民意見等	が新たり	こ催保さ	された	目王財	原額) 3	長績額									十円		77		85		89		89		89
3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法文工や事業を取り後く環境変化・市民意見等 (法文工や事業を取り後く環境変化・市民意見等 (法文工や事業を取り後く環境変化・市民で議会などからの意見等) (法学) (法学) (法学) (法学) (法学) (計画)	1																									
3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法文工や事業を取り後く環境変化・市民意見等 (法文工や事業を取り後く環境変化・市民意見等 (法文工や事業を取り後く環境変化・市民で議会などからの意見等) (法学) (法学) (法学) (法学) (法学) (計画)	ウ																									
### 10 (決算) (決算) (決算) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画) (計画		古坐	か理·	春水	化, 古足		ケ										2	4年度	21	左座	26	年度	27/	生産	20.	左座
平成4年に牧園町庁舎建設・整備の際に、訪問者に茶産地であることのPRや小学生等を対象に茶摘み体験や各種イベントで利用するため植機し管理してきた。また、収穫茶葉は加工し町内の学校給食等でPRを兼ね茶葉は消費されてきた。管理形態については本庁農政畜産課において行っていたが、平成25年度から管理は牧園産業建設課で行い、予算要求についても平成27年度からは牧園地域振興課で行う。現上しての管理のみを実施。市民等からの意見は特になし。 国庫支出金千円 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0								4.	事	業費	tσ	推和	多			単位										
に茶摘み体験や各種イベントで利用するため植 裁し管理してきた。また、収穫茶葉は加丁上町 めの学校給食等でPRを兼ね茶葉は消費されて きた。管理形態については本庁農政畜産課に おいて行っていたが、平成25年度から管理は牧 園産業建設課で行い、予算要求についても平 成27年度からは牧園地域振興課で行う。 現在は、茶葉については収穫せず沿道の樹木 としての管理のみを実施。市民等からの意見は 特になし。											玉	庫	支	出金	È	千円			_				(1		(1	
大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪	者に茶産 に茶摘み	地では	あること	のPF	マや小学タントで利用	生等を 田する	対象ため植	ı	車	財	県	支	Z L	出 숲	È	千円		0		0		0		0		0
はいて行っていたが、平成25年度から管理は枚 園産業建設課で行い、予算要求についても平 成27年度からは牧園地域振興課で行う。 現在は、茶葉については収穫せず沿道の樹木 としての管理のみを実施。市民等からの意見は 特になし。	裁し管理	してき	た。ま	た、中	種茶葉	は加工	し町	ı	業	│源	+#	1	方	債	ŧ	千円		0		0		0		0		0
國産業建設課で行い、予算要求についても平成27年度からは牧園地域振興課で行う。 現在は、茶葉については収穫せず沿道の樹木 としての管理のみを実施。市民等からの意見は 特になし。	きた。管理	里形態	につい	いては	t本庁農園	政畜産	を課に	l	費	訳	そ	-	の	ſt	b	千円		0		0		0		0		0
成27年度からは牧園地域振興課で行う。 現在は、茶葉については収穫せず沿道の樹木 としての管理のみを実施。市民等からの意見は 特になし。								投入			-	- 船	3 月	才 源	•			88		85		71		0		89
としての管理のみを実施。市民等からの意見は 特になし。	成27年度	からに	は牧園	地域:	振興課で	で行う。		量		- 3	事為	美費			\perp	千円		88		85		71	_	0		89
5. 平成26年度の実績及び成果	としての管	管理の		東部																						
	付になし	0													+		-									
									\vdash						+		-									
		00/5	dt ou	白色	71. + C - B. E			<u>_</u>																		
							r on Late by	441 - 1-4+ An	61 x Y					(0)		-1-00		- A F								

沿道茶及び大茶樹の維持管理 4月と9月の2回シルバー委託により剪定を実施。

景観形成のための茶樹の管理となっており、沿道樹木として適正に管理できた。

	事務		01060	10307010201	事務事業名	牧園総合支	所庁舎 賞		維持管理事	担担	当 当 課		K 産部 畜産課
6.			<see></see>	•	7 714 11					1=	理由		4/生体
					事業の意図に終	古びついています	ナか?		としてPR用に ておらず基本!		れている	が、現在は剪定	のみの管理し
			結びつ	いている				73 11 2	(409) 28/14	# / *('-)	MG 2/3	'A' 0	
A	H				 \る								
一般	H			いていない									
目的妥当性	2	·この [‡]	事業をな	ぜ市が行わなけ	ればならないの	のですか?		牧園総	合支所への進	入道路	各沿いにあ	かり、茶産地とし	てのPR用に植
19				て達成する目的	ですか?			樹され	ていることから	巾か官:	埋すること	とが妥当である。	
	<u> </u>	_	妥当で										
H	-			必要がある				茶樹の	維持管理のみ	であり	白上 余地	はない。	
	(3)	成果が	が向上する	る余地(可能性)	はありませんか), <u>S</u>		211122	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		,,,		
	<u> </u>		向上す	る余地はかなり	ある								
	<u> </u>		向上す	る余地はある程	建度ある								
	<u> </u>	_	向上す	る余地はほとん	どない			##* J#L 00	/// rm 井. いよ、ノ	1. J. LI	P \		: N+LHZ 1 + NH/
물	4	廃止•	休止の影	/響はありません	か?			余倒の響があい。	官理質かなく/る。職員が管理	ょったり 里する場	易合、京馬 場合、機械	見上、茶樹がので 成がなく手作業と	か放題となり影合なり 対象
B有効性			影響が	ぶある				۰, ۱					
19			影響が	「ほとんどない									
	5			対象・意図) 又は たんか?(市以外の		啓発等)を持つ他 るものを含む。)	の事務	類似合の	事業がある場 事務事業名等				
			類似の	事業はない				茶とし、	ての管理でなく !の一環として管	、景観	用の沿道	i樹木としての管	理であれば庁
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない			:v> %CUC	3×±%	1 115 C.154	124000	
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる							
	6	·事務 ·補助会	事業の手段	殳(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費、 市の負担を削減	きを削減できません 載できませんか?	か?		度以降は牧園 含めて事業費			振興課で予算化 る。	されており、委
				きない									
ဋ	H		削減で	 きる									
C効率:				殳(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減	平成27	を 生度以降は物 も含めて事業	関総合	支所地域	或振興課で予算	化されており
性	7	できませ・職員!		むや委託により人作	牛費を削減できま	せんか?		安配刀	ではいて事業	質 Vノ円リ	似 示地//	* <i>め</i> /シ。	
	_		削減で	きない									
L			削減で					#1.FER #	· A	- nh w) = I+1 +1 (-1: W1: -21 F	/mm.
밌	8			容が一部の受益 担の公平性が					音への進入追 とができ受益が			られ、だれでも景	観用として眺
公平性			公平・	公正である									
۳			見直す	必要がある									
7.	1次	評価紀	课 <	PLAN>(組制	快定)	【参考】前	年度の改	革改善の	方向性≪ 継続	やり方	できっつ	スト縮小・連携	>
(1) 車系	& 重 業 /	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	그자	縮小	連携		統合	休止	廃止
		方向性		0	. ,,,,,,,,			110	1223				
					 降は牧園総合き	┃ 支所地域振興課	<u> </u> の所管と	なって	<u> </u> ハる。				
(2) 亚 F	世27年	度の改										
革	改善	の内容 しむべき											
(4.	メンルロ	10.40											
				平成27年度以	降は牧園総合え	支所地域振興課	の所管と	なって	<u></u>				
		成28年	度の方 票										
	.— .												
8.	2次	評価紀	果(担	当部長評価)									
(1) 車系	& 重 丵	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小	連携	4	統合	休止	廃止
		向性	-/ W T			,,,,,,,	.,,,,	•	~				
					1	<u> </u>	l		I			1	<u>I</u>
(2)総	評											

事務事第コード	0106010307010201	事務事業名	牧園総合	支所庁	舎内茶樹維持	管理事業	担当部 担当課		林水産部 対畜産課
9. コスト	の推移								
	(単位:千円)	平成26年	度(決算)		平成27年度	(当初予算)		平成28年度	(計画)
1 報	酬								
2 給3 職	料員手当等								
4 共				+					
5 災	害補償費								
7 賃 8 報	<u>金</u> 償 費								
8 報 9 旅				+					
10 交	際費								
11 需				11			0		11
	消 耗 品 費 燃 料 費			11			0		11
	食糧費								
	印刷製本費								
	光 熱 水 費 修 繕 料								
I +	修 繕 料 賄 材 料 費			$\overline{}$					
	飼料費								
	医薬材料費								
12 役	務 費 通信運搬費			0			0		0
	広 告 料								
	手 数 料								
	保 険 料 託 料			60					70
	武 科 用料及び賃借料			60			0		78
	事請負費								
16 原									
	有財産購入費品 購入費			\rightarrow					
	宣金補助及び交付金								
20 扶									
21 貸 22 補貸	付 金 賞補填及び賠償金								
				+					
	資及び出資金								
25 積									
26 寄 27 公	附 金 課 費			_					
28 繰									
計				71			0		89
[控]	国庫支出金県 支出金			0			0		
財源内	地方債			0			0		
財源内訳	その他			0			0		
	般 財源 計			71			0		89
	雨			71			0		89
補助	県								
	基本額								
	F度補正·流用状	況			を特定財源内記 7/2		カサ		
	自初予算 前正予算		0	[2	3分		名称		金額
	/!								
			\dashv \vdash						
			\dashv \vdash						
			\dashv \vdash						
			\dashv						
	用・充用		18						
_	9算合計		107			合 計			0

				平	成27	年度	暮	耳 彩	事業振	返りシー	- - (:	平成26年度	実施事業の	の振返り)		
1. 基本				古水	± ₩									担当部	農林水産部	ž17
事務事		0106010	0499090902	事務名		畜産約	総務[関係	各種協議	会等参画	事業			担当即	農政畜産調	
政策	 名	3	活力	ある産業	きのまち	っづくり								<u>リールルー</u> グループ	畜産グルー	
施策		1		林•水産氵										電話番号	45-5111	
基本事		1 60		漁業経営	営体へ	の支援						当年中の		内線番号	2321	
予 算 科 目	会計款	06	会計	水産業乳	掛					事業]単年度の∂ ▮単年度繰過			17 年度	~)
异 科	項	01	農業		-					期間		□ 中一及(株) 〕期間限定補		× 11	~)
	目	04								根拠法令・条件						
評価区	<u> </u>		簡易詞	评価	評值	西対象		1	欠評価	関連計	画					
				的·指		<do></do>										
各協議会 【各協議 • 鹿児島県 • 鹿良地	に対 会等】 県肉月	し、負 牛振	担金を 乗協調	議会		, 1 mm	XX HT/	THE C	HUXE)							
① 活動	力指標	(事	務事業	業の活動	量)						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア協議	会参加	ual#r										(美祖)	(夫領)	(美額)	(兄込)	
, 协酸:	云参加	凹級												3	5	5
1																
ウ																
(2)事	務事	業の	目的													
② 対象		.				③ 対				L. A. Hartman	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(誰、何				(د(100)	1	(左記	2(2)ヌ	付象	の大きさをえ	長す指標)		(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア畜産	業各種	[協議会	<u></u>													
1																
ウ																
4) 意图	3					⑤ 成	果指	標			227.7.1	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(②対象	東をど	うした	いのか	z)					達成度を	表す指標)	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア活性の	化され	3														
1																
					-											
ウ (0) ト	<u> </u>	4	-iik													
(3) 上 ⑥ 基本						(7) #	木丰	*	の成果指			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
~				びつくのフ	رد <u>ر</u>				ジススティー)達成度を表		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア経営	体質が	強化さ	sれる													
,																
1																
ウ																
3. 事務	事業	の環	境変	化·市民	意見	等	1	車:	準費の推 和	Ż	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		巻く環境	竟変化、市	市民や議会な	などからの	意見等)	Τ.	च र ≥				(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
特になし										支出金	千円			0	0	
								事	源量	<u>出金</u> 方 債	千円			0	0	0
								業費	内 —	<u>方</u> 債の他	千円			0	0	0
							投			と財源	千円			389	389	378
							投入量		事業費		千円	0	0		389	378
							*									
5. 平成																
<mark>(1)平成</mark>					<取	組内容を	数値等	により	具体的に記載			年度の成果		己の実績(取組)	による成果を記	載>
【各協議:	会等】									各協調	義会等へ	負担金支払 ¹ ・負担金を支		こより、各協語	議会等の活	動が活性
・鹿児島	県肉用	月牛振	興協 30,00	議会221, 0円	000円					化した						
•姶良地					9											

4	事務等		01060	10499090902	事 務 事業名	畜産総務関係	係各種	劦議会	等参画事業	担当部担当部		<u> </u>
6.	振り	返り <	SEE>	>						理日		
	1	この事	務事業の	の目的は、基本事	事業の意図に絹	詰びついています	か?					
			結びつ	いている								
音			間接的	 かに結びついてい	る							
的妥			結びつ	いていない								
A目的妥当性	2	·この - 粉合:	事業をな	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ればならないの	つですか?						
-		- 1元 亚 1	妥当で		C 9 70 :							
				 ⁻ 必要がある								
	3	成果が		る余地(可能性)	はありませんか	12						
				る余地はかなり								
				- る宗地はかなり 								
				る余地はほとん								
	<u>(4)</u>			影響はありません								
B有効性												
畑性			影響が	`ळ ヾほとんどない								
		類似σ)目的(文	オ象・意図) 又はま	 杉態(イベントや原		の事務	類似	事業がある場 事務事業名等			
	5			・	D主体が実施する	らものを含む。)		合の	事務事業名等			
				事業はない	なみなけ 連携・	マキナ い						
)事業はあるが、)事業があり、統								
	6			受(やり方)を工夫すけたに働きかけて			か?	各協議	会において市	町負担金額が	決定されるため、	削減できない
	0				、市の負担を削減	載できませんか?		0				
C		_	削減で	きない 								
C効率性		- 事		でもの 役(やり方)を工夫す	トムニンで 人件書	(証べ業務時間)	を削減で	負担金	納入の事務の	みであるため、	削減できない。	
性	7	ざまぜん	ייתע:	なや委託により人作			C 13/19% C					
		-	削減で	きない								
			削減で	きる								
D	8	事務事また、	業の内 受益者負	容が一部の受益 負担の公平性が研	者に偏っている 確保されていま	ませんか? すか?						
公平性				公正である								
性			見直す	一必要がある								
7.	1次	評価結	果 <i< th=""><th>PLAN>(組織</th><th>決定)</th><th>【参考】前</th><th>年度の改革</th><th>直改善のプ</th><th>方向性≪</th><th></th><th></th><th>></th></i<>	PLAN>(組織	決定)	【参考】前	年度の改革	直改善のプ	方向性≪			>
(1)	車数	8事業の	カルギ	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト		連携	統合	休止	廃止
		方向性		0	(7/) (4)		7/(1	사다.	Æ155	יוטני בו		
				各協議会へ積板	 亟的に参加する							
(2)	平成	戈27年 月	きの改									
革	女善(の内容 むべき										
(-)/	7.12		IPINES /									
				【各協議会等】	下記の協議会へ	への負担金の支持	払いを行	う。				
(-)	. — _	<u> </u>		·鹿児島県肉用 ·鹿児島県畜産 ·姶良地域酪農	協会							
向情	生•取	发28年原 双組目標	芟の力	"妇 尺 地 域 胎 辰	建附协战云							
8.	2次	評価結	果(担	当部長評価)								
		务事業(の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統合	休止	廃止
以刊	善方[刊注										
(2)	総	評										
(2,	JAC.	a i										

事務コー	事業ード	0106010499	9090902	事 務 事業名	₹	畜産総務関係	各種協議会等			当部 当課	農林水產農政畜產	
9. ⊐	ストの	推移										
		(単位: -	千円)	平成26年	年度 ((決算)	平成27年月	医(当初予算	()	平局	戊28年度 (計	画)
1	報		酬	1774=1			1770=173	(<u> </u>			
2	給		料									
3		手当										
4	共	済	費									
5		子補 償										
7	賃	ሥ	金									
8 9	報 旅	償	<u>費</u> 費									
10	<u></u> 交	 際	 費									
11	需	用				0			0			0
	消	耗 品	費									
	燃		費									
	食		費									
		刷製本 熱水										
	修		料						+			
		<u></u> 材料							+			
	飼		費									
	医	薬材料										
12	役	務	費			0			0			0
		信運搬										
	広エ		料									
	手保		料料									
13	<u> </u> 体 委	<u>唤</u> 託	料									
14		ー <u>ロレー</u> 斗及び賃										
15		請負										
16	原	材料	費									
17		財産購入										
18		講 入										
19		補助及び交				389			389			378
20	<u>扶</u> 貸	<u>助</u> 付	<u>費</u>									
22		<u>い</u> 填及び賠										
23		利子及び割										
24	投資	及び出資	資金									
25	積	立	金									
26	寄	附	金									
27	公	課	費									
28	繰計	出	金			389			389			378
		庫支品	出 全			389			0			318
F.1	特児	支出				0			0			
財源内訳	財地	方	債			0			0			
内田		の	他			0			0			_
加	- ;	般 財	源	-		389			389			378
		計				389			389			378
補	助率	月							-+			
補	助		額									
		<u>坐 本</u> 【補正・》		P:0		II chock	 度特定財源内	ip				
一八八		で	ль/T31V	\ <i>U</i> L	389	一,灰,20年	区分	W.	名称		全	額
		" 并 E予算			0		-//		ם יייי		31/	H.F.
											_	
					_							
					-							
					\dashv							
											1	

流用・充用

予算合計

389

				平	成27	年度	3	事務	多事	業振	返りシー	<u>- </u>	(2	平成26年度	実施事業	の振返り)		
1. 基本																AD ALL TO		
事務事		0106010	299999902	事務事	業名	農業	総務	関係	系各科	重協議	会等参画	事業	į		_	担当部 担当課	農林水産部農政畜産部	
政策	-	3	活力	 ある産業	のまた	っづくり										<u>担ヨ昧</u> グループ	農政第1グ	
施策		1		木・ 水産乳												電話番号	45-5111	. ,
基本事	業名	1	農林	漁業経営	営体へ	の支援										内線番号	2311	
予	会計	一般	会計								事業			単年度のみ	<i>*</i>			
予 算 科 目	款	06		水産業	ŧ						期間			単年度繰返		度 H	17 年度	~)
科日	項	01	農業											期間限定複	夏数年度(~)
	7公	02	農業 簡易記	総務費	=17.1	m 計争		1.3	を証	II.	根拠法令・条件							
評価区						西対象	_	11	次評値	Щ	関連計	凹						
2. 事務						<do></do>		/em -2e	201 N.N.									
(1)事					よやりん	ケ、手順	(、評:	神ど	記亚)								
各協議会	会等】																	
県園芸振	・興協記 ・豊 に	議会、 L典学	始良· 継載i	伊佐地地	或農政 (全負力	推進協	議会	、姶	良•伊 图###	佐地域	或農政推進 ☆第セ議会	生協議	会負	負担金、全国 H女農林真林	国山村振興 5 農林業後	連盟負担金、継者育成推	. 県桜島防災 #協議会負	受農推進 日会 カ州
主要産地	市町村	村協議	会会 負	担金、鹿	夏島	L 果茶業技	支術技	3会	会費	X1/X 54.7	1 水 励哦工	云 贝、	、ア	· 压展/小问/2	人民小未仅	州公日 月八八日	正励哦 云只	巨亚、ルカロ
i																		
														0.4左曲	05左帝	00左曲	07左曲	00左座
① 活動	指標	(事	务事業	の活動	量)							単位	ኔ	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
														(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア協議	会参加	回数														10	10	10
1																		
ウ																		
(2)事		業の	目的				1 84 1	h 1=								I		
② 対象			<u></u>			③ 🌣				5. C.S	a) Holms	単位	立	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(誰、何	を対象	をにし、	ている	のか)		(左言	記(2)	対象	の大	きさを表	きす指標)			(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア					-													
1																		
ゥ																		
④ 意图						⑤ 成						単位	,	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(②対象	見をどう	うしたい	いのか)		(左記	24意	(図0	の達点	対度を表	きす指標)			(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア					-													
1													Ī					
					-													
ウ																		
(3) 上	位の	基本基	事業															
⑥ 基本	事業	の意	図			⑦ 基	本	集	の成	果指	票	単位	.,	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(さらにと	ごのよう	な成男	具に結7	びつくのフ	32)	(左記	26億	(図0	の達成	戊度を表	長す指標)	平山	4	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア					-													
1					-													
1					-													
ウ					-													
3. 事務	事業	の理	竟変化	<mark>と•市民</mark>	意見	等				- 111				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(法改正や事							4.	事:	業費	の推移	5	単位	ב	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
										国庫	支出金	千円]			0	0	0
								車		県 支		千円]			0	0	0
								事業費	財源内訳			千円	_			0	0	0
								費	別		の他	千円				0	0	0
							投		II/	· 般		千円	_			1,369	1,387	1,387
							投入量		_	業費		千円	_	0	(1,369	1,387	1,387
							重		-	ハス				3	`	1,000	2,001	1,001
l													-					
l													\exists					
													-					
		rite and	1-1/-1-	7 - A-B-E														
5. 平成	26年	度の	美績人	文び成り	-													

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

(2)平成26年度の成果

【各協議会等負担金支払事務】 【各協議会等】 果園芸振興協議会277,000円、全国山村振興連盟負担金69,000円、始良·伊佐地域農政推進協議会負担金903,000円、県ベ島防災営農推進協議会負費金03,000円、県炭場上。協議会会費8,000円、県農業機械連絡協議会負担金17,000円、全国中山間地域振興対策協議会会費10,000円、伊佐農林高校農林業後継者育成推進協議会負担金22,000円、鹿児島県茶業技術協会会費6,000円九州主要産地市町村協議会負担金55,000円、

【各協議会等負担金支払事務】 各協議会等へ負担金を支出することにより、各協議会等の活動が活性化 した。

	7-		10299999902	事 務事業名	農業総務関	系各種協議会	等参画事業	担 当 部 担 当 課		水産部 畜産課
6.	振り返り <	SEE>						理由	1	
	① この事務	务事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	吉びついています	か?				
		結びつ	いている							
A 目		間接的	に結びついてい	る						
的妥		結びつ	いていない							
A目的妥当性	② ·この事 ② ·税金を	業をなせ	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ければならないの oですか?	のですか?					
		妥当で	ある							
		見直す	必要がある							
	③ 成果が[句上する	る余地(可能性)	はありませんか)\?					
		向上す	る余地はかなり	 Jある						
		-	る余地はある科							
		向上す	る余地はほとん	 どない						
P	④ 廃止・休	止の影	 /響はありません	しか?						
B有効性	_	影響が								
性			。。 ほとんどない							
	⑤ 類似の	目的(対	象・意図)又は	形態(イベントや)	啓発等)を持つ他	の事務類似	 事業がある場 事務事業名等			
	● 事未14.0		あつい (市以外の	の主体が実施する	らものを含む。)	台の	事務事業名寺			
			事業はない 事業はあるが、	統合マけ連進	できない					
			事業があり、統							
	⑥ ·事務事	業の手段	と(やり方)を工夫で	することで、事業費	貴を削減できません	か? 各協議	会において決	 定されるため、p	削減はできない。	
	一一門切並	など、交f 削減で	付先に働きかけて	、市の負担を削減	吹ぐさませんか?					
Ç		削減で								
効率				することで、人件者	貴(延べ業務時間)	~ 	会の支払い事	務のみのため肖	川減の余地はな	い 。
性	(7) できません	んか?	でや委託により人			_177#24				
	-	削減で	きない							
		削減で	きる							
D			容が一部の受益 は担の公平性が							
D公平性		_	公正である			_				
性		見直す	必要がある							
7.	1次評価結り	₽ <f< th=""><th>PLAN>(組織</th><th>赴決定)</th><th>Tab de Tab</th><th>年度の改革改善の</th><th>+</th><th></th><th></th><th>»</th></f<>	PLAN>(組織	赴決定)	Tab de Tab	年度の改革改善の	+			»
		_, _,	継続	40+2 *				/+ ^	休止	廃止
	事務事業の きの方向性	改革		やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	11-22	35.22
			該当なし							
5革)平成27年度 收善の内容 り組むべき記	の改								
(3) 向性)平成28年度 生·取組目標	の方	【各協議会等】 県園芸振興協 金、県桜島防災 高校農林業後	議会、姶良・伊係 後営農推進協議 継者育成推進制	左地域農政推進 注会会費、県農業 協議会負担金、ナ	協議会、姶良・ 機械連絡協議 L州主要産地市	伊佐地域農政技会負担金、全国 田村協議会負	推進協議会負担 国中山間地域振 担金、鹿児島県	3金、全国山村村 興対策協議会: 人茶業技術協会	振興連盟負持 会費、伊佐農 会費
8.	2次評価結果	具 (担	当部長評価)							
(1)	事務事業の	改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	事務事業の 善方向性	以半		,/// 以古	-21 JAJU		A2175	गुप्रच 🖂		
							•	•		•

事務	事業 ード	0106010299999902	事 務事業名	農	農業総務関	系各	種協議会等参	画事業		当部		木水産部 女畜産課
9. =	ストの	推移										
		(単位:千円)	平成26年	度 ()	決 質)		平成27年度	(当初予算)		亚	或28年度	(計画)
1	報	<u>/【【】 </u>	1 19020	-12 (7,	/ 31 /	+	1 1%21 -1%	(40)			ス20十尺 -	(1112)
2	般 給					+						
3		1 手 当 等										
4	共	済 費										
5		解補 償 費										
7	賃	金				+						
9	<u>報</u> 旅	<u>償</u> 費				+						
10	 交					+						
11	需	用 費				0			0			0
	_	耗 品 費										
	燃											
	食	糧 費 刷製本費				-						
		熱水費				+						
	修											
	賄	材料費										
	飼	料費										
<u> </u>		薬材料費				_						
12	役	務 費信運搬費				0			0			0
	坦広											
	手											
	保					T						
13	委	託 料										
14		及び賃借料				\bot						
15		請負費 材料費				+						
16 17		M 科 및 財産購入費				+						
18		·購入費				+						
19		補助及び交付金			1,36	9		1	,387			1,387
20	扶	助費										
21		付金				-						
22		填及び賠償金 利子及び割引料				+						
24		NTX O 割 引料 及び出資金				+						
25	<u></u>	立 金										
26	寄	附 金										
27	公	課費										
28	繰	出 金			1.00	0			207			1.007
	計国	庫支出金			1,36	0		1	,387			1,387
B.	特県	支出金				0			0			
財源内訳	財地	庫支出金支出金方債の他				0			0			
内訳						0			0		·	
D/C	— ;	般 財源			1,36				,387			1,387
		計			1,36	9		1	,387			1,387
 *i	輔助率	国県				+						
補	助	基本額										
		₹補正・流用も	 犬況		平成26:	年度	特定財源内訳					
	当初]予算		422	,,,	区			名称			金額
	補正	予算		0								
				\blacksquare								
				\dashv			+					
				\dashv							_	
				-								

流用・充用

予算合計